

大和市 高齢者保健福祉計画  
介護保険事業計画(第9期)策定のための  
実態調査

報 告 書

令和5年8月  
大 和 市



# ■ 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象・方法・期間	1
3	回収状況	1
4	注意事項	1
II	調査の結果（一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者）	2
1	家族や生活状況について	12
2	からだを動かすことについて	20
3	食べることについて	30
4	毎日の生活について	34
5	地域での活動について	49
6	たすけあいについて	64
7	健康について	70
8	介護保険制度等について	80
9	認知症施策等について	104
10	介護保険サービス等について	105
11	介護の状況について	124
III	調査の結果（介護保険サービス供給量）	140
1	法人の概要について	140
2	法人の事業展開について	141
3	事業所の経営状況について	164
4	介護ロボットの導入について	173
5	高齢者施策等について	176
IV	調査の結果（居宅介護支援事業所）	178
1	事業所の概要について	178
2	ケアプラン作成について	179
3	高齢者施策等について	184
4	本市の介護サービスについて	186
5	医療・介護関係者との情報共有について	189
6	介護ロボット(自動排泄処理装置)について	197
7	生活期リハビリテーション対象者への重度化防止に向けた取り組みについて	200
V	調査の結果（居所変更実態調査）	202
VI	資料編	219





# I 調査の概要

## 1 調査の目的

第9期大和市高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画の策定のため、高齢者保健福祉及び介護保険に関連する業務について、市民の意識・ニーズ等の実態調査を行った。本報告書は、その調査結果をとりまとめたものである。

## 2 調査対象・方法・期間

調査名	対象者
高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画 策定のための実態調査	【一般高齢者対象調査】 65歳以上の無作為抽出の高齢者（介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者、要介護認定者を除く）
	【要支援認定者等対象調査】 無作為抽出の介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者
	【要介護認定者対象調査】 無作為抽出の要介護認定者
介護保険サービス供給量調査	市内に事業所を置く介護保険サービス事業者（法人ごと） （居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター除く）
居宅介護支援事業所調査	市内の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター（事業所ごと）
居所変更実態調査	市内の住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅

調査方法：郵送配布・郵送回収

抽出方法：母集団の日常生活圏域ごとの構成割合を加味した人数を無作為で抽出

調査期間：令和5年2月7日～令和5年4月26日

## 3 回収状況

調査名		発送数	回収数	回収率	集計対象数※		対象外・無効	有効回収率
高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画策定 のための実態調査	一般高齢者	5,000	3,276	65.5%	国モデル	3,254	8	65.1%
					市独自	3,268		65.4%
	要支援認定者等	2,000	1,379	69.0%	国モデル	1,367	5	68.4%
					市独自	1,374		68.7%
	要介護認定者	2,500	1,310	52.4%	国モデル	1,110	18	44.4%
					市独自	1,292		51.7%
介護保険サービス供給量調査	154	92	59.7%	92		0	59.7%	
居宅介護支援事業所調査	61	53	86.9%	53		0	86.9%	
居所変更実態調査	30	23	76.7%	23		0	76.7%	

※国モデルの設問は国の指針に基づいて施設入所者を除外して集計、市独自の設問は施設入所者を含めて集計

## 4 注意事項

※回答は設問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。

※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。

※1つの設問に2つ以上答えられる“複数回答可”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

※基本属性等のクロス集計については、特徴的な結果がみられるものを中心に記載してある。

※高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画策定のための実態調査（一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者）では、サンプル数が20以下の場合にはコメントを掲載していない。

※クロス集計のグラフでは、分析軸の回答が「無回答」の結果は表記していない。

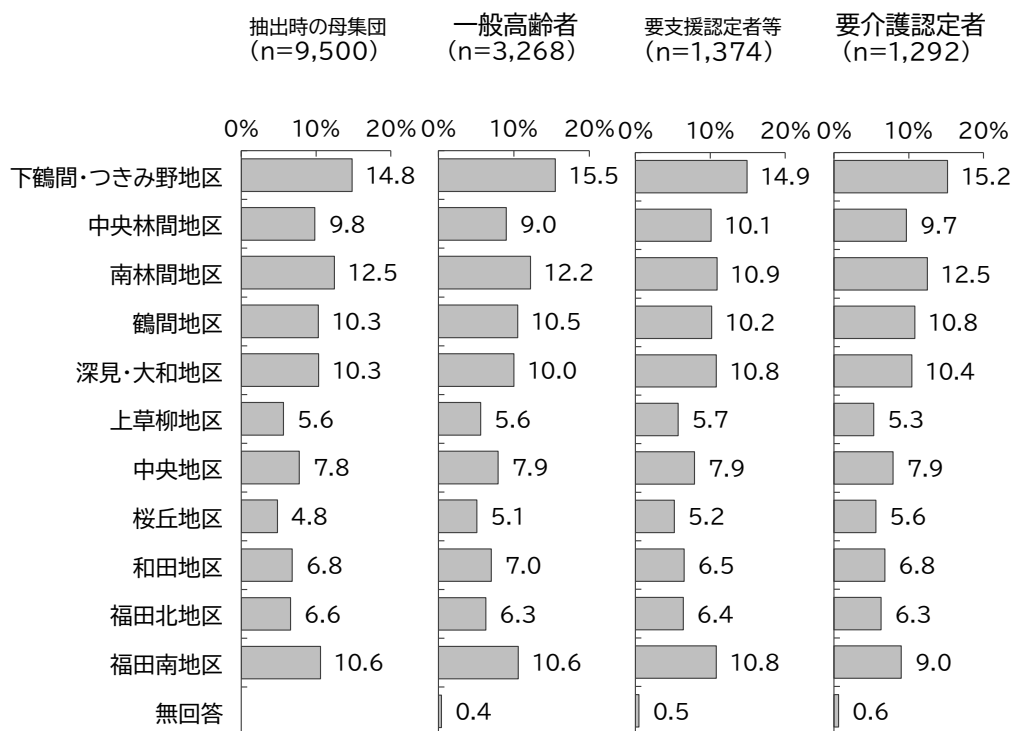
※スペースの関係上、一部設問、選択肢の文言を省略している箇所がある。

## Ⅱ 調査の結果（一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者）

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

回答者の居住地区（日常生活圏域）（単数回答）

【単純集計】



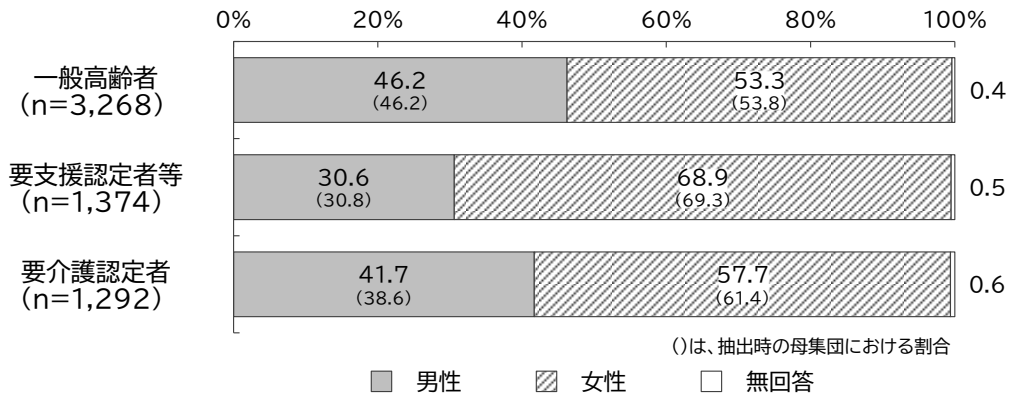
回答者の居住地区（日常生活圏域）は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「下鶴間・つきみ野地区」が最も多く、「南林間地区」が続く。

抽出時の母集団の割合との差異は、要支援認定者等における「南林間地区」、要介護認定者における「福田南地区」の1.6ポイント差が最も大きく、日常生活圏域別の回収数は概ね母集団の割合と一致している。

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

回答者の性別（単数回答）

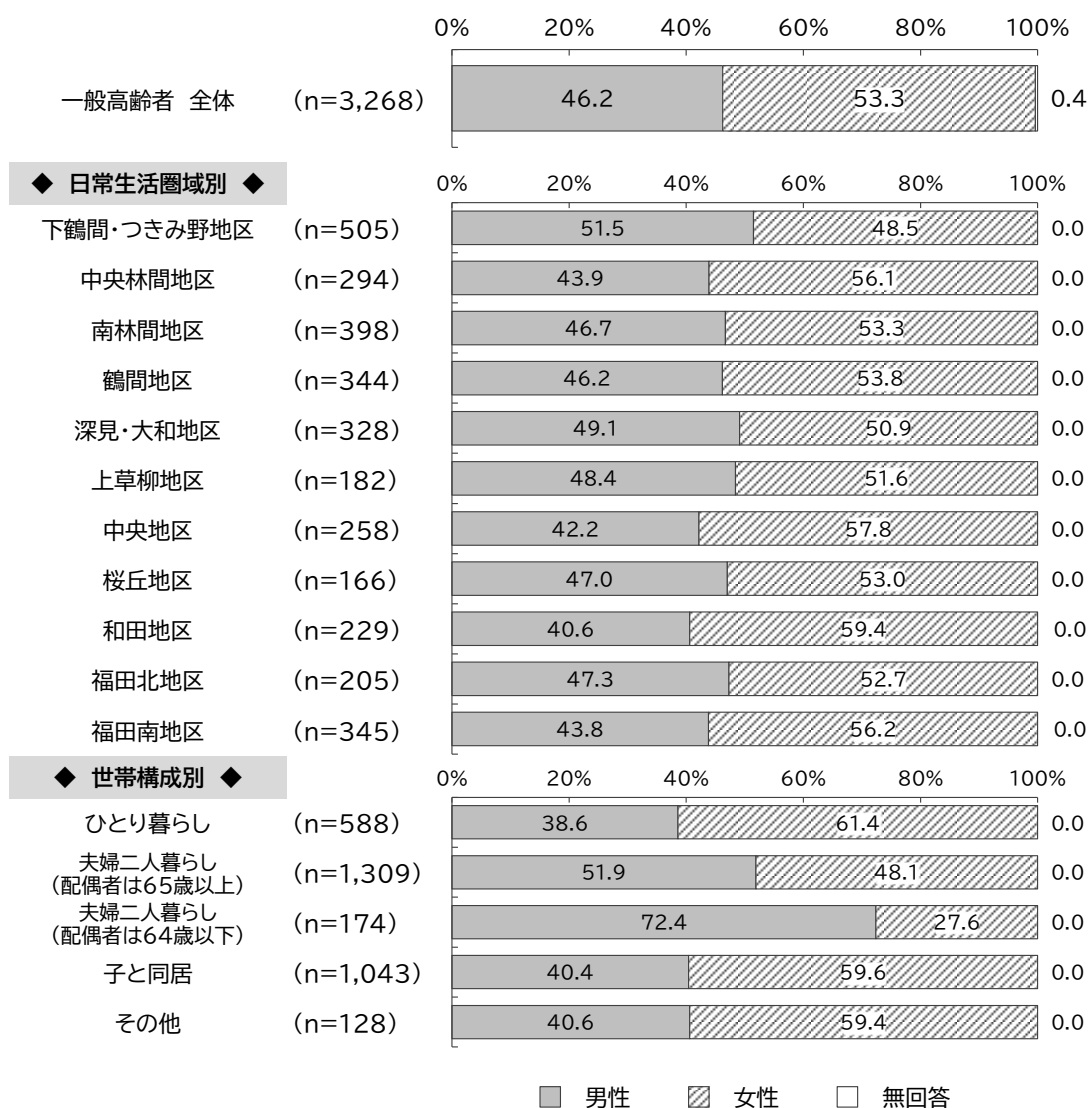
【単純集計】



回答者の性別は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「女性」が半数を超えて多くなっている。特に要支援認定者において「女性」が68.9%と、一般高齢者や要介護認定者より多くなっている。

抽出時の母集団における構成割合と比較すると、最大でも要介護認定者において3ポイント台の差であることから、概ね母集団の構成割合と一致しているといえる。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別・世帯構成別】

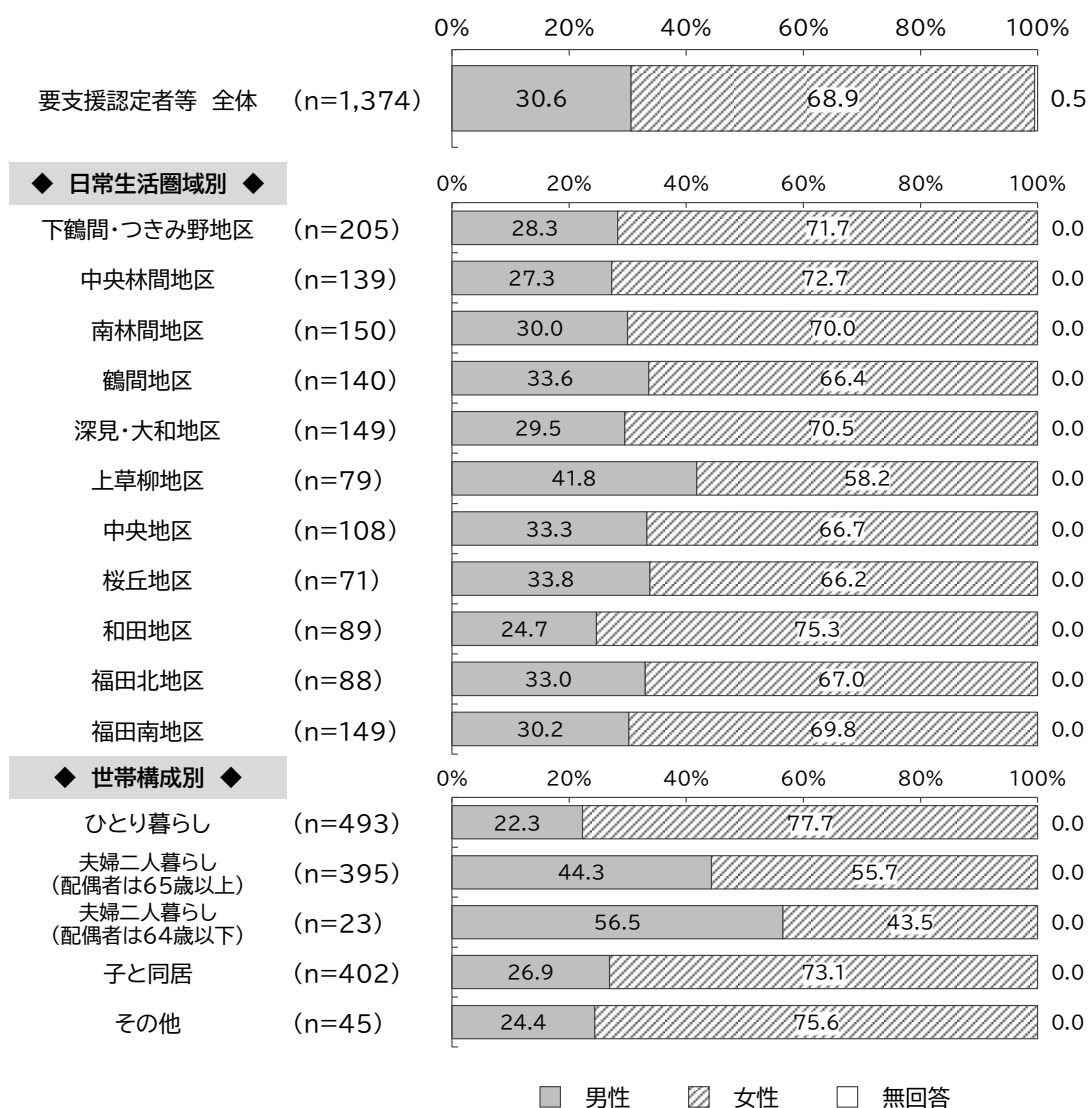


【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》で「男性」が51.5%と半数を超えて多く、「女性」が48.5%と半数を下回って少なくなっている。

世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》で「男性」が38.6%と4割を下回って少なく、「女性」が61.4%と約6割で多くなっている。一方で、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「男性」が72.4%と7割を超えて多く、「女性」が27.6%と3割を下回って少なくなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・世帯構成別】

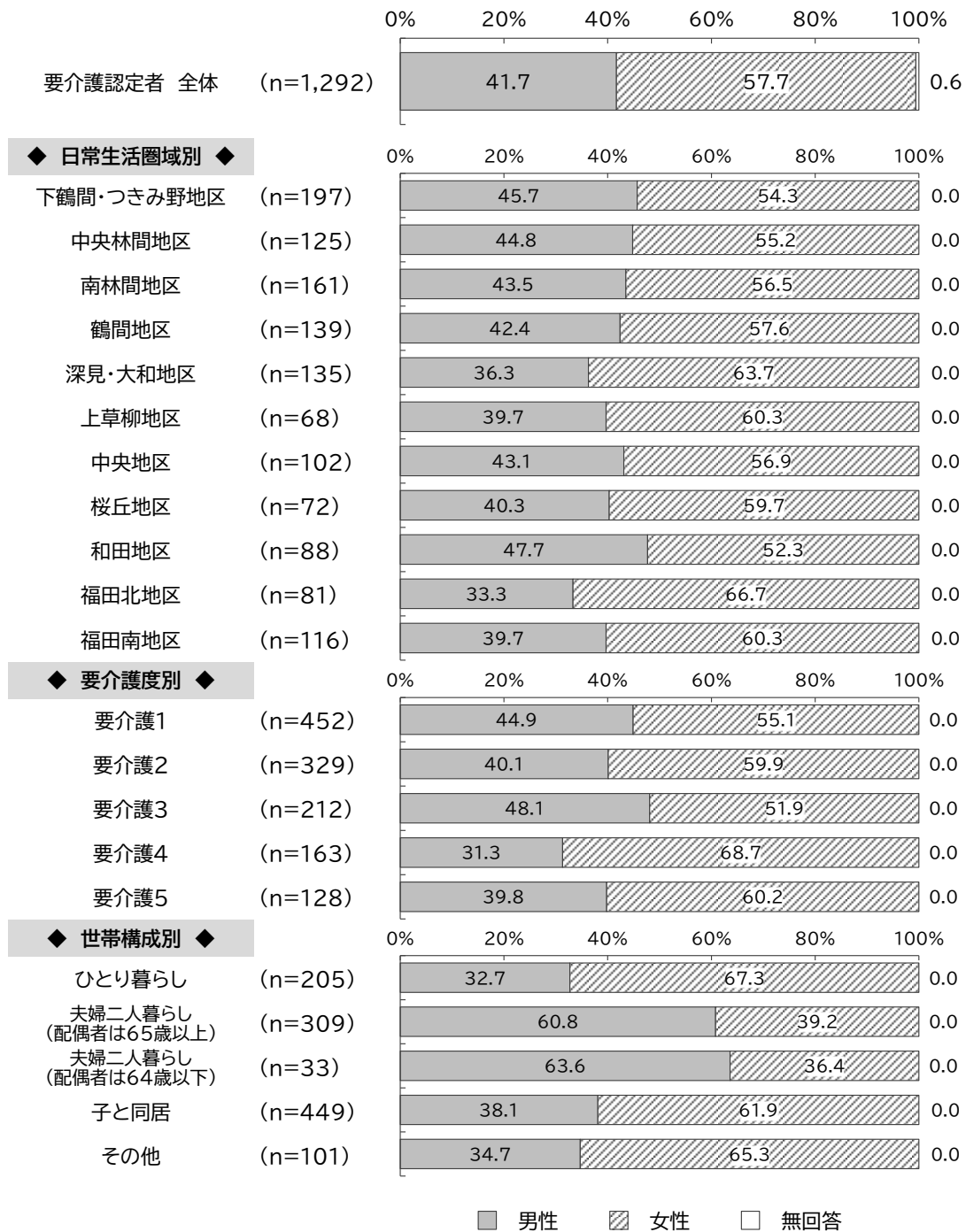


【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《上草柳地区》で「男性」が41.8%と約4割で多く、「女性」が58.2%と6割を下回って少なくなっている。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》・《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「男性」が4割を超えて多く、「女性」が6割を下回って少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

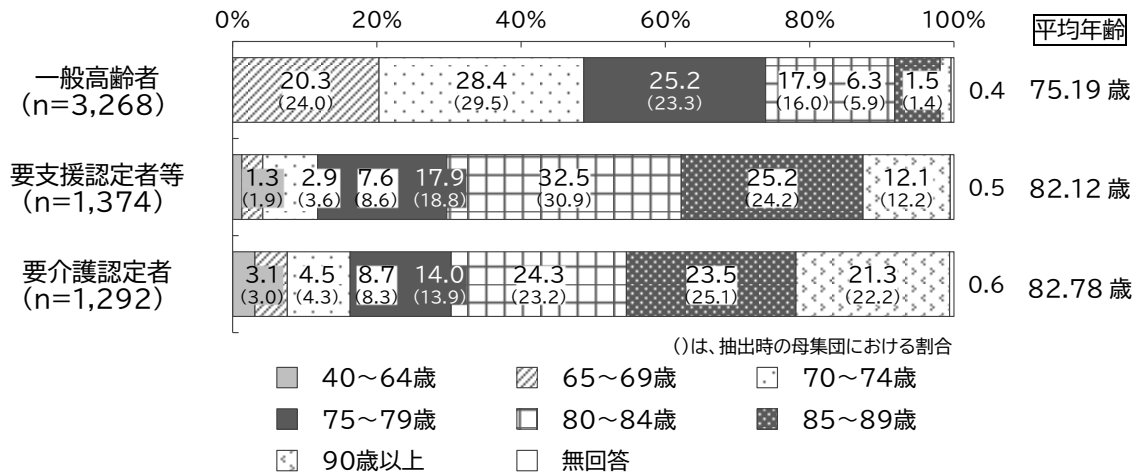
日常生活圏域別にみると、「深見・大和地区」・「上草柳地区」・「福田北地区」・「福田南地区」で「男性」が4割を下回って少なく、「女性」が6割を超えて多くなっている。

要介護度別にみると、「要介護4」・「要介護5」で「男性」が4割を下回って少なく、「女性」が6割を超えて多くなっている。

世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」・「夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）」で「男性」が6割を超えて多く、「女性」が4割を下回って少なくなっている。

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》  
 回答者の年齢層（単数回答）

【単純集計】



回答者の年齢は、一般高齢者において『前期高齢者（65～74 歳）』が 48.7%、『後期高齢者（75 歳以上）』が 50.9% とほぼ半数ずつなのに対し、要支援認定者等・要介護認定者においては『後期高齢者（75 歳以上）』が 8 割を超えて多く、『前期高齢者（65～74 歳）』は 1 割程度に留まっている。また、要支援認定者等と要介護認定者を比較すると、「80～84 歳」は要支援認定者等の方が多く、「90 歳以上」は要介護認定者の方が多くなっている。このことから、年齢が高くなるほど、特に 80 歳以上で要介護度が重くなることがわかる。平均年齢は、一般高齢者 75.19 歳、要支援認定者等 82.12 歳、要介護認定者 82.78 歳と、一般高齢者は要支援認定者等と要介護認定者より 7 歳程度低くなっている。

抽出時の母集団における構成割合と比較すると、最大でも一般高齢者の「65～69 歳」において 3.7 ポイントの差であることから、概ね母集団の構成割合と一致しているといえる。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】

一般高齢者	調査数(人)	年齢層(%)							平均年齢	要支援認定者等	調査数(人)	年齢層(%)							平均年齢		
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	無回答				40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上		無回答	
全体	3,268	20.3	28.4	25.2	17.9	6.3	1.5	0.4	75.19	全体	1,374	1.3	2.9	7.6	17.9	32.5	25.2	12.1	0.5	82.12	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	22.2	31.1	23.8	15.2	6.7	1.0	0.0	74.67	下鶴間・つきみ野地区	205	1.0	3.9	9.8	17.6	36.1	21.5	10.2	0.0	81.55
	中央林間地区	294	22.4	23.1	25.9	18.7	7.8	2.0	0.0	75.46	中央林間地区	139	2.9	2.9	7.9	20.1	30.9	21.6	13.7	0.0	81.57
	南林間地区	398	21.9	25.4	28.4	17.3	5.3	1.8	0.0	75.12	南林間地区	150	2.0	2.0	4.0	19.3	34.7	23.3	14.7	0.0	82.65
	鶴間地区	344	19.8	31.7	23.8	16.9	5.8	2.0	0.0	75.02	鶴間地区	140	1.4	1.4	12.1	19.3	29.3	27.9	8.6	0.0	81.64
	深見・大和地区	328	24.1	31.7	23.8	14.0	5.2	1.2	0.0	74.29	深見・大和地区	149	0.7	5.4	9.4	16.8	29.5	26.8	11.4	0.0	81.83
	上草柳地区	182	24.7	26.9	23.1	16.5	7.7	1.1	0.0	74.74	上草柳地区	79	2.5	2.5	8.9	22.8	36.7	10.1	16.5	0.0	81.27
	中央地区	258	17.4	35.3	25.2	15.9	4.7	1.6	0.0	74.84	中央地区	108	0.9	2.8	8.3	12.0	29.6	30.6	15.7	0.0	83.44
	桜丘地区	166	15.7	20.5	34.3	21.7	6.6	1.2	0.0	76.39	桜丘地区	71	2.8	4.2	7.0	11.3	29.6	32.4	12.7	0.0	82.01
	和田地区	229	11.8	25.3	25.8	25.8	9.6	1.7	0.0	77.07	和田地区	89	0.0	2.2	4.5	23.6	34.8	25.8	9.0	0.0	82.03
	福田北地区	205	21.0	29.3	24.4	18.0	5.4	2.0	0.0	75.19	福田北地区	88	1.1	4.5	5.7	21.6	21.6	29.5	15.9	0.0	82.39
	福田南地区	345	18.8	28.1	24.1	22.0	5.8	1.2	0.0	75.52	福田南地区	149	0.0	0.7	4.7	14.8	40.3	30.2	9.4	0.0	83.05

要介護認定者	調査数(人)	年齢層(%)							平均年齢		
		40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上		無回答	
全体	1,292	3.1	4.5	8.7	14.0	24.3	23.5	21.3	0.6	82.78	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	197	3.6	4.6	6.6	9.6	26.9	26.4	22.3	0.0	83.11
	中央林間地区	125	3.2	8.0	9.6	8.0	21.6	26.4	23.2	0.0	82.88
	南林間地区	161	8.1	3.1	9.9	15.5	21.1	21.1	21.1	0.0	81.53
	鶴間地区	139	0.0	5.0	5.0	17.3	28.8	22.3	21.6	0.0	83.82
	深見・大和地区	135	4.4	5.2	15.6	11.9	19.3	26.7	17.0	0.0	81.96
	上草柳地区	68	8.8	1.5	4.4	14.7	17.6	22.1	30.9	0.0	83.35
	中央地区	102	0.0	3.9	5.9	18.6	24.5	23.5	23.5	0.0	83.74
	桜丘地区	72	4.2	4.2	8.3	18.1	23.6	15.3	26.4	0.0	82.50
	和田地区	88	0.0	4.5	5.7	20.5	35.2	15.9	18.2	0.0	82.75
	福田北地区	81	1.2	2.5	13.6	8.6	25.9	23.5	24.7	0.0	83.40
	福田南地区	116	0.0	5.2	11.2	17.2	24.1	29.3	12.9	0.0	82.19

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、「下鶴間・つきみ野地区」・「鶴間地区」・「深見・大和地区」・「中央地区」で「70~74歳」が3割を超えて多くなっている。また、平均年齢は、「深見・大和地区」で74.29歳と最も低く、「和田地区」で77.07歳と最も高くなっている。

【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、「中央地区」・「桜丘地区」・「福田南地区」で「85~89歳」が3割を超えて多くなっている。また、平均年齢は、「上草柳地区」で81.27歳と最も低く、「中央地区」で83.44歳と最も高くなっている。

【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、「上草柳地区」で「90歳以上」が30.9%と約3割で多くなっている。また、平均年齢は、「南林間地区」で81.53歳と最も低く、「鶴間地区」で83.82歳と最も高くなっている。

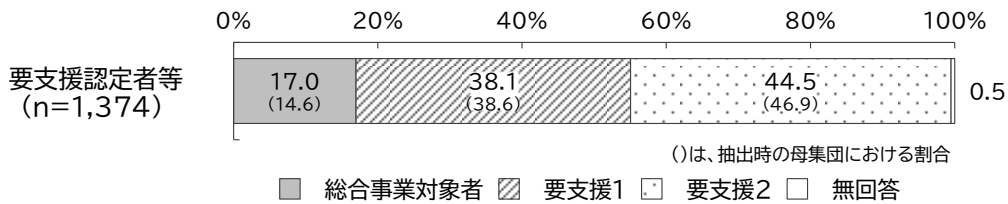


《要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

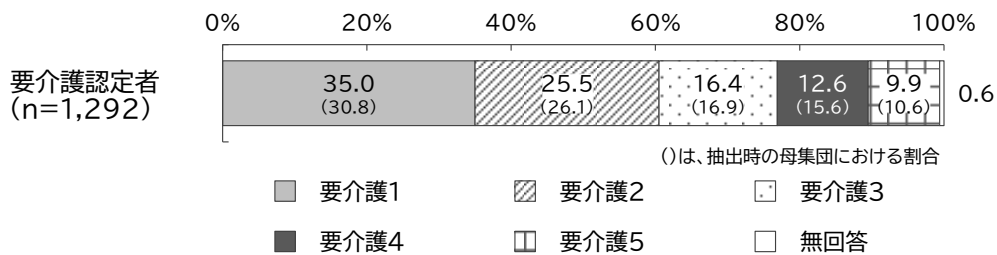
要介護度（単数回答）

【単純集計】

要支援度



要介護度



要支援度は、「要支援2」が44.5%と4割を超えて最も多く、次いで「要支援1」が38.1%、「総合事業対象者」が17.0%となっている。

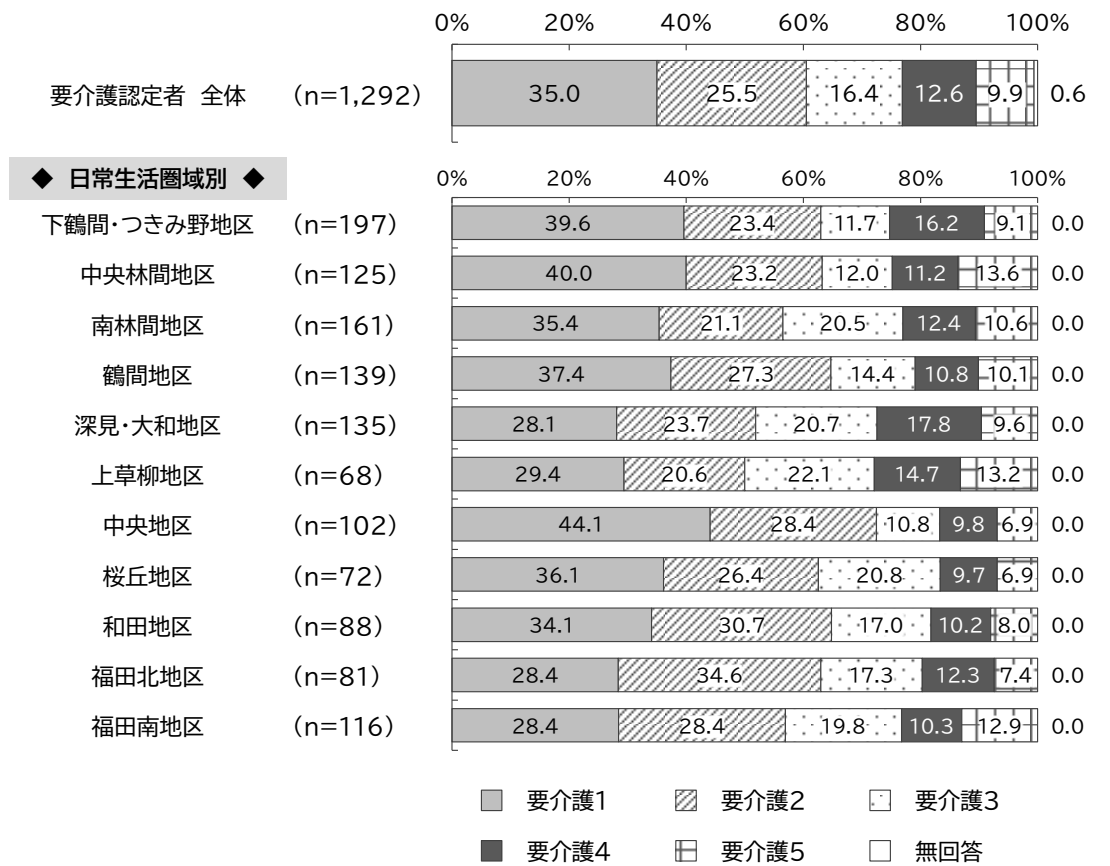
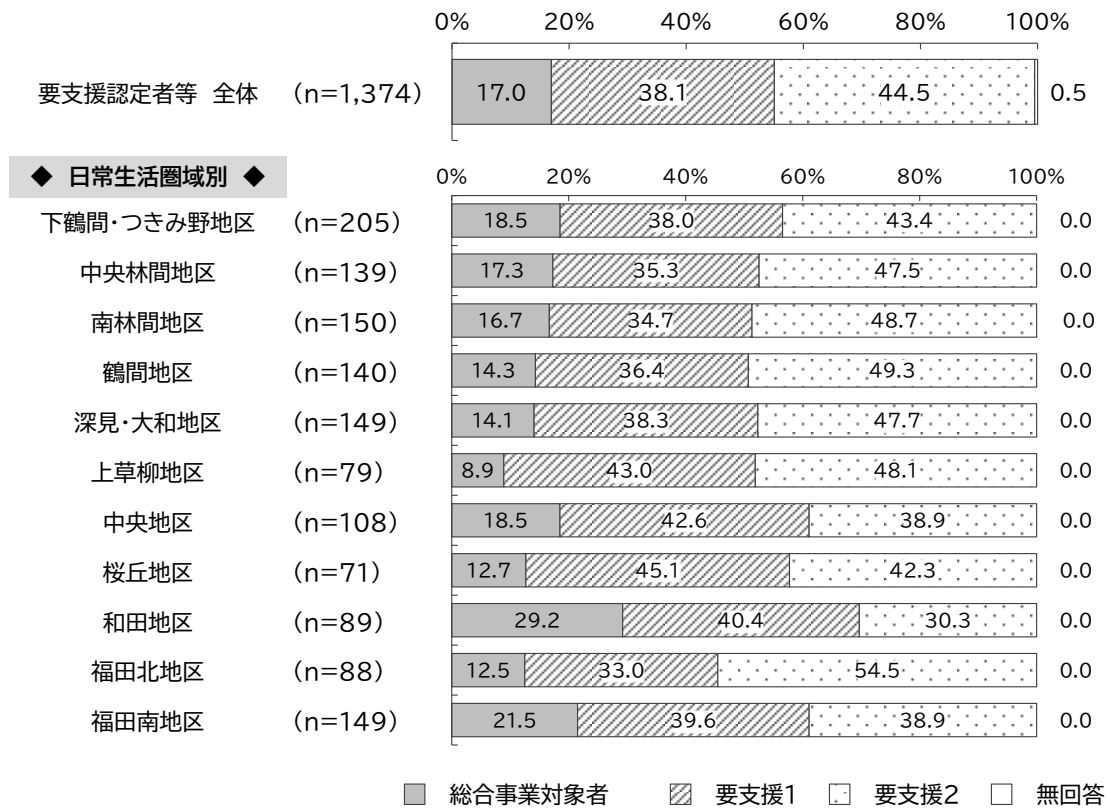
要介護度は、「要介護1」が35.0%と3割を超えて最も多く、次いで「要介護2」が25.5%、「要介護3」が16.4%となっており、比較的要介護度が軽い『要介護1～2』で60.5%と約6割を占めている。

抽出時の母集団における割合と比較すると、要支援認定者等において大きな差異はみられない。要介護認定者においては要介護度が軽い「要介護1」で回答率が4.2ポイント高く、「要介護4」で3.0ポイント低いことから、要介護度が重い対象者の方が回答することが難しいことがわかる。

**【要支援認定者等】**  
 日常生活圏域別にみると、《福田北地区》で「要支援2」が54.5%と半数を超えて多くなっている。

**【要介護認定者】**  
 日常生活圏域別にみると、《中央地区》で比較的要介護度が低い『要介護1・2』が72.5%と7割を超えて多くなっている。

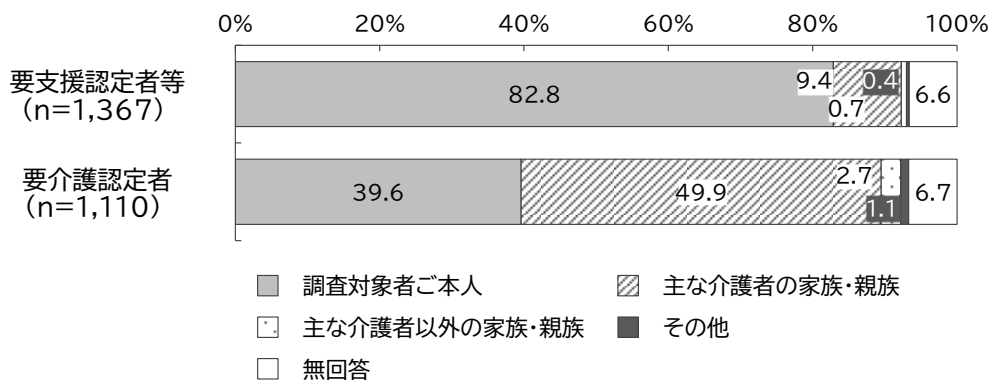
【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】



《要支援認定者等：事前設問・要介護認定者：事前設問》

この調査票に記入される方はどなたですか。（単数回答）

【単純集計】



調査票の記入者は、要支援認定者等において「調査対象者 ご本人」が82.8%と8割を超えて最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「主な介護者となっている家族・親族」が49.9%と約半数で最も多くなっている。

要介護認定者は要支援認定者等より身体的介護の必要性や認知機能低下等がみられる状況にあるため、対象者本人が回答することが難しい状況がわかる。

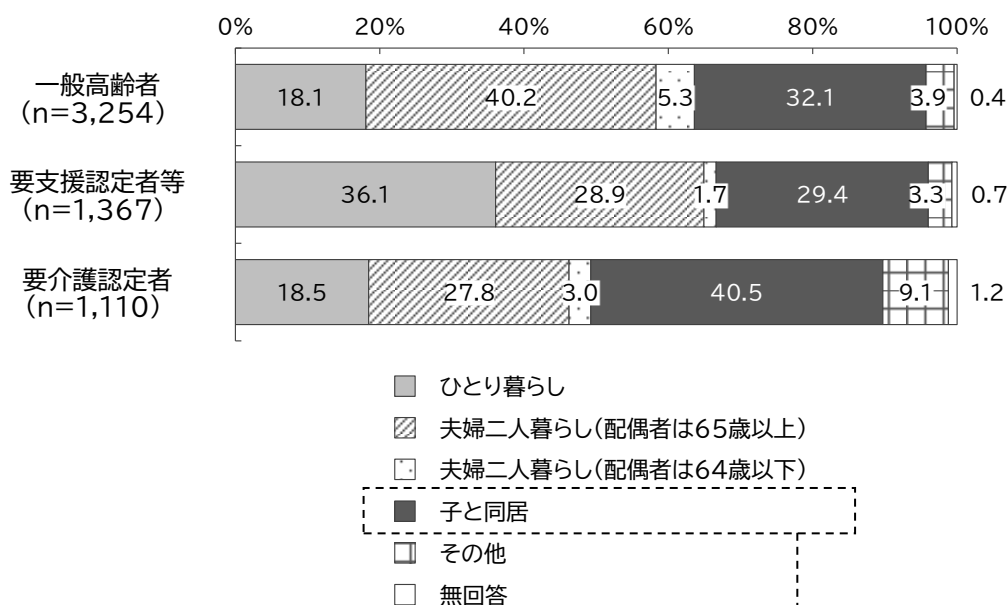
# 1 家族や生活状況について

《一般高齢者：問1・要支援認定者等：問1・要介護認定者：問1》

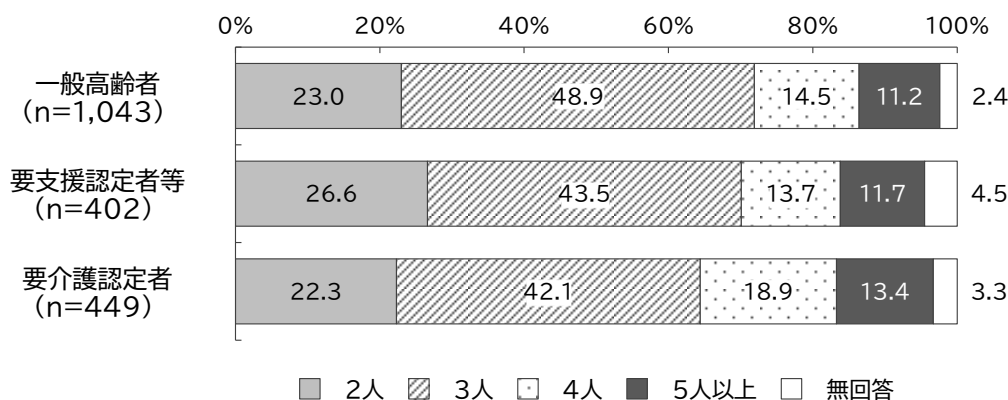
ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。(単数回答)

【単純集計】

## 世帯構成



## 本人を含めた同居人数(「子と同居」のみ)



世帯構成は、一般高齢者において「夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)」が40.2%と約4割で最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「ひとり暮らし」(36.1%)、要介護認定者においては「子と同居」(40.5%)が最も多くなっている。背景としては、一般高齢者よりも年齢層が高い要支援認定者等・要介護認定者は、配偶者が亡くなることで「ひとり暮らし」の割合が多くなり、さらに介護を必要とする状況になることで在宅での生活を支えるために「子と同居」する世帯が増加すると推測される。

子と同居している方の同居人数は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「3人」が4割で最も多く、「2人」、「4人」が続く。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】

一般高齢者	調査数（人）	世帯構成（％）					無回答	
		ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	その他		
全体	3,254	18.1	40.2	5.3	32.1	3.9	0.4	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	10.7	47.3	6.1	31.9	3.6	0.4
	中央林間地区	294	18.0	40.1	4.4	34.0	3.1	0.3
	南林間地区	398	22.4	39.4	4.5	30.4	3.3	0.0
	鶴間地区	344	21.5	38.4	5.5	30.8	2.9	0.9
	深見・大和地区	328	16.5	36.6	7.3	33.2	6.4	0.0
	上草柳地区	182	19.8	34.6	5.5	36.3	3.8	0.0
	中央地区	258	20.2	37.2	4.7	31.8	5.0	1.2
	桜丘地区	166	17.5	38.0	3.6	34.3	5.4	1.2
	和田地区	229	21.8	40.6	5.2	28.4	3.5	0.4
	福田北地区	205	19.0	38.0	4.9	34.6	3.4	0.0
	福田南地区	345	16.8	43.5	5.5	30.4	3.8	0.0

要支援認定者等	調査数（人）	世帯構成（％）					無回答	
		ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	その他		
全体	1,367	36.1	28.9	1.7	29.4	3.3	0.7	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	205	26.3	35.1	1.5	32.2	4.9	0.0
	中央林間地区	139	39.6	28.8	1.4	25.9	2.9	1.4
	南林間地区	150	39.3	28.0	4.0	24.7	4.0	0.0
	鶴間地区	140	40.0	27.9	2.9	27.9	1.4	0.0
	深見・大和地区	149	30.2	30.9	2.0	33.6	3.4	0.0
	上草柳地区	79	29.1	30.4	1.3	31.6	6.3	1.3
	中央地区	108	40.7	21.3	0.9	35.2	1.9	0.0
	桜丘地区	71	32.4	25.4	2.8	35.2	4.2	0.0
	和田地区	89	51.7	29.2	0.0	15.7	1.1	2.2
	福田北地区	88	38.6	25.0	1.1	30.7	2.3	2.3
	福田南地区	149	36.2	28.9	0.0	30.2	3.4	1.3

要介護認定者	調査数（人）	世帯構成（％）					無回答	
		ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	その他		
全体	1,110	18.5	27.8	3.0	40.5	9.1	1.2	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	168	13.7	33.3	3.0	35.7	13.7	0.6
	中央林間地区	107	16.8	32.7	1.9	37.4	9.3	1.9
	南林間地区	139	22.3	26.6	4.3	38.1	7.9	0.7
	鶴間地区	125	26.4	25.6	1.6	35.2	8.0	3.2
	深見・大和地区	115	13.9	28.7	6.1	40.0	10.4	0.9
	上草柳地区	55	21.8	23.6	5.5	45.5	3.6	0.0
	中央地区	92	13.0	23.9	1.1	52.2	8.7	1.1
	桜丘地区	64	15.6	20.3	0.0	56.3	7.8	0.0
	和田地区	75	32.0	29.3	0.0	32.0	6.7	0.0
	福田北地区	70	20.0	24.3	4.3	44.3	7.1	0.0
	福田南地区	100	12.0	29.0	4.0	42.0	10.0	3.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】  
日常生活圏域別にみると、「下鶴間・つきみ野地区」・「中央林間地区」・「和田地区」・「福田南地区」において「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」が4割を超えて多くなっている。

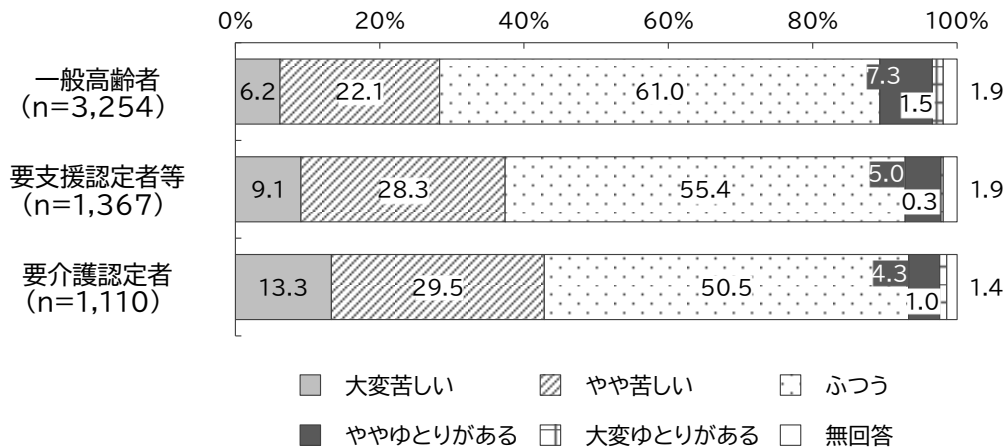
【要支援認定者等】  
日常生活圏域別にみると、「和田地区」において「ひとり暮らし」が51.7%と約半数が多くなっている。

【要介護認定者】  
日常生活圏域別にみると、「中央地区」・「桜丘地区」において「子と同居」が半数を超えて多くなっている。

《一般高齢者：問3・要支援認定者等：問2・要介護認定者：問2》

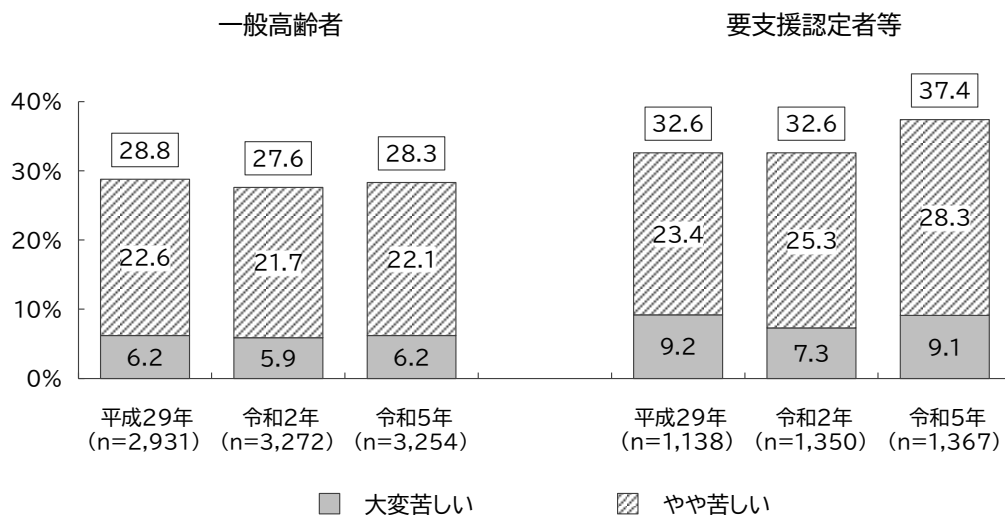
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

【単純集計】



経済的にみた暮らしの状況は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「ふつう」が半数を超えて最も多く、「やや苦しい」が続く。一方で、「ふつう」は一般高齢者において61.0%と、要支援認定者等・要介護認定者より多くなっている。また、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』は、一般高齢者28.3%、要支援認定者等37.4%、要介護認定者で42.8%と、介護を必要とする状況になるほど多くなっている。

【経年比較】



※令和2年調査以前において、要介護認定者でこの質問は設けていない。

前回、前々回と比較してみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が一般高齢者において28%前後で推移しているのに対し、要支援認定者等においては平成29年調査・令和2年調査と比較して4.8ポイント上昇している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別・年齢層別・要支援度別・世帯構成別】

一般高齢者	調査数（人）	暮らしの状況（%）						
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
全体	3,254	6.2	22.1	61.0	7.3	1.5	1.9	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	4.0	21.0	62.4	9.7	1.2	1.8
	中央林間地区	294	5.8	18.7	61.2	10.5	2.7	1.0
	南林間地区	398	5.5	20.1	62.6	8.3	1.8	1.8
	鶴間地区	344	8.1	21.8	62.8	3.8	0.9	2.6
	深見・大和地区	328	6.4	23.5	61.6	4.9	1.5	2.1
	上草柳地区	182	5.5	23.1	59.3	9.9	0.5	1.6
	中央地区	258	6.6	21.7	59.3	7.4	2.3	2.7
	桜丘地区	166	8.4	20.5	60.8	6.6	1.8	1.8
	和田地区	229	9.2	25.8	55.5	6.1	1.7	1.7
	福田北地区	205	4.9	27.3	59.0	5.9	1.0	2.0
	福田南地区	345	6.1	23.2	61.7	5.8	1.2	2.0
	年齢層別	65～69歳	663	8.0	24.6	55.8	8.3	1.7
70～74歳		928	7.3	23.7	58.7	7.3	1.5	1.4
75～79歳		825	5.7	23.0	61.5	6.5	1.5	1.8
80～84歳		584	4.1	18.7	66.4	6.8	1.4	2.6
85～89歳		205	4.4	14.1	70.2	6.3	1.5	3.4
90歳以上		49	0.0	18.4	63.3	12.2	2.0	4.1
世帯構成別		ひとり暮らし	588	9.5	23.0	56.6	6.5	3.1
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	1,309	5.0	21.0	62.4	8.8	0.9	1.8
	夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）	174	8.6	26.4	51.7	10.3	2.9	0.0
	子と同居	1,043	5.4	22.8	63.0	5.5	1.0	2.4
	その他	128	6.3	18.8	62.5	5.5	3.1	3.9

要支援認定者等	調査数（人）	暮らしの状況（%）						
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
全体	1,367	9.1	28.3	55.4	5.0	0.3	1.9	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	205	4.9	27.8	61.0	3.9	0.0	2.4
	中央林間地区	139	5.8	20.1	65.5	4.3	0.7	3.6
	南林間地区	150	11.3	31.3	50.7	4.7	0.0	2.0
	鶴間地区	140	8.6	35.7	50.7	5.0	0.0	0.0
	深見・大和地区	149	8.7	26.2	59.1	5.4	0.7	0.0
	上草柳地区	79	11.4	30.4	50.6	6.3	0.0	1.3
	中央地区	108	12.0	23.1	57.4	5.6	0.0	1.9
	桜丘地区	71	8.5	18.3	70.4	1.4	1.4	0.0
	和田地区	89	13.5	42.7	34.8	4.5	0.0	4.5
	福田北地区	88	12.5	28.4	45.5	8.0	1.1	4.5
	福田南地区	149	9.4	27.5	55.7	6.0	0.0	1.3
	年齢層別	40～64歳	18	16.7	44.4	38.9	0.0	0.0
65～69歳		40	25.0	32.5	35.0	7.5	0.0	0.0
70～74歳		105	12.4	32.4	51.4	2.9	0.0	1.0
75～79歳		246	11.4	31.7	50.4	3.7	0.0	2.8
80～84歳		446	8.7	28.0	55.6	5.6	0.2	1.8
85～89歳		346	6.6	28.0	57.8	5.5	0.3	1.7
90歳以上		166	5.4	19.3	66.3	5.4	1.2	2.4
要支援度別	総合事業対象者	233	7.7	31.3	51.9	5.6	0.4	3.0
	要支援1	523	7.5	25.6	59.3	5.2	0.2	2.3
	要支援2	611	11.1	29.5	53.4	4.6	0.3	1.1
世帯構成別	ひとり暮らし	493	11.4	31.8	50.5	3.9	0.6	1.8
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	395	8.1	26.3	58.2	6.8	0.0	0.5
	夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）	23	8.7	30.4	56.5	4.3	0.0	0.0
	子と同居	402	7.5	24.9	60.9	5.0	0.2	1.5
	その他	45	11.1	40.0	44.4	2.2	0.0	2.2

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】  
 日常生活圏域別にみると、『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が《和田地区》・《福田北地区》で3割を超えて多くなっている。  
 年齢層別にみると、『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が《65～69歳》・《70～74歳》で3割を超えて多くなっている。  
 世帯構成別にみると、『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が《ひとり暮らし》・《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で3割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・年齢層別・要介護度別・世帯構成別】

要介護認定者	調査数(人)	暮らしの状況(%)						
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
全体	1,110	13.3	29.5	50.5	4.3	1.0	1.4	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	168	8.9	29.2	54.2	4.8	1.2	1.8
	中央林間地区	107	5.6	29.0	57.9	6.5	0.0	0.9
	南林間地区	139	18.7	29.5	46.0	2.9	0.7	2.2
	鶴間地区	125	14.4	32.8	44.8	4.0	0.8	3.2
	深見・大和地区	115	16.5	27.8	49.6	4.3	1.7	0.0
	上草柳地区	55	20.0	27.3	49.1	3.6	0.0	0.0
	中央地区	92	9.8	26.1	56.5	4.3	2.2	1.1
	桜丘地区	64	10.9	31.3	51.6	6.3	0.0	0.0
	和田地区	75	16.0	33.3	46.7	4.0	0.0	0.0
	福田北地区	70	10.0	35.7	51.4	2.9	0.0	0.0
福田南地区	100	18.0	24.0	48.0	4.0	3.0	3.0	
年齢層別	40～64歳	36	27.8	33.3	38.9	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	50	16.0	44.0	32.0	6.0	0.0	2.0
	70～74歳	100	14.0	34.0	45.0	4.0	3.0	0.0
	75～79歳	157	15.9	29.9	48.4	2.5	0.0	3.2
	80～84歳	281	14.2	29.2	50.5	4.6	0.7	0.7
	85～89歳	272	13.2	32.0	48.2	3.7	1.1	1.8
	90歳以上	214	7.0	20.1	64.0	6.5	1.4	0.9
	要介護1	438	10.0	28.3	54.1	5.9	0.9	0.7
要介護2	316	11.4	29.1	54.1	2.8	0.9	1.6	
要介護3	169	22.5	30.8	40.2	3.6	1.8	1.2	
要介護4	106	16.0	31.1	44.3	4.7	0.9	2.8	
要介護5	81	16.0	32.1	46.9	2.5	0.0	2.5	
世帯構成別	ひとり暮らし	205	16.6	30.2	48.8	3.4	0.5	0.5
	夫婦二人暮らし (配偶者は65歳以上)	309	12.3	28.2	53.7	4.5	1.0	0.3
	夫婦二人暮らし (配偶者は64歳以下)	33	21.2	18.2	57.6	3.0	0.0	0.0
	子と同居	449	12.5	31.0	50.1	4.7	1.1	0.7
	その他	101	11.9	31.7	49.5	4.0	2.0	1.0

【要支援認定者等】  
日常生活圏域別にみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が「和田地区」において56.2%と半数を超えて多くなっている。  
年齢層別にみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が「65～69歳」において57.5%と6割近くで多くなっている。  
要支援度別にみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が「総合事業対象者」39.0%、「要支援1」33.1%、「要支援2」40.6%と、「要支援1」において少なくなっている。  
世帯構成別にみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が「その他」において51.1%と約半数で多くなっている。

【要介護認定者】  
日常生活圏域別にみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が「下鶴間・つきみ野地区」・「中央林間地区」・「中央地区」において4割を下回って少なくなっている。  
年齢層別にみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が「40～64歳」・「65～69歳」において6割を超えて多くなっているのに対し、「90歳以上」において27.1%と3割を下回って少なくなっている。  
要介護度別にみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が「要介護3」において53.3%と半数を超えて多く、「要介護1」において38.3%と4割を下回って少なくなっている。  
世帯構成別にみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』が「夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)」において39.4%と約4割で少なくなっている。

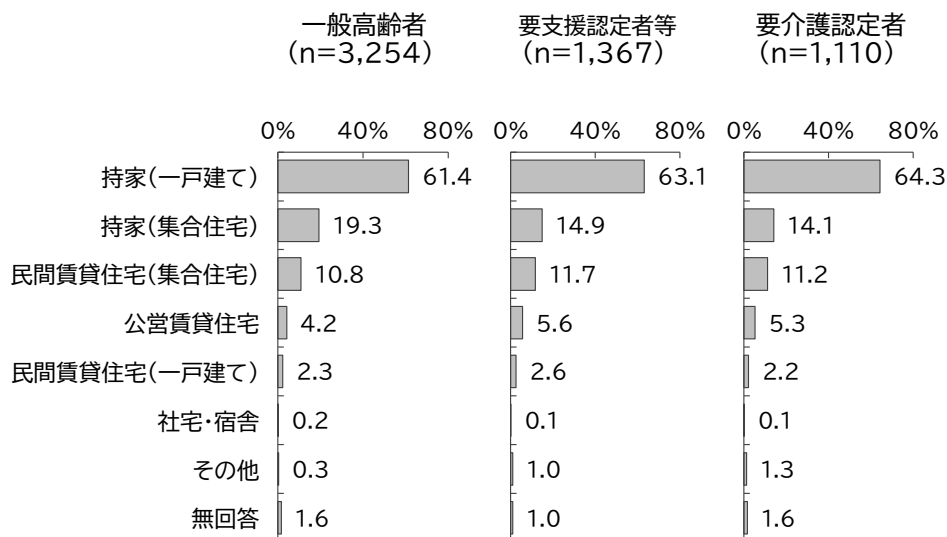
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)



《一般高齢者：問4・要支援認定者等：問3・要介護認定者：問3》

ご自宅は次のどれですか。（単数回答）

【単純集計】



自宅の種類は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「持家（一戸建て）」が6割を超えて最も多く、「持家（集合住宅）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が続く。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別・年齢層別・要支援度別・世帯構成別・暮らしの状況別】

	調査数(人)	自宅の種類(%)							
		持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	民間賃貸住宅(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	社宅・宿舍	その他	無回答
一般高齢者	3,254	61.4	19.3	10.8	4.2	2.3	0.2	0.3	1.6
日常生活圏域別									
全体	505	56.2	29.7	8.3	2.4	1.6	0.4	0.0	1.4
下鶴間・つきみ野地区	294	58.2	27.9	7.1	2.7	1.4	0.3	0.0	2.4
中央林間地区	398	66.6	16.6	12.6	0.5	2.0	0.0	0.5	1.3
南林間地区	344	59.9	21.2	12.5	1.5	2.6	0.0	0.6	1.7
鶴間地区	328	55.2	24.4	14.0	1.2	3.4	0.6	0.3	0.9
深見・大和地区	182	70.3	14.3	10.4	0.0	3.3	0.0	0.0	1.6
上草柳地区	258	55.8	25.6	13.6	1.6	0.8	0.0	0.4	2.3
中央地区	166	74.7	7.8	8.4	1.2	6.0	0.0	0.0	1.8
桜丘地区	229	45.0	2.2	10.0	36.2	3.9	0.0	0.4	2.2
和田地区	205	59.5	17.6	14.1	7.8	1.0	0.0	0.0	0.0
福田北地区	345	78.3	8.7	8.1	0.6	2.0	0.0	0.6	1.7
福田南地区									
年齢層別									
65～69歳	663	50.2	28.2	14.3	3.6	2.1	0.3	0.2	1.1
70～74歳	928	59.5	21.1	12.8	2.8	2.0	0.2	0.4	1.1
75～79歳	825	64.4	16.4	8.7	5.2	3.3	0.0	0.2	1.8
80～84歳	584	69.0	14.2	7.4	5.5	2.1	0.2	0.2	1.5
85～89歳	205	69.3	11.2	8.8	5.4	1.5	0.0	0.5	3.4
90歳以上	49	75.5	6.1	6.1	4.1	2.0	0.0	0.0	6.1
世帯構成別									
ひとり暮らし	588	40.3	20.1	27.7	6.8	2.6	0.2	0.3	2.0
夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)	1,309	64.9	21.0	6.8	4.2	1.7	0.3	0.0	1.1
夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)	174	58.0	20.7	10.3	5.2	4.6	0.0	0.6	0.6
子と同居	1,043	68.5	17.5	6.6	3.0	2.5	0.0	0.1	1.8
その他	128	70.3	10.9	7.0	2.3	3.9	0.0	3.9	1.6
暮らしの状況別									
大変苦しい	201	31.8	14.9	30.8	9.5	9.5	0.0	1.0	2.5
やや苦しい	720	51.5	17.9	17.9	6.5	4.7	0.3	0.3	0.8
ふつう	1,985	66.5	21.0	7.3	3.3	1.0	0.2	0.2	0.7
ややゆとりがある	236	77.1	17.4	2.1	2.1	1.3	0.0	0.0	0.0
大変ゆとりがある	49	71.4	14.3	8.2	2.0	0.0	0.0	4.1	0.0
要支援認定者等	1,367	63.1	14.9	11.7	5.6	2.6	0.1	1.0	1.0
日常生活圏域別									
全体	205	63.9	19.5	9.3	3.9	1.5	0.0	1.0	1.0
下鶴間・つきみ野地区	139	55.4	24.5	15.1	2.9	0.7	0.0	0.7	0.7
中央林間地区	150	61.3	18.0	16.0	1.3	0.7	0.0	2.0	0.7
南林間地区	140	65.0	19.3	10.7	1.4	3.6	0.0	0.0	0.0
鶴間地区	149	63.1	16.8	14.1	3.4	1.3	0.0	1.3	0.0
深見・大和地区	79	68.4	7.6	15.2	0.0	7.6	0.0	0.0	1.3
上草柳地区	108	57.4	25.9	7.4	0.9	4.6	0.0	1.9	1.9
中央地区	71	70.4	11.3	5.6	0.0	11.3	0.0	1.4	0.0
桜丘地区	89	28.1	1.1	21.3	44.9	1.1	0.0	1.1	2.2
和田地区	88	63.6	3.4	12.5	14.8	2.3	0.0	0.0	3.4
福田北地区	149	87.9	2.7	4.0	1.3	1.3	0.7	1.3	0.7
福田南地区									
年齢層別									
40～64歳	18	50.0	38.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	40	40.0	22.5	20.0	10.0	5.0	0.0	2.5	0.0
70～74歳	105	55.2	18.1	16.2	4.8	5.7	0.0	0.0	0.0
75～79歳	246	60.6	17.1	12.6	5.3	1.6	0.4	1.2	1.2
80～84歳	446	63.5	14.8	12.6	5.6	2.2	0.0	0.2	1.1
85～89歳	346	65.3	13.3	10.1	5.2	2.9	0.0	1.7	1.4
90歳以上	166	73.5	8.4	6.6	7.2	2.4	0.0	1.8	0.0
要支援度別									
総合事業対象者	233	66.1	16.7	9.0	6.0	1.3	0.0	0.0	0.9
要支援1	523	65.4	14.0	10.3	5.5	1.9	0.2	1.5	1.1
要支援2	611	60.1	14.9	13.9	5.6	3.8	0.0	1.0	0.8
世帯構成別									
ひとり暮らし	493	48.9	14.8	22.1	8.3	4.1	0.0	1.0	0.8
夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)	395	66.8	18.2	6.1	6.6	2.3	0.0	0.0	0.0
夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)	23	60.9	17.4	13.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0
子と同居	402	78.9	11.9	5.0	1.7	1.5	0.2	0.2	0.5
その他	45	57.8	13.3	4.4	2.2	2.2	0.0	17.8	2.2
暮らしの状況別									
大変苦しい	125	47.2	4.8	28.8	8.0	10.4	0.0	0.8	0.0
やや苦しい	387	51.2	17.3	17.3	9.6	3.1	0.0	1.0	0.5
ふつう	757	71.9	15.2	6.5	3.7	1.3	0.1	1.2	0.1
ややゆとりがある	68	75.0	16.2	4.4	2.9	1.5	0.0	0.0	0.0
大変ゆとりがある	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【一般高齢者】  
 日常生活圏域別にみると、《和田地区》で「持家(一戸建て)」が45.0%と半数を下回って少なく、「公営賃貸住宅」が36.2%と3割を超えて多くなっている。  
 年齢層別にみると、年齢が高くなるほど「持家(一戸建て)」が多く、「持家(集合住宅)」が少なくなっている。  
 世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》で「持家(一戸建て)」が40.3%と約4割で少なく、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が27.7%と3割近くで多くなっている。  
 暮らしの状況別にみると、《大変苦しい》で「持家(一戸建て)」が31.8%と約3割で少なく、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が30.8%と約3割で多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・年齢層別・要介護度別・世帯構成別・暮らしの状況別】

要介護認定者	調査数（人）	自宅の種類（%）								
		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	民間賃貸住宅（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	社宅・宿舍	その他	無回答	
全体	1,110	64.3	14.1	11.2	5.3	2.2	0.1	1.3	1.6	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	168	63.1	25.0	6.0	1.8	2.4	0.0	1.2	0.6
	中央林間地区	107	58.9	22.4	13.1	3.7	0.0	0.0	0.0	1.9
	南林間地区	139	71.9	12.2	12.2	0.0	0.7	0.0	0.0	2.9
	鶴間地区	125	64.8	11.2	13.6	3.2	3.2	0.0	0.8	3.2
	深見・大和地区	115	56.5	19.1	13.9	2.6	2.6	0.0	4.3	0.9
	上草柳地区	55	76.4	10.9	7.3	0.0	3.6	0.0	1.8	0.0
	中央地区	92	66.3	14.1	14.1	3.3	1.1	0.0	0.0	1.1
	桜丘地区	64	76.6	12.5	4.7	1.6	4.7	0.0	0.0	0.0
	和田地区	75	40.0	1.3	12.0	37.3	2.7	0.0	5.3	1.3
	福田北地区	70	62.9	1.4	14.3	14.3	5.7	0.0	1.4	0.0
福田南地区	100	73.0	8.0	11.0	3.0	0.0	1.0	0.0	4.0	
年齢層別	40～64歳	36	61.1	25.0	8.3	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	50	52.0	22.0	16.0	6.0	2.0	0.0	0.0	2.0
	70～74歳	100	50.0	17.0	20.0	4.0	5.0	0.0	3.0	1.0
	75～79歳	157	52.2	16.6	18.5	7.6	1.3	0.6	0.6	2.5
	80～84歳	281	66.2	11.7	9.6	7.8	2.5	0.0	0.7	1.4
	85～89歳	272	67.6	13.2	8.8	4.8	2.2	0.0	1.5	1.8
	90歳以上	214	76.6	11.2	6.1	1.4	1.4	0.0	1.9	1.4
要介護度別	要介護1	438	62.8	15.3	11.6	6.6	2.1	0.2	0.2	1.1
	要介護2	316	66.8	12.7	10.8	5.1	1.6	0.0	1.6	1.6
	要介護3	169	62.7	13.6	14.2	2.4	4.1	0.0	1.8	1.2
	要介護4	106	66.0	12.3	5.7	6.6	2.8	0.0	4.7	1.9
	要介護5	81	64.2	16.0	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	4.9
世帯構成別	ひとり暮らし	205	46.3	14.1	22.9	9.8	3.4	0.0	2.9	0.5
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	309	58.6	18.8	9.4	8.7	3.2	0.0	0.3	1.0
	夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）	33	66.7	12.1	15.2	0.0	6.1	0.0	0.0	0.0
	子と同居	449	77.3	12.2	6.2	2.2	1.1	0.2	0.0	0.7
	その他	101	66.3	9.9	12.9	1.0	0.0	0.0	6.9	3.0
暮らしの状況別	大変苦しい	148	50.7	10.8	20.9	11.5	4.1	0.0	2.0	0.0
	やや苦しい	327	56.9	15.9	14.7	8.0	3.4	0.0	0.6	0.6
	ふつう	561	73.4	13.4	7.3	2.7	1.2	0.2	1.4	0.4
	ややゆとりがある	48	64.6	25.0	4.2	0.0	0.0	0.0	2.1	4.2
	大変ゆとりがある	11	81.8	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0

【要支援認定者等】  
日常生活圏域別にみると、「和田地区」において「持家（一戸建て）」が28.1%と3割を下回って少なく、「公営賃貸住宅」が44.9%と4割を超えて多くなっている。  
年齢層別にみると、年齢が高くなるほど「持家（一戸建て）」が多く、「持家（集合住宅）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が少なくなっている。  
要支援度別にみると、大きな差異はみられない。  
世帯構成別にみると、「子と同居」において「持家（一戸建て）」が78.9%と8割近くで多くなっている。  
暮らしの状況別にみると、「大変苦しい」において「持家（一戸建て）」が47.2%と半数を下回って少なく、「民間賃貸（集合住宅）」が28.8%と3割近くで多くなっている。

【要介護認定者】  
日常生活圏域別にみると、「和田地区」において「持家（一戸建て）」が40.0%と4割で少なく、「公営賃貸住宅」が37.3%と4割近くで多くなっている。  
年齢層別にみると、「90歳以上」において「持家（一戸建て）」が76.6%と7割を超えて多くなっている。  
要介護度別にみると、「要介護4」において「民間賃貸住宅（集合住宅）」が5.7%と1割を下回って少なくなっている。  
世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」において「持家（一戸建て）」が46.3%と半数を下回って少なく、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が22.9%と2割を超えて多くなっている。  
暮らしの状況別にみると、「大変苦しい」において「民間賃貸住宅（集合住宅）」が20.9%と約2割で多く、「ふつう」において「持家（一戸建て）」が73.4%と7割を超えて多くなっている。

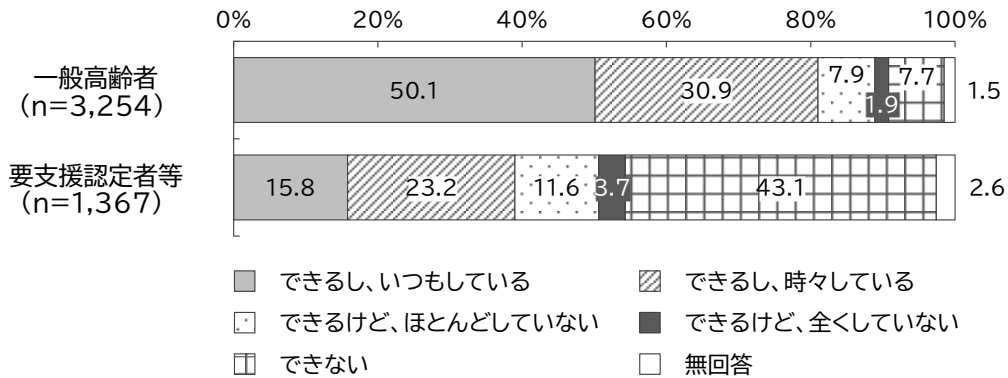
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

## 2 からだを動かすことについて

《一般高齢者：問5・要支援認定者等：問6》

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(単数回答)

【単純集計】

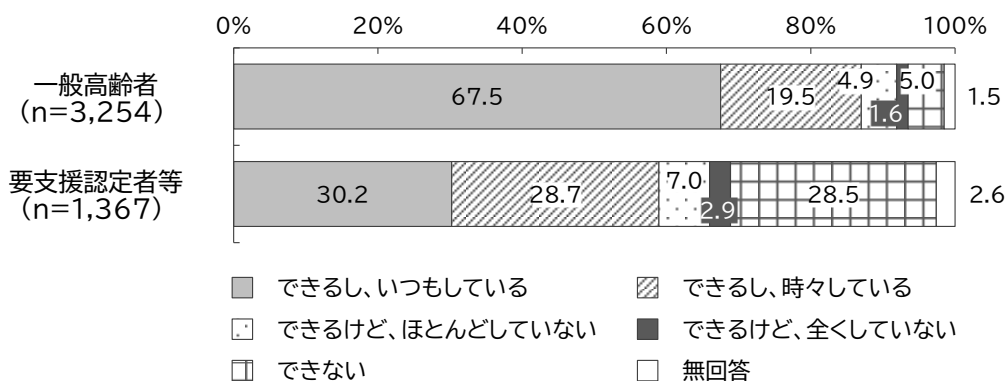


階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、一般高齢者において「できるし、いつもしている」が50.1%と約半数で最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「できない」が43.1%と4割を超えて最も多くなっている。

《一般高齢者：問6・要支援認定者等：問7》

椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。(単数回答)

【単純集計】

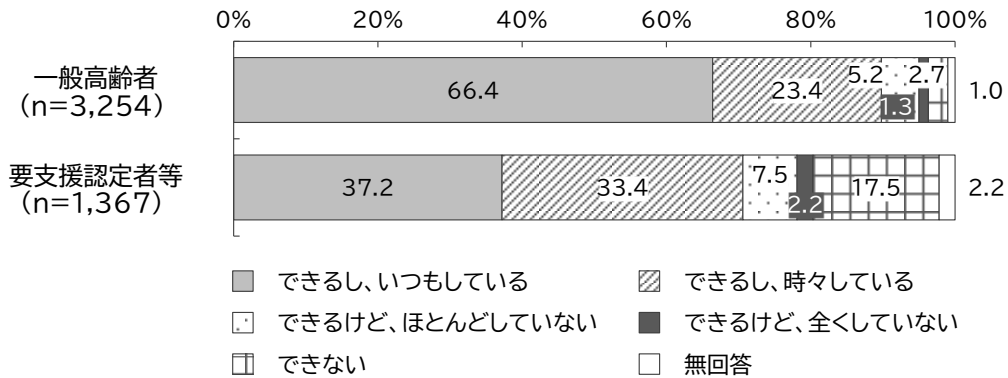


椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、いつもしている」が3割を超えて最も多く、「できるし、時々している」、「できない」が続く。一方で、「できるし、いつもしている」は一般高齢者の方が要支援認定者等より37.3ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問7・要支援認定者等：問8》

15分位続けて歩いていますか。（単数回答）

【単純集計】

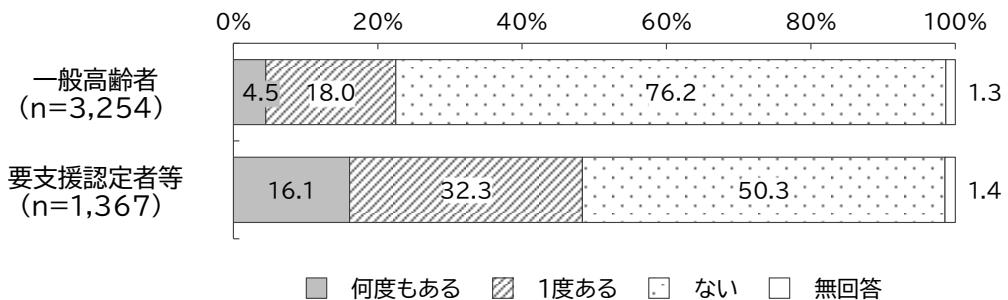


15分位続けて歩いているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、いつもしている」が3割を超えて最も多く、「できるし、時々している」が続く。一方で、「できるし、いつもしている」は一般高齢者の方が要支援認定者等より29.2ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問8・要支援認定者等：問9》

過去1年間に転んだ経験がありますか。（単数回答）

【単純集計】

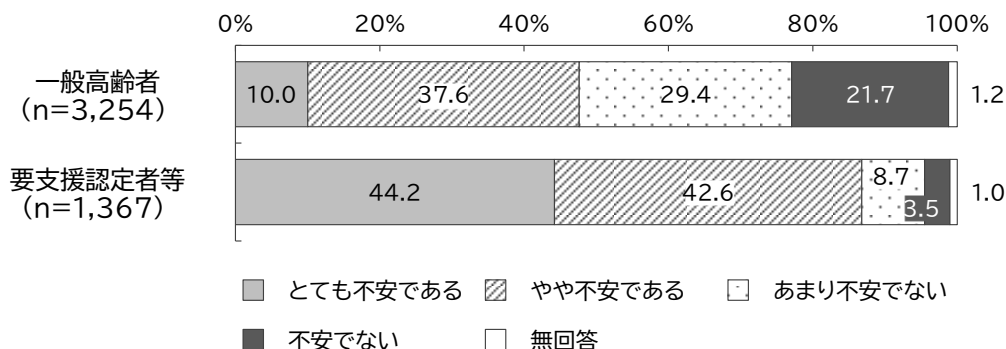


過去1年間に転んだ経験の有無は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「ない」が半数を超えて最も多く、「1度ある」、「何度もある」が続く。一方で、「ない」は一般高齢者の方が要支援認定者等より25.9ポイント高くなっている。また、『ある（何度もある+1度ある）』は、一般高齢者22.5%、要支援認定者等48.4%と、要支援認定者の方が25.9ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問9・要支援認定者等：問10》

転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

【単純集計】



転倒に対する不安は、一般高齢者において「やや不安である」が37.6%と4割近くで最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「とても不安である」が44.2%と4割を超えて最も多くなっている。また、『不安(とても不安である+やや不安である)』は、一般高齢者47.6%、要支援認定者等86.8%と、要支援認定者等の方が39.2ポイント高くなっている。

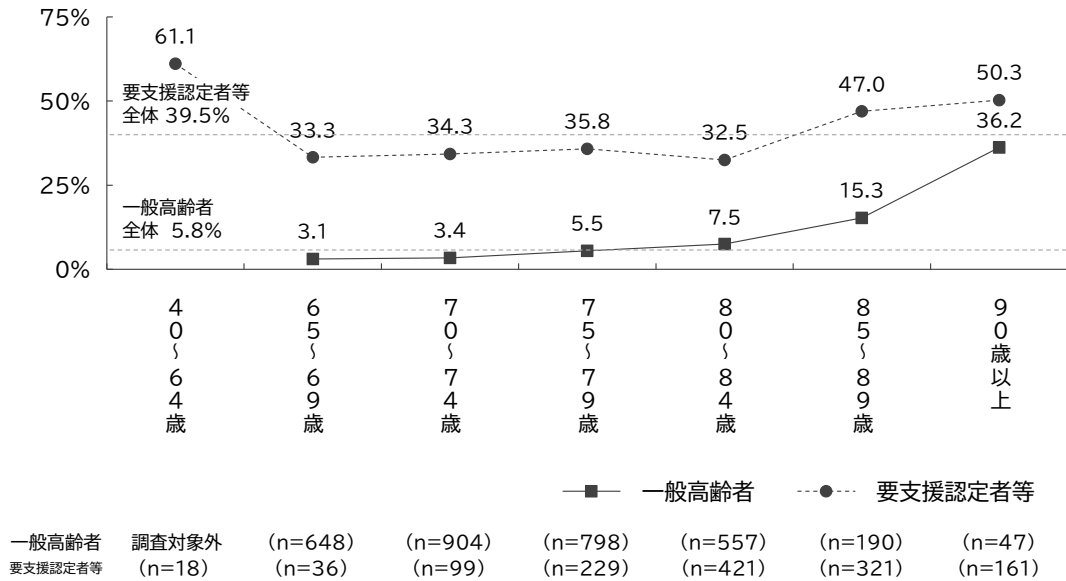
## 運動器リスク該当者

厚生労働省の基本チェックリスト(運動機能)の手引きをもとに、各調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定した。

<判定設問>

問番号		設問	該当する選択肢
一般	要支援等		
問5	問6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	・できない
問6	問7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	・できない
問7	問8	15分位続けて歩いていますか。	・できない
問8	問9	過去1年間に転んだ経験がありますか。	・何度もある ・1度ある
問9	問10	転倒に対する不安は大きいですか。	・とても不安である ・やや不安である

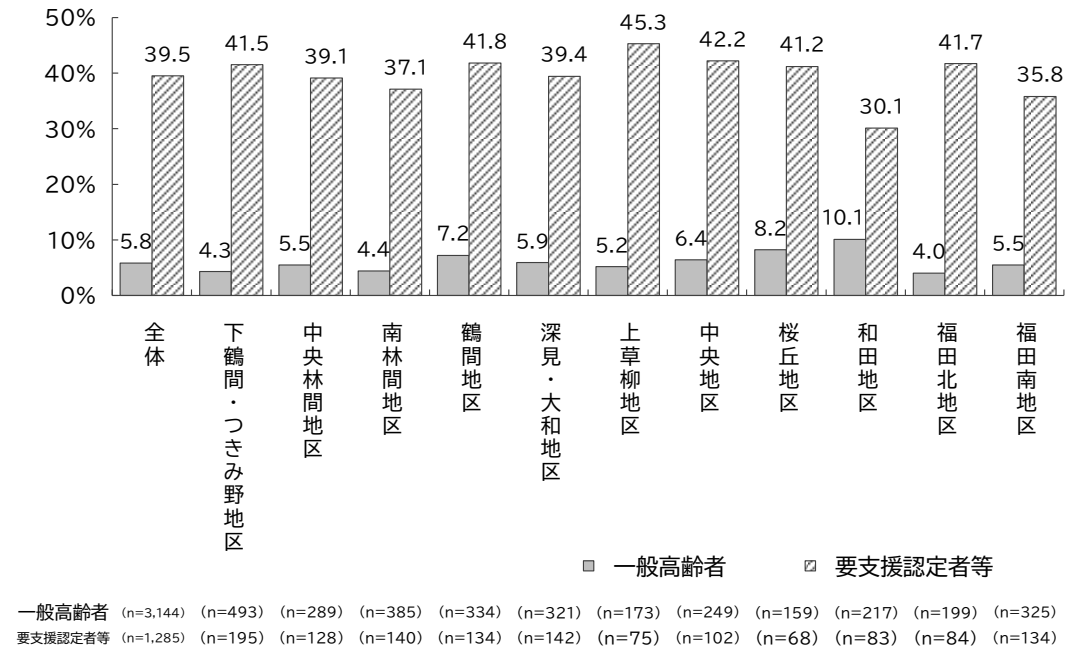
【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：年齢層別】



国の手引きに基づく運動器の評価結果による運動器の機能低下のリスク該当者は、一般高齢者全体 5.8%、要支援認定者等全体 39.5%となっている。

年齢層別にみると、要支援認定者等におけるすべての年齢層で3割以上となっており、一般高齢者、要支援認定者等ともに 85 歳以上で急激に増加している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】

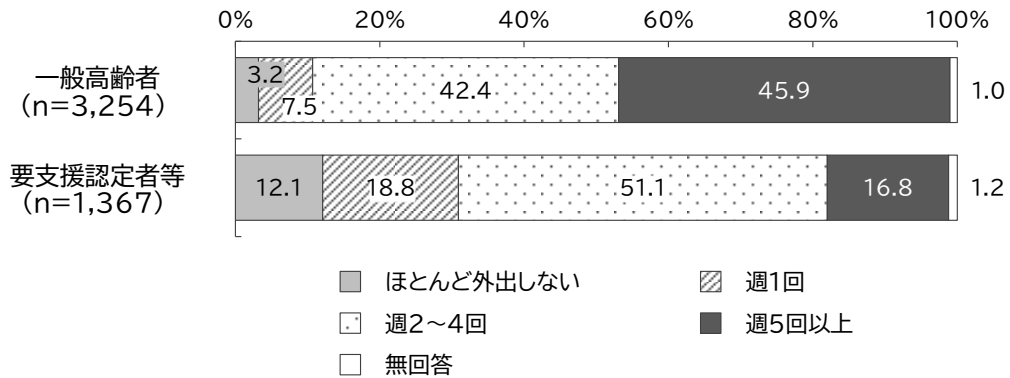


日常生活圏域別にみると、ほとんどの日常生活圏域で一般高齢者が1割未満、要支援認定者等が3～4割台となっているのに対し、《和田地区》で一般高齢者が10.1%、要支援認定者等が30.1%と、他の日常生活圏域との差がみられる。

《一般高齢者：問10・要支援認定者等：問11》

外出の頻度をお教えてください。(単数回答)

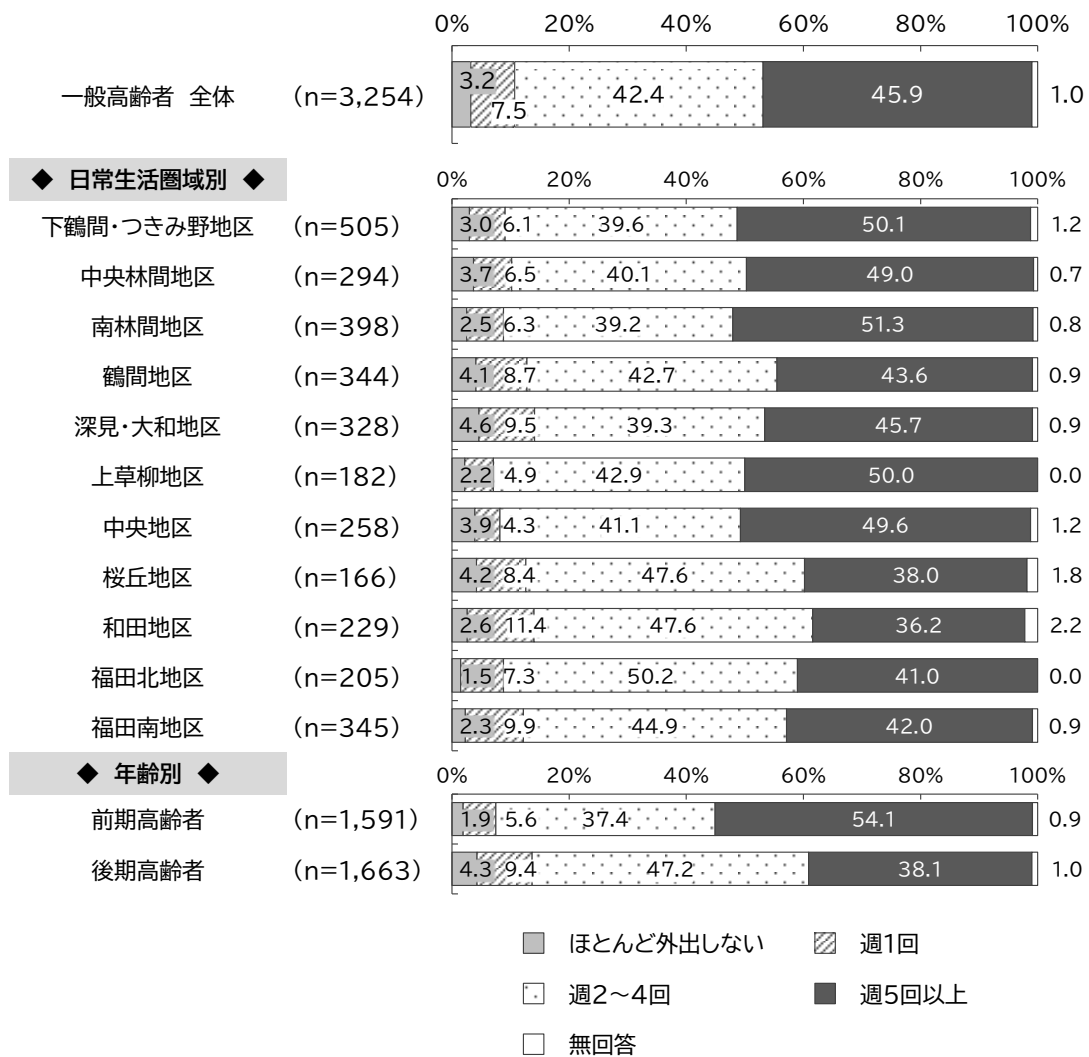
【単純集計】



外出の頻度は、一般高齢者において「週5回以上」が45.9%と4割を超えて最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「週2~4回」が51.1%と約半数で最も多くなっている。また、『週1回以上(週1回+週2~4回+週5回以上)』は、一般高齢者95.8%、要支援認定者等86.7%と、一般高齢者の方が9.1ポイント高くなっている。



【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別・年齢別】



【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域において『週1回以上（週1回+週2~4回+週5回以上）』が9割を超えているのに対し、《桜丘地区》・《和田地区》で「週5回以上」が4割を下回って少なくなっている。

年齢別にみると、『週1回以上（週1回+週2~4回+週5回以上）』が、《前期高齢者》97.1%、《後期高齢者》94.7%となっている。また、《前期高齢者》で「週5回以上」が54.1%と半数を超えて多く、《後期高齢者》で「週2~4回」が47.2%と半数近くと多くなっており、週あたりの外出頻度は《前期高齢者》の方が高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・年齢別】



【要支援認定者等】

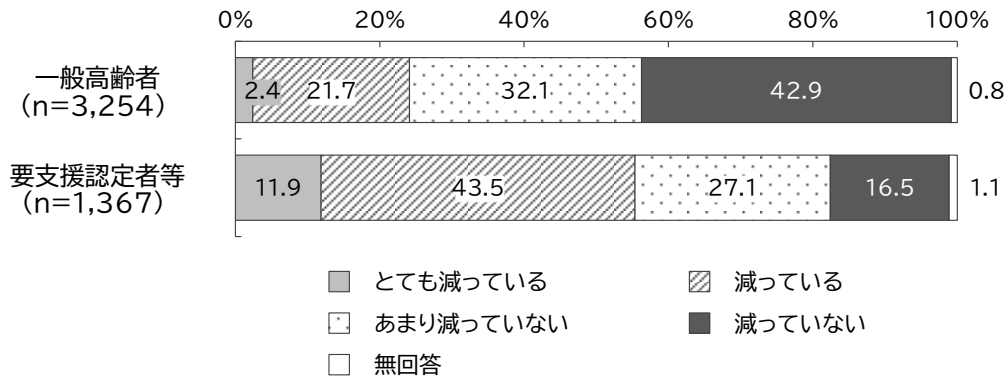
日常生活圏域別にみると、「中央地区」で『週1回以上(週1回+週2~4回+週5回以上)』が91.7%と唯一9割を超えて多く、その他の日常生活圏域も8割を超えている。また、「下鶴間・つきみ野地区」・「鶴間地区」・「桜丘地区」・「福田北地区」で「週1回」が2割を超えて多く、「桜丘地区」で「週5回以上」が7.0%と1割を下回って少なくなっている。

年齢別にみると、『週1回以上(週1回+週2~4回+週5回以上)』が、「前期高齢者」91.8%、「後期高齢者」86.0%と、「前期高齢者」の方が5.8ポイント高くなっている。一般高齢者同様に「前期高齢者」の方が「週5回以上」、「週2~4回」が多く、週あたりの外出頻度が高くなっているものの、一般高齢者ほどの差はみられない。

《一般高齢者：問 11・要支援認定者等：問 12》

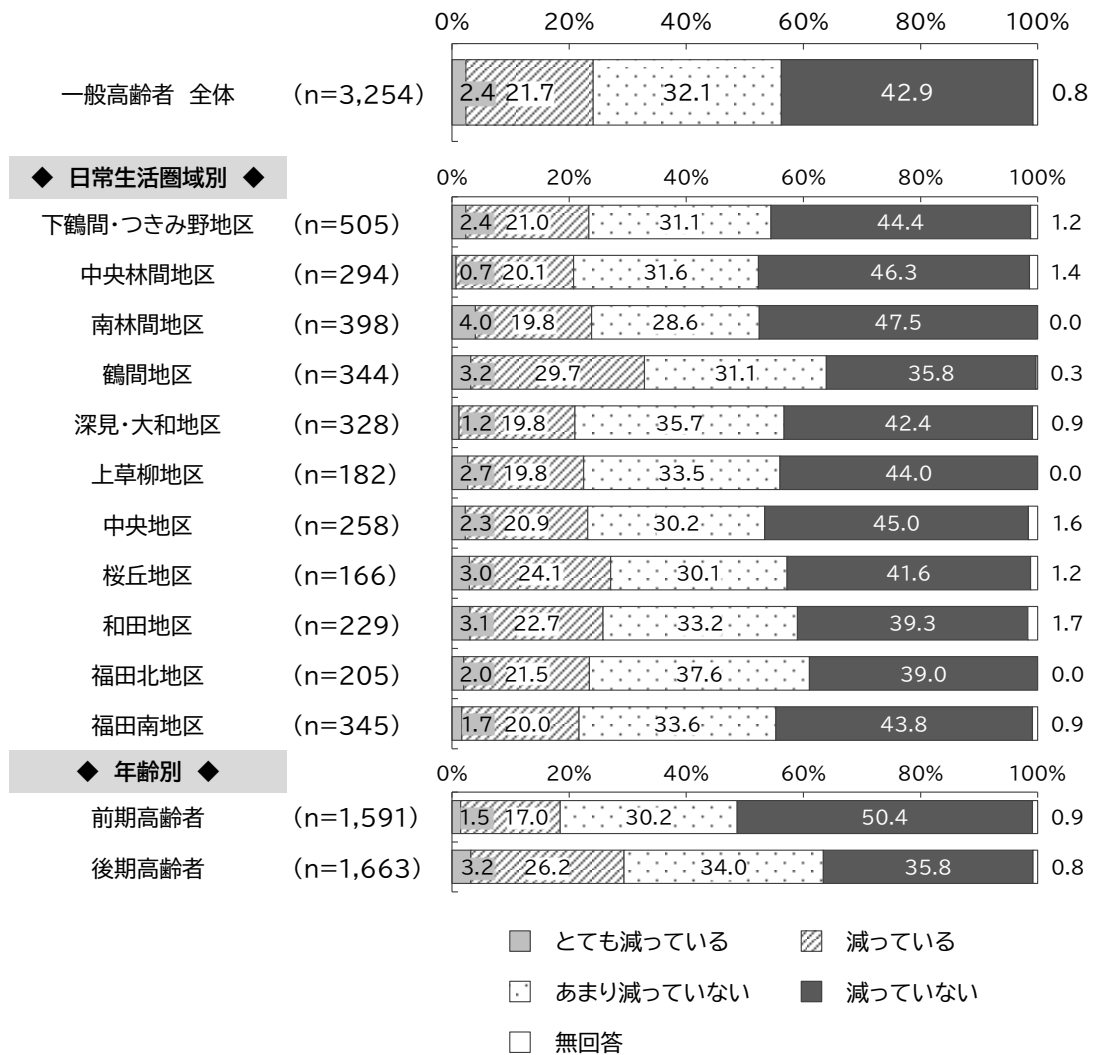
昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。（単数回答）

【単純集計】



昨年と比べて、外出の回数が減っているかは、一般高齢者において「減っていない」が42.9%と4割を超えて最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「減っている」が43.5%と4割を超えて最も多くなっている。また、『減っている（とても減っている+減っている）』は、一般高齢者24.1%、要支援認定者等55.4%と、要支援認定者等の方が31.3ポイント高くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別・年齢別】



【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、「鶴間地区」・「和田地区」・「福田北地区」で「減っていない」が4割を下回って少なくなっている。また、『減っている（とても減っている+減っている）』は、ほとんどの日常生活圏域において2割台となっているのに対し、「鶴間地区」で32.9%と3割を超えて多くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「減っていない」が50.4%と約半数が多くなっている。また、『減っている（とても減っている+減っている）』は、「前期高齢者」18.5%、「後期高齢者」29.4%と、「後期高齢者」の方が10.9ポイント高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・年齢別】



【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》・《和田地区》で「とても減っている」が1割を下回って少なく、《深見・大和地区》・《上草柳地区》で「減っていない」が2割を超えて多くなっている。また、『減っている（とても減っている+減っている）』は、ほとんどの日常生活圏域において5割台となっているのに対し、《鶴間地区》・《福田北地区》で6割台と多く、《深見・大和地区》・《上草柳地区》で4割台と少なくなっている。

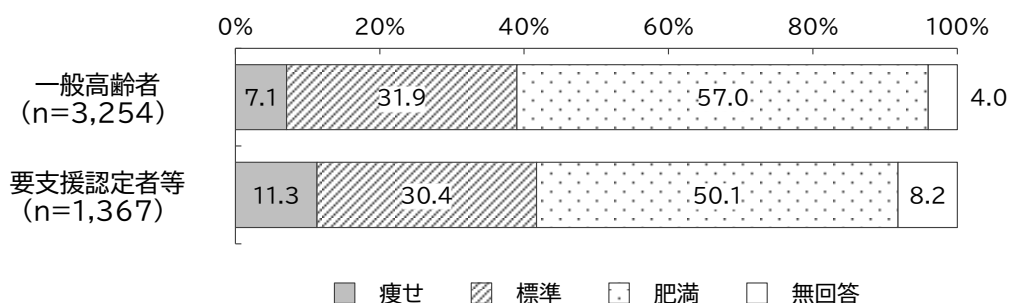
年齢別にみると、《前期高齢者》で「減っていない」が22.8%と2割を超えて多くなっている。また、『減っている（とても減っている+減っている）』は、《前期高齢者》53.1%、《後期高齢者》55.8%となっている。

### 3 食べることについて

《一般高齢者：問 12・要支援認定者等：問 13》

#### 肥満度（記入された身長と体重からBMIを算出）

【単純集計】



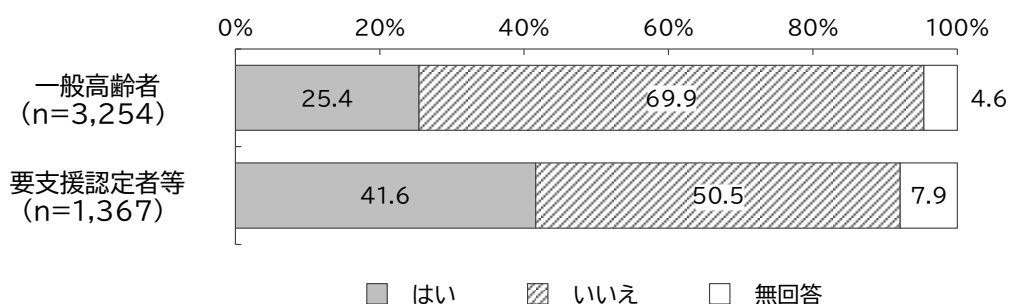
※BMI(Body Mass Index)は体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出される肥満度を表す体格指数であり、18.5未満=痩せ(低体重) / 18.5~25.0未満=標準 / 25.0以上=肥満と評価する。

肥満度は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「肥満」が半数を超えて最も多く、「標準」、「痩せ」が続く。一方で、「肥満」は一般高齢者の方が要支援認定者等より6.9ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 13・要支援認定者等：問 14》

#### 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(単数回答)

【単純集計】

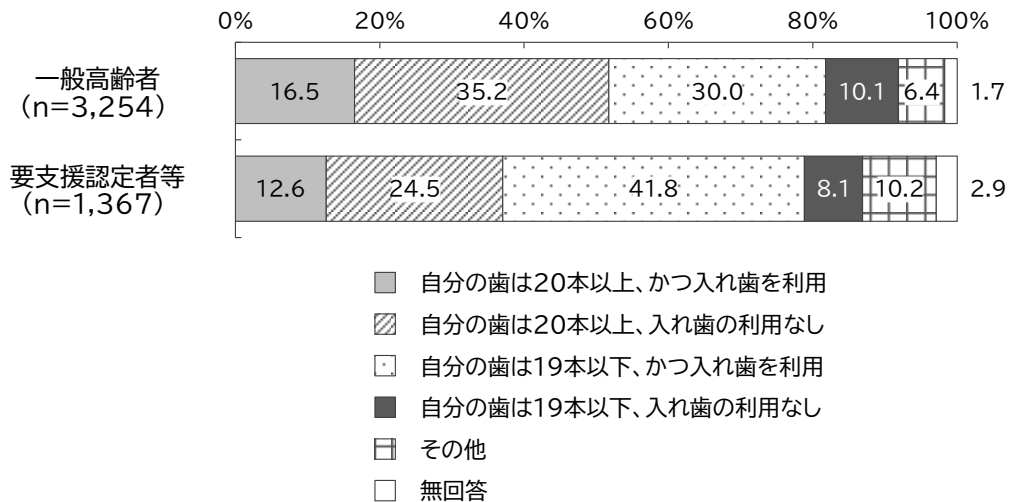


半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「いいえ」が半数を超えて多くなっている。一方で、「いいえ」は一般高齢者の方が要支援認定者等より19.4ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 14・要支援認定者等：問 15》

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（単数回答）

【単純集計】



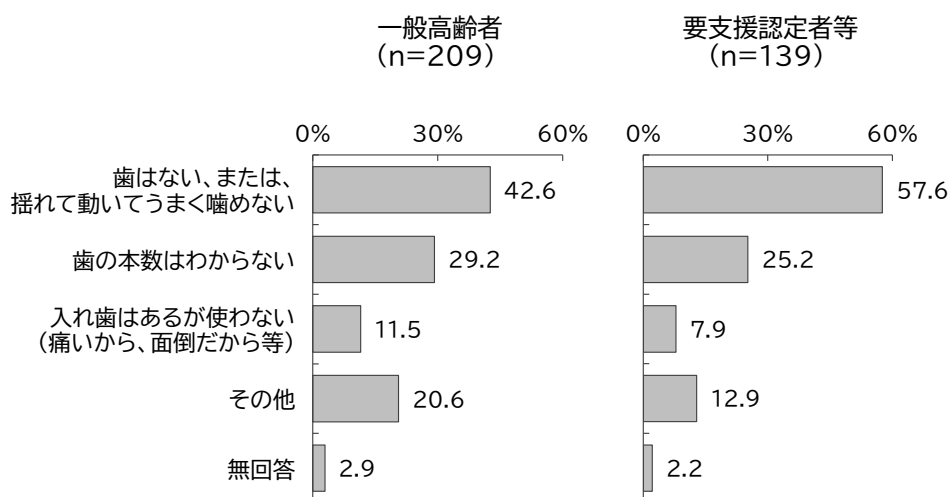
歯の数と入れ歯の利用状況は、一般高齢者において「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 35.2%と 3 割を超えて最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 41.8%と約 4 割で最も多くなっている。

一般高齢者：問 14・要支援認定者等：問 15 で「その他」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 14-1・要支援認定者等：問 15-1》

その他を選んだ理由はなんですか。（複数回答可）

【単純集計】



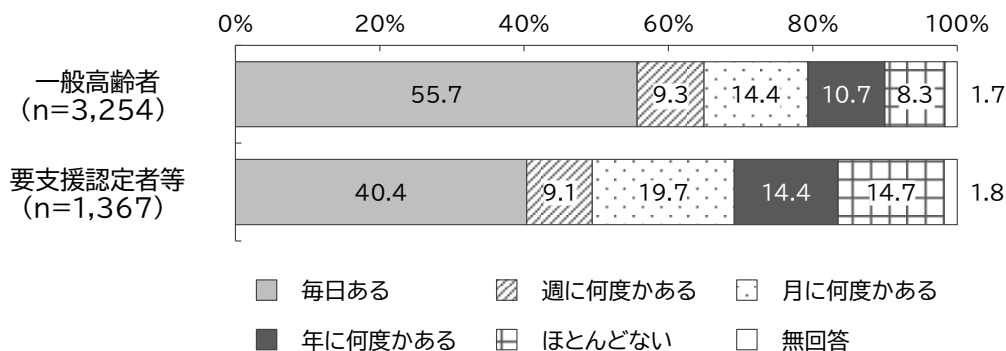
※その他の具体的な内容（抜粋）：インプラント、差し歯、入れ歯（歯の本数や状態について記載なし）等

その他を選んだ理由は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「歯はない、または揺れてうまく噛めない」が 4 割を超えて最も多く、「歯の本数はわからない」、「その他」が続く。一方で、「歯はない、または揺れてうまく噛めない」は要支援認定者等の方が一般高齢者より 15.0 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 15・要支援認定者等：問 16》

どなたかと食事をする機会がありますか。(単数回答)

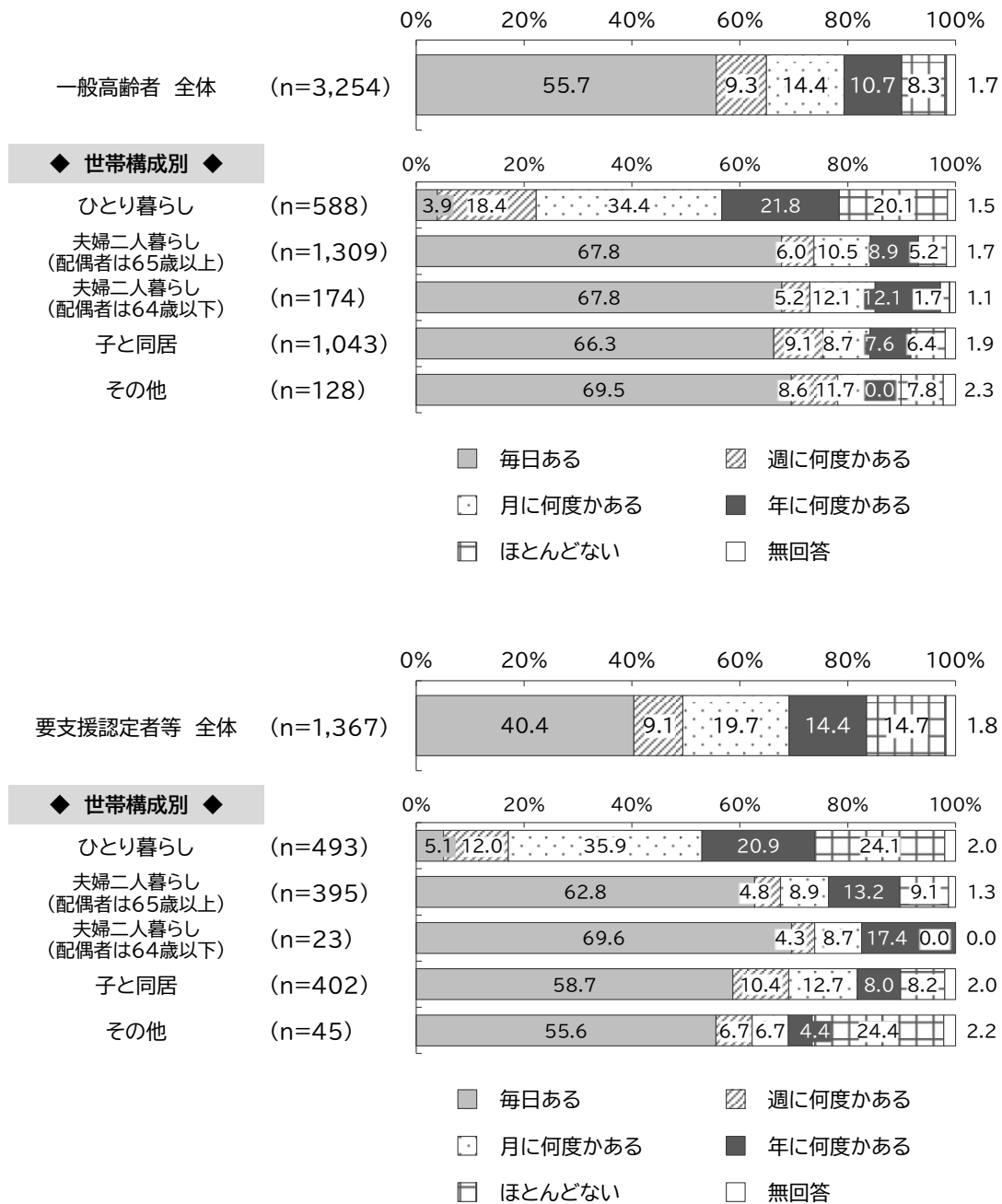
【単純集計】



どなたかと食事をする機会の有無は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「毎日ある」が4割を超えて最も多く、「月に何度かある」が続く。一方で、「毎日ある」は要支援認定者等の方が一般高齢者より 15.3 ポイント低くなっている。



【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：世帯構成別】



【一般高齢者】

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」で「毎日ある」が3.9%と1割を下回って少なく、「週に何度かある」、「月に何度かある」、「年に何度かある」、「ほとんどない」が多くなっている。

【要支援認定者等】

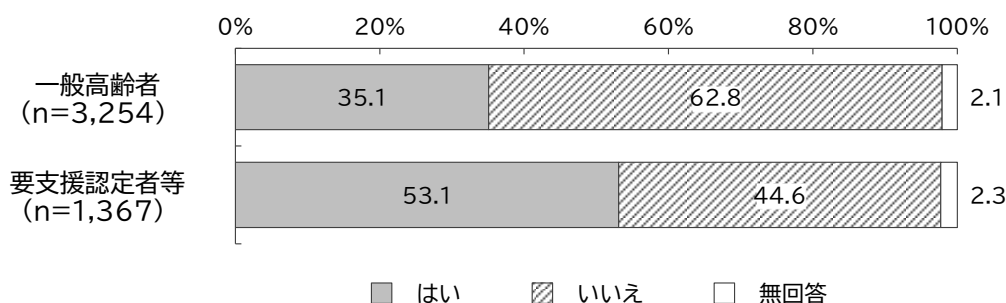
世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」で「毎日ある」が5.1%と1割を下回って少なく、「月に何度かある」、「年に何度かある」が多くなっている。また、「ひとり暮らし」・「子と同居」で「週に何度かある」が1割を超えて多く、「ひとり暮らし」・「その他」で「ほとんどない」が2割を超えて多くなっている。

## 4 毎日の生活について

《一般高齢者：問 16・要支援認定者等：問 17》

物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

【単純集計】

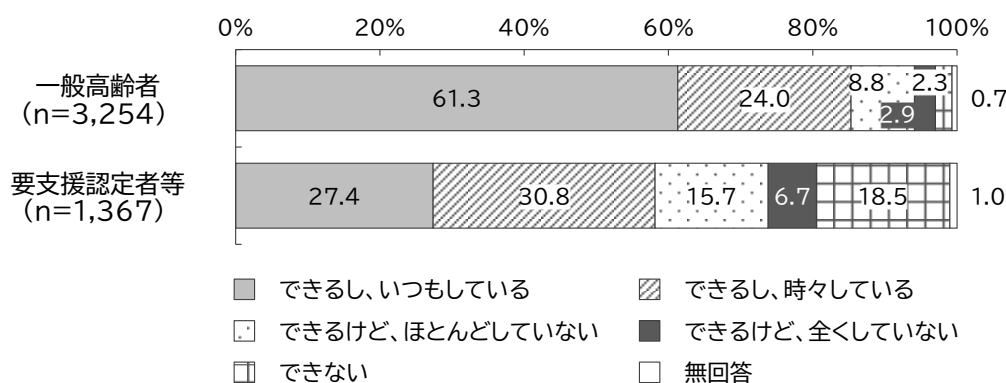


物忘れが多いと感じるかは、一般高齢者において「いいえ」が62.8%と6割を超えて多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「はい」が53.1%と半数を超えて多くなっている。

《一般高齢者：問 17・要支援認定者等：問 18》

バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(単数回答)

【単純集計】

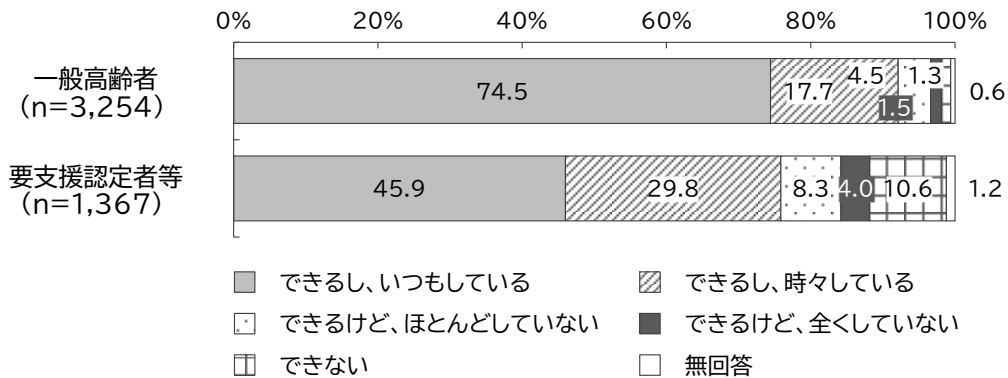


バスや電車を使って1人で外出しているかは、一般高齢者において「できるし、いつもしている」が61.3%と約6割で最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「できるし、時々している」が30.8%と約3割で最も多くなっている。

《一般高齢者：問 18・要支援認定者等：問 19》

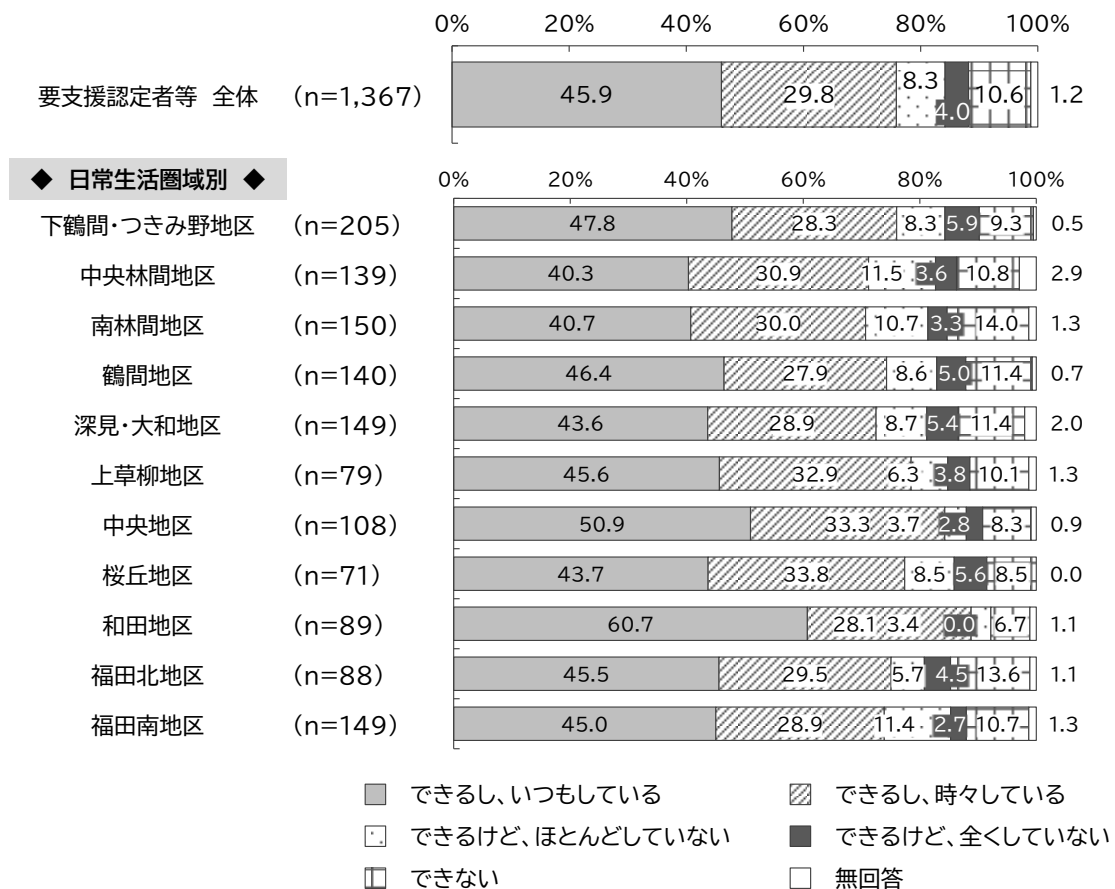
自分で食品・日用品の買物をしていますか。（単数回答）

【単純集計】



自分で食品・日用品の買物をしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、いつもしている」が4割を超えて最も多く、「できるし、時々している」が続く。一方で、「できるし、いつもしている」は要支援認定者等の方が一般高齢者より28.6ポイント低くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】

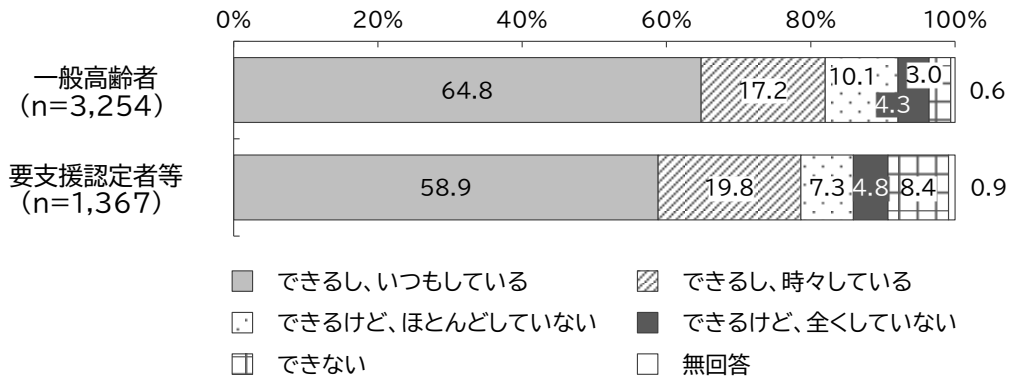


【要支援認定者等】  
日常生活圏域別にみると、《和田地区》で「できるし、いつもしている」が60.7%と約6割で多くなっている。

《一般高齢者：問 19・要支援認定者等：問 20》

自分で食事の用意をしていますか。(単数回答)

【単純集計】

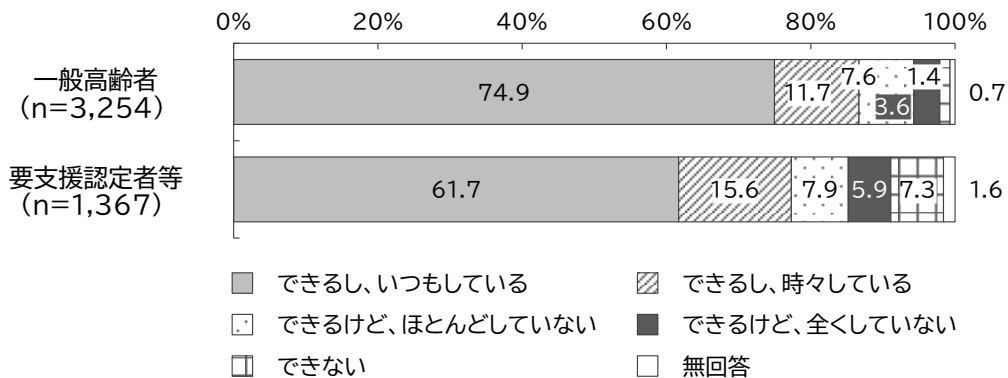


自分で食事の用意をしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、いつもしている」が半数を超えて最も多く、「できるし、時々している」が続く。一方で、「できるし、いつもしている」は要支援認定者等の方が一般高齢者より 5.9 ポイント低くなっている。

《一般高齢者：問 20・要支援認定者等：問 21》

自分で請求書の支払いをしていますか。(単数回答)

【単純集計】

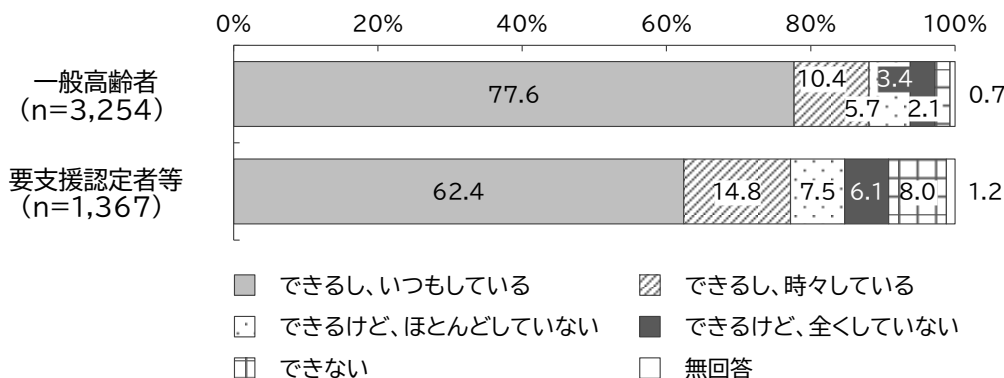


自分で請求書の支払いをしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、いつもしている」が6割を超えて最も多く、「できるし、時々している」、「できるけど、ほとんどしていない」が続く。一方で、「できるし、いつもしている」は要支援認定者等の方が一般高齢者より 13.2 ポイント低くなっている。

《一般高齢者：問 21・要支援認定者等：問 22》

自分で預貯金の出し入れをしていますか。(単数回答)

【単純集計】



自分で預貯金の出し入れをしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「できるし、いつもしている」が6割を超えて最も多く、「できるし、時々している」が続く。一方で、「できるし、いつもしている」は要支援認定者等の方が一般高齢者より 15.2 ポイント低くなっている。

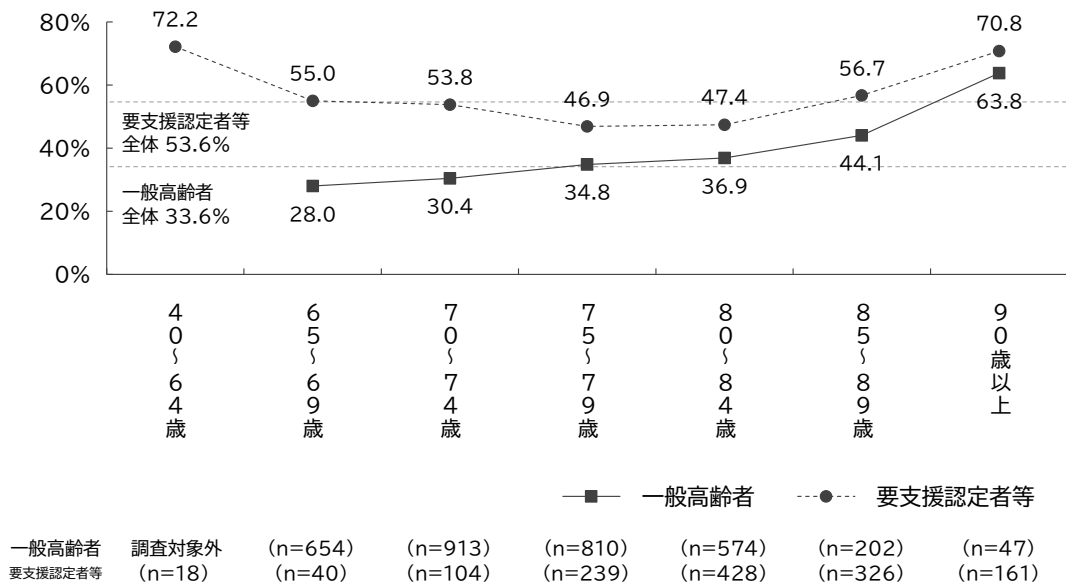
■ 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問 (一般高齢者：問 17～問 21・要支援認定者等：問 18～問 22) あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されている。評価は、各設問に「できるし、している」「できるし、いつもしている」または「できるし、時々している」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しており、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示している。

<判定設問>

問番号		設 問	該当する選択肢
一般	要支援等		
問 17	問 18	バスや電車を使って1人で外出していますか。	・できるし、している：1点 ・できるけどしていない：0点 ・できない：0点
問 18	問 19	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問 19	問 20	自分で食事の用意をしていますか。	
問 20	問 21	自分で請求書の支払いをしていますか。	
問 21	問 22	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

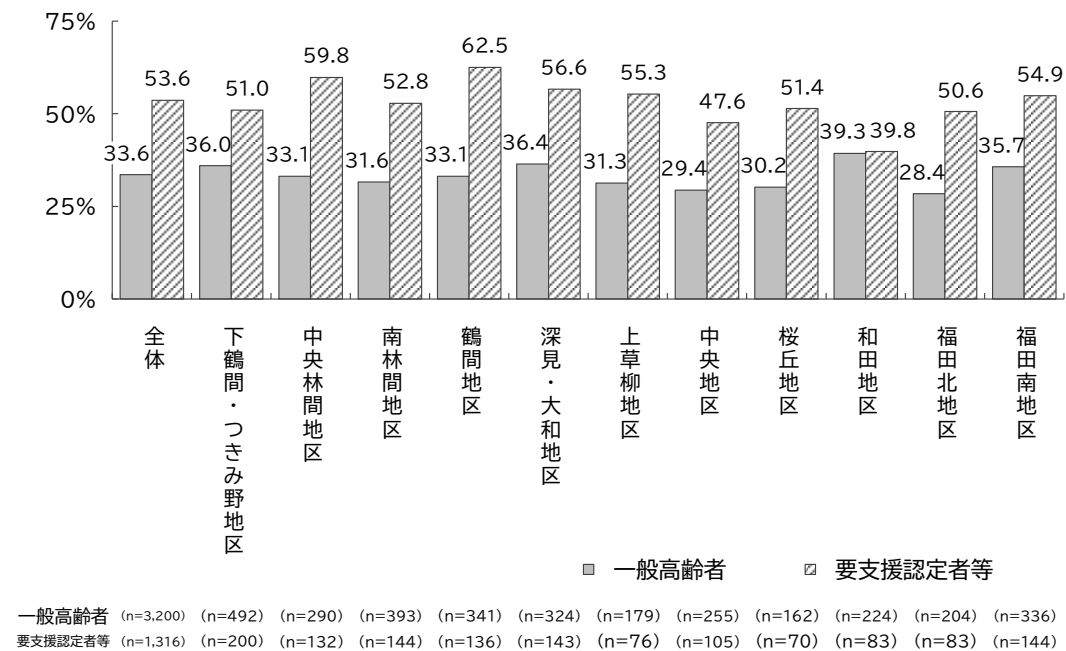
【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：年齢層別】



老研式活動能力指標の評価結果にもとづく手段的自立度（IADL）の低下該当者は、一般高齢者全体で33.6%、要支援認定者等全体で53.6%となっている。

年齢層別にみると、一般高齢者において年齢層が上がるほど増加する傾向が顕著にみられ、《65～69歳》で28.0%であるが、《90歳以上》で63.8%と2倍以上となっている。要支援認定者等においては75～84歳で一旦半数を下回るのに対し、《85～89歳》で大幅に上昇している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】

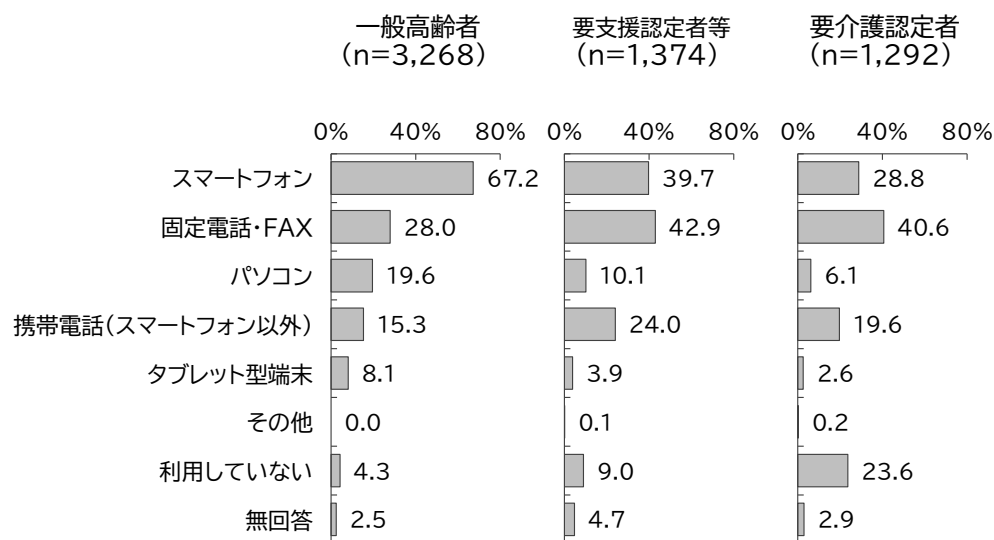


日常生活圏域別にみると、ほとんどの日常生活圏域で一般高齢者が3割台、要支援認定者等が5割台となっているのに対し、《和田地区》においては一般高齢者、要支援認定者等ともに40%前後と、他の日常生活圏域との差がみられる。

《一般高齢者：問 22・要支援認定者等：問 23・要介護認定者：問 6》

連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。  
（複数回答可）

【単純集計】



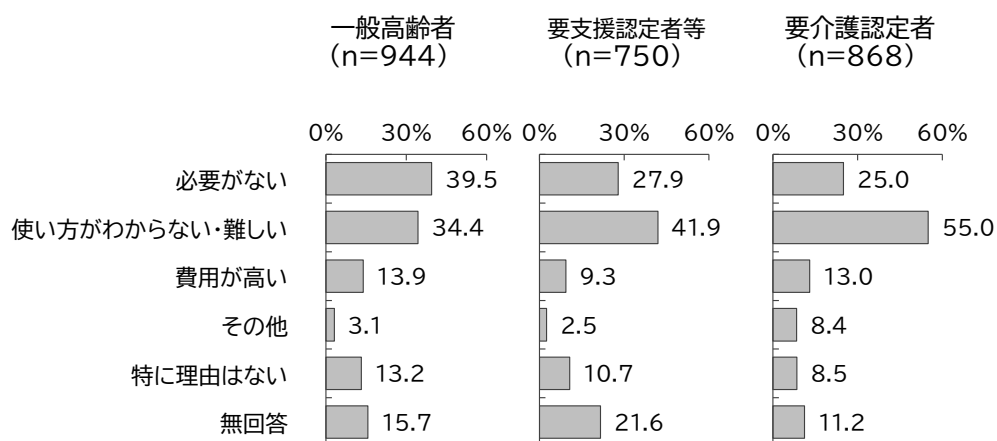
連絡や相談、情報を得るときなどに利用している情報通信機器は、一般高齢者において「スマートフォン」が67.2%と7割近くで最も多くなっているのに対し、要支援認定者等・要介護認定者においては「固定電話・FAX」が4割を超えて最も多くなっている。

一般高齢者：問 22・要支援認定者等：問 23 に回答した方の中で「スマートフォン」、「タブレット型端末」を選んでいない方のみ

《一般高齢者：問 22-1・要支援認定者等：問 23-1・要介護認定者：問 6-1》

**スマートフォン、タブレット型端末を利用していない理由は何ですか。(複数回答可)**

【単純集計】



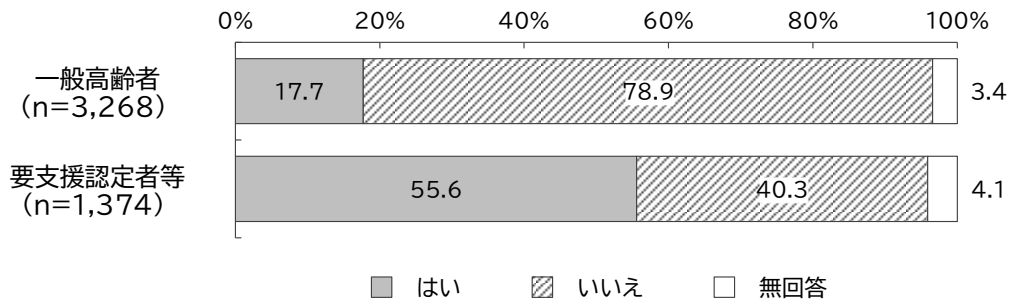
スマートフォン、タブレット型端末を利用していない理由は、一般高齢者において「必要がない」が39.5%と約4割で最も多くなっているのに対し、要支援認定者等・要介護認定者においては「使い方がわからない・難しい」が4割を超えて最も多くなっている。



《一般高齢者：問 23・要支援認定者等：問 24》

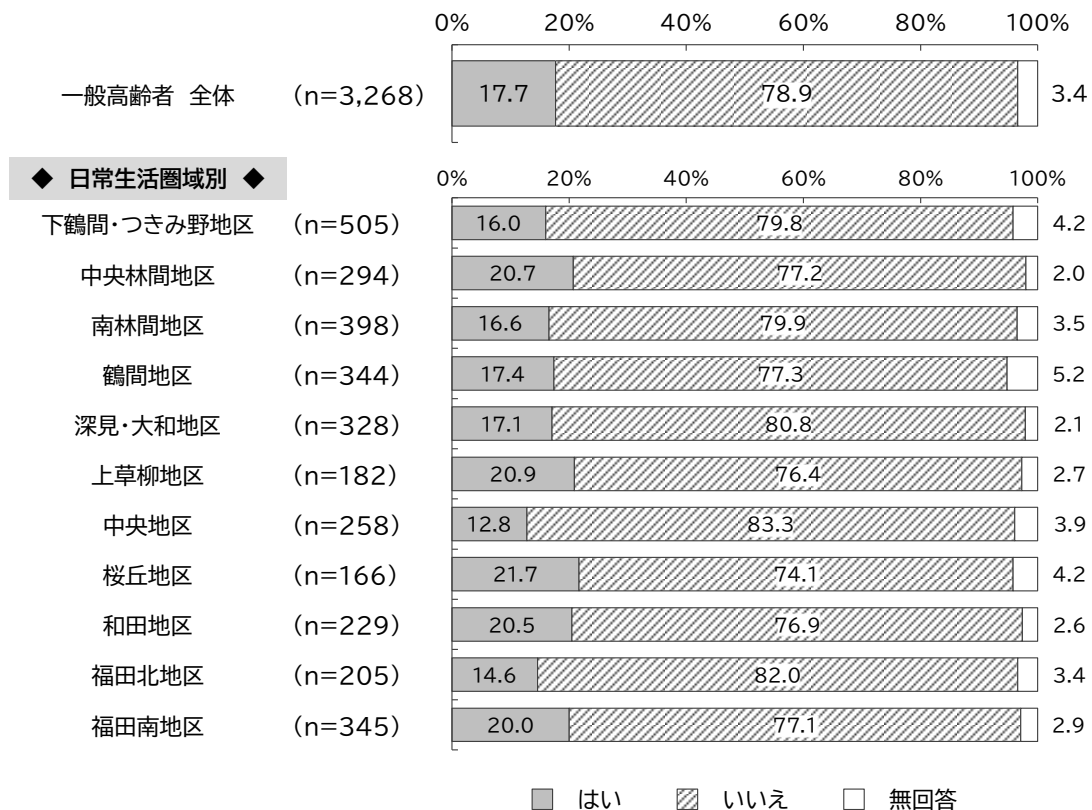
日常生活で困っていることや不安に感じていることはありますか。（単数回答）

【単純集計】



日常生活で困っていることや不安に感じていることの有無は、一般高齢者において「いいえ」が78.9%と約8割で多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「はい」が55.6%と半数を超えて多くなっている。

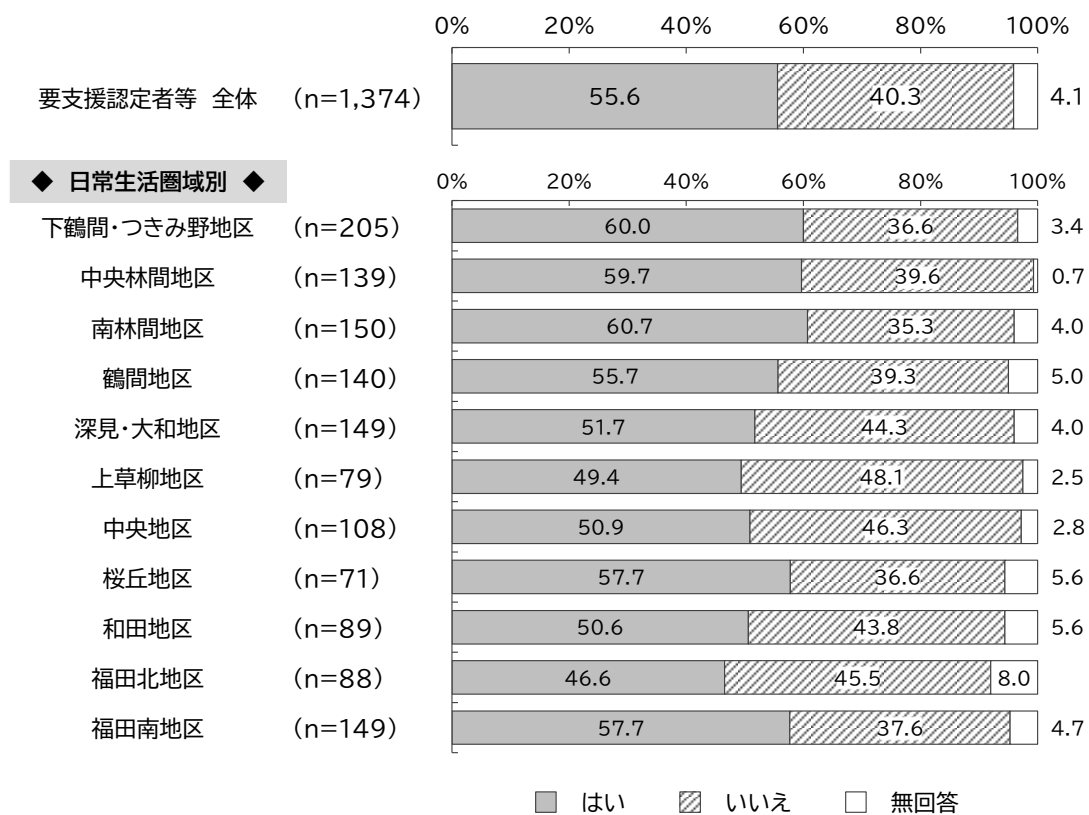
【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《中央林間地区》・《上草柳地区》・《桜丘地区》・《和田地区》・《福田南地区》で「はい」が2割以上で多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】



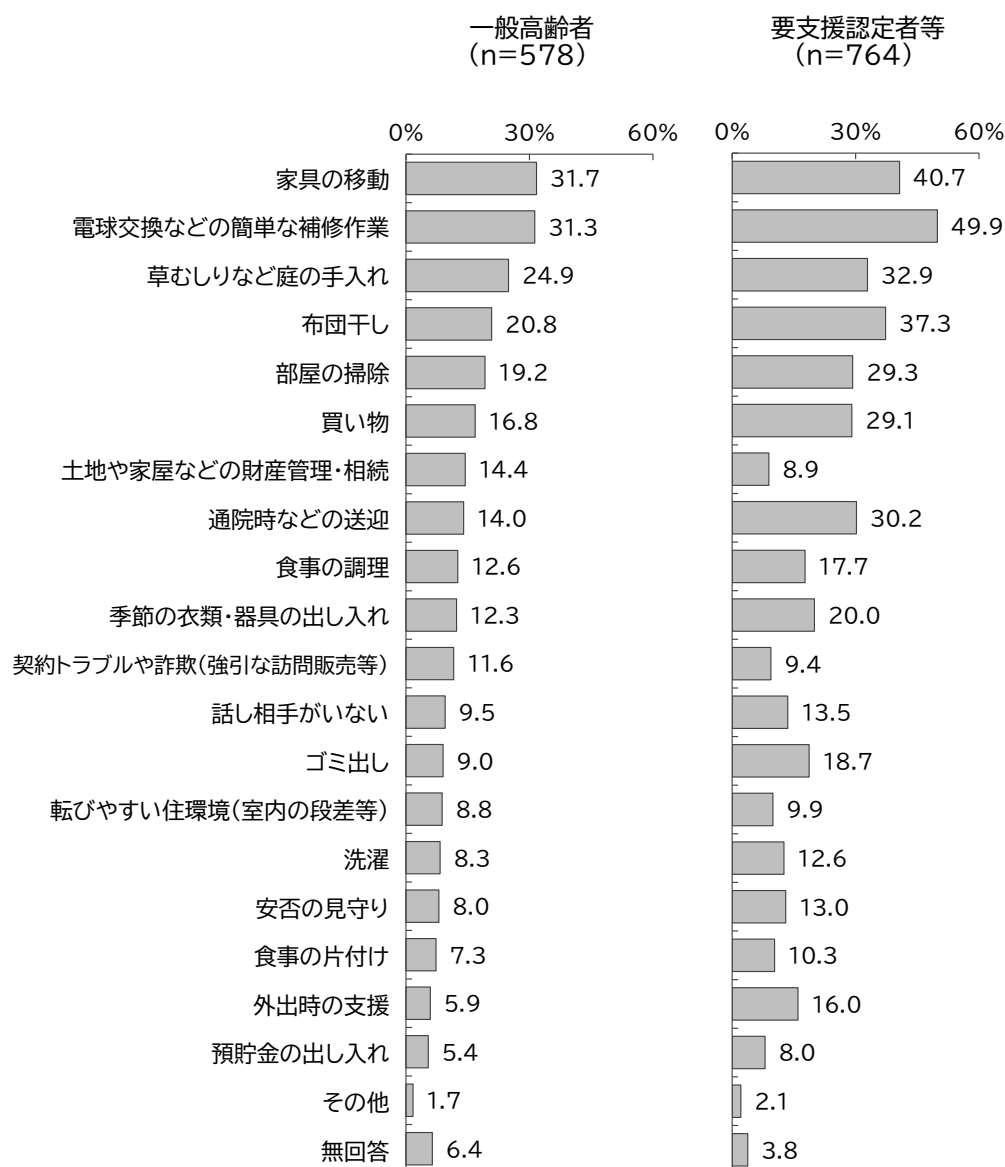
【要支援認定者等】  
日常生活圏域別にみると、《上草柳地区》・《福田北地区》で「はい」が半数を下回って少なくなっている。

一般高齢者：問 23・要支援認定者等：問 24 で「はい」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 23-1・要支援認定者等：問 24-1》

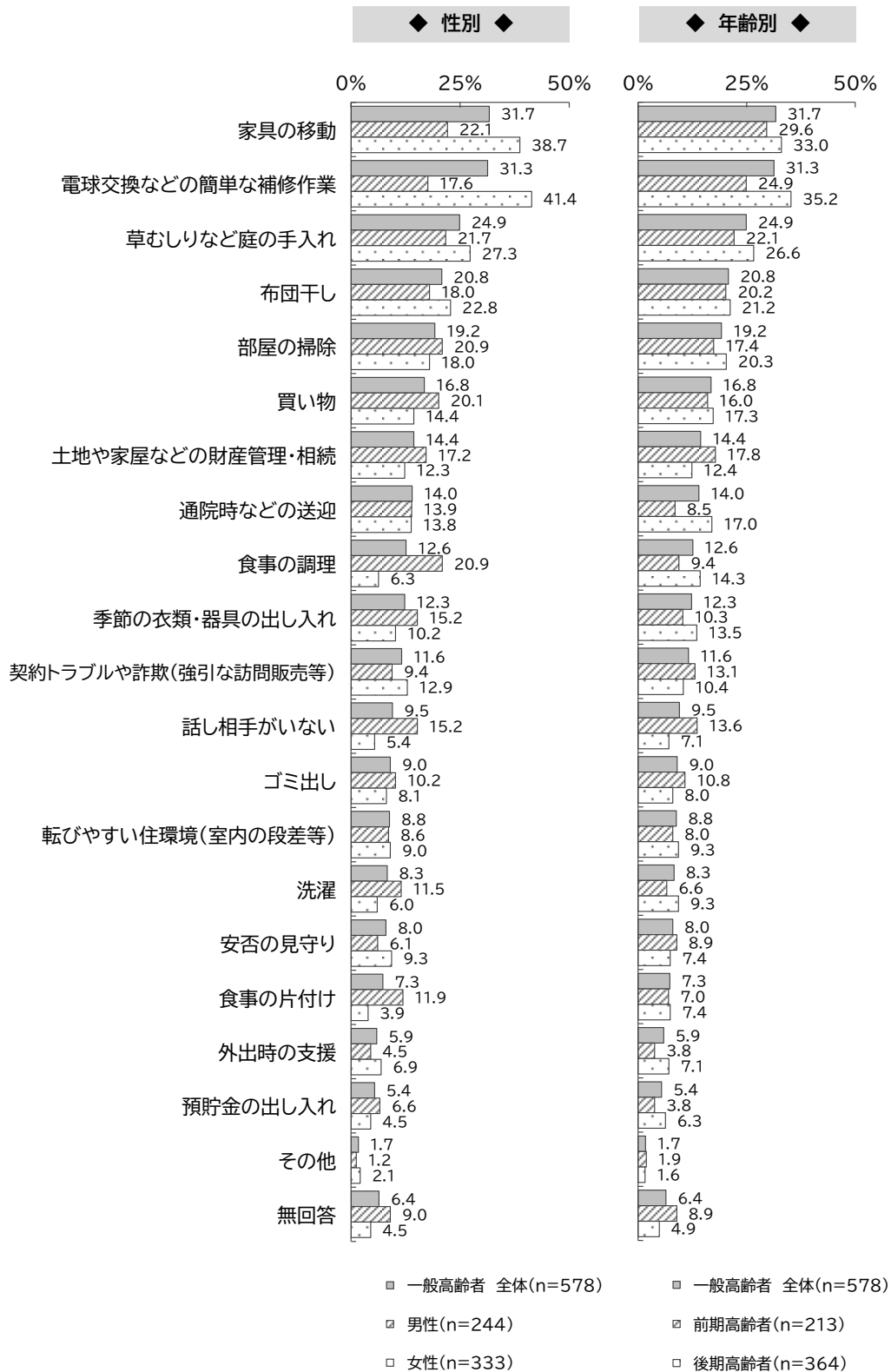
それは、具体的にどのようなことですか。（複数回答可）

【単純集計】



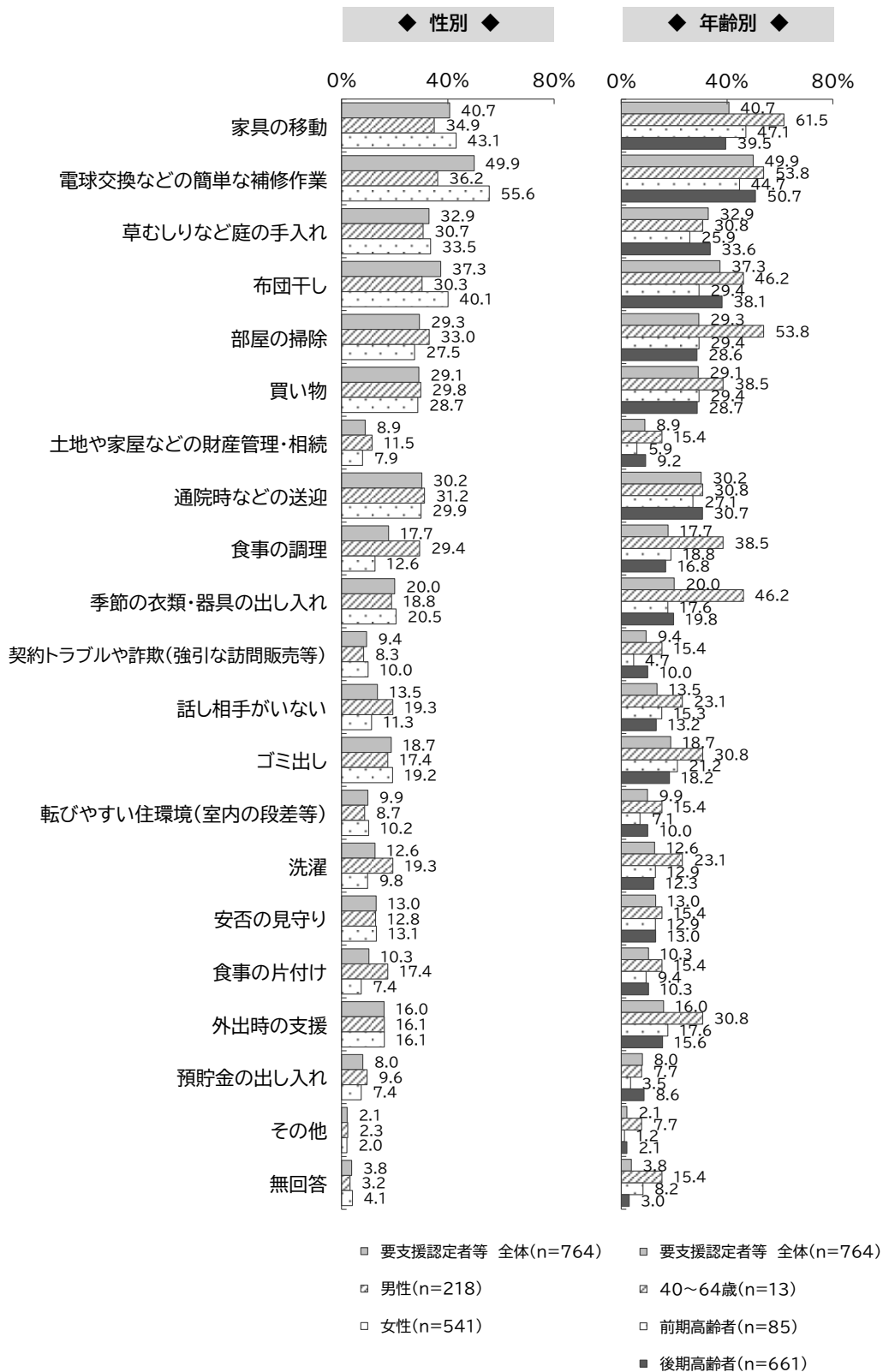
日常生活で困っていることや不安に感じていることは、一般高齢者において「家具の移動」が31.7%と約3割で最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「電球交換などの簡単な補修作業」が49.9%と約半数で最も多くなっている。また、多くの項目で要支援認定者等の方が一般高齢者より多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別】



【一般高齢者】  
 性別にみると、《男性》で「食事の調理」、「話し相手がいない」、「食事の片付け」などが多く、《女性》で「家具の移動」、「電球交換などの簡単な補修作業」、「草むしりなど庭の手入れ」が多くなっている。  
 年齢別にみると、《前期高齢者》で「土地や家屋などの財産管理・相続」、「話し相手がいない」が比較的多く、《後期高齢者》で「電球交換などの簡単な補修作業」、「通院時などの送迎」が比較的多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】



【要支援認定者等】  
 性別にみると、《男性》で「食事の調理」、「洗濯」、「食事の片付け」などが多く、《女性》で「家具の移動」、「電球交換などの簡単な補修作業」、「布団干し」が多くなっている。  
 年齢別にみると、《前期高齢者》で「家具の移動」が比較的多く、《後期高齢者》で「電球交換などの簡単な補修作業」、「草むしりなど庭の手入れ」、「布団干し」などが比較的多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別・世帯構成別】

調査数(人)	日常生活で困っていることや不安に感じていること(%)																				
	家具の移動	簡単な補修などの作業	庭の手入れなど	布団干し	部屋の掃除	買い物	財産や管理・相続などの相談	通院時などの送迎	食事の調理	出し入れの衣類・器具の洗濯	(強引な訪問や詐欺等)	話し相手がない	ゴミ出し	(室内の段差等)	洗濯	安否の見守り	食事の片付け	外出時の支援	預貯金の出し入れ	その他	無回答
578	31.7	31.3	24.9	20.8	19.2	16.8	14.4	14.0	12.6	12.3	11.6	9.5	9.0	8.8	8.3	8.0	7.3	5.9	5.4	1.7	6.4
下鶴間・つきみ野地区	81	37.0	28.4	17.3	11.1	16.0	16.0	11.1	11.1	9.9	13.6	3.7	7.4	8.6	3.7	3.7	3.7	4.9	4.9	1.2	9.9
中央林間地区	61	34.4	34.4	26.2	18.0	21.3	18.0	4.9	11.5	11.5	19.7	9.8	14.8	9.8	9.8	9.8	3.3	4.9	6.6	3.3	4.9
南林間地区	66	42.4	36.4	36.4	21.2	13.6	21.2	19.7	13.6	13.6	10.6	7.6	6.1	7.6	4.5	4.5	6.1	4.5	6.1	1.5	3.0
鶴間地区	60	28.3	30.0	26.7	23.3	20.0	11.7	5.0	15.0	15.0	8.3	16.7	10.0	6.7	8.3	8.3	8.3	5.0	3.3	1.7	5.0
深見・大和地区	56	25.0	23.2	26.8	23.2	14.3	8.9	16.1	10.7	12.5	10.7	12.5	3.6	8.9	10.7	12.5	7.1	3.6	3.6	0.0	5.4
上草柳地区	38	36.8	26.3	15.8	23.7	28.9	18.4	15.8	10.5	18.4	7.9	5.3	13.2	10.5	13.2	10.5	10.5	7.9	5.3	0.0	7.9
中央地区	33	33.3	36.4	18.2	21.2	24.2	15.2	21.2	21.2	15.2	3.0	3.0	18.2	9.1	15.2	12.1	15.2	12.1	9.1	6.1	3.0
桜丘地区	36	30.6	30.6	33.3	25.0	19.4	16.7	11.1	11.1	5.6	13.9	11.1	2.8	19.4	5.6	8.3	11.1	8.3	2.8	2.8	5.6
和田地区	47	31.9	34.0	12.8	29.8	25.5	12.8	23.4	14.9	17.0	4.3	14.9	8.5	6.4	14.9	12.8	8.5	4.3	12.8	2.1	6.4
福田北地区	30	16.7	30.0	16.7	13.3	20.0	13.3	20.0	6.7	10.0	6.7	10.0	6.7	10.0	3.3	3.3	6.7	6.7	3.3	3.3	13.3
福田南地区	69	24.6	34.8	26.1	15.9	17.4	14.5	13.0	11.6	8.7	17.4	10.1	10.1	5.8	7.2	5.8	7.2	7.2	2.9	0.0	7.2
ひとり暮らし	167	32.9	41.3	17.4	16.8	21.6	7.8	9.6	10.8	6.6	5.4	20.4	6.0	3.6	6.0	15.6	6.0	3.6	1.8	3.0	6.6
夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)	187	36.9	34.8	25.7	22.5	18.2	17.6	15.0	14.4	14.4	14.4	4.8	10.2	11.8	8.6	4.8	7.5	7.0	7.0	1.6	6.4
夫婦二人暮らし(配偶者は66歳以下)	16	37.5	12.5	31.3	25.0	18.8	25.0	0.0	18.8	25.0	6.3	12.5	18.8	6.3	25.0	0.0	25.0	6.3	12.5	0.0	6.3
子と同居	181	28.7	24.3	30.4	22.7	18.2	15.5	17.1	12.7	14.4	12.7	3.3	8.8	11.0	8.8	6.1	6.6	7.7	6.6	0.6	5.0
その他	22	4.5	4.5	27.3	18.2	18.2	9.1	13.6	4.5	9.1	22.7	9.1	13.6	4.5	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	4.5	18.2

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《中央地区》・《和田地区》において全体平均より5.0ポイント以上高い項目が多く、《中央地区》・《和田地区》において「家具の移動」、「電球交換など簡単な補修作業」が少なくなっている。世帯構成別にみると、《その他》において「家具の移動」が少なくなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・世帯構成別】

要支援認定者等	調査数（人）	日常生活で困っていることや不安に感じていること（％）																				
		家具の移動	簡単な交換・補修などの作業	庭草の手入れなど	布団干し	部屋の掃除	買い物	財産管理・相続などの相談	通院時などの送迎	食事の調理	出し入れの衣類・器具の洗濯	（強引な訪問や詐欺等）契約トラブル	話し相手がない	ゴミ出し	転び（室内や階段・住環境）	洗濯	安否の見守り	食事の片付け	外出時の支援	預貯金の出し入れ	その他	無回答
全体	764	40.7	49.9	32.9	37.3	29.3	29.1	8.9	30.2	17.7	20.0	9.4	13.5	18.7	9.9	12.6	13.0	10.3	16.0	8.0	2.1	3.8
下鶴間・つぎみ野地区	123	43.1	52.8	42.3	34.1	23.6	26.8	7.3	31.7	13.0	13.8	10.6	8.9	15.4	3.3	7.3	9.8	6.5	19.5	8.1	2.4	4.1
中央林間地区	83	39.8	50.6	28.9	41.0	27.7	33.7	8.4	34.9	21.7	16.9	6.0	13.3	26.5	8.4	10.8	21.7	13.3	15.7	6.0	3.6	1.2
南林間地区	91	46.2	58.2	38.5	38.5	37.4	29.7	11.0	33.0	18.7	28.6	11.0	15.4	20.9	15.4	11.0	13.2	11.0	13.2	6.6	1.1	2.2
鶴間地区	78	39.7	43.6	34.6	37.2	28.2	26.9	10.3	34.6	14.1	14.1	7.7	15.4	17.9	6.4	12.8	16.7	6.4	17.9	1.3	3.8	6.4
深見・大和地区	77	42.9	50.6	26.0	36.4	24.7	29.9	6.5	33.8	19.5	22.1	6.5	18.2	20.8	7.8	15.6	15.6	10.4	15.6	7.8	0.0	3.9
上草柳地区	39	51.3	46.2	38.5	33.3	33.3	30.8	17.9	25.6	17.9	33.3	20.5	23.1	28.2	17.9	23.1	7.7	17.9	17.9	17.9	5.1	5.1
中央地区	55	49.1	52.7	18.2	40.0	34.5	27.3	0.0	20.0	18.2	14.5	12.7	16.4	18.2	14.5	18.2	10.9	9.1	16.4	9.1	0.0	3.6
桜丘地区	41	26.8	39.0	36.6	34.1	19.5	34.1	9.8	29.3	26.8	26.8	2.4	17.1	12.2	12.2	7.3	12.2	14.6	14.6	9.8	2.4	4.9
和田地区	45	35.6	44.4	13.3	33.3	26.7	33.3	4.4	24.4	22.2	15.6	8.9	13.3	20.0	13.3	11.1	17.8	8.9	8.9	8.9	2.2	6.7
福田北地区	41	39.0	46.3	22.0	39.0	24.4	12.2	9.8	14.6	12.2	14.6	9.8	4.9	9.8	4.9	14.6	14.6	4.9	17.1	4.9	2.4	2.4
福田南地区	86	31.4	52.3	40.7	40.7	37.2	31.4	14.0	33.7	14.0	25.6	10.5	9.3	15.1	11.6	14.0	4.7	14.0	16.3	12.8	1.2	3.5
ひとり暮らし	322	38.5	59.6	30.1	38.5	30.7	25.2	6.2	25.2	14.9	18.9	9.3	17.1	15.2	7.1	9.3	17.1	7.8	14.0	5.0	2.5	1.2
夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	208	48.1	50.0	37.5	38.5	26.0	31.7	10.6	33.2	19.2	19.2	9.6	10.6	23.6	9.6	13.5	9.1	13.9	15.9	10.1	1.0	4.3
夫婦二人暮らし（配偶者は66歳以下）	13	30.8	30.8	15.4	30.8	7.7	23.1	15.4	15.4	0.0	23.1	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0
子と同居	189	38.1	36.0	34.4	33.9	29.1	32.8	12.2	37.6	20.1	22.2	10.6	12.7	19.6	14.3	17.5	11.6	11.1	21.2	12.2	2.1	5.8
その他	22	31.8	40.9	27.3	40.9	40.9	36.4	4.5	31.8	27.3	18.2	4.5	9.1	18.2	13.6	18.2	9.1	13.6	13.6	4.5	0.0	13.6

※抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

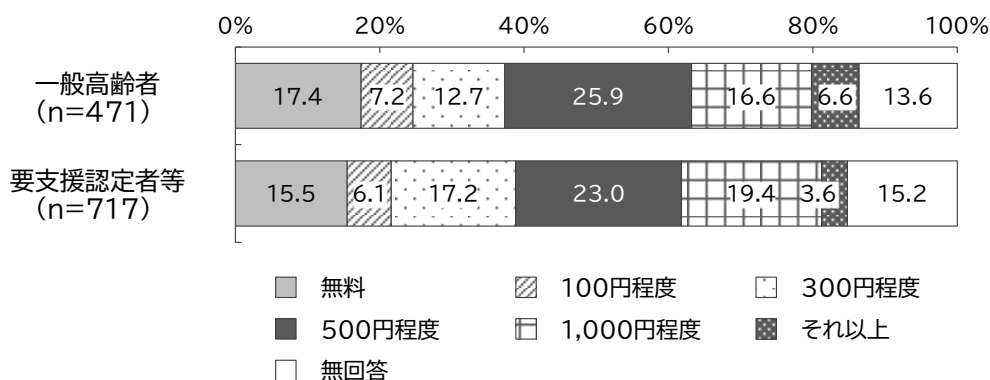
日常生活圏域別にみると、《南林間地区》・《上草柳地区》において全体平均より5.0ポイント以上高い項目が多くなって  
いる。  
世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》において「家具の移動」が48.1%と約半数で多く、《子と同居》において「電球交換などの簡単な補修作業」が36.0%と4割を下回って少なくなっている。

一般高齢者：問 23-1・要支援認定者等：問 24-1 で『買い物、ゴミ出し等の日常生活での活動について困っている』と回答した方のみ

《一般高齢者：問 23-1-1・要支援認定者等：問 24-1-1》

これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、どの程度の料金負担が適当と考えますか。(単数回答)

【単純集計】



これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、適当と考える料金負担は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「500円程度」が2割を超えて最も多くなっている。また、『有料（100円程度+300円程度+500円程度+1,000円程度+それ以上）』は、一般高齢者69.0%、要支援認定者等69.3%となっており、1割台の「無料」と50ポイント以上の差がみられる。



## 5 地域での活動について

《一般高齢者：問 24・要支援認定者等：問 25》

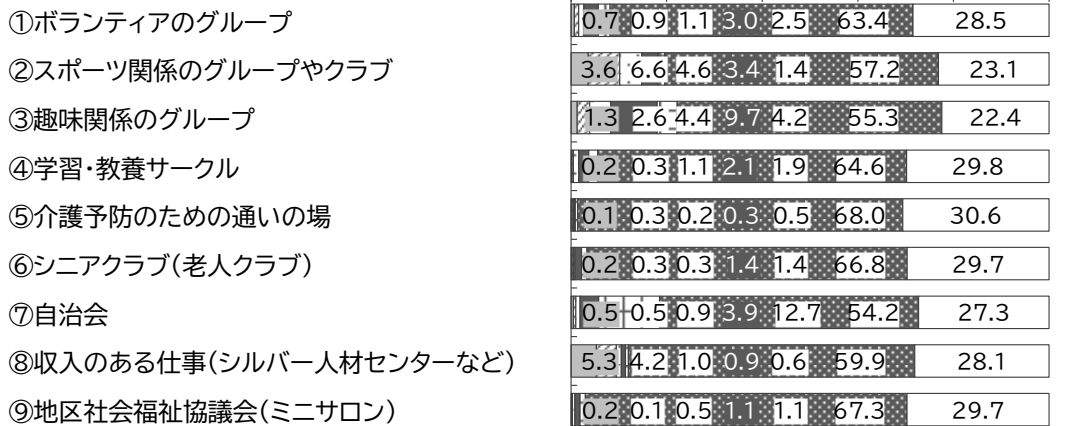
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

（それぞれ単数回答）

### 【単純集計】

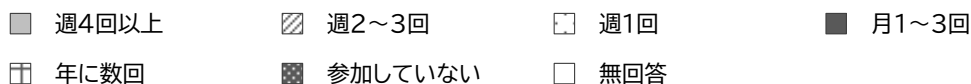
#### 一般高齢者

①～⑧ n=3,254、⑨ n=3,268



#### 要支援認定者等

①～⑧ n=1,367、⑨ n=1,374



会やグループ等への参加頻度は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、すべての会・グループにで「参加していない」が最も多くなっている。また、『参加している（週4回以上+週2～3回+週1回+月1～3回+年に数回）』は、一般高齢者における③趣味関係のグループで 22.2%、要支援認定者等における⑤介護予防のための通いの場で 27.2%が多くなっている。

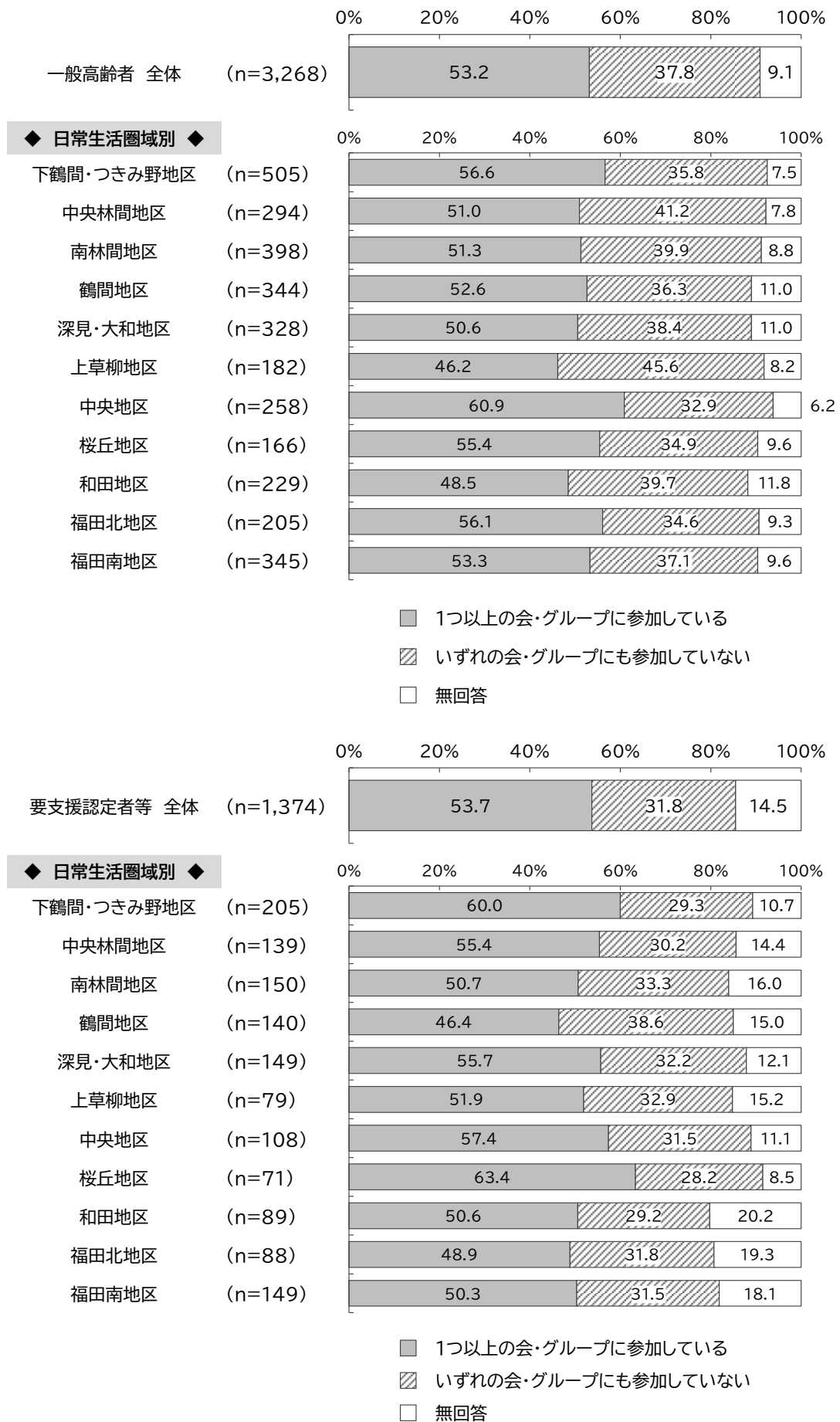
#### 【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、《中央地区》で「1つ以上の会・グループに参加している」が 60.9%と約6割で多くなっている。

#### 【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》・《桜丘地区》で「1つ以上の会・グループに参加している」が6割以上で多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】



【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】

①ボランティアのグループ

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（%）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,254	0.7	0.9	1.1	3.0	2.5	63.4	28.5	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	0.6	0.8	1.4	4.0	3.2	63.8	26.3
	中央林間地区	294	0.3	0.3	0.3	3.4	3.4	67.7	24.5
	南林間地区	398	0.3	0.8	1.8	3.0	2.3	63.3	28.6
	鶴間地区	344	1.2	1.2	1.5	2.3	1.2	61.9	30.8
	深見・大和地区	328	0.6	0.9	0.6	3.0	3.7	65.5	25.6
	上草柳地区	182	2.2	0.5	1.1	1.1	2.2	72.5	20.3
	中央地区	258	0.0	1.2	0.4	3.5	3.1	62.4	29.5
	桜丘地区	166	1.2	1.8	1.2	5.4	2.4	56.0	31.9
	和田地区	229	0.4	0.4	1.3	1.7	0.4	61.1	34.5
	福田北地区	205	1.0	0.5	1.5	3.9	2.4	60.5	30.2
	福田南地区	345	0.6	1.7	0.6	1.4	2.0	61.2	32.5

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

②スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（%）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,254	3.6	6.6	4.6	3.4	1.4	57.2	23.1	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	3.0	8.3	4.4	4.6	1.8	57.0	21.0
	中央林間地区	294	6.1	7.8	5.4	3.7	1.0	55.4	20.4
	南林間地区	398	5.5	7.5	4.0	2.5	1.8	55.5	23.1
	鶴間地区	344	2.6	6.1	2.9	3.5	1.2	57.0	26.7
	深見・大和地区	328	2.4	4.0	6.1	2.7	2.1	61.3	21.3
	上草柳地区	182	1.6	6.0	3.8	1.6	1.1	65.4	20.3
	中央地区	258	1.9	7.8	6.6	3.1	1.9	58.1	20.5
	桜丘地区	166	4.8	6.0	6.6	3.6	1.2	53.0	24.7
	和田地区	229	4.4	5.7	3.9	2.6	0.0	57.6	25.8
	福田北地区	205	2.0	4.4	5.9	3.4	1.5	57.6	25.4
	福田南地区	345	4.6	7.0	2.9	4.3	1.2	53.6	26.4

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

### ③趣味関係のグループ

一般高齢者	調査数(人)	参加頻度(%)							
		週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,254	1.3	2.6	4.4	9.7	4.2	55.3	22.4	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	1.2	2.6	5.3	9.7	5.0	56.0	20.2
	中央林間地区	294	1.4	3.1	3.4	11.2	3.7	59.9	17.3
	南林間地区	398	0.8	3.0	5.3	9.5	4.3	54.3	22.9
	鶴間地区	344	1.5	3.8	2.3	10.2	3.2	54.4	24.7
	深見・大和地区	328	0.9	2.1	3.7	10.7	3.4	57.3	22.0
	上草柳地区	182	1.6	4.4	2.2	6.0	6.0	61.5	18.1
	中央地区	258	1.2	2.7	5.0	10.9	3.9	55.0	21.3
	桜丘地区	166	1.2	0.6	8.4	10.8	7.2	48.2	23.5
	和田地区	229	2.2	3.1	2.6	5.7	2.2	54.1	30.1
	福田北地区	205	0.0	2.0	6.3	10.2	3.9	55.1	22.4
	福田南地区	345	2.0	1.4	4.3	9.9	4.9	52.2	25.2

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

### ④学習・教養サークル

一般高齢者	調査数(人)	参加頻度(%)							
		週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,254	0.2	0.3	1.1	2.1	1.9	64.6	29.8	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	0.2	0.6	0.4	2.6	1.8	66.9	27.5
	中央林間地区	294	0.0	0.0	0.3	3.1	2.0	67.0	27.6
	南林間地区	398	0.0	1.0	1.5	3.3	2.8	63.6	27.9
	鶴間地区	344	0.3	0.0	0.6	2.0	1.2	63.1	32.8
	深見・大和地区	328	0.6	0.6	1.5	1.5	0.9	68.3	26.5
	上草柳地区	182	1.1	0.0	3.3	1.6	1.6	69.2	23.1
	中央地区	258	0.0	0.4	1.2	1.6	3.5	62.4	31.0
	桜丘地区	166	0.0	0.6	3.6	1.8	3.0	58.4	32.5
	和田地区	229	0.0	0.0	0.4	0.0	0.9	62.4	36.2
	福田北地区	205	0.0	0.0	0.5	2.4	2.0	63.9	31.2
	福田南地区	345	0.0	0.0	1.2	1.7	1.4	62.3	33.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

⑤介護予防のための通いの場

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（%）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,254	0.1	0.3	0.2	0.3	0.5	68.0	30.6	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	0.0	0.4	0.0	0.0	0.8	70.1	28.7
	中央林間地区	294	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	71.8	27.6
	南林間地区	398	0.0	0.3	0.3	0.5	0.3	68.8	29.9
	鶴間地区	344	0.0	0.9	0.0	0.6	0.9	65.1	32.6
	深見・大和地区	328	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	71.0	28.4
	上草柳地区	182	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	74.2	24.2
	中央地区	258	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	67.8	31.0
	桜丘地区	166	0.6	0.6	0.6	1.2	2.4	61.4	33.1
	和田地区	229	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	63.3	35.8
	福田北地区	205	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	66.8	32.7
	福田南地区	345	0.0	0.0	0.0	0.6	0.9	64.3	34.2

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑥シニアクラブ（老人クラブ）

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（%）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,254	0.2	0.3	0.3	1.4	1.4	66.8	29.7	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	0.4	0.6	0.4	2.2	1.4	67.5	27.5
	中央林間地区	294	0.3	0.0	1.4	0.3	0.7	71.1	26.2
	南林間地区	398	0.0	0.3	0.3	0.5	1.0	66.8	31.2
	鶴間地区	344	0.3	0.9	0.3	2.3	1.5	64.2	30.5
	深見・大和地区	328	0.0	0.0	0.0	1.8	3.0	68.0	27.1
	上草柳地区	182	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	75.3	23.1
	中央地区	258	0.0	0.0	0.0	1.6	0.4	68.2	29.8
	桜丘地区	166	1.2	0.0	0.6	4.2	3.0	59.0	31.9
	和田地区	229	0.0	0.4	0.0	0.4	1.3	62.9	34.9
	福田北地区	205	0.0	0.0	0.0	1.0	1.5	66.3	31.2
	福田南地区	345	0.0	0.3	0.0	0.6	0.9	64.3	33.9

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑦自治会

一般高齢者	調査数(人)	参加頻度(%)							
		週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,254	0.5	0.5	0.9	3.9	12.7	54.2	27.3	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	0.8	0.4	1.0	3.8	11.9	55.6	26.5
	中央林間地区	294	0.3	0.3	1.0	3.7	8.2	62.2	24.1
	南林間地区	398	0.3	1.3	0.5	4.0	9.0	57.8	27.1
	鶴間地区	344	0.6	0.0	0.3	4.4	12.8	53.5	28.5
	深見・大和地区	328	0.3	0.3	0.0	4.9	16.2	53.4	25.0
	上草柳地区	182	0.5	0.0	0.5	1.1	16.5	59.9	21.4
	中央地区	258	0.0	0.8	0.4	4.3	16.7	49.6	28.3
	桜丘地区	166	0.6	1.2	2.4	3.6	14.5	47.0	30.7
	和田地区	229	0.4	0.9	1.7	4.4	13.5	47.6	31.4
	福田北地区	205	0.5	0.0	1.5	3.4	14.6	50.7	29.3
	福田南地区	345	0.6	0.6	1.4	3.8	11.0	53.3	29.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

⑧収入のある仕事(シルバー人材センターなど)

一般高齢者	調査数(人)	参加頻度(%)							
		週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,254	5.3	4.2	1.0	0.9	0.6	59.9	28.1	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	7.9	5.3	1.4	0.8	0.6	57.6	26.3
	中央林間地区	294	5.1	2.4	0.3	1.4	0.3	66.0	24.5
	南林間地区	398	5.8	2.8	2.0	1.0	0.3	59.3	28.9
	鶴間地区	344	4.9	5.5	0.6	0.9	1.7	57.0	29.4
	深見・大和地区	328	6.7	3.0	0.9	1.2	0.6	61.6	25.9
	上草柳地区	182	4.4	4.4	0.5	1.6	0.0	67.6	21.4
	中央地区	258	5.8	5.4	1.2	0.4	0.8	59.7	26.7
	桜丘地区	166	3.0	4.8	1.8	0.6	0.6	57.8	31.3
	和田地区	229	2.2	3.9	0.9	0.4	0.4	59.0	33.2
	福田北地区	205	5.4	6.8	0.5	0.5	0.5	55.1	31.2
	福田南地区	345	3.5	3.2	0.9	0.6	0.3	60.6	31.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

⑨地区社会福祉協議会（ミニサロン）

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（％）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,268	0.2	0.1	0.5	1.1	1.1	67.3	29.7	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	0.4	0.0	0.0	1.8	1.8	68.1	27.9
	中央林間地区	294	0.0	0.0	1.0	1.0	0.3	71.1	26.5
	南林間地区	398	0.3	0.0	0.5	0.8	0.5	68.6	29.4
	鶴間地区	344	0.0	0.0	0.0	1.2	0.3	65.4	33.1
	深見・大和地区	328	0.0	0.3	0.9	0.6	0.9	69.8	27.4
	上草柳地区	182	0.5	0.0	0.0	0.5	1.6	73.1	24.2
	中央地区	258	0.8	0.4	1.6	1.9	0.4	66.3	28.7
	桜丘地区	166	0.6	0.6	0.0	0.6	4.8	63.3	30.1
	和田地区	229	0.0	0.0	0.0	0.9	0.4	63.3	35.4
	福田北地区	205	0.0	0.0	0.5	2.0	2.4	63.9	31.2
	福田南地区	345	0.0	0.0	0.6	0.6	0.6	64.6	33.6

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

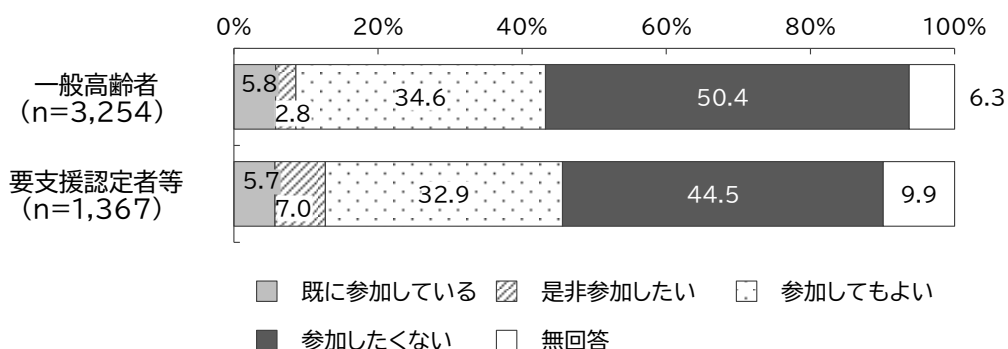
【一般高齢者】

日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域・すべての会・グループにおいて「参加していない」が4割を超えて最も多くなっている。その中でも、「上草柳地区」においては、①ボランティアのグループ、⑤介護予防のための通いの場、⑥シニアクラブ（老人クラブ）、⑨地区社会福祉協議会（ミニサロン）で、「参加していない」が7割を超えて多くなっている。

《一般高齢者：問 25・要支援認定者等：問 26》

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

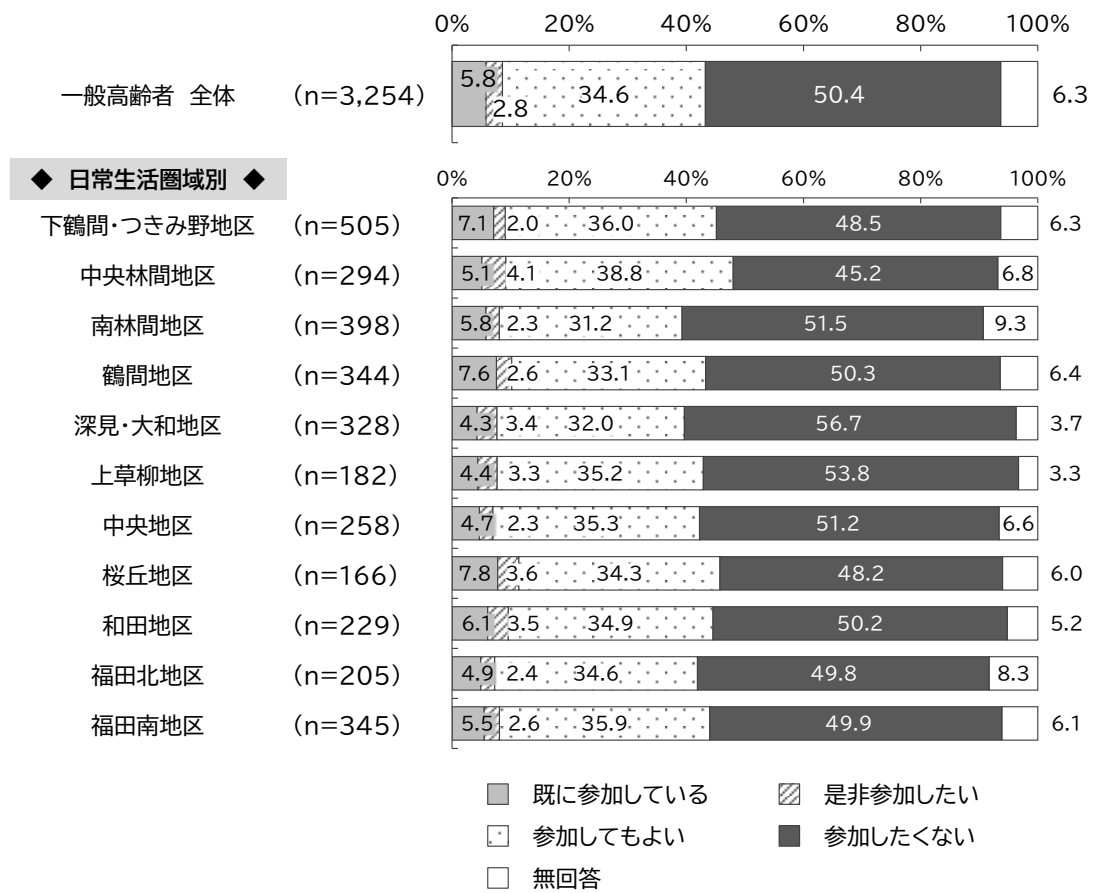
【単純集計】



いきいきした地域づくりのための活動への参加者としての参加意向は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「参加したくない」が4割を超えて最も多く、「参加してもよい」が続く。一方で、「参加したくない」は一般高齢者の方が要支援認定者等より 5.9 ポイント高くなっている。また、『参加したい（是非参加したい+参加してもよい）』は、一般高齢者 37.4%、要支援認定者等 39.9%となっている。



【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



**【一般高齢者】**  
 日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》・《中央林間地区》・《桜丘地区》・《福田北地区》・《福田南地区》で「参加したくない」が半数を下回って少なくなっている。また、『参加したい（是非参加したい+参加してもよい）』は、ほとんどの日常生活圏域で3割台となっているのに対し、《中央林間地区》で42.9%と4割を超えて多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別 参加意向者×問 24（参加していない）】

一般高齢者	調査数（人）	参加していない会やグループ									
		① ボランティアのグループ	② スポーツ関係のグループやクラブ	③ 趣味関係のグループ	④ 学習・教養サークル	⑤ 介護予防のための通いの場	⑥ シニアクラブ（老人クラブ）	⑦ 自治会	⑧ 収入のある仕事（シルバー人材センターなど）	⑨ 地区社会福祉協議会（ミニサロン）	
全体	1,217	57.8	50.5	47.2	58.5	64.3	63.4	48.8	54.6	63.6	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	192	65.6	56.8	53.6	68.2	74.0	71.9	56.8	59.4	70.8
	中央林間地区	126	63.5	48.4	52.4	61.9	69.8	68.3	55.6	63.5	68.3
	南林間地区	133	52.6	43.6	42.1	52.6	63.2	60.2	50.4	50.4	63.9
	鶴間地区	123	60.2	53.7	47.2	60.2	62.6	63.4	50.4	52.8	65.0
	深見・大和地区	116	59.5	59.5	47.4	62.1	65.5	63.8	44.8	56.0	66.4
	上草柳地区	70	61.4	48.6	48.6	55.7	62.9	65.7	54.3	54.3	61.4
	中央地区	97	56.7	49.5	43.3	56.7	63.9	63.9	46.4	52.6	62.9
	桜丘地区	63	47.6	42.9	36.5	46.0	54.0	49.2	38.1	50.8	52.4
	和田地区	88	60.2	56.8	52.3	62.5	64.8	64.8	43.2	56.8	64.8
	福田北地区	76	52.6	50.0	50.0	59.2	63.2	64.5	44.7	50.0	56.6
	福田南地区	133	48.1	40.6	39.8	48.1	52.6	53.4	41.4	48.1	54.9

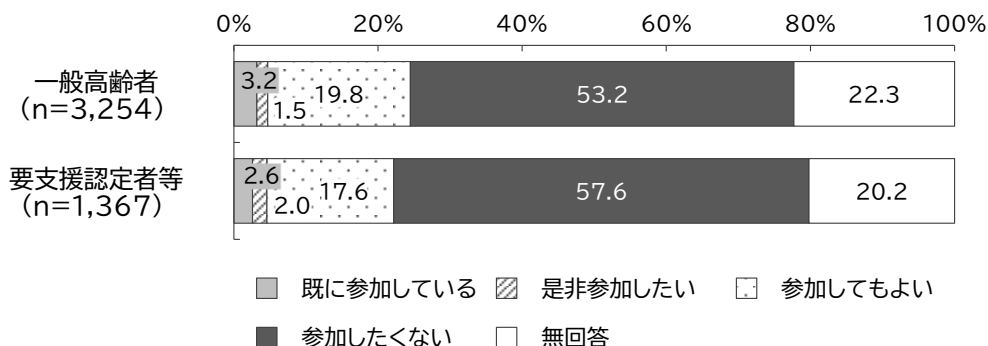
※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目

一般高齢者において『参加したい（是非参加したい+参加してもよい）』と回答した人のみを母数に集計を行い、それぞれの活動内容（49 ページ）で「参加していない」と回答した割合を、日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》・《中央林間地区》で比較的割合が高くなっているのに対し、《桜丘地区》・《福田南地区》で比較的割合が低くなっている。

《一般高齢者：問 26・要支援認定者等：問 27》

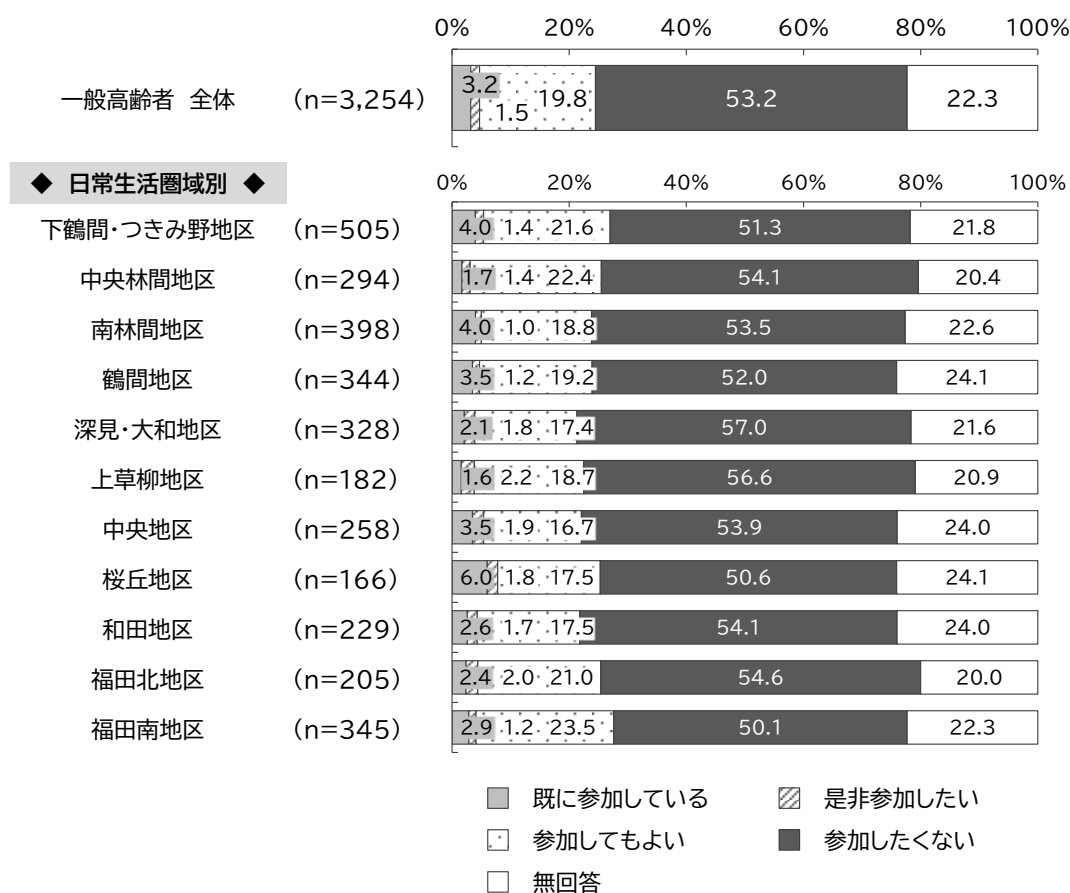
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営側（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

【単純集計】



いきいきした地域づくりのための活動への企画・運営側（お世話役）としての参加意向は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「参加したくない」が半数を超えて最も多く、「参加してもよい」、「既に参加している」が続く。また、『参加したい（是非参加したい+参加してもよい）』は、一般高齢者 21.3%、要支援認定者等 19.6%となっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



【一般高齢者】

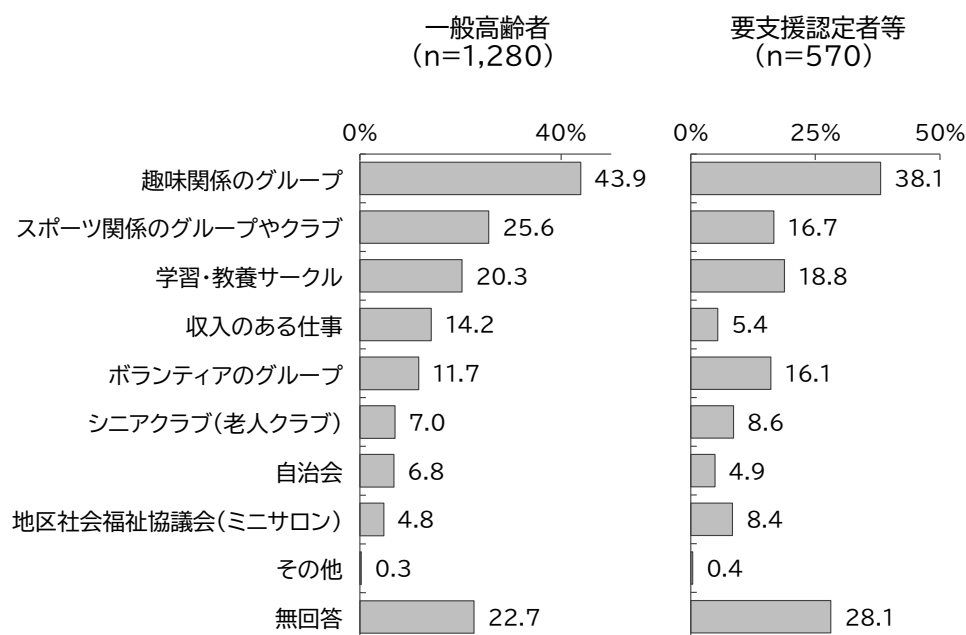
日常生活圏域別にみると、『参加したい（是非参加したい+参加してもよい）』は、すべての日常生活圏域において2割前後となっているものの、《南林間地区》・《深見・大和地区》・《中央地区》・《桜丘地区》・《和田地区》で2割を下回っている。

一般高齢者：問 25 または問 26・要支援認定者等：問 26 または問 57 で「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 26-1・要支援認定者等：問 27-1》

どのような活動に参加したい（参加してもよい）ですか。（複数回答可）

【単純集計】



参加したい（参加してもよい）活動は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「趣味関係のグループ」が3割を超えて最も多くなっている。また、「趣味関係のグループ」、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「収入のある仕事」は、一般高齢者の方が要支援認定者等より多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】

一般高齢者	調査数(人)	参加したい(してもよい)活動(%)										
		趣味関係のグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	学習・教養サークル	収入のある仕事	ボランティアのグループ	シニアクラブ(老人クラブ)	自治会	地区社会福祉協議会(ミニサロン)	その他	無回答	
全体	1,280	43.9	25.6	20.3	14.2	11.7	7.0	6.8	4.8	0.3	22.7	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	203	45.8	24.6	22.2	20.2	11.3	4.4	6.9	3.9	0.0	17.7
	中央林間地区	130	52.3	26.2	30.0	15.4	15.4	6.2	5.4	6.2	0.8	20.0
	南林間地区	141	45.4	27.0	19.1	14.2	13.5	5.0	4.3	4.3	0.0	24.8
	鶴間地区	134	42.5	20.9	21.6	15.7	13.4	12.7	6.7	4.5	0.0	26.1
	深見・大和地区	117	44.4	24.8	20.5	11.1	11.1	11.1	9.4	3.4	0.0	21.4
	上草柳地区	75	49.3	20.0	18.7	9.3	9.3	12.0	9.3	6.7	1.3	22.7
	中央地区	100	37.0	31.0	23.0	14.0	10.0	7.0	8.0	7.0	1.0	27.0
	桜丘地区	67	41.8	25.4	13.4	9.0	9.0	7.5	4.5	3.0	1.5	29.9
	和田地区	92	37.0	30.4	14.1	12.0	9.8	4.3	4.3	1.1	0.0	25.0
	福田北地区	80	42.5	25.0	20.0	12.5	7.5	2.5	12.5	8.8	0.0	18.8
	福田南地区	141	41.1	27.0	14.9	13.5	13.5	6.4	5.7	5.7	0.0	22.7

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【一般高齢者】

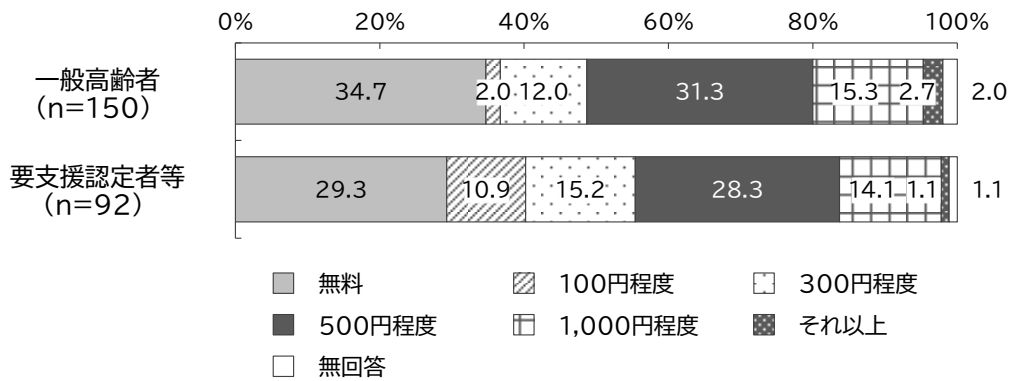
日常生活圏域別にみると、《下鶴間・つきみ野地区》で「収入のある仕事」が20.2%と約2割で比較的多く、《中央林間地区》で「趣味関係のグループ」、「学習・教養サークル」が比較的多くなっている。また、《鶴間地区》・《深見・大和地区》・《上草柳地区》で「シニアクラブ(老人クラブ)」が1割を超えて比較的多く、《中央地区》・《和田地区》で「スポーツ関係のグループやクラブ」が3割を超えて比較的多くなっている。

一般高齢者：問 26-1・要支援認定者等：問 27-1 で「ボランティアのグループ」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 26-1-1・要支援認定者等：問 27-1-1》

家事支援（30 分程度）のボランティアを行う場合、1 回の依頼につき、どの程度の対価が適当と考えますか。（単数回答）

【単純集計】



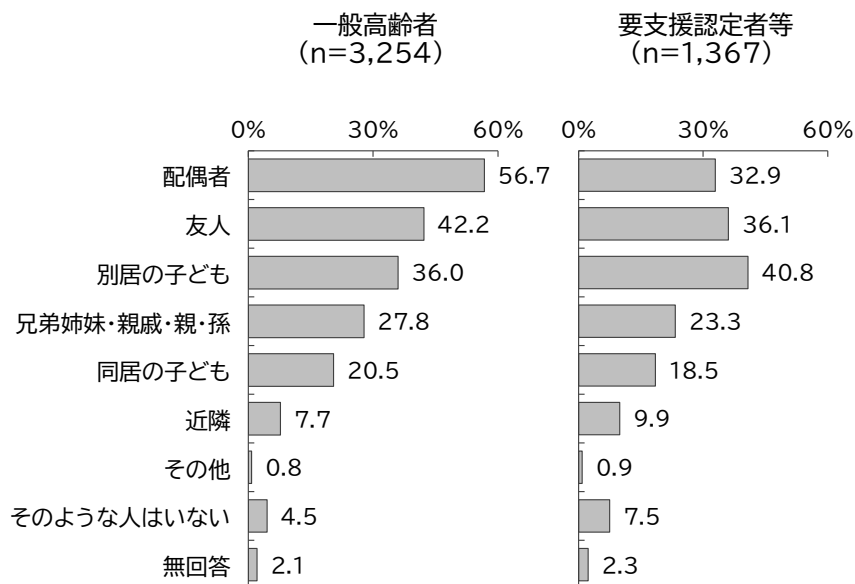
家事支援（30 分程度）のボランティアを行う場合、1 回の依頼につき、適当と考える対価は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「無料」が2割を超えて最も多く、「500 円程度」が続く。一方で、「無料」は一般高齢者の方が要支援認定者等より 5.4 ポイント高くなっている。また、ボランティアを受ける場合の結果（48 ページ）と比較すると、一般高齢者・要支援認定者等ともに「無料」が2倍近く多く、ボランティアを受ける時は料金を負担しても良いが、ボランティアを行う際は無料でも構わないと考えている人が多いことがわかる。

## 6 たすけあいについて

《一般高齢者：問 27・要支援認定者等：問 28》

あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。(複数回答可)

【単純集計】



心配事や愚痴を聞いてくれる人は、一般高齢者において「配偶者」が56.7%と半数を超えて最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「別居の子ども」が40.8%と約4割で最も多くなっている。



【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：性年齢別】

	調査数（人）	心配事や愚痴を聞いてくれる人（%）									
		配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答	
一般高齢者											
全体	3,254	56.7	42.2	36.0	27.8	20.5	7.7	0.8	4.5	2.1	
性年齢別	男性 前期高齢者	768	69.4	32.7	21.9	20.6	11.2	2.5	1.4	8.2	1.4
	男性 後期高齢者	743	70.8	23.0	31.2	16.7	15.2	4.2	0.3	5.7	3.9
	女性 前期高齢者	823	52.9	61.2	44.6	38.3	25.0	10.2	1.0	1.5	0.5
	女性 後期高齢者	920	38.2	48.5	43.9	33.3	28.4	12.8	0.7	3.0	2.5

	調査数（人）	心配事や愚痴を聞いてくれる人（%）									
		配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答	
要支援認定者等											
全体	1,367	32.9	36.1	40.8	23.3	18.5	9.9	0.9	7.5	2.3	
性年齢別	男性 40～64歳	10	30.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	男性 前期高齢者	56	46.4	21.4	12.5	16.1	7.1	3.6	0.0	28.6	1.8
	男性 後期高齢者	355	54.6	19.2	35.5	16.3	12.7	6.8	0.3	9.3	2.5
	女性 40～64歳	8	37.5	87.5	12.5	62.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 前期高齢者	89	49.4	44.9	40.4	25.8	20.2	10.1	1.1	4.5	1.1
	女性 後期高齢者	849	21.2	42.9	45.5	26.3	21.4	11.8	1.2	5.3	2.5

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】

性年齢別にみると、≪男性 前期高齢者≫で「別居の子ども」が21.9%と3割を下回って少なく、≪男性 後期高齢者≫で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が16.7%と2割を下回って少なくなっている。また、≪女性 前期高齢者≫で「友人」が61.2%と6割を超えて多く、≪女性 後期高齢者≫で「配偶者」が38.2%と4割を下回って少なくなっている。

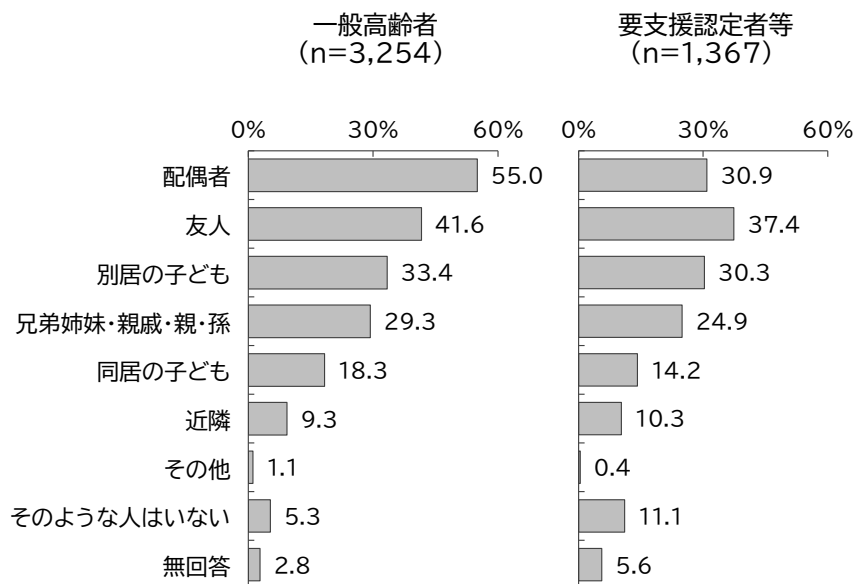
【要支援認定者等】

性年齢別にみると、≪男性 前期高齢者≫で「そのような人はいない」が28.6%と約3割で比較的多くなっている。また、≪男性 後期高齢者≫で「友人」が19.2%と2割を下回って比較的少なく、≪女性 後期高齢者≫で「配偶者」が21.2%と約2割で比較的少なくなっている。

《一般高齢者：問 28・要支援認定者等：問 29》

あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は誰ですか。(複数回答可)

【単純集計】



心配事や愚痴を聞いてあげる人は、一般高齢者において「配偶者」が55.0%と半数を超えて最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「友人」が37.4%と4割近くで最も多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：性年齢別】

	調査数（人）	心配事や愚痴を聞いてあげる人（％）									
		配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答	
一般高齢者											
全体	3,254	55.0	41.6	33.4	29.3	18.3	9.3	1.1	5.3	2.8	
性年齢別	男性 前期高齢者	768	70.7	32.7	23.3	23.6	13.0	3.5	2.0	8.6	1.4
	男性 後期高齢者	743	69.9	22.5	29.5	18.3	14.8	4.8	0.0	6.1	5.1
	女性 前期高齢者	823	49.6	60.0	42.4	40.1	21.1	12.8	1.9	1.7	1.0
	女性 後期高齢者	920	34.7	48.0	37.1	33.5	22.8	14.6	0.4	5.0	3.6

	調査数（人）	心配事や愚痴を聞いてあげる人（％）									
		配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答	
要支援認定者等											
全体	1,367	30.9	37.4	30.3	24.9	14.2	10.3	0.4	11.1	5.6	
性年齢別	男性 40～64歳	10	30.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0
	男性 前期高齢者	56	46.4	25.0	14.3	10.7	8.9	3.6	0.0	28.6	1.8
	男性 後期高齢者	355	52.7	19.2	29.3	16.6	11.5	7.3	0.0	11.5	4.5
	女性 40～64歳	8	37.5	75.0	50.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 前期高齢者	89	47.2	51.7	34.8	29.2	18.0	15.7	0.0	5.6	2.2
	女性 後期高齢者	849	19.1	44.2	31.3	28.5	15.0	11.7	0.7	10.2	6.7

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】

性年齢別にみると、「女性 前期高齢者」で「友人」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が比較的多く、「女性 前期高齢者」・「女性 後期高齢者」で「同居の子ども」、「近隣」が比較的多くなっている。また、「女性 後期高齢者」で「配偶者」が34.7%と4割を下回って比較的低くなっている。

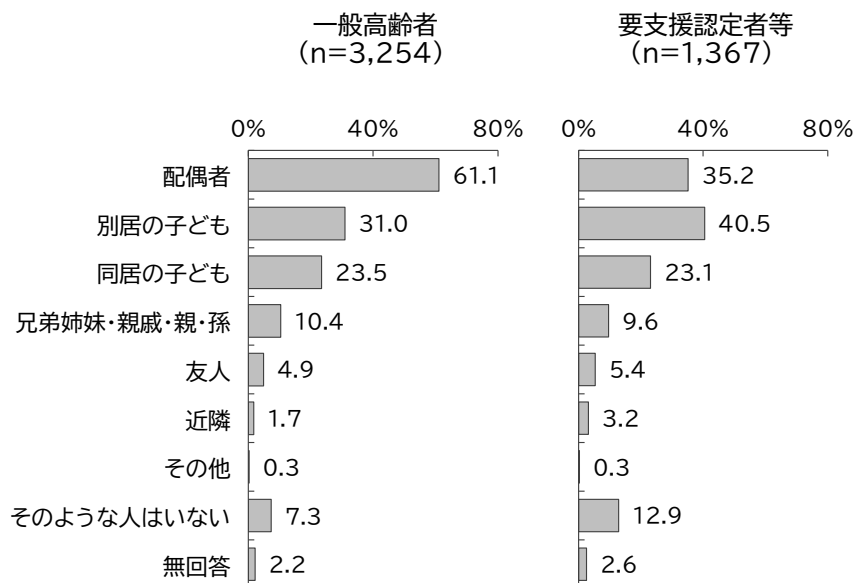
【要支援認定者等】

性年齢別にみると、「男性 前期高齢者」で「別居の子ども」が14.3%と2割を下回って比較的低く、「そのような人はいない」が28.6%約3割で比較的多くなっている。また、「女性 前期高齢者」で「友人」が51.7%と約半数で比較的多く、「女性 後期高齢者」で「配偶者」が19.1%と約2割で比較的低くなっている。

《一般高齢者：問 29・要支援認定者等：問 30》

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。  
(複数回答可)

【単純集計】

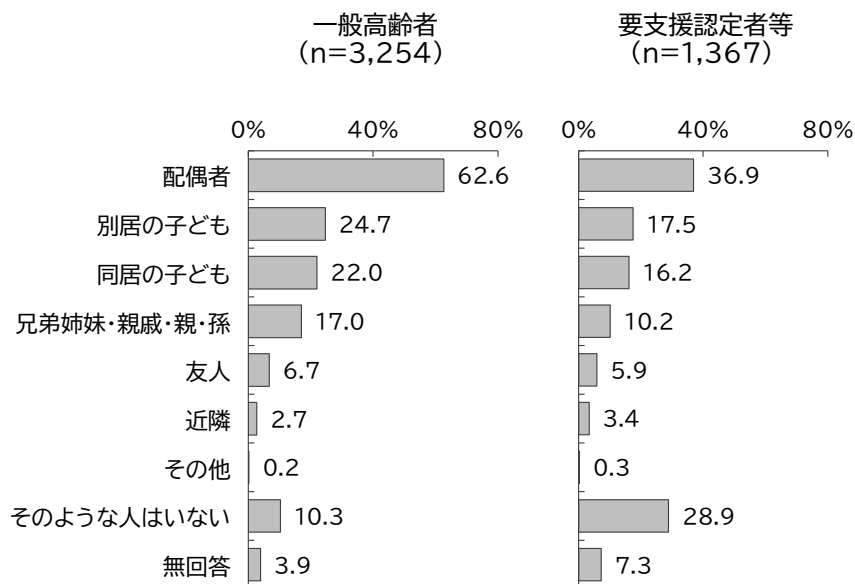


看病や世話をしてくれる人は、一般高齢者において「配偶者」が61.1%と約6割で最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「別居の子ども」が40.5%と約4割で最も多くなっている。

《一般高齢者：問 30・要支援認定者等：問 31》

反対に、看病や世話をししてあげる人は誰ですか。（複数回答可）

【単純集計】



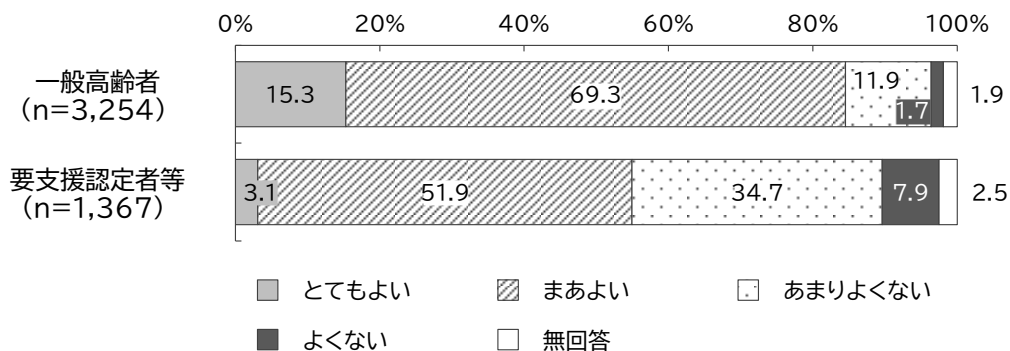
看病や世話をししてあげる人は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「配偶者」が3割を超えて多くなっている。一方で、「配偶者」は一般高齢者の方が要支援認定者等より25.7ポイント高くなっている。

## 7 健康について

《一般高齢者：問 31・要支援認定者等：問 32》

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

【単純集計】

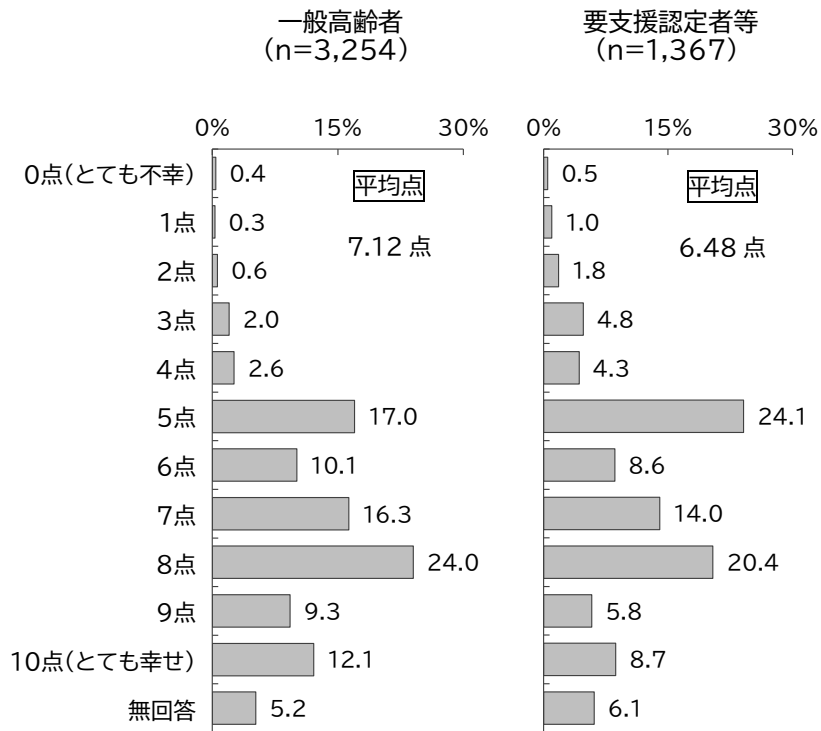


現在の健康状態は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「まあよい」が半数を超えて多くなっている。一方で、「まあよい」は一般高齢者の方が要支援認定者等より17.4ポイント高くなっている。また、『よい(とてもよい+まあよい)』は、一般高齢者84.6%、要支援認定者等55.0%と、一般高齢者の方が29.6ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 32・要支援認定者等：問 33》

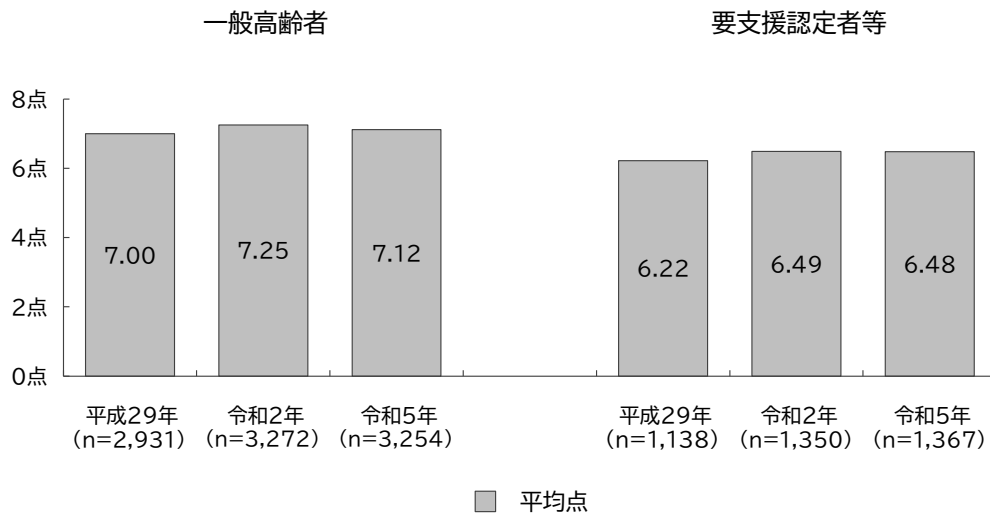
現在どの程度幸せですか。（単数回答）

【単純集計】



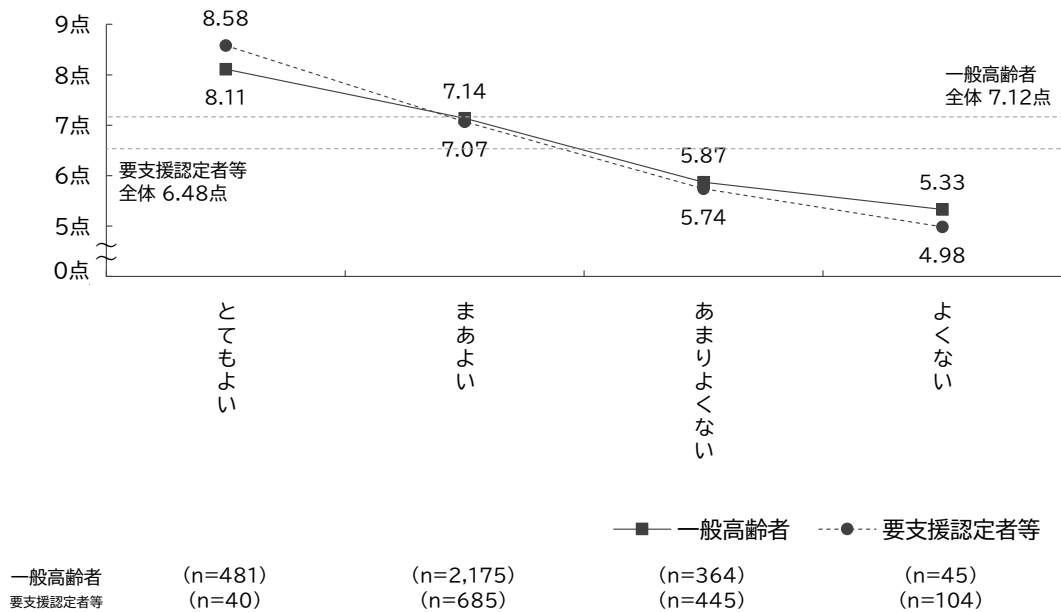
幸福度は、一般高齢者において「8点」が24.0%と2割を超えて最も多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「5点」が24.1%と2割を超えて最も多くなっている。また、『6点以上』は一般高齢者71.8%、要支援認定者等57.5%と、一般高齢者の方が14.3ポイント高くなっている。平均点は、一般高齢者7.12点、要支援認定者等6.48点となっている。

【経年比較】



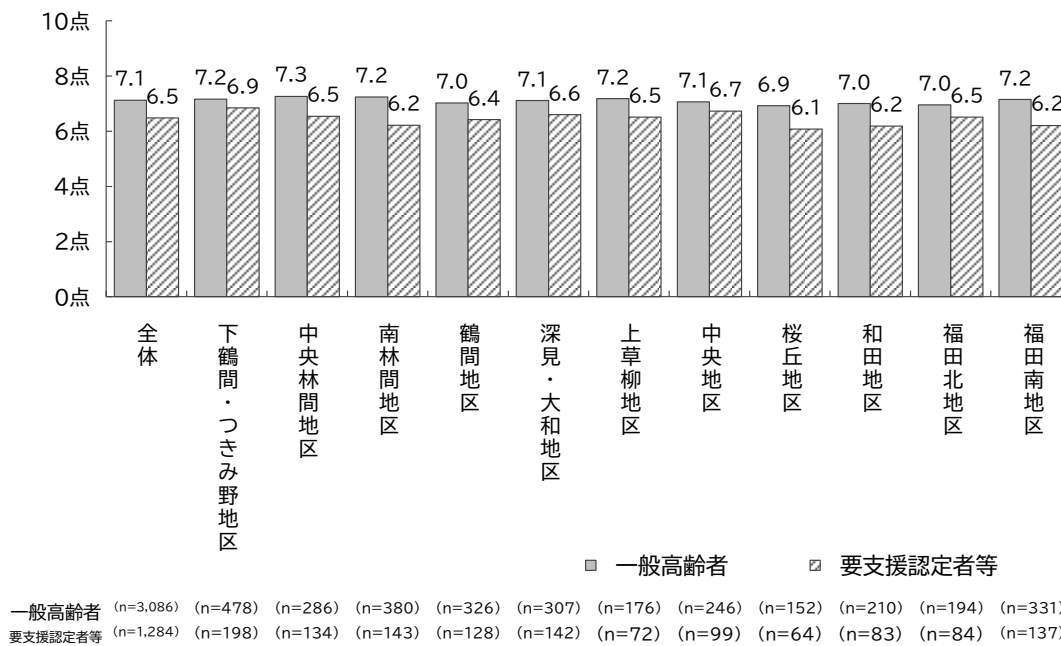
前回、前々回と比較してみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに大きな差異はみられず、一般高齢者において7点台、要支援認定者等においては6点台で推移している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：健康状態別】



健康状態別にみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに、健康状態がよくない状態ほど幸福度の平均点は下がっており、健康状態と幸福度の相関関係が顕著にみられる。特に要支援認定者等の方が平均点の減少幅は大きく、「とてもよい」の8.58点に対し、「よくない」は4.98点と、3.60点低くなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】



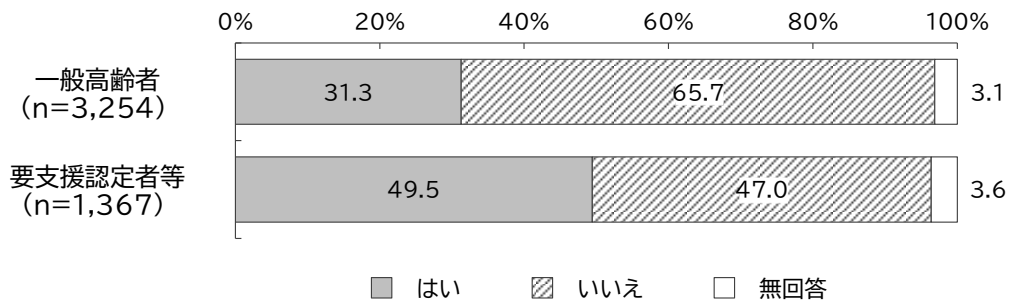
日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域において一般高齢者7点前後、要支援認定者等6点台となっており、大きな差異はみられない。



《一般高齢者：問 33・要支援認定者等：問 34》

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
(単数回答)

【単純集計】

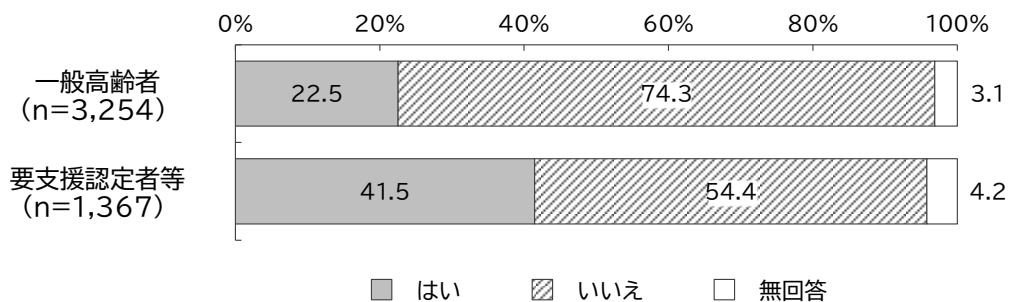


この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、一般高齢者において「いいえ」が65.7%と6割を超えて多くなっているのに対し、要支援認定者等においては「はい」が49.5%と約半数で多くなっている。

《一般高齢者：問 34・要支援認定者等：問 35》

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。(単数回答)

【単純集計】

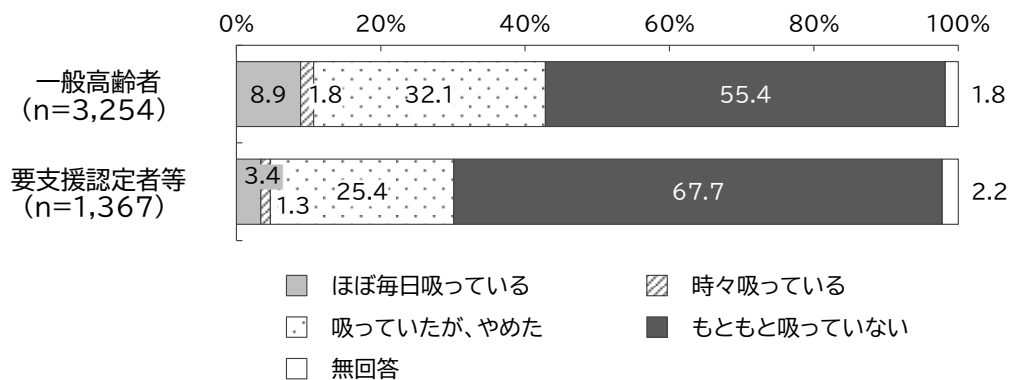


この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「いいえ」が半数を超えて多くなっている。一方で、「いいえ」は一般高齢者の方が要支援認定者等より19.9ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 35・要支援認定者等：問 36》

タバコは吸っていますか。(単数回答)

【単純集計】

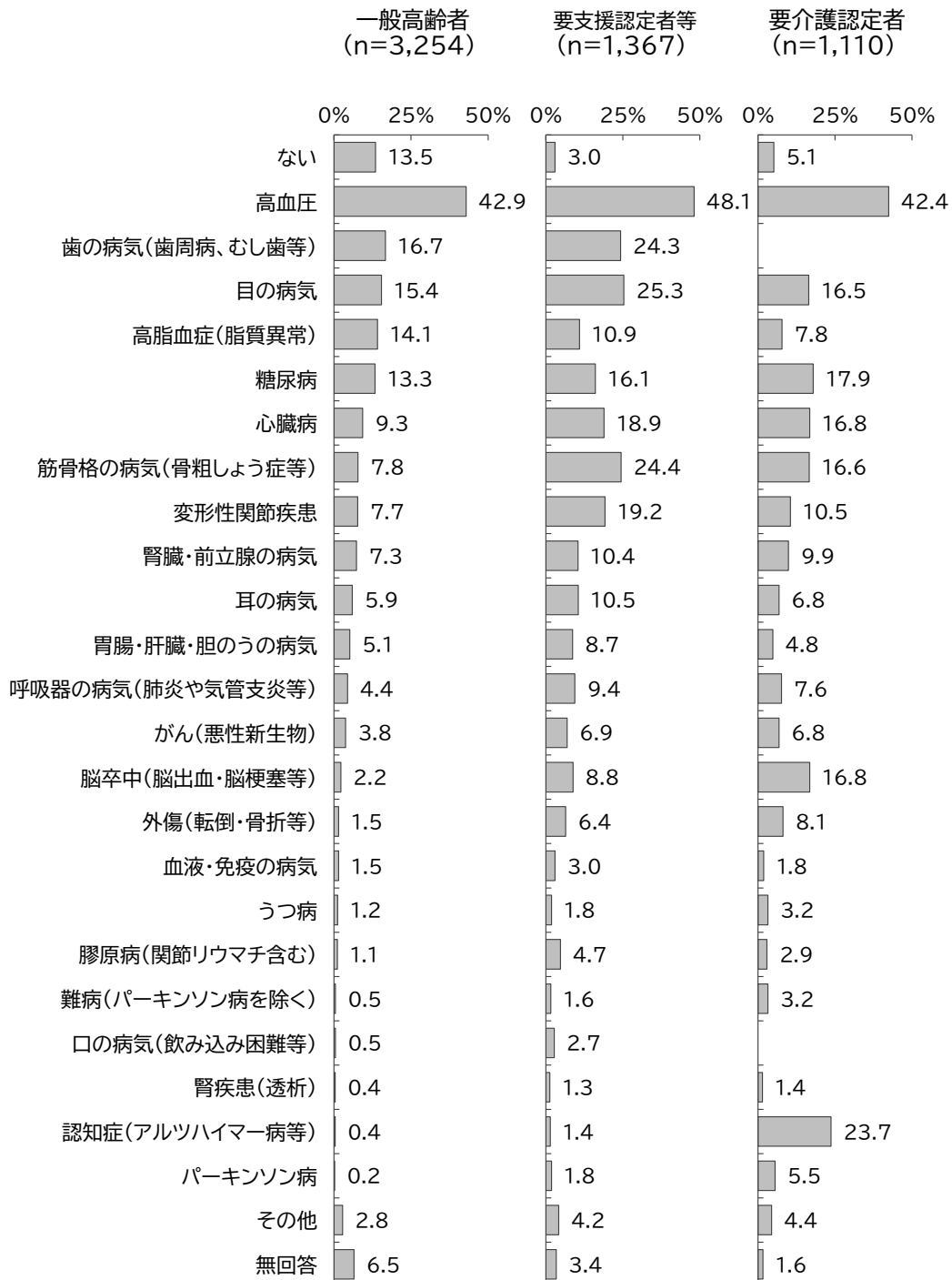


喫煙状況は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「もともと吸っていない」が半数を超えて最も多く、「吸っていたが、やめた」、「ほぼ毎日吸っている」が続く。一方で、「もともと吸っていない」は一般高齢者の方が要支援認定者等より 12.3 ポイント低くなっている。また、『吸っている(ほぼ毎日吸っている+時々吸っている)』は、一般高齢者 10.7%、要支援認定者等 4.7%と、一般高齢者の方が 6.0 ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問 36・要支援認定者等：問 37・要介護認定者：問 7》

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（複数回答可）

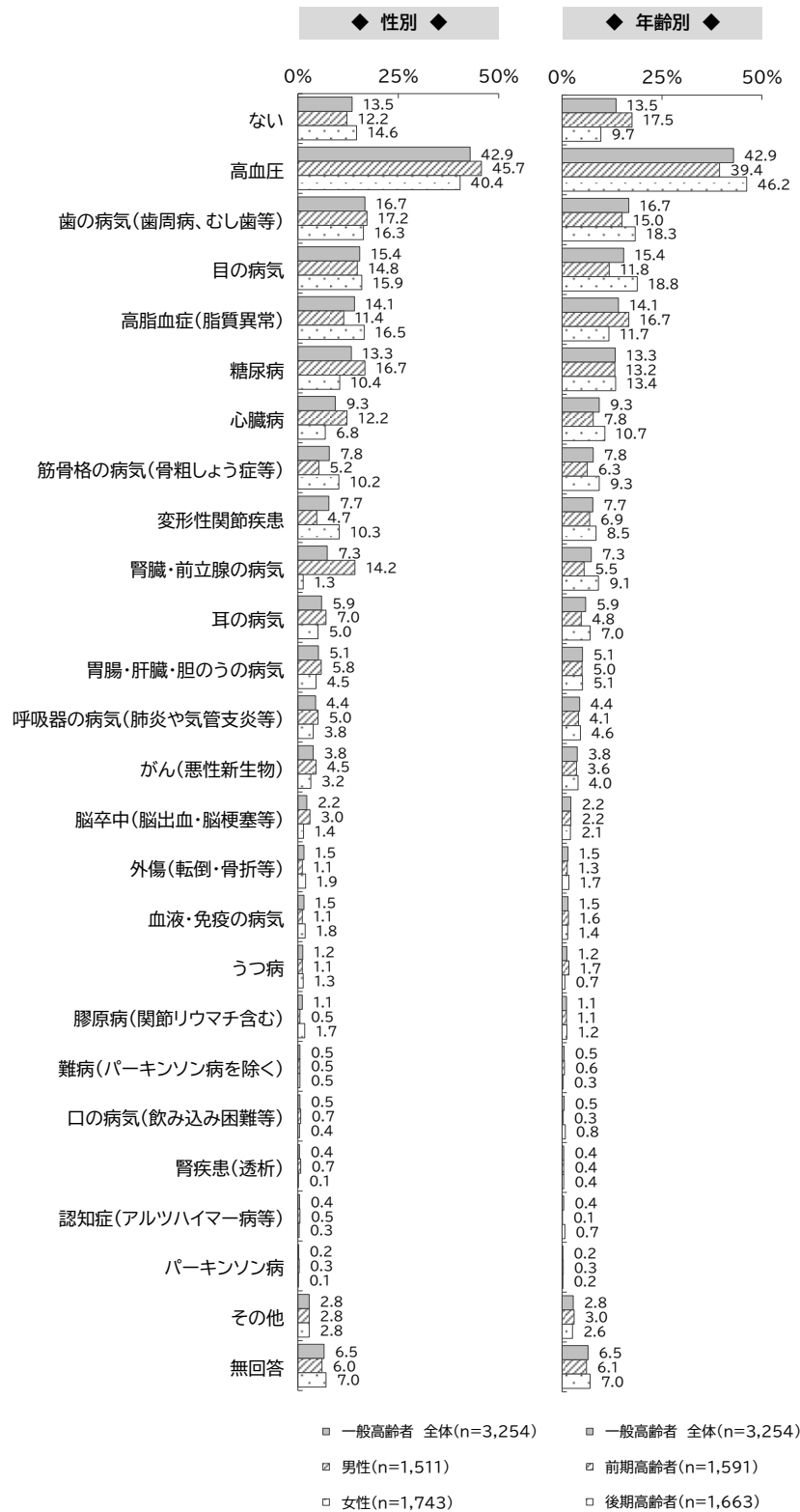
【単純集計】



※要介護認定者において「歯の病気（歯周病、むし歯等）」、「口の病気（飲み込み困難等）」という選択肢はない。

現在治療中、または後遺症のある病気は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「高血圧」が4割を超えて最も多くなっている。また、要支援認定者等における「歯の病気（歯周病、むし歯等）」、「目の病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症等）」、「変形性関節疾患」、要介護認定者における「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「認知症（アルツハイマー病等）」が多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別】

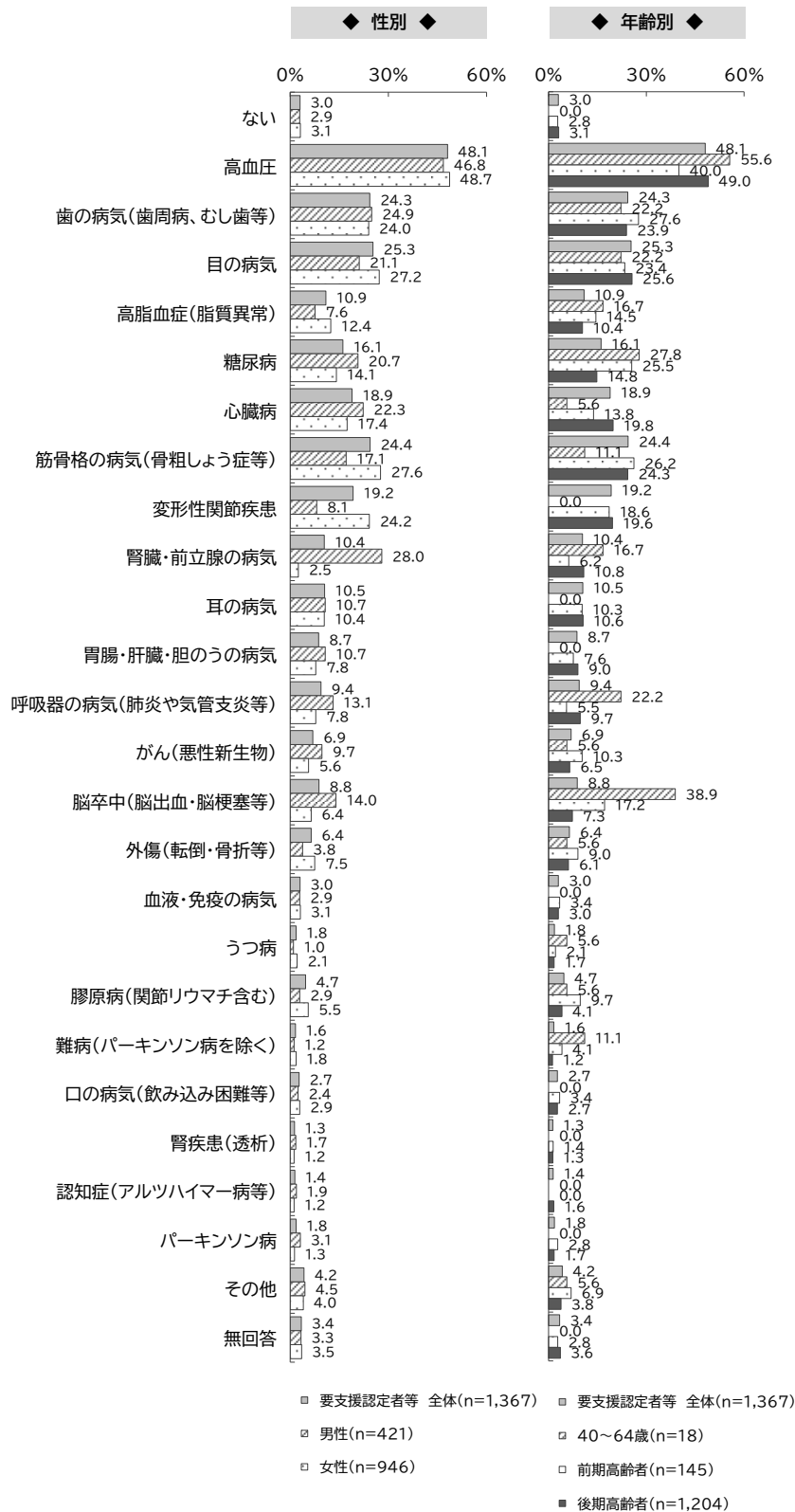


【一般高齢者】

性別にみると、《男性》で「糖尿病」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」が多く、《女性》で「高脂血症(脂質異常)」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症等)」、「変形性関節疾患」が多くなっている。

年齢別にみると、《前期高齢者》で「ない」、「高脂血症(脂質異常)」が多く、《後期高齢者》で「高血圧」、「目の病気」が多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】

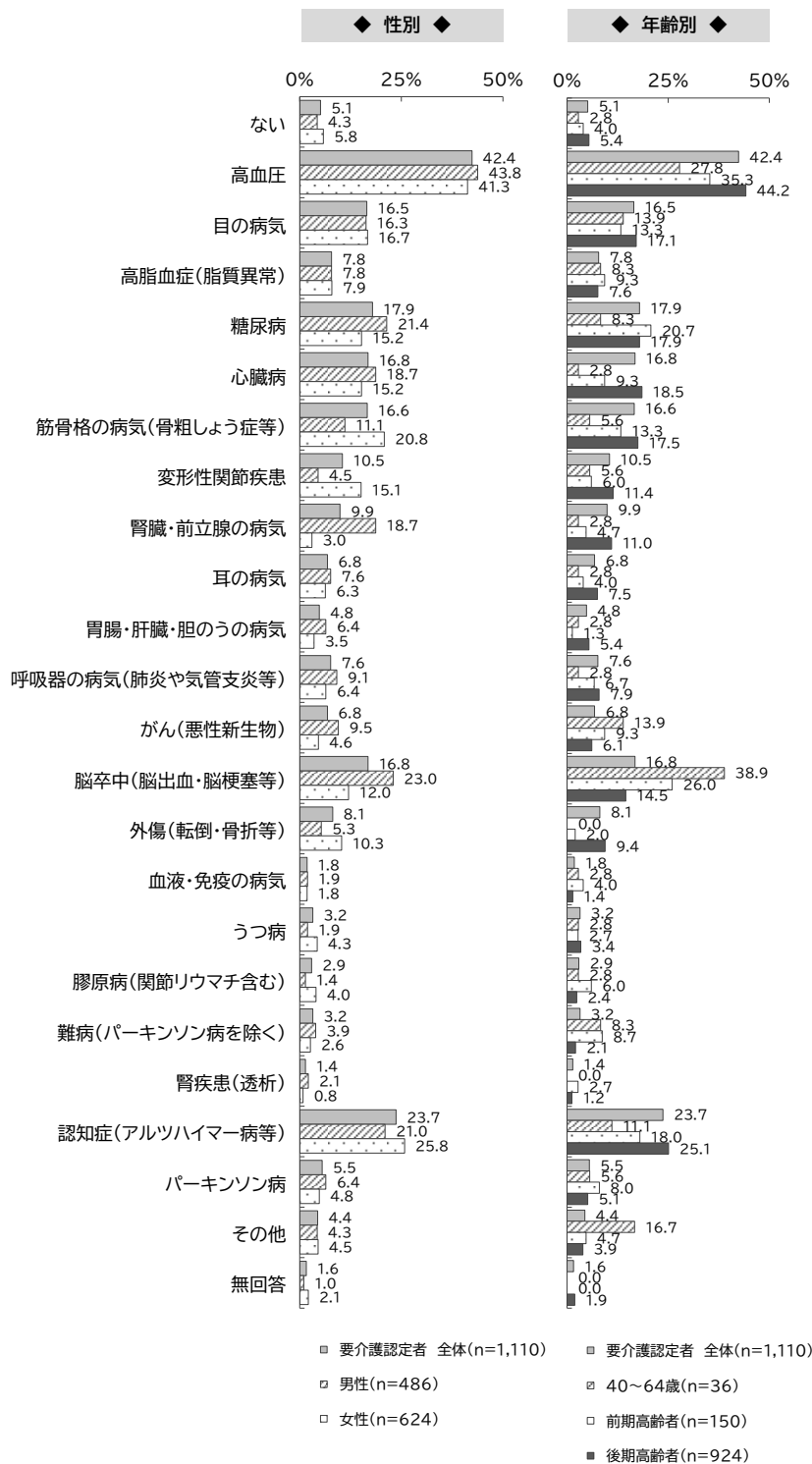


【要支援認定者等】

性別にみると、《男性》で「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」などが多く、《女性》で「目の病気」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症等）」、「変形性関節疾患」が多くなっている。

年齢別にみると、《前期高齢者》で「糖尿病」、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「膠原病（関節リウマチ含む）」が多く、《後期高齢者》で「高血圧」、「心臓病」が多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



【要介護認定者】

性別にみると、《男性》で「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が多く、《女性》で「筋骨格の病気(骨粗しょう症等)」、「変形性関節疾患」、「外傷(転倒・骨折等)」が多くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「高血圧」、「心臓病」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症等)」、「認知症(アルツハイマー病等)」などが多く、「がん(悪性新生物)」、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・要介護度別】

要介護認定者	現在治療中、または後遺症のある病気 (%)																							
	調査数(人)	ない	高血圧	認知症 (アルツハイマー病等)	糖尿病	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	筋骨格の病気 (骨粗しょう症等)	目の病気	変形性関節疾患	腎臓・前立腺の病気	外傷(転倒・骨折等)	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管炎等)	がん(悪性新生物)	耳の病気	パーキンソン病	胃腸・肝臓・胆のうの病気	うつ病	難病 (パーキンソン病を除く)	膠原病 (関節リウマチ含む)	腎疾患(透析)	血液・免疫の病気	その他
全体	1,110	5.1	42.4	23.7	17.9	16.8	16.6	16.5	10.5	9.9	8.1	7.8	7.6	6.8	6.8	5.5	4.8	3.2	3.2	2.9	1.4	1.8	4.4	1.6
下鶴間・つぎみ野地区	168	4.8	41.7	23.8	15.5	17.9	13.7	14.9	8.3	11.9	7.7	7.1	3.0	8.3	8.3	5.4	6.5	4.8	3.0	0.6	1.8	1.8	6.0	1.2
中央林間地区	107	1.9	35.5	24.3	14.0	10.3	18.7	10.3	5.6	11.2	10.3	7.5	7.5	6.5	6.5	3.7	6.5	2.8	4.7	4.7	0.9	1.9	4.7	2.8
南林間地区	139	9.4	41.7	24.5	15.1	17.3	18.0	17.3	12.2	7.2	5.8	5.8	7.9	5.8	5.8	5.0	2.2	3.6	2.2	4.3	0.0	1.4	3.6	0.0
鶴間地区	125	8.0	39.2	23.2	23.2	18.4	13.6	19.2	11.2	8.0	9.6	8.8	7.2	8.8	10.4	5.6	4.0	2.4	2.4	3.2	0.8	2.4	3.2	0.8
日深見・大和地区	115	3.5	45.2	25.2	16.5	18.3	22.6	12.2	9.6	4.3	7.0	7.8	7.8	7.8	7.0	5.2	5.2	6.1	5.2	2.6	1.7	1.7	3.5	2.6
上草柳地区	55	1.8	50.9	12.7	16.4	23.6	10.9	16.4	10.9	9.1	12.7	7.3	12.7	9.1	5.5	7.3	1.8	1.8	1.8	3.6	5.5	0.0	3.6	1.8
中央地区	92	4.3	45.7	15.2	25.0	18.5	13.0	20.7	16.3	15.2	8.7	9.8	6.5	5.4	6.5	7.6	4.3	2.2	3.3	2.2	1.1	0.0	2.2	1.1
桜丘地区	64	4.7	35.9	29.7	15.6	23.4	10.9	23.4	10.9	6.3	9.4	7.8	14.1	6.3	7.8	4.7	3.1	0.0	1.6	4.7	1.6	3.1	6.3	0.0
和田地区	75	10.7	48.0	24.0	26.7	16.0	10.7	16.0	13.3	10.7	5.3	9.3	12.0	1.3	4.0	5.3	4.0	2.7	4.0	0.0	4.0	4.0	4.0	2.7
福田北地区	70	2.9	37.1	27.1	20.0	17.1	27.1	14.3	8.6	7.1	10.0	10.0	7.1	4.3	5.7	4.3	2.9	1.4	1.4	2.9	4.3	0.0	5.7	4.3
福田南地区	100	2.0	49.0	28.0	13.0	16.0	14.0	20.0	10.0	17.0	6.0	7.0	6.0	9.0	6.0	7.0	9.0	4.0	3.0	3.0	0.0	1.0	4.0	2.0
要介護1	438	5.5	45.2	18.7	20.3	17.4	18.9	15.5	10.5	12.1	9.4	8.0	7.3	7.3	6.6	4.1	5.9	3.4	1.6	3.2	0.7	1.4	4.1	1.4
要介護2	316	2.5	41.1	20.9	15.8	18.0	16.1	20.9	14.9	10.1	7.6	10.4	8.9	8.9	9.5	4.1	4.7	2.2	3.8	2.8	1.3	2.5	4.1	2.2
要介護3	169	7.1	42.0	34.3	17.8	20.1	16.0	14.2	5.3	7.1	7.7	7.1	6.5	5.9	7.7	6.5	3.6	4.7	3.0	2.4	3.0	1.8	5.3	2.4
要介護4	106	6.6	47.2	34.0	17.9	22.6	15.1	18.9	7.5	6.6	7.5	3.8	5.7	3.8	2.8	8.5	2.8	2.8	3.8	2.8	1.9	1.9	3.8	0.9
要介護5	81	7.4	27.2	25.9	13.6	12.3	7.4	11.1	7.4	7.4	4.9	3.7	8.6	1.2	1.2	12.3	3.7	3.7	8.6	2.5	1.2	1.2	6.2	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、市内中部・南部エリアの地区で差が大きくなってきている項目が多い。

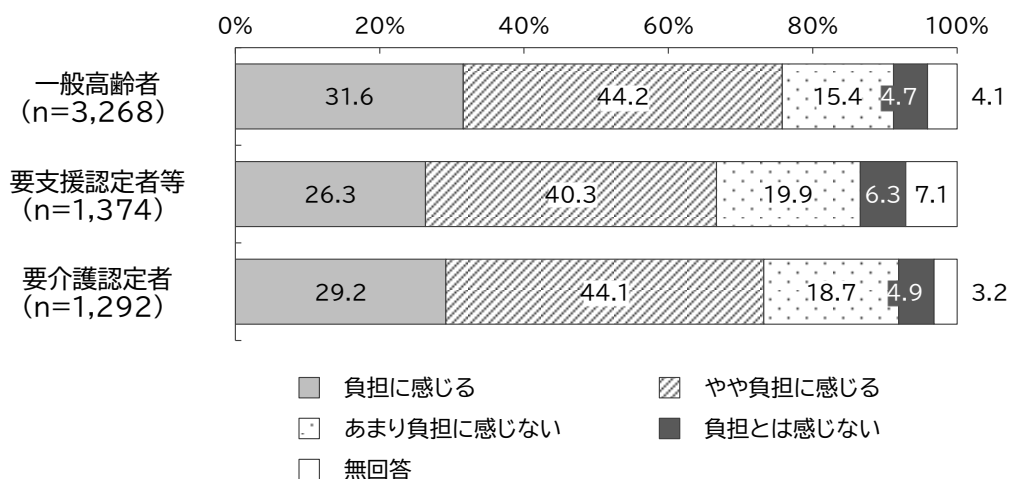
要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「パーキンソン病」が多くなっている。

## 8 介護保険制度等について

《一般高齢者：問 37・要支援認定者等：問 38・要介護認定者：問 8》

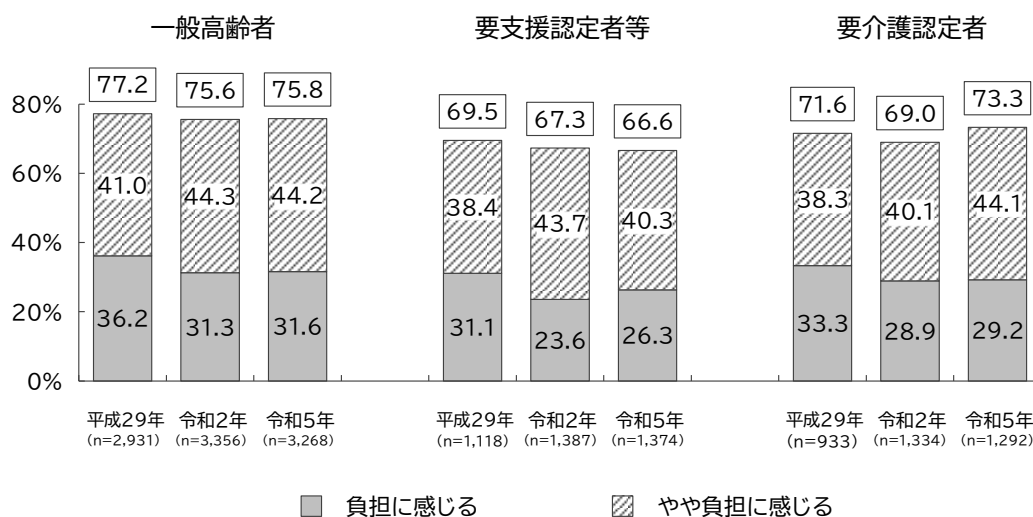
介護保険料の負担について、どのように感じていますか。(単数回答)

【単純集計】



介護保険料の負担は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「やや負担を感じる」が4割を超えて最も多く、「負担を感じる」、「あまり負担を感じない」が続く。また、『負担(負担を感じる+やや負担を感じる)』は、一般高齢者 75.8%、要支援認定者等 66.6%、要介護認定者 73.3%と、要支援認定者等で少なくなっている。

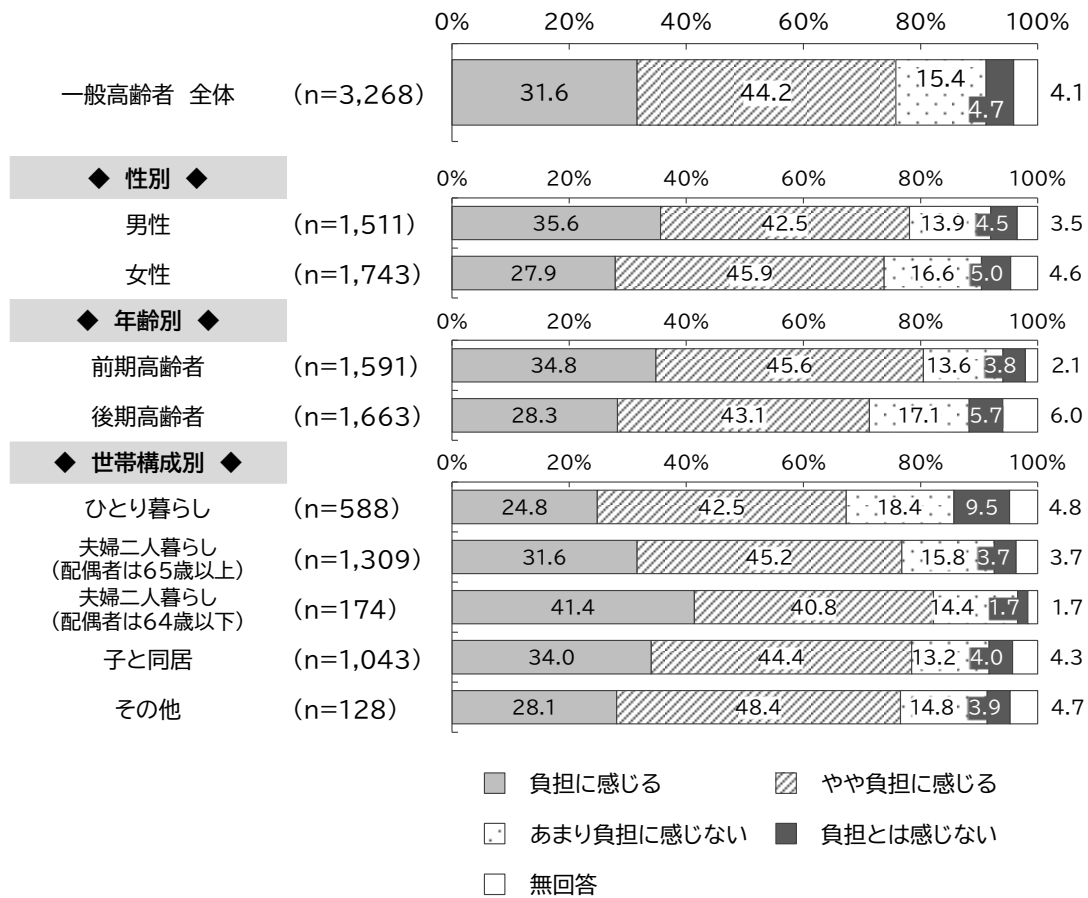
【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、『負担(負担を感じる+やや負担を感じる)』が一般高齢者において76%前後で推移しているのに対し、要支援認定者等においては68%前後、要介護認定者においては71%前後と、要介護認定を受けていない一般高齢者でやや高くなっている。



【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別・世帯構成別】



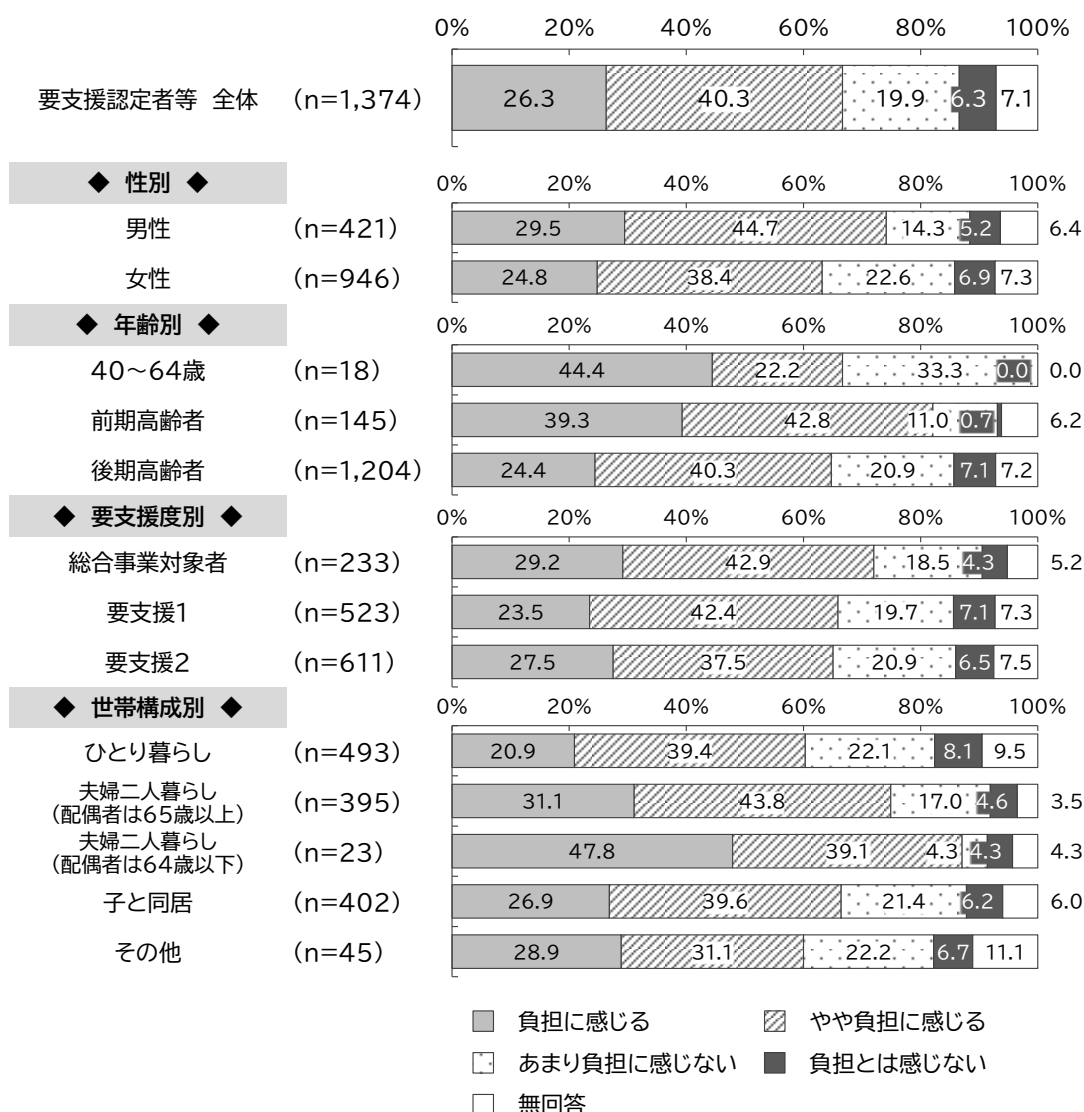
【一般高齢者】

性別にみると、《男性》で「負担を感じる」が35.6%と3割を超えて多くなっている。また、『負担（負担を感じる+やや負担を感じる）』は、《男性》78.1%、《女性》73.8%となっている。

年齢別にみると、《前期高齢者》で「負担を感じる」が34.8%と3割を超えて多くなっている。また、『負担（負担を感じる+やや負担を感じる）』は、《前期高齢者》80.4%、《後期高齢者》71.4%と、《前期高齢者》の方が9.0ポイント高くなっている。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「負担を感じる」が41.4%と約4割で多くなっている。また、『負担（負担を感じる+やや負担を感じる）』は、《ひとり暮らし》で67.3%と7割を下回って少なく、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で82.2%と8割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・要支援度別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

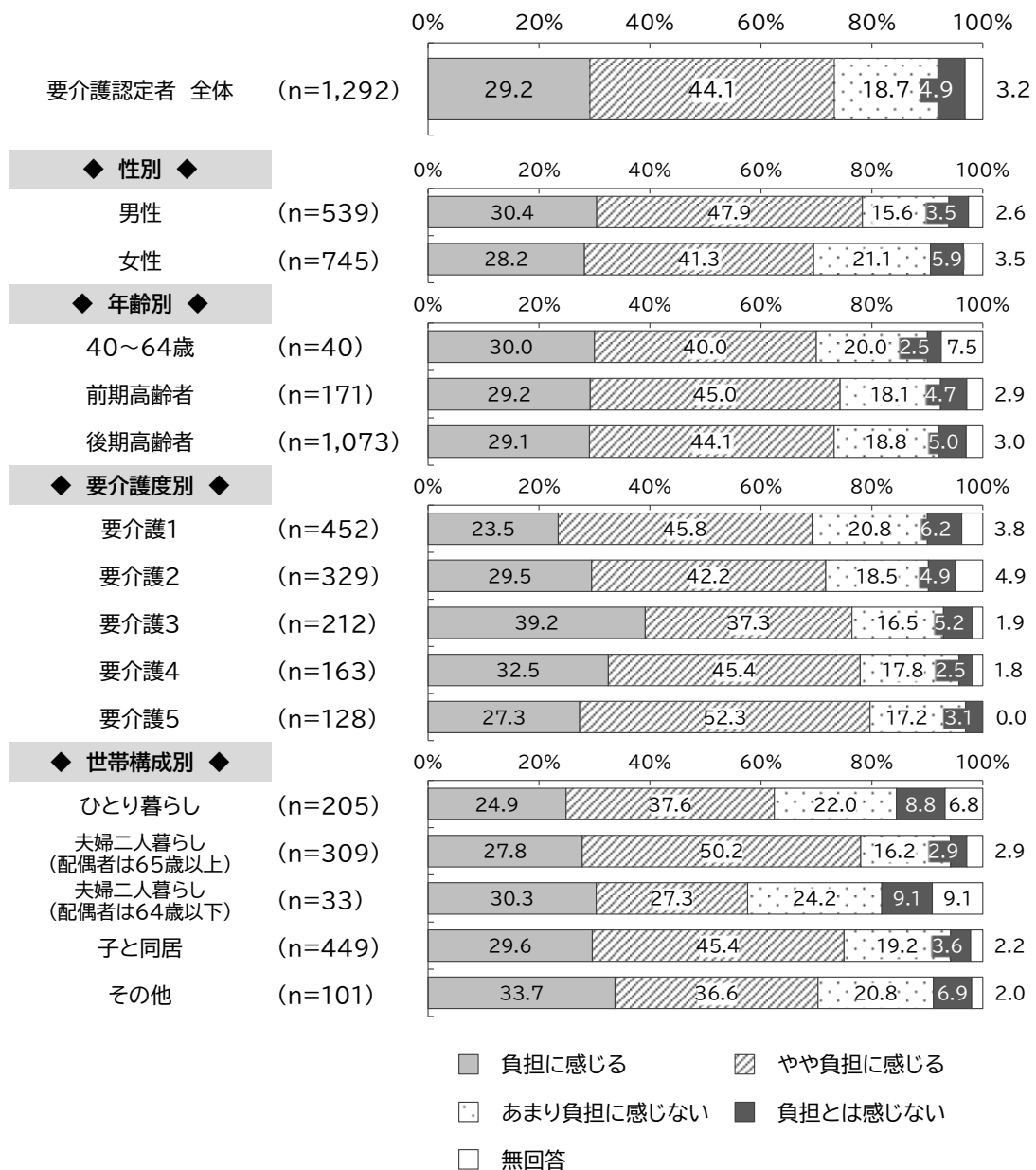
性別にみると、《男性》で「やや負担を感じる」が44.7%と4割を超えて多く、《女性》で「あまり負担に感じない」が22.6%と2割を超えて多くなっている。また、『負担（負担を感じる+やや負担を感じる）』は、《男性》74.2%、《女性》63.2%と、《男性》の方が11.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《前期高齢者》で「負担を感じる」が39.3%と約4割で多くなっている。また、『負担（負担を感じる+やや負担を感じる）』は、《前期高齢者》82.1%、《後期高齢者》64.7%と、《前期高齢者》の方が17.4ポイント高くなっている。

要支援度別にみると、『負担（負担を感じる+やや負担を感じる）』が、《総合事業対象者》72.1%、《要支援1》65.9%、《要支援2》65.0%と、《総合事業対象者》で7割を超えて多くなっている。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「負担を感じる」が47.8%と半数近くで多くなっている。また、『負担（負担を感じる+やや負担を感じる）』は、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で86.9%と8割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

性別にみると、《男性》で「やや負担を感じる」が47.9%と4割を超えて多く、《女性》で「あまり負担に感じない」が21.1%と約2割で多くなっている。また、『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、《男性》78.3%、《女性》69.5%と、《男性》の方が8.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、大きな差異はみられない。

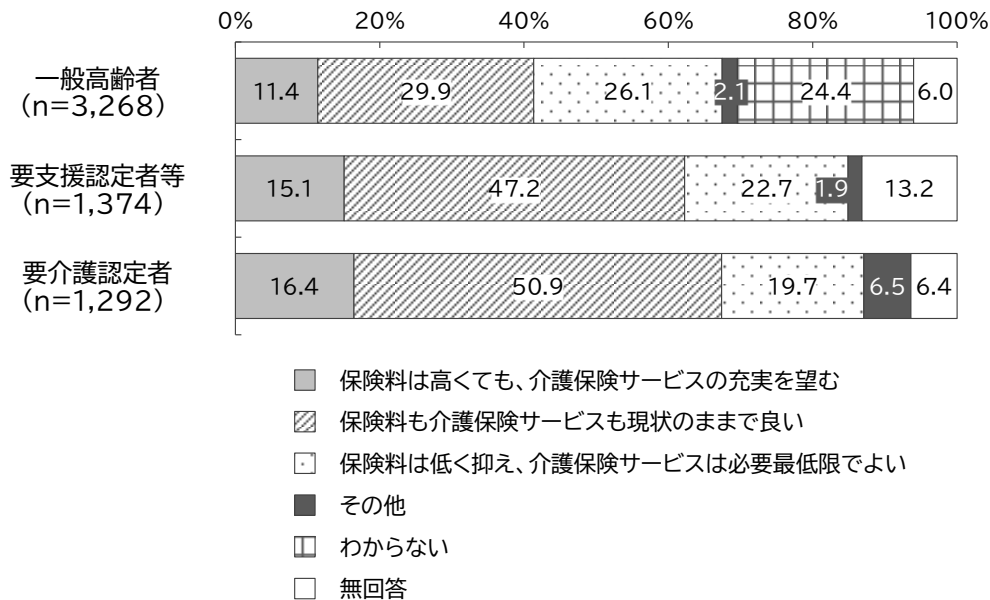
要介護度別にみると、要介護度が重くなるほど『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が多くなっており、《要介護1》69.3%、《要介護5》79.6%と、10.3ポイントの差がみられる。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》・《その他》で「負担を感じる」が3割を超えて多くなっている。また、『負担（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で57.6%と6割を下回って少なくなっている。

《一般高齢者：問 38・要支援認定者等：問 39・要介護認定者：問 9》

介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。  
(単数回答)

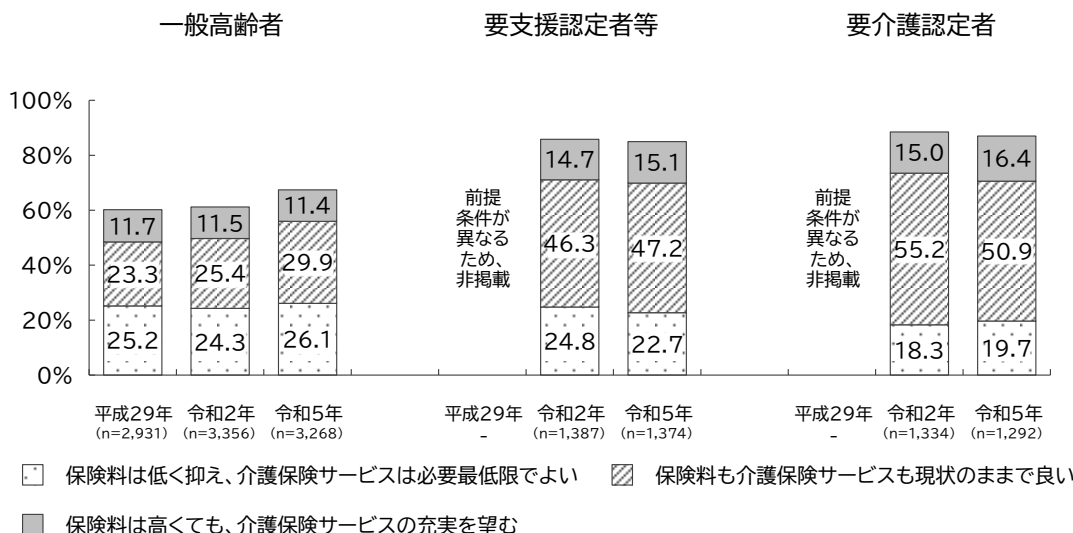
【単純集計】



※要支援認定者等・要介護認定者において「わからない」という選択肢はない。

今後の保険料とサービスのあり方についての考えは、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が2割を超えて最も多く、「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が続く。

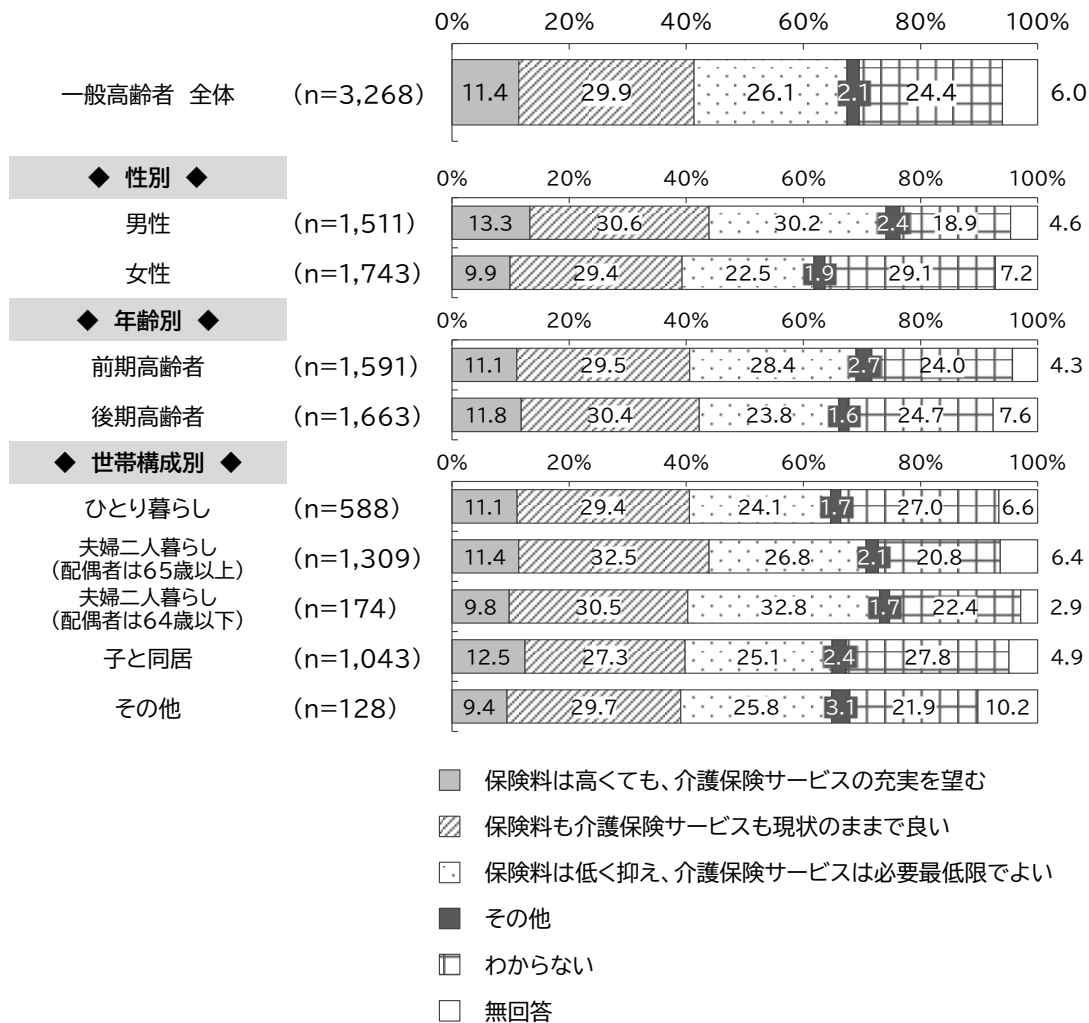
【経年比較】



※平成 29 年調査において、要支援認定者等・要介護認定者は「わからない」という選択肢を設けていたため、比較しない。また、一般高齢者は一貫して「わからない」という選択肢を設けているため、比較する。

前回、前々回と比較してみると、「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が一般高齢者において増加傾向にあるのに対し、要支援認定者等・要介護認定者においては横ばい～減少傾向となっている。また、「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」は要介護認定者において約2割で推移しており、一般高齢者・要支援認定者等よりサービスの低下を望んでいる人が少なくなっている。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別・世帯構成別】



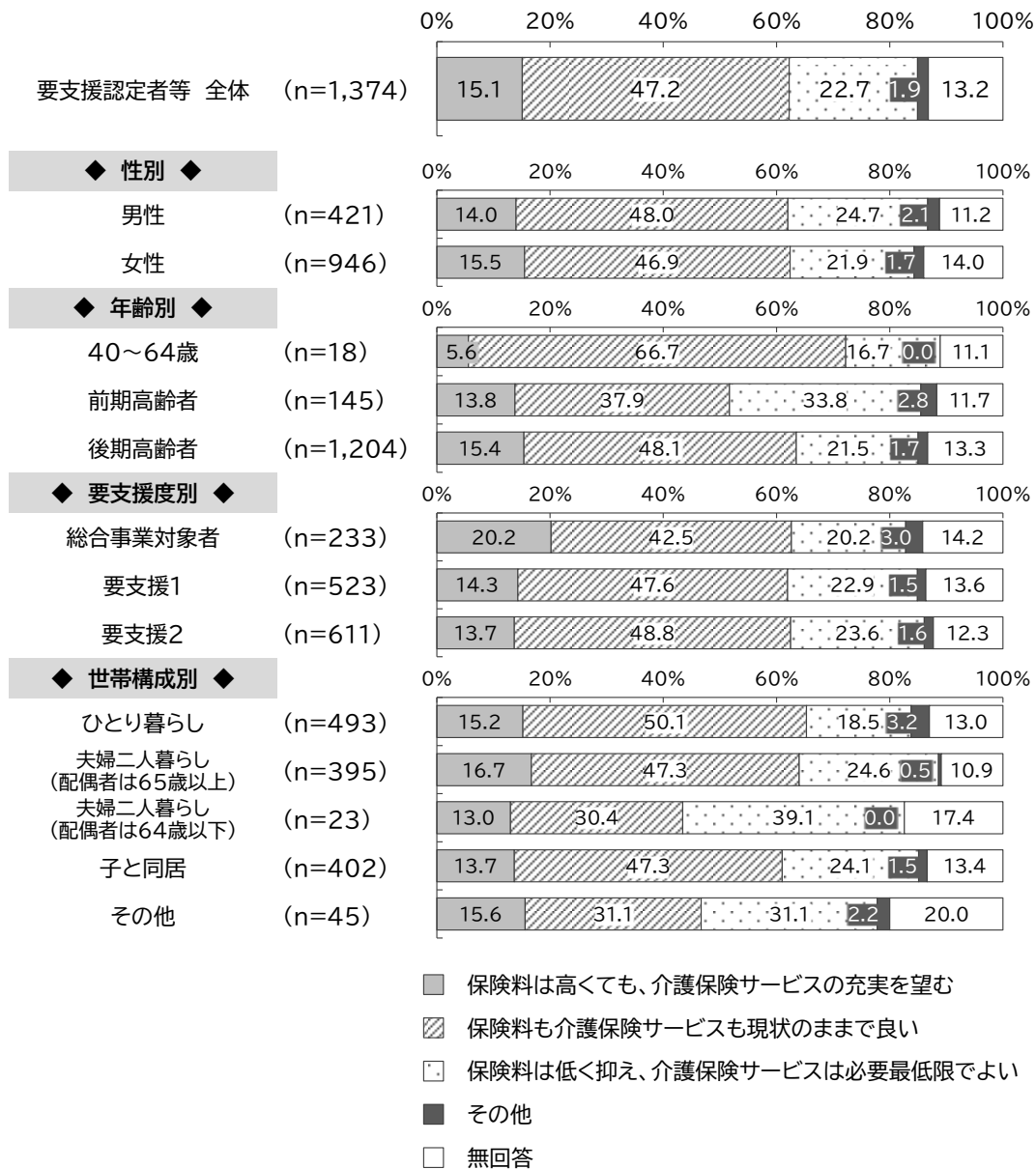
【一般高齢者】

性別にみると、《男性》で「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が30.2%と約3割で多く、《女性》で「わからない」が29.1%と約3割で多くなっている。

年齢別にみると、大きな差異はみられない。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》・《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が3割を超えて多く、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が32.8%と3割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・要支援度別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

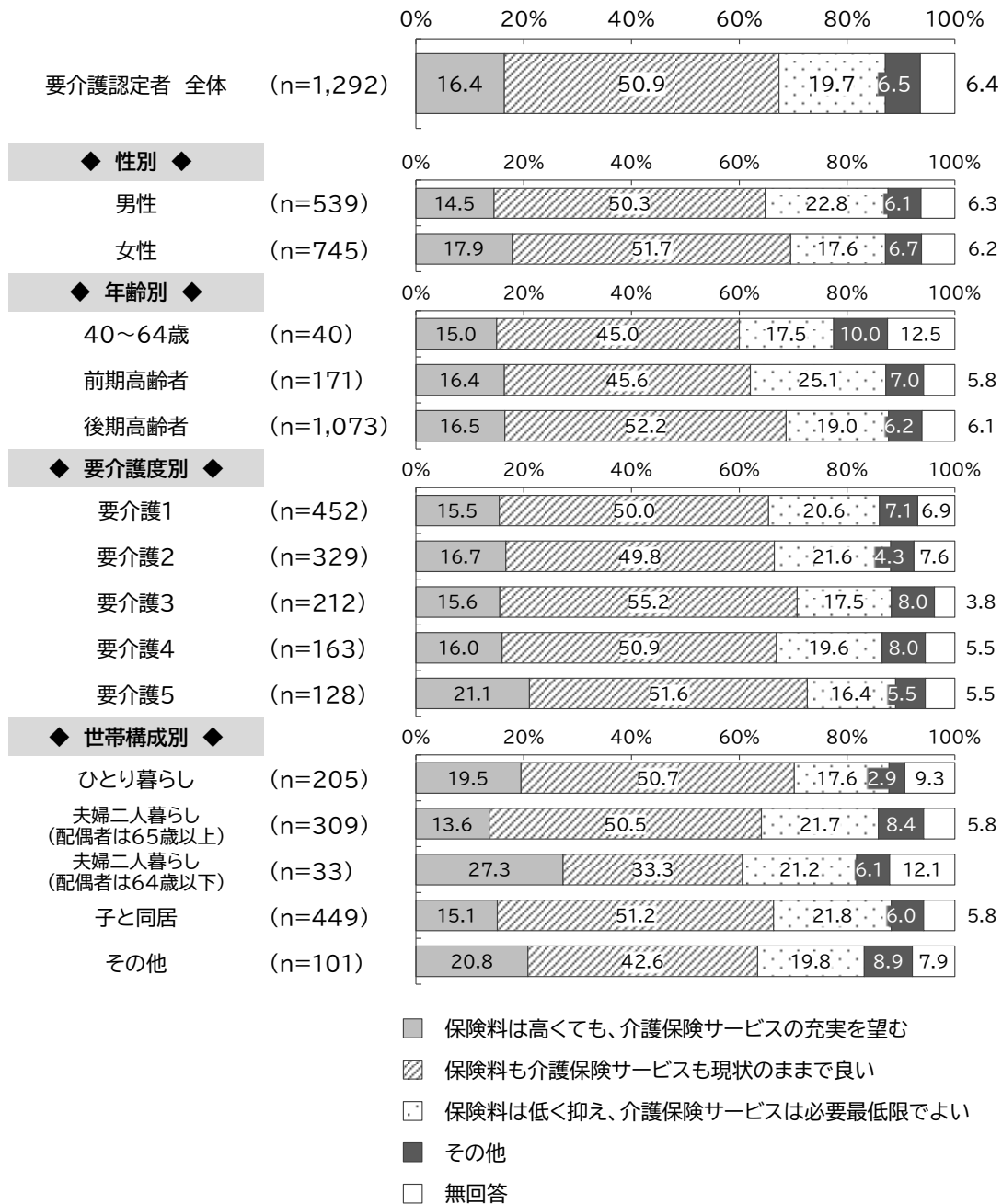
性別にみると、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、《前期高齢者》で「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が33.8%と3割を超えて多く、《後期高齢者》で「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が48.1%と約半数で多くなっている。

要支援度別にみると、《総合事業対象者》で「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」が20.2%と約2割で多くなっている。

世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》で「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が50.1%と約半数で多く、「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が18.5%と2割を下回って少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

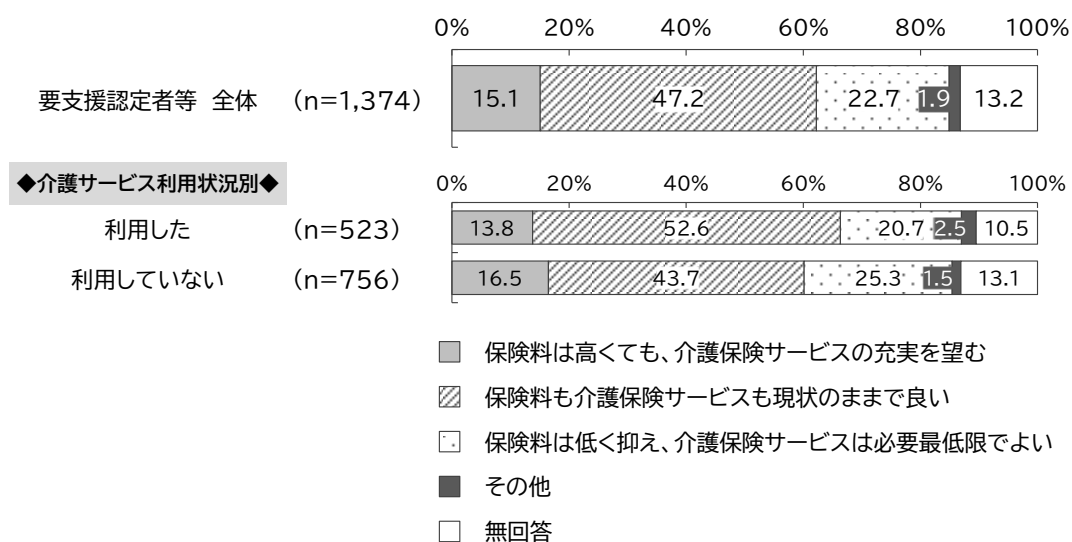
性別にみると、《男性》で「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が22.8%と2割を超えて多くなっている。

年齢別にみると、《前期高齢者》で「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が25.1%と2割を超えて多く、《後期高齢者》で「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が52.2%と半数を超えて多くなっている。

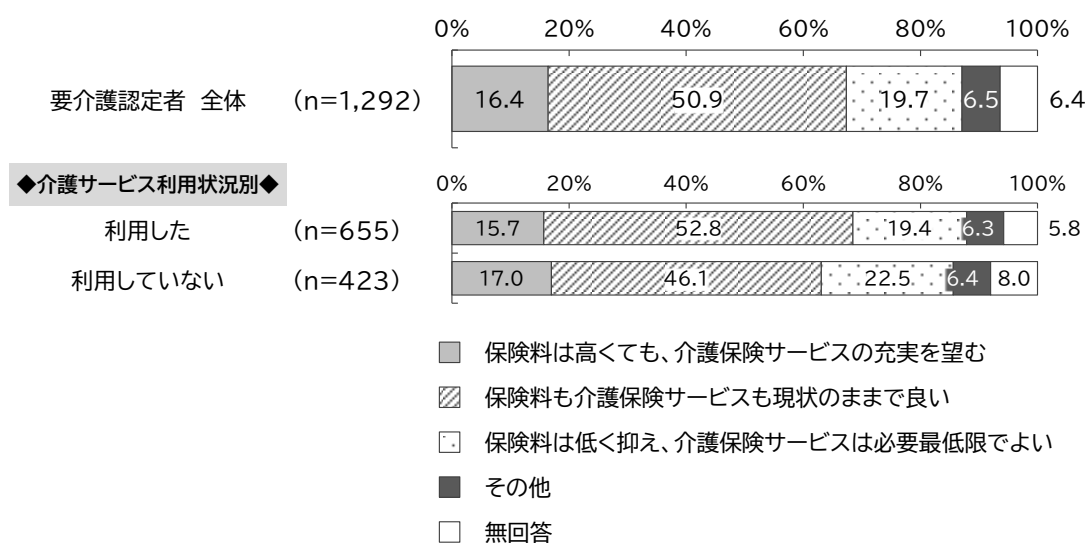
要介護度別にみると、《要介護1》・《要介護2》で「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が2割を超えて多く、《要介護5》で「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」が21.1%と約2割で多くなっている。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が33.3%と4割を下回って少なく、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》・《その他》で「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」が2割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：介護保険サービスの利用状況別】



【クロス集計：要介護認定者：介護保険サービスの利用状況別】



【要支援認定者等】

介護保険サービスの利用状況別にみると、「利用した」で「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が52.6%と半数を超えて多くなっている。

【要介護認定者】

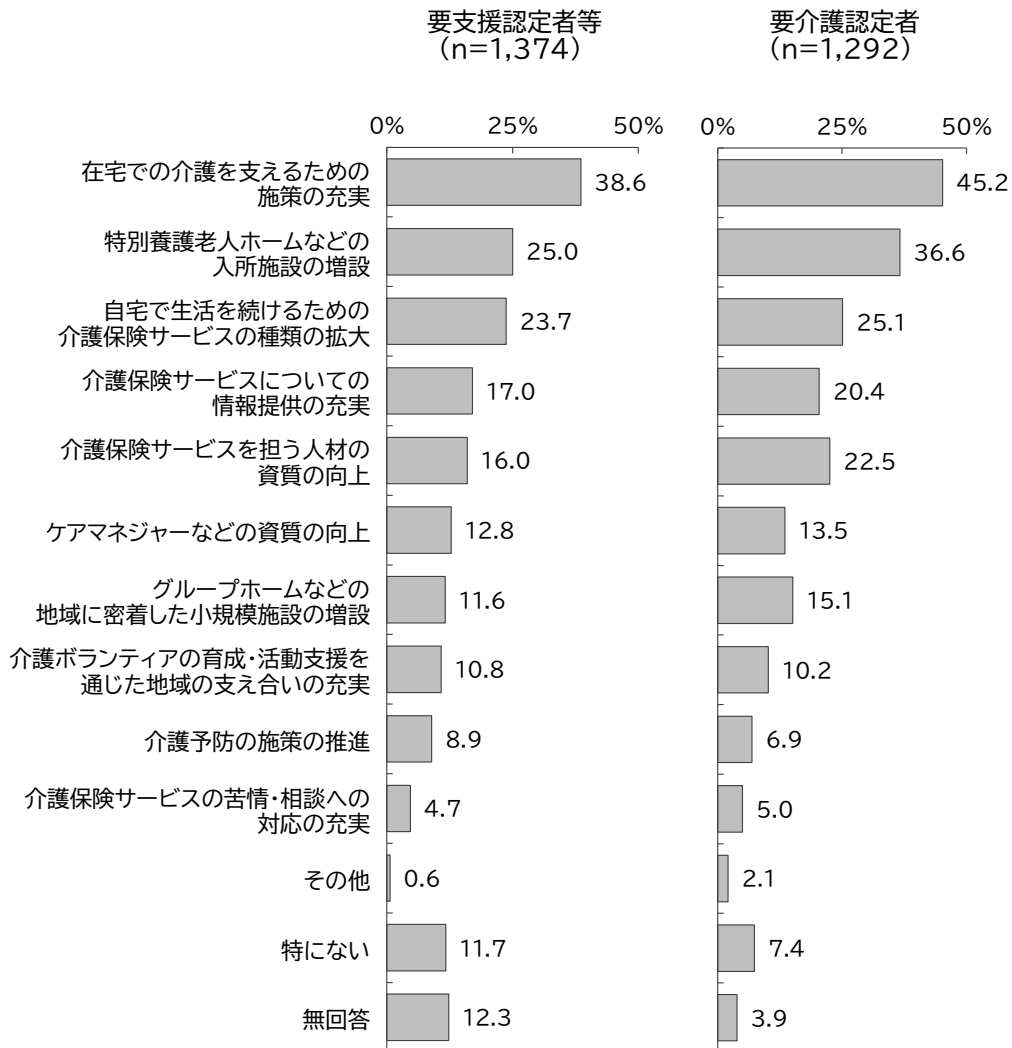
介護保険サービスの利用状況別にみると、「利用した」で「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が52.8%と半数を超えて多くなっている。



《要支援認定者等：問 40・要介護認定者：問 10》

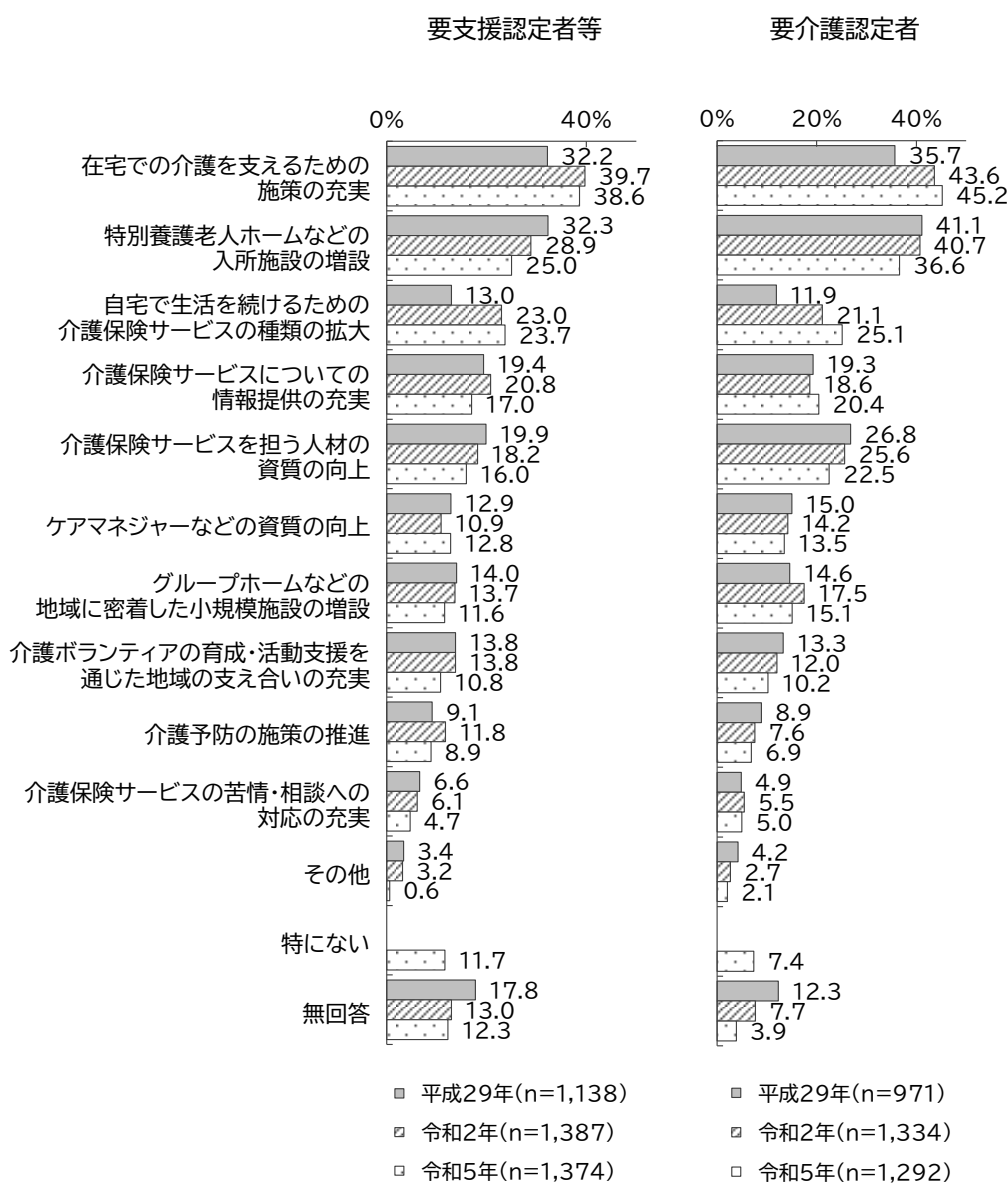
介護保険制度をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。  
（複数回答可：3つまで）

【単純集計】



介護保険制度をよりよいものにするためには必要な対策は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「在宅での介護を支えるための施設の充実」が3割を超えて最も多く、「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」、「自宅で生活するための介護保険サービスの種類の拡大」が続く。

【経年比較】



※「特にない」は、令和5年調査において追加した選択肢である。

前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに「自宅で生活を続けるための介護保険サービスの種類の拡大」が増加傾向、「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」が減少傾向にある。また、要介護認定者においては「在宅での介護を支えるための施策の充実」も増加傾向にあり、要支援認定者等・要介護認定者ともに在宅生活を希望する方が多くなっていることがわかる。

【クロス集計：要介護認定者：記入者別】

要介護認定者	調査数（人）	介護保険制度をよりよいものにするために必要な対策（%）													
		在宅での介護を支えるための施策の充実	特別養護老人ホームなどの入所施設の増設	種類を拡大 介護保険サービスの種類	自宅で生活するための介護保険サービスの充実	介護保険サービスの向上 人材の資質の向上	介護保険サービスに関する情報提供の充実	密着した小規模施設の増設	グループホームなどの地域に	ケアマネジャーなどの資質の向上	介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域の充実に	介護予防の施策の推進	介護保険サービスの充実への対応の充実	その他	特になし
全体	1,292	45.2	36.6	25.1	22.5	20.4	15.1	13.5	10.2	6.9	5.0	2.1	7.4	3.9	
記入者別	調査対象者ご本人	440	46.4	23.6	29.5	19.5	19.3	10.5	15.0	11.6	9.1	3.6	1.8	9.8	4.5
	主な介護者の家族・親族	554	52.5	41.5	25.5	23.6	22.2	18.8	11.7	8.7	5.6	5.4	2.7	5.8	2.0
	主な介護者以外の家族・親族	30	40.0	40.0	36.7	26.7	20.0	6.7	23.3	13.3	6.7	10.0	3.3	0.0	0.0
	その他	12	16.7	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	33.3	8.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

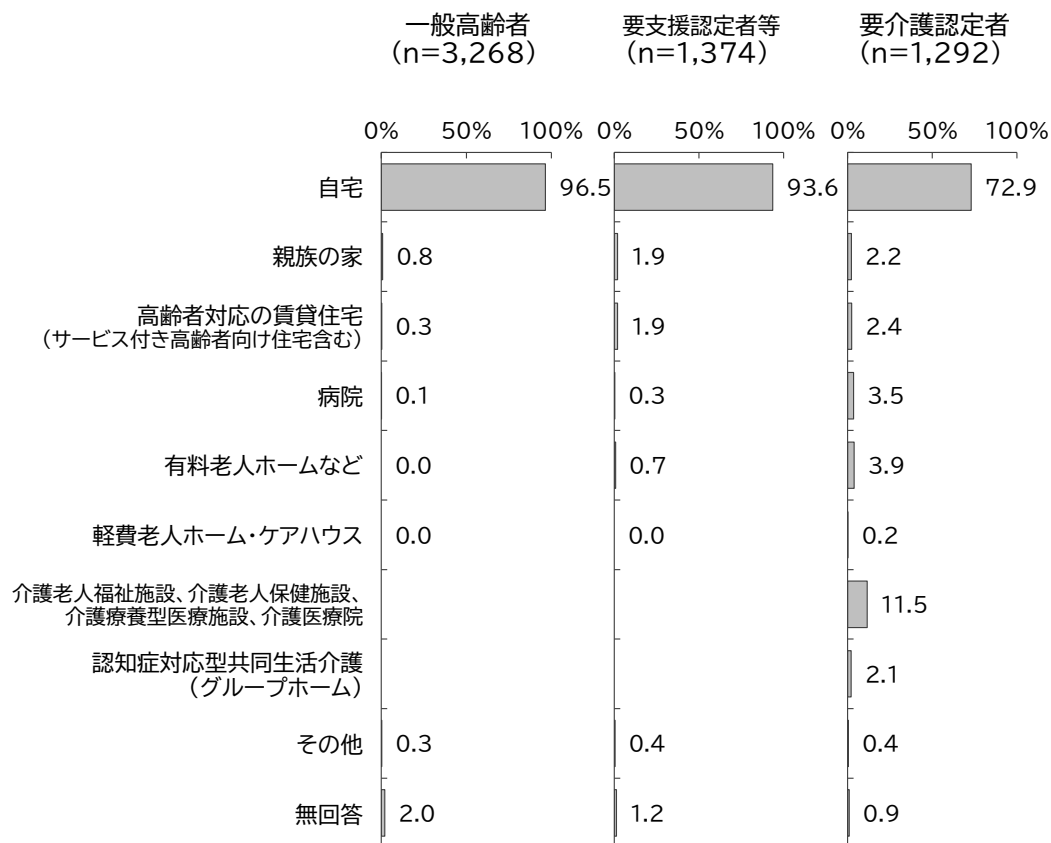
【要介護認定者】

記入者別にみると、「調査対象者ご本人」で「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」が23.6%と3割を下回って少なく、「主な介護者の家族・親族」で「在宅での介護を支えるための施策の充実」が52.5%と半数を超えて多くなっている。また、「主な介護者以外の家族・親族」で「自宅で生活するための介護保険サービスの種類の拡大」、「ケアマネジャーなどの資質の向上」が多く、「グループホームなどの地域に密着した小規模施設の増設」が6.7%と1割を下回って少なくなっている。

《一般高齢者：問39・要支援認定者等：問4・要介護認定者：問4》

現在、どこで暮らしていますか。(単数回答)

【単純集計】



※一般高齢者及び要支援認定者等の調査では、「介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院」、「認知調対応型共同生活介護（グループホーム）」という選択肢はない。

現在暮らしている場所は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「自宅」が7割を超えて突出している。一方で、「自宅」は要介護認定者において72.9%と一般高齢者・要支援認定者等より少なく、代わりに「介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院」が11.5%と約1割で多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】

	調査数（人）	現在暮らしている場所（%）							
		自宅	親族の家	高齢者対応の賃貸住宅 （サービス付き高齢者向け住宅含む）	有料老人ホームなど	軽費老人ホーム・ケアハウス	病院	その他	無回答
全体	1,374	93.6	1.9	1.9	0.7	0.0	0.3	0.4	1.2
要支援度別	総合事業対象者	233	97.4	0.9	0.4	0.4	0.0	0.0	0.9
	要支援1	523	93.3	1.7	2.1	1.0	0.0	0.6	1.1
	要支援2	611	92.3	2.5	2.3	0.5	0.0	0.2	1.5

	調査数（人）	現在暮らしている場所（%）										
		自宅	親族の家	高齢者対応の賃貸住宅 （サービス付き高齢者向け住宅含む）	有料老人ホームなど	軽費老人ホーム・ケアハウス	病院	介護老人福祉施設、 介護療養型医療施設、 介護老人保健施設、 （グループホーム）	認知症対応型共同生活介護	その他	無回答	
全体	1,292	72.9	2.2	2.4	3.9	0.2	3.5	11.5	2.1	0.4	0.9	
要介護度別	要介護1	452	86.7	3.1	2.4	2.0	0.0	1.3	1.8	1.3	0.4	0.9
	要介護2	329	83.9	2.1	1.8	3.6	0.0	2.1	1.8	2.1	0.9	1.5
	要介護3	212	66.0	1.9	2.8	4.2	0.5	3.3	15.6	4.7	0.0	0.9
	要介護4	163	50.3	0.6	3.7	6.7	0.6	3.1	32.5	2.5	0.0	0.0
	要介護5	128	38.3	2.3	1.6	5.5	0.0	15.6	36.7	0.0	0.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

要支援度別にみると、大きな差異はみられない。

【要介護認定者】

要介護度別にみると、《要介護4》・《要介護5》で「介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院」が3割を超えて多くなっている。また、《要介護5》で「自宅」が38.3%と4割を下回って少なく、「病院」が15.6%と1割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者（自宅 居住者のみ）：日常生活圏域別】

日常生活圏域別	世帯構成 (%)					調査数 (人)	現在治療中、または後遺症のある病気 (抜粋) (%)							要介護度 (%)				
	ひとり暮らし	夫婦二人暮らし (配偶者は65歳以上)	夫婦二人暮らし (配偶者は64歳以下)	子と同居	その他		認知症 (アルツハイマー病等)	糖尿病	筋骨格の病気 (骨粗しょう症等)	心臓病	目の病気	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	変形性関節疾患	調査数 (人)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4
全体	18.7	30.1	3.3	42.5	4.3	939	21.5	18.0	17.8	17.0	16.8	16.2	10.6	41.6	29.3	14.9	8.7	5.2
下鶴間・つぎみ野地区	15.3	38.7	3.6	38.0	4.4	137	19.7	16.1	15.3	20.4	13.9	15.3	8.0	47.4	27.7	8.8	11.7	4.4
中央林間地区	17.8	35.6	2.2	38.9	3.3	90	22.2	11.1	21.1	13.3	11.1	8.9	6.7	45.6	27.8	10.0	7.8	8.9
南林間地区	21.5	28.9	5.0	40.5	3.3	121	19.8	16.5	19.8	16.5	19.0	17.4	11.6	43.8	24.0	18.2	8.3	5.8
鶴間地区	27.8	26.9	1.9	36.1	5.6	108	22.2	23.1	16.7	13.9	21.3	16.7	11.1	44.4	34.3	11.1	5.6	4.6
深見・大和地区	15.1	30.1	6.5	41.9	5.4	93	24.7	15.1	26.9	17.2	12.9	21.5	9.7	31.2	26.9	22.6	14.0	5.4
上草柳地区	23.1	25.0	5.8	44.2	1.9	52	11.5	17.3	11.5	23.1	17.3	15.4	9.6	36.5	23.1	19.2	13.5	7.7
中央地区	14.6	25.6	1.2	52.4	4.9	82	15.9	24.4	18.3	12.2	19.5	19.5	15.9	50.0	29.3	9.8	6.1	4.9
桜丘地区	14.8	22.2	0.0	57.4	5.6	54	27.8	16.7	11.1	24.1	20.4	9.3	11.1	42.6	27.8	18.5	5.6	5.6
和田地区	27.1	30.5	0.0	35.6	6.8	59	16.9	27.1	11.9	16.9	13.6	16.9	15.3	45.8	30.5	15.3	5.1	3.4
福田北地区	18.5	24.1	5.6	51.9	0.0	54	31.5	20.4	25.9	18.5	14.8	14.8	9.3	33.3	42.6	13.0	9.3	1.9
福田南地区	12.4	32.6	3.4	43.8	4.5	89	25.8	14.6	13.5	15.7	21.3	19.1	11.2	31.5	33.7	22.5	7.9	4.5

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要介護認定者】

日常生活圏域別・世帯構成別にみると、《鶴間地区》・《和田地区》における「ひとり暮らし」が27%台と、全体平均より8.4~9.1ポイント高くなっている。また、《桜丘地区》における「子と同居」で57.4%と、全体平均より14.9ポイント高くなっている。

日常生活圏域別・現在治療中、または後遺症のある病気別にみると、《福田北地区》における「認知症（アルツハイマー病等）」で31.5%と、全体平均より10.0ポイント高くしている。

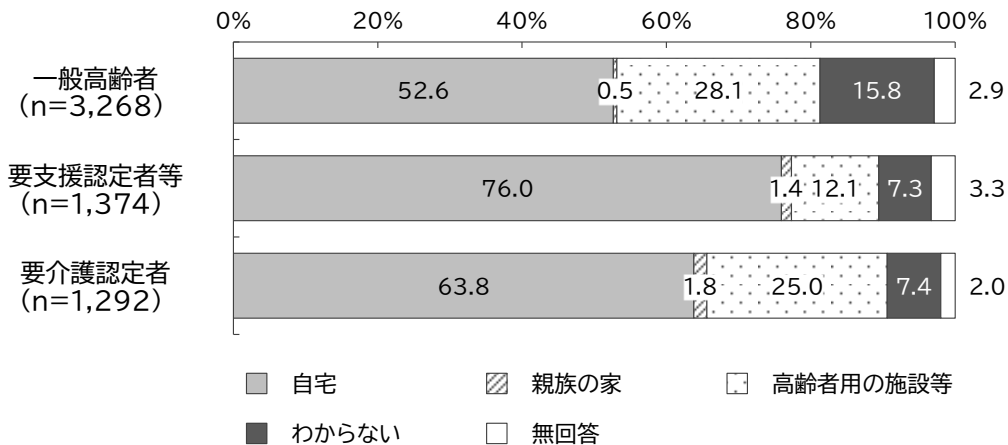
日常生活圏域別・要介護度別にみると、《福田北地区》における「要介護2」で42.6%と、全体平均より13.3ポイント高くなっている。

《一般高齢者：問40・要支援認定者等：問5・要介護認定者：問5》

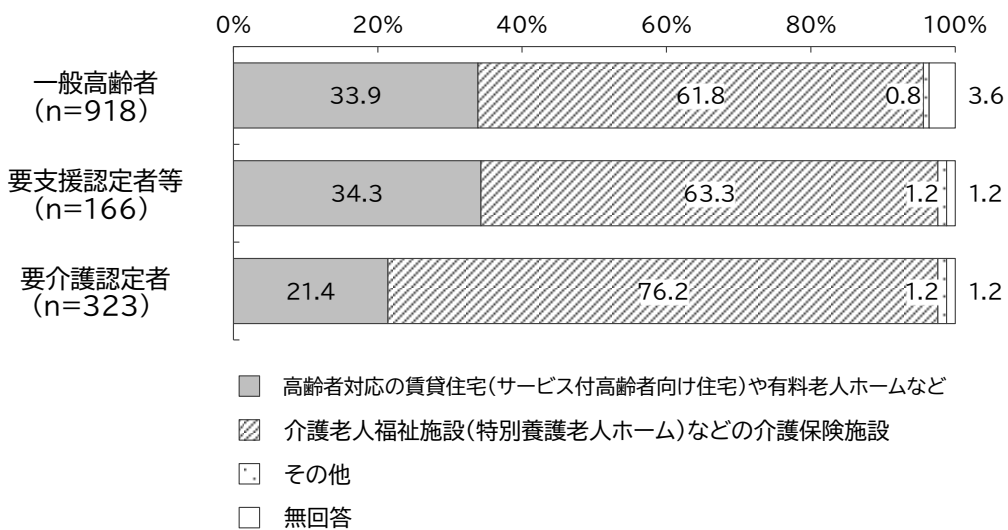
今後、どこで暮らしていきたいですか。（単数回答）

【単純集計】

今後暮らしたい場所 ※一般高齢者は「介護が必要になったら」という前提での設問



希望する施設の種類（「高齢者用の施設等」のみ）

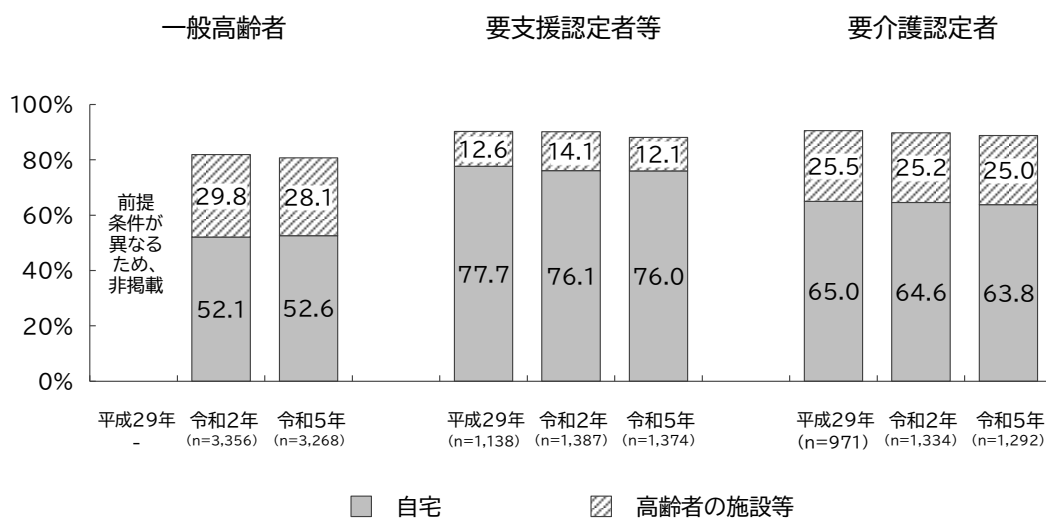


※その他の具体的な内容（抜粋）：病院、その時の状況による 等

今後暮らしたい場所は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「自宅」が半数を超えて最も多く、「高齢者用の施設等」、「わからない」が続く。一方で、「自宅」は要支援認定者等において76.0%と一般高齢者・要介護認定者より多くなっている。

『高齢者用の施設等』と回答した方が希望する施設の種類は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険施設」が6割を超えて最も多く、「高齢者対応の賃貸住宅（サービス付高齢者向け住宅）や有料老人ホームなど」、「その他」が続く。一方で、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険施設」は要介護認定者において76.2%と一般高齢者・要支援認定者等より多くなっている。

【経年比較】



※平成29年調査において、一般高齢者で「介護が必要になった場合」という前提を付記していないため、比較しない。

前回、前々回と比較してみると、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「自宅」が半数以上を占める傾向にある。特に要支援認定者等は「自宅」を希望している方が7割以上で推移しており、要介護認定者よりも在宅生活を希望している方が多いことがわかる。



【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別・世帯構成別・暮らしの状況別・現住まい別】

	調査数（人）	介護が必要になったときに、暮らしていきたい場所（%）						
		自宅	親族の家	高齢者用の施設等	わからない	無回答		
一般高齢者	全体	3,268	52.6	0.5	28.1	15.8	2.9	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	505	55.6	0.0	26.1	15.6	2.6	
	中央林間地区	294	50.7	0.3	32.3	13.6	3.1	
	南林間地区	398	54.3	0.0	28.6	14.3	2.8	
	鶴間地区	344	48.8	0.9	28.5	18.9	2.9	
	深見・大和地区	328	47.0	0.3	30.8	20.1	1.8	
	上草柳地区	182	52.2	1.1	25.3	19.8	1.6	
	中央地区	258	54.3	0.4	26.0	15.1	4.3	
	桜丘地区	166	56.0	1.2	26.5	13.3	3.0	
	和田地区	229	52.0	0.9	29.3	14.8	3.1	
	福田北地区	205	49.8	0.5	30.2	17.1	2.4	
	福田南地区	345	57.4	1.2	25.2	11.6	4.6	
	世帯構成別	ひとり暮らし	588	33.3	1.4	37.2	24.7	3.4
		夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	1,309	58.4	0.4	26.0	12.1	3.1
夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）		174	61.5	0.0	21.8	16.1	0.6	
子と同居		1,043	55.6	0.2	25.8	15.8	2.6	
その他		128	48.4	1.6	34.4	11.7	3.9	
暮らしの状況別		大変苦しい	201	48.8	0.5	21.9	26.9	2.0
	やや苦しい	720	52.5	1.1	25.0	19.0	2.4	
	ふつう	1,985	53.4	0.3	28.3	15.1	3.0	
	ややゆとりがある	236	52.1	0.4	40.7	5.5	1.3	
	大変ゆとりがある	49	61.2	0.0	30.6	6.1	2.0	
現住まい別	自宅	3,153	54.4	0.4	27.8	15.6	1.8	
	親族の家	27	3.7	11.1	51.9	33.3	0.0	

	調査数（人）	今後、暮らしていきたい場所（%）						
		自宅	親族の家	高齢者用の施設等	わからない	無回答		
要支援認定者等	全体	1,374	76.0	1.4	12.1	7.3	3.3	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	205	82.9	2.4	6.3	5.9	2.4	
	中央林間地区	139	71.9	2.9	12.9	8.6	3.6	
	南林間地区	150	71.3	1.3	15.3	8.0	4.0	
	鶴間地区	140	77.1	0.7	10.7	7.9	3.6	
	深見・大和地区	149	75.8	0.7	12.1	8.1	3.4	
	上草柳地区	79	78.5	0.0	17.7	3.8	0.0	
	中央地区	108	78.7	3.7	9.3	5.6	2.8	
	桜丘地区	71	78.9	1.4	8.5	9.9	1.4	
	和田地区	89	55.1	1.1	22.5	12.4	9.0	
	福田北地区	88	76.1	0.0	12.5	8.0	3.4	
	福田南地区	149	81.2	0.0	12.1	4.0	2.7	
	世帯構成別	ひとり暮らし	493	67.5	1.4	17.2	9.3	4.5
		夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	395	83.8	0.3	7.6	5.8	2.5
夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）		23	91.3	0.0	0.0	8.7	0.0	
子と同居		402	80.1	2.5	9.7	5.2	2.5	
その他		45	60.0	2.2	22.2	13.3	2.2	
暮らしの状況別		大変苦しい	125	66.4	0.8	11.2	18.4	3.2
	やや苦しい	387	71.1	1.8	16.0	8.0	3.1	
	ふつう	757	80.2	1.3	9.9	5.5	3.0	
	ややゆとりがある	68	79.4	0.0	14.7	1.5	4.4	
	大変ゆとりがある	4	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
現住まい別	自宅	1,286	80.1	0.5	10.3	6.5	2.6	
	親族の家	26	7.7	46.2	19.2	11.5	15.4	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【一般高齢者】  
 日常生活圏域別にみると、大きな差異はみられない。  
 世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》で「自宅」が33.3%と4割を下回って少なく、「わからない」が24.7%と2割を超えて多くなっている。また、《ひとり暮らし》・《その他》で「高齢者用の施設等」が3割を超えて多くなっている。  
 暮らしの状況別にみると、《大変苦しい》で「自宅」が48.8%と半数を下回って少なく、「わからない」が26.9%と2割を超えて多くなっている。  
 現住まい別にみると、《自宅》で「自宅」が54.4%と半数以上で多く、《親族の家》で「親族の家」、「高齢者用の施設等」、「わからない」が多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別・世帯構成別・暮らしの状況別・現住まい別】

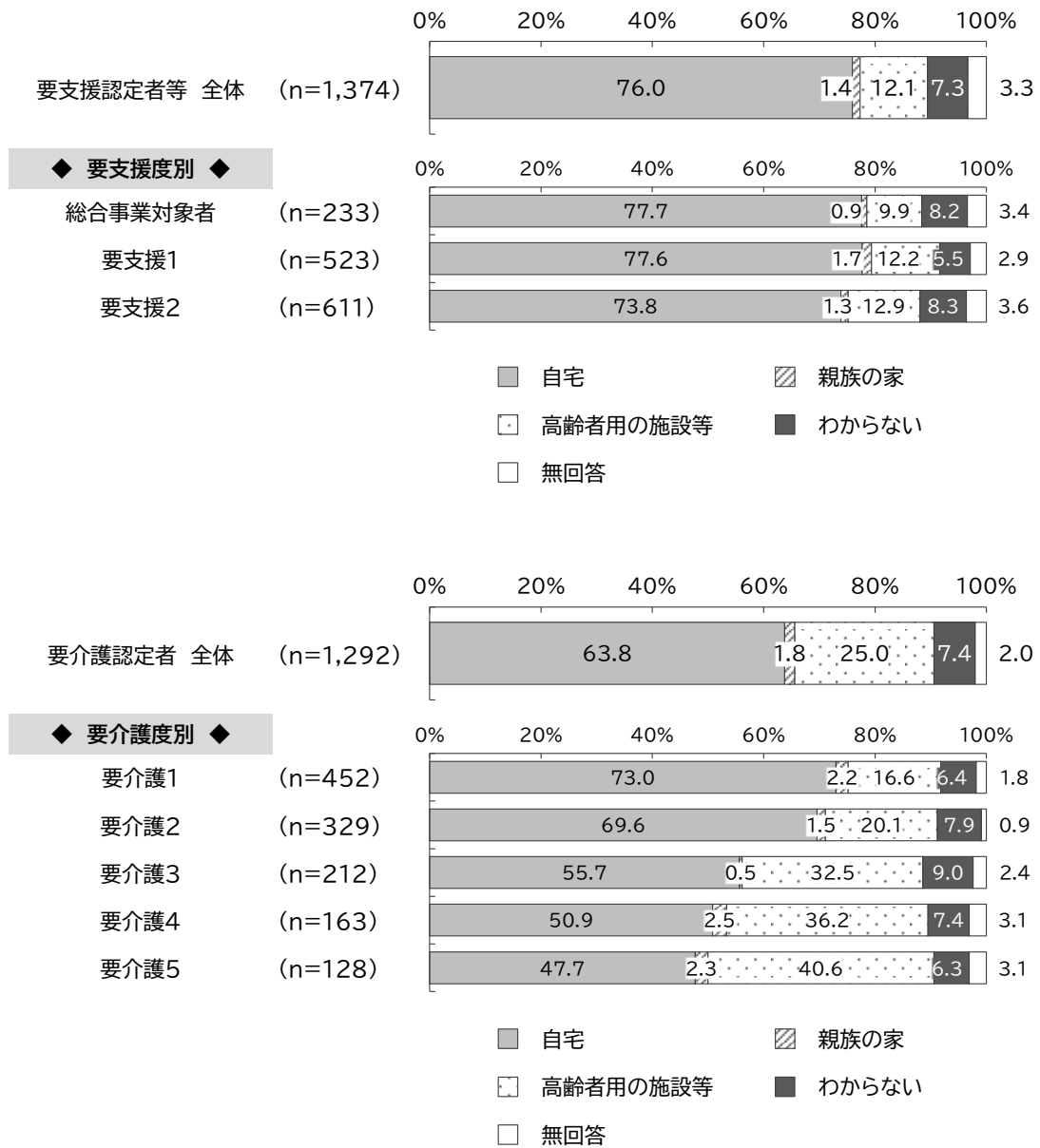
	調査数(人)	今後、暮らしていきたい場所(%)					
		自宅	親族の家	高齢者用の施設等	わからない	無回答	
全体	1,292	63.8	1.8	25.0	7.4	2.0	
日常生活圏域別	下鶴間・つきみ野地区	197	62.9	1.5	29.4	5.1	1.0
	中央林間地区	125	64.0	0.8	23.2	9.6	2.4
	南林間地区	161	62.7	1.9	26.7	8.1	0.6
	鶴間地区	139	64.0	1.4	26.6	5.8	2.2
	深見・大和地区	135	61.5	5.2	26.7	5.2	1.5
	上草柳地区	68	70.6	0.0	23.5	5.9	0.0
	中央地区	102	71.6	4.9	14.7	6.9	2.0
	桜丘地区	72	69.4	1.4	19.4	8.3	1.4
	和田地区	88	60.2	0.0	23.9	10.2	5.7
	福田北地区	81	58.0	0.0	30.9	7.4	3.7
福田南地区	116	62.9	0.9	23.3	10.3	2.6	
世帯構成別	ひとり暮らし	205	60.0	0.0	25.9	9.8	4.4
	夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)	309	77.0	0.0	14.9	6.1	1.9
	夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)	33	84.8	0.0	9.1	3.0	3.0
	子と同居	449	79.1	3.6	10.7	6.2	0.4
	その他	101	32.7	5.0	51.5	7.9	3.0
暮らしの状況別	大変苦しい	148	64.9	2.7	18.9	8.8	4.7
	やや苦しい	327	64.5	2.4	21.4	9.5	2.1
	ふつう	561	75.4	1.6	16.6	5.2	1.2
	ややゆとりがある	48	77.1	0.0	16.7	6.3	0.0
	大変ゆとりがある	11	72.7	0.0	27.3	0.0	0.0
現住まい別	自宅	942	80.6	0.1	12.5	5.7	1.1
	親族の家	29	0.0	65.5	20.7	13.8	0.0

【要支援認定者等】  
 日常生活圏域別にみると、「和田地区」において「自宅」が55.1%と6割を下回って少なく、「高齢者用の施設等」、「わからない」が多くなっている。  
 世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)」において「自宅」が91.3%と約9割で多く、「その他」において「高齢者用の施設等」、「わからない」が多くなっている。  
 暮らしの状況別にみると、「大変苦しい」において「自宅」が66.4%と7割を下回って少なく、「わからない」が18.4%と約2割で多くなっている。また、「ふつう」において「高齢者用の施設等」が9.9%と1割を下回って少なくなっている。  
 現住まい別にみると、「自宅」において「自宅」が80.1%と約8割で多く、「親族の家」において「親族の家」、「高齢者用の施設等」、「わからない」が多くなっている。

【要介護認定者】  
 日常生活圏域別にみると、「福田北地区」において「自宅」が58.0%と6割を下回って少なく、「高齢者用の施設等」が30.9%と約3割で多くなっている。  
 世帯構成別にみると、「その他」において「自宅」が32.7%と4割を下回って少なく、「高齢者用の施設等」が51.5%と約半数で多くなっている。  
 暮らしの状況別にみると、「ふつう」・「ややゆとりがある」において「自宅」が7割を超えて多くなっている。  
 現住まい別にみると、「自宅」において「自宅」が80.6%と約8割で多く、「親族の家」において「親族の家」、「高齢者用の施設等」、「わからない」が多くなっている。

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】



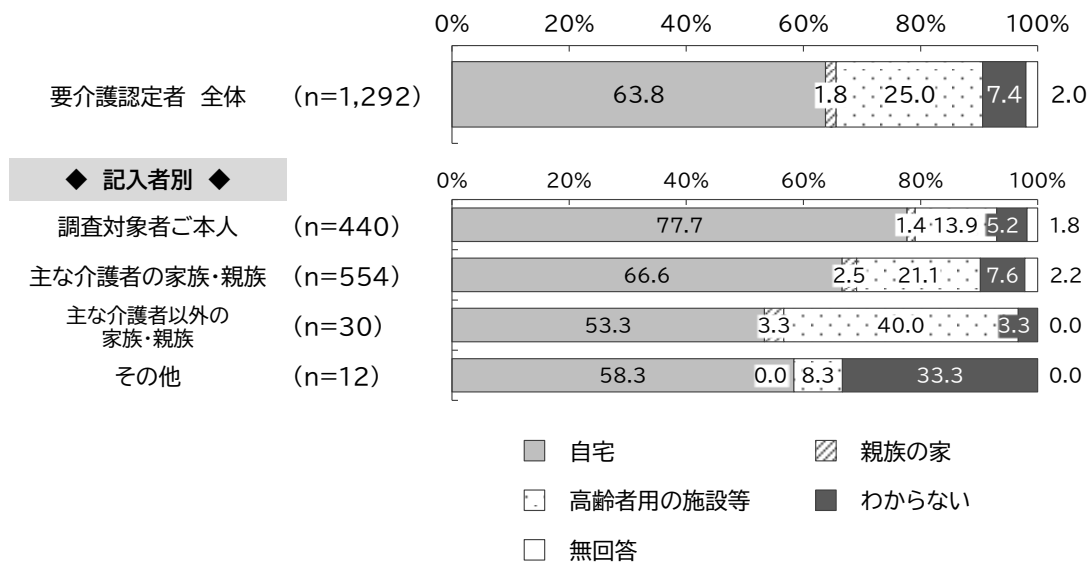
【要支援認定者等】

要支援度別にみると、大きな差異はみられない。

【要介護認定者】

要介護度別にみると、《要介護1》・《要介護2》で「自宅」が6割を超えて多く、《要介護5》で「高齢者用の施設等」が40.6%と約4割で多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：記入者別】



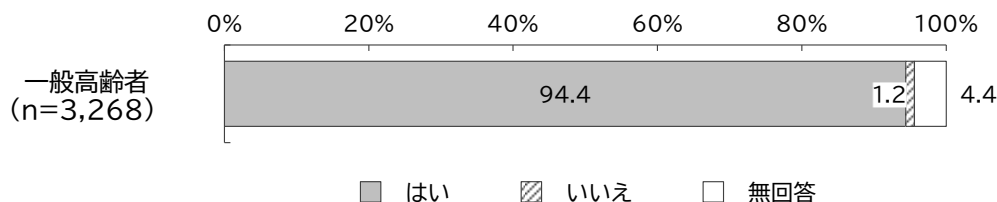
【要介護認定者】

記入者別にみると、「調査対象者ご本人」で「自宅」が77.7%と8割近くで多く、「主な介護者以外の家族・親族」で「高齢者用の施設等」が40.0%と4割で多くなっている。

《一般高齢者：問 41》

介護が必要になったときに、あなたは介護保険の認定申請を行いますか。(単数回答)

【単純集計】



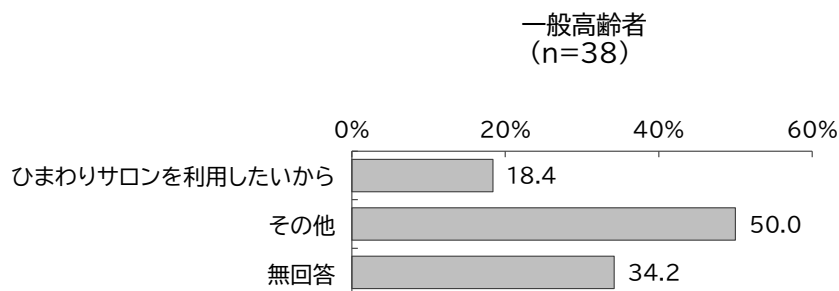
介護が必要になったときに介護保険の認定申請を行うかは、「はい」が 94.4%と突出している。

一般高齢者：問 41 で「いいえ」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 41-1》

介護保険の認定申請しない理由は何ですか。(複数回答可)

【単純集計】



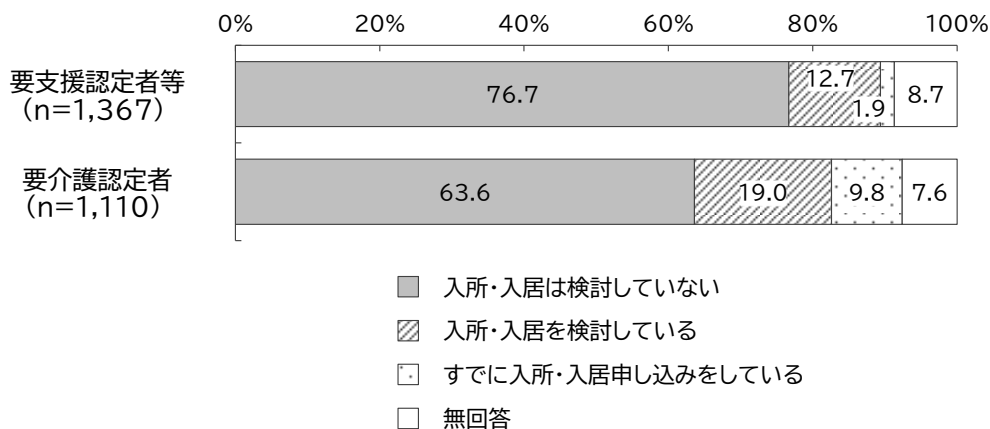
※その他の具体的な内容（抜粋）：他人の世話になりたくない、家族にみてもらう 等

介護保険の認定申請をしない理由は、「その他」が 50.0%と半数で最も多く、次いで「ひまわりサロンを利用したいから」が 18.4%となっている。

《要支援認定者等：問 41・要介護認定者：問 11》

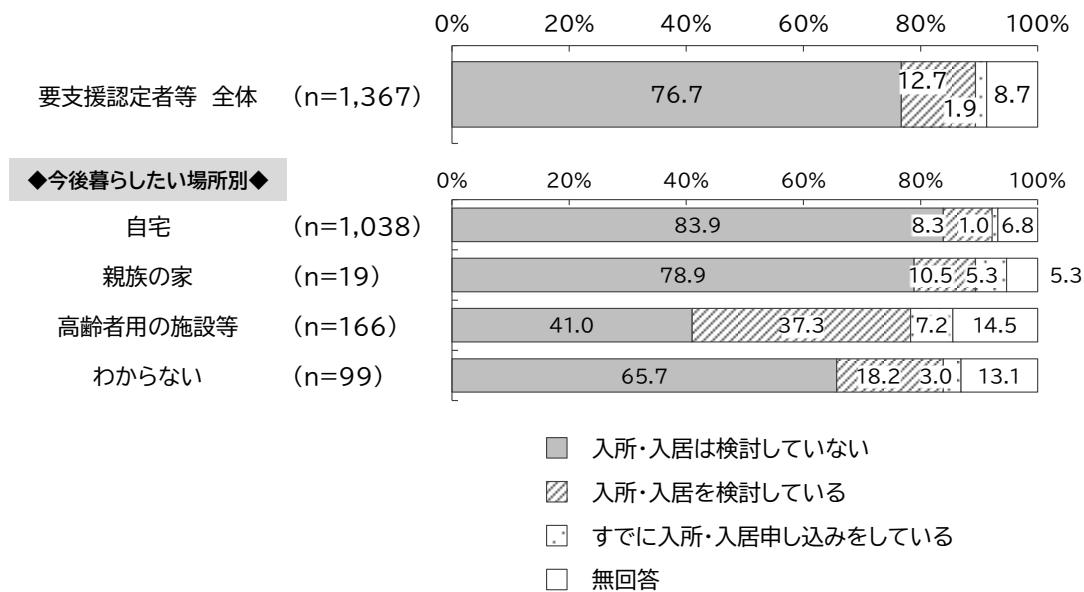
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(単数回答)

【単純集計】

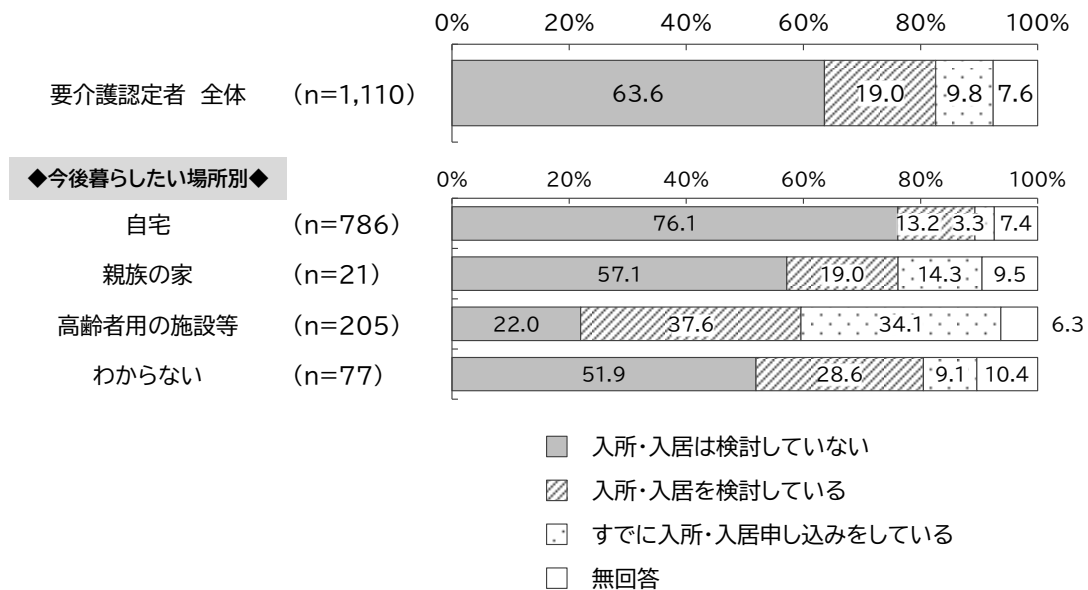


施設等への入所・入居の検討状況は、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「入所・入居は検討していない」が6割を超えて最も多く、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」が続く。また、「入所・入居は検討していない」は一般高齢者の方が要支援認定者等より13.1ポイント低くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：今後暮らしたい場所別】



【クロス集計：要介護認定者：今後暮らしたい場所別】



【要支援認定者等】

今後暮らしたい場所別にみると、「高齢者用の施設等」で「入所・入居を検討している」が37.3%と4割近くで多くなっている。

【要介護認定者】

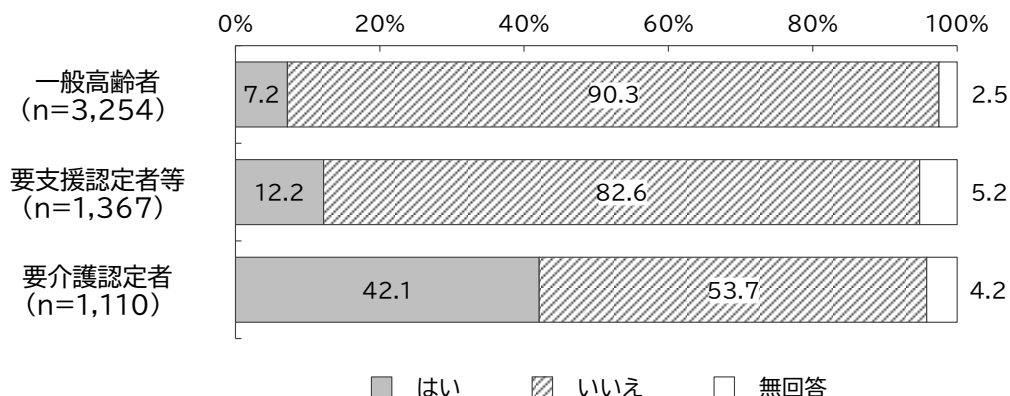
今後暮らしたい場所別にみると、「高齢者用の施設等」で「入所・入居を検討していない」が22.0%と3割を下回って少なく、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」が3割を超えて多くなっている。

## 9 認知症施策等について

《一般高齢者：問 42・要支援認定者等：問 42・要介護認定者：問 12》

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(単数回答)

【単純集計】

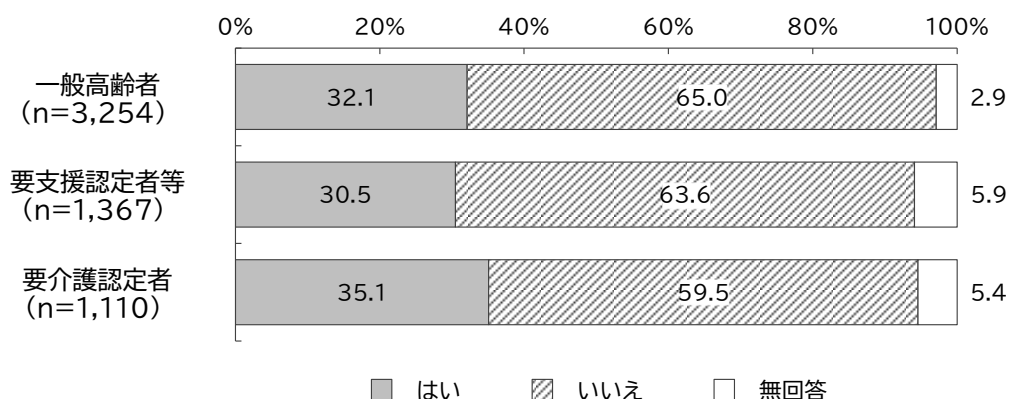


認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「いいえ」が半数を超えて多くなっている。一方で、「はい」は要介護認定者において 42.1%と 4 割を超えて多く、介護を必要とする状況になるほど多くなっている。

《一般高齢者：問 43・要支援認定者等：問 43・要介護認定者：問 13》

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

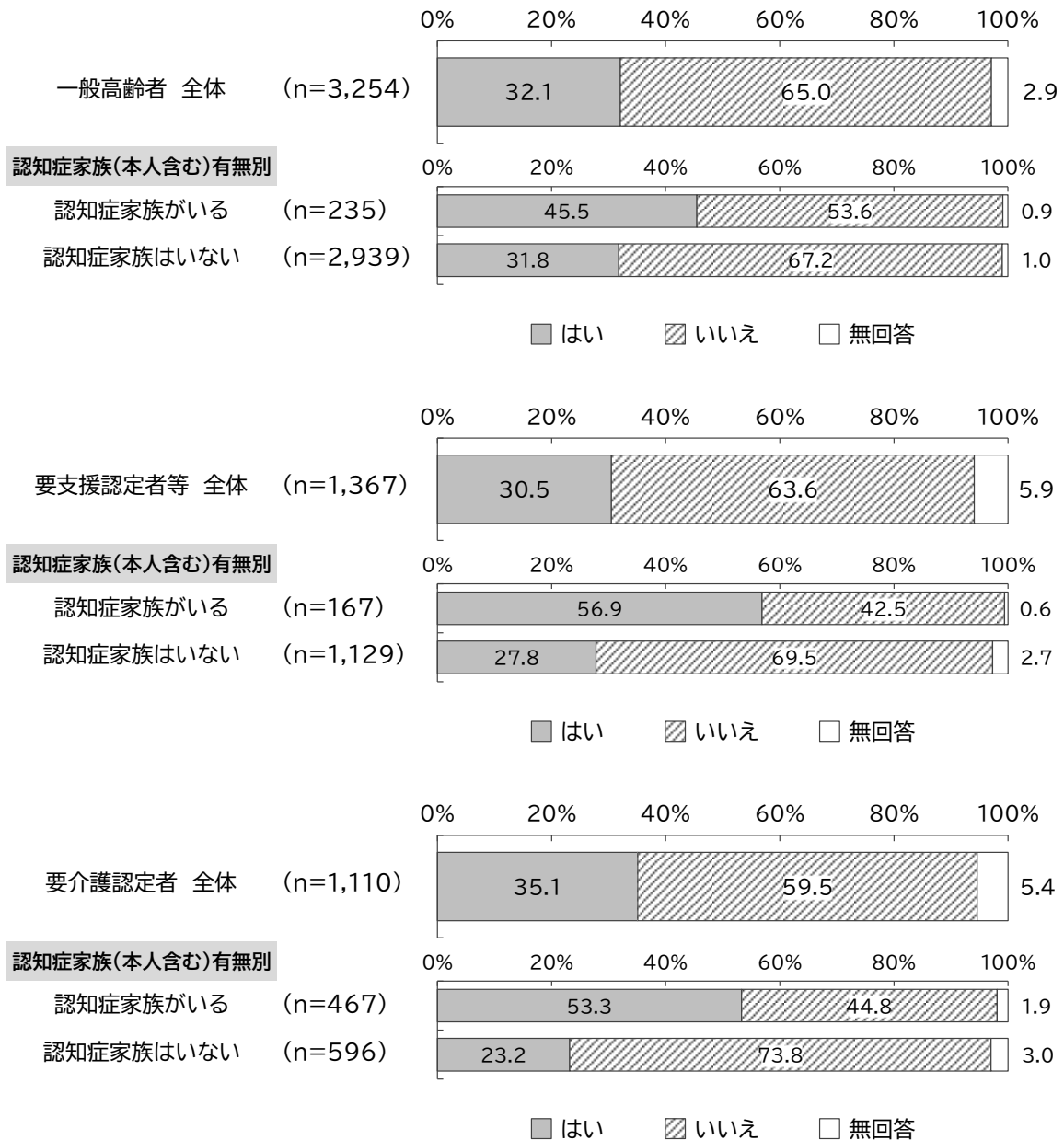
【単純集計】



認知症に関する相談窓口の認知状況は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「いいえ」が半数を超えて多くなっている。身近に認知症の人がいる割合が比較的少ない一般高齢者や要支援認定者等も要介護認定者と同等に相談窓口を認識している一方で、要介護認定者には十分に相談窓口が認識されていないことが懸念される。(参考 一般高齢者：問 42・要支援認定者等：問 42・要介護認定者：問 12)



【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：認知症の症状の有無別】



【一般高齢者】

認知症家族（本人含む）有無別にみると、「認知症家族がいる」で「はい（知っている）」が多く、「認知症家族はいない」とは 13.7 ポイントの差となっている。

【要支援認定者等】

認知症家族（本人含む）有無別にみると、「認知症家族がいる」で「はい（知っている）」が多く、「認知症家族はいない」とは 29.1 ポイントの差となっている。

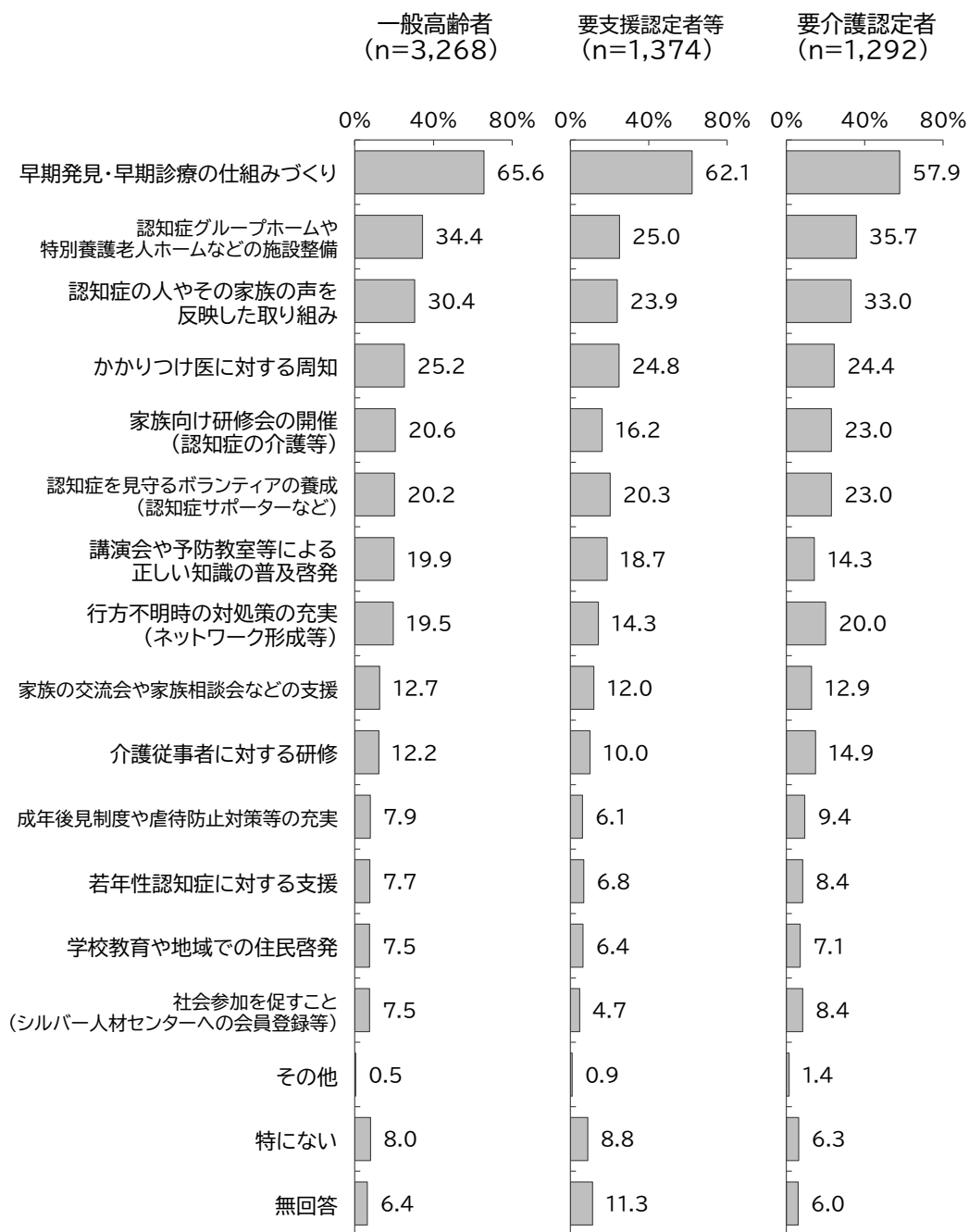
【要介護認定者】

認知症家族（本人含む）有無別にみると、「認知症家族がいる」で「はい（知っている）」が多く、「認知症家族はいない」とは 30.1 ポイントの差と、一般高齢者や要支援者よりも認知の差が最も多くなっている。

《一般高齢者：問 44・要支援認定者等：問 44・要介護認定者：問 14》

大和市が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。(複数回答可：5つまで)

【単純集計】



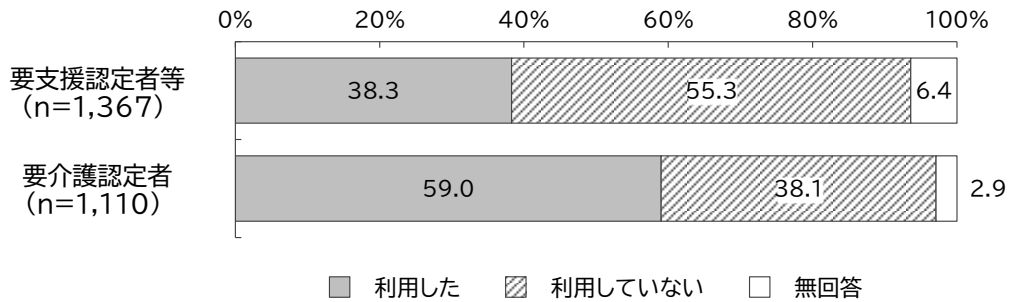
大和市が認知症施策を進めていくうえで、重点を置くべきと考えることは、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて類似した傾向がみられ、「早期発見・早期診療の仕組みづくり」が半数を超えて最も多く、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が続く。

## 10 介護保険サービス等について

《要支援認定者等：問 45・要介護認定者：問 15》

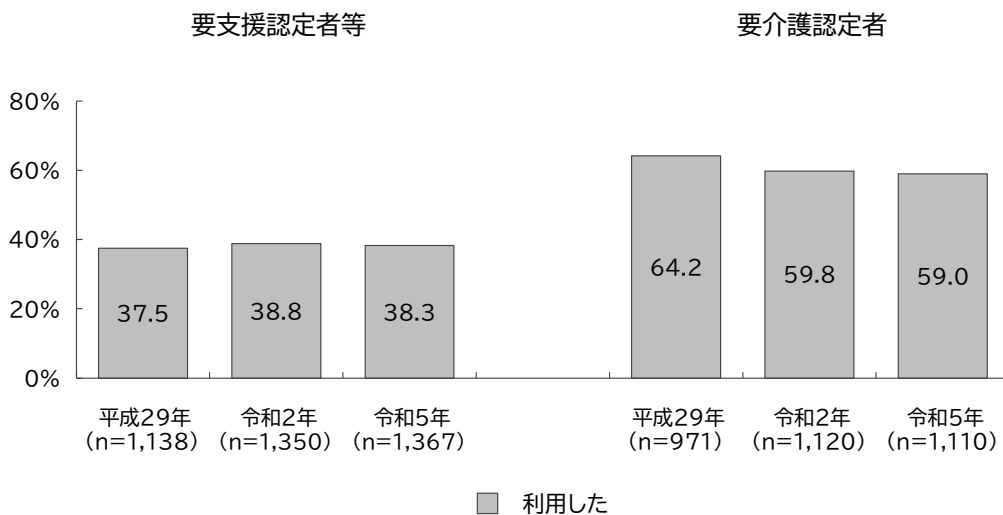
令和4年12月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス（介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防訪問型サービス、訪問型サービスA、介護予防通所型サービスを含む）を利用しましたか。（単数回答）

【単純集計】



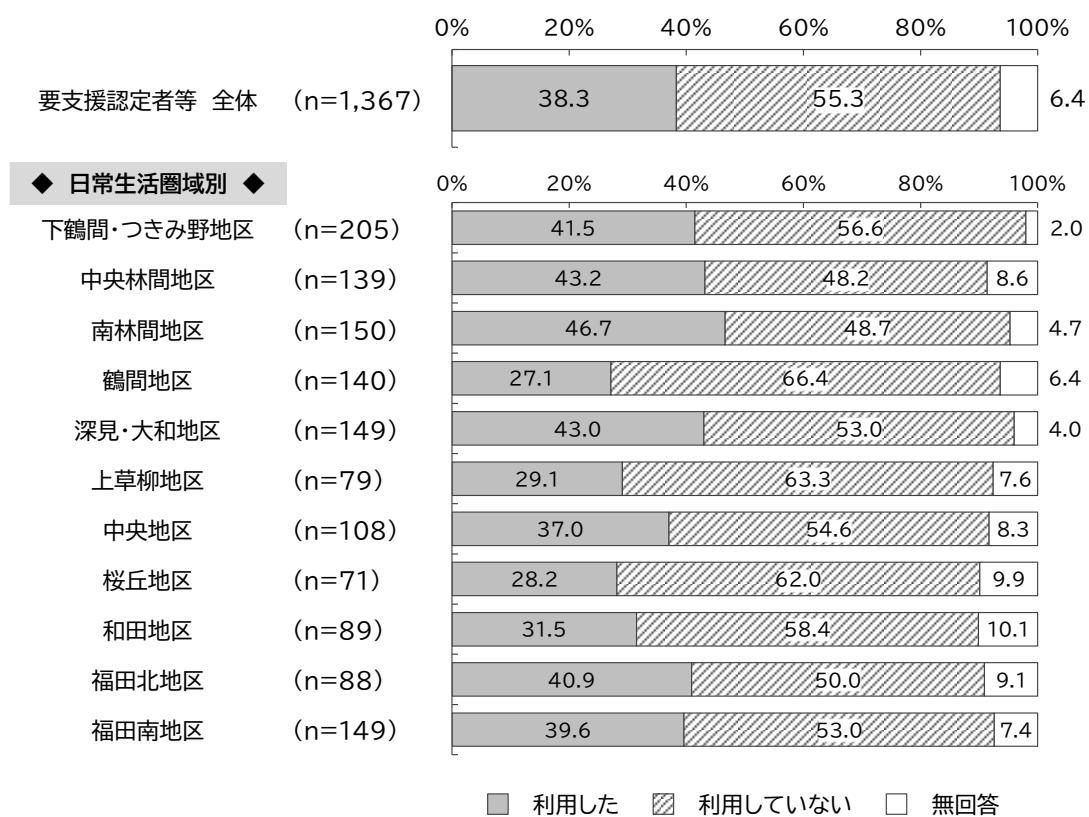
令和4年12月における住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況は、要支援認定者等において「利用していない」が55.3%半数を超えて多くなっているのに対し、要介護認定者においては「利用した」が59.0%と約6割で多くなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等において38%前後で推移しているのに対し、要介護認定者においては令和2年調査で6割を下回り、その後も横ばい傾向が続いている。元々要支援認定者等より介護保険サービスの必要性が高く、利用割合も高い要介護認定者は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による利用控え等があった可能性がある。

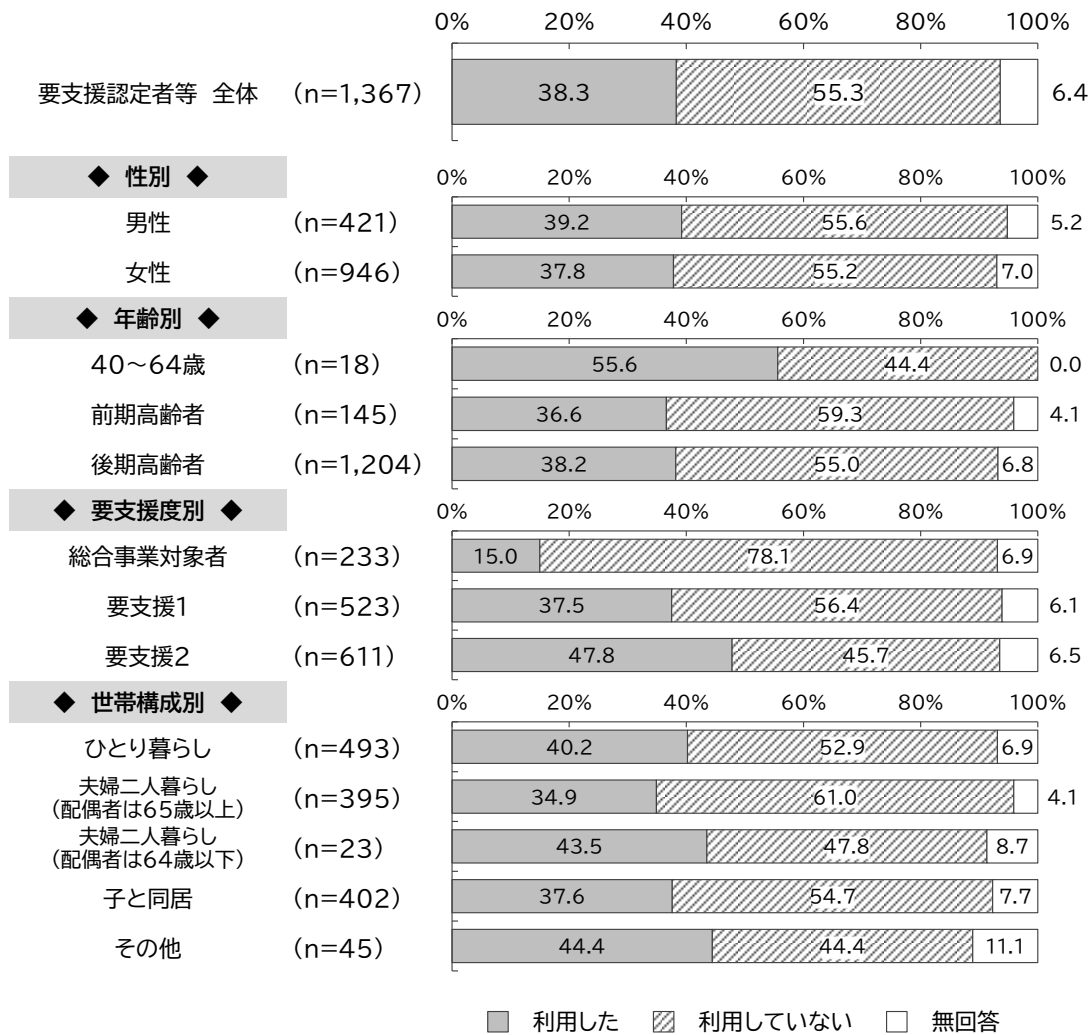
【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】



【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、《中央林間地区》・《南林間地区》で「利用していない」が半数を下回って少なく、《鶴間地区》・《上草柳地区》・《桜丘地区》で「利用した」が3割を下回って少なくなっている。

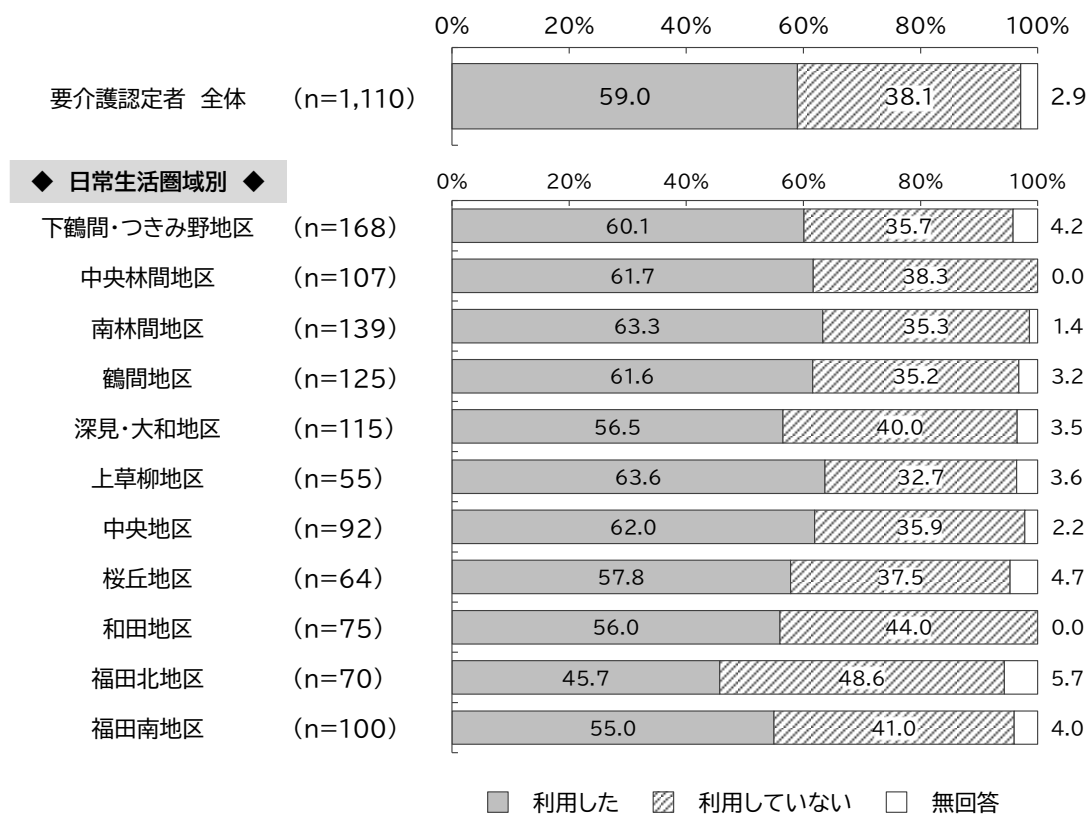
【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・要支援度別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

性別にみると、大きな差異はみられない。  
 年齢別にみると、大きな差異はみられない。  
 要支援度別にみると、要支援度が重くなるほど「利用した」が多くなっている。  
 世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》で「利用していない」が61.0%と約6割で多く、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》・《子と同居》で「利用した」が4割を下回って少なくなっている。

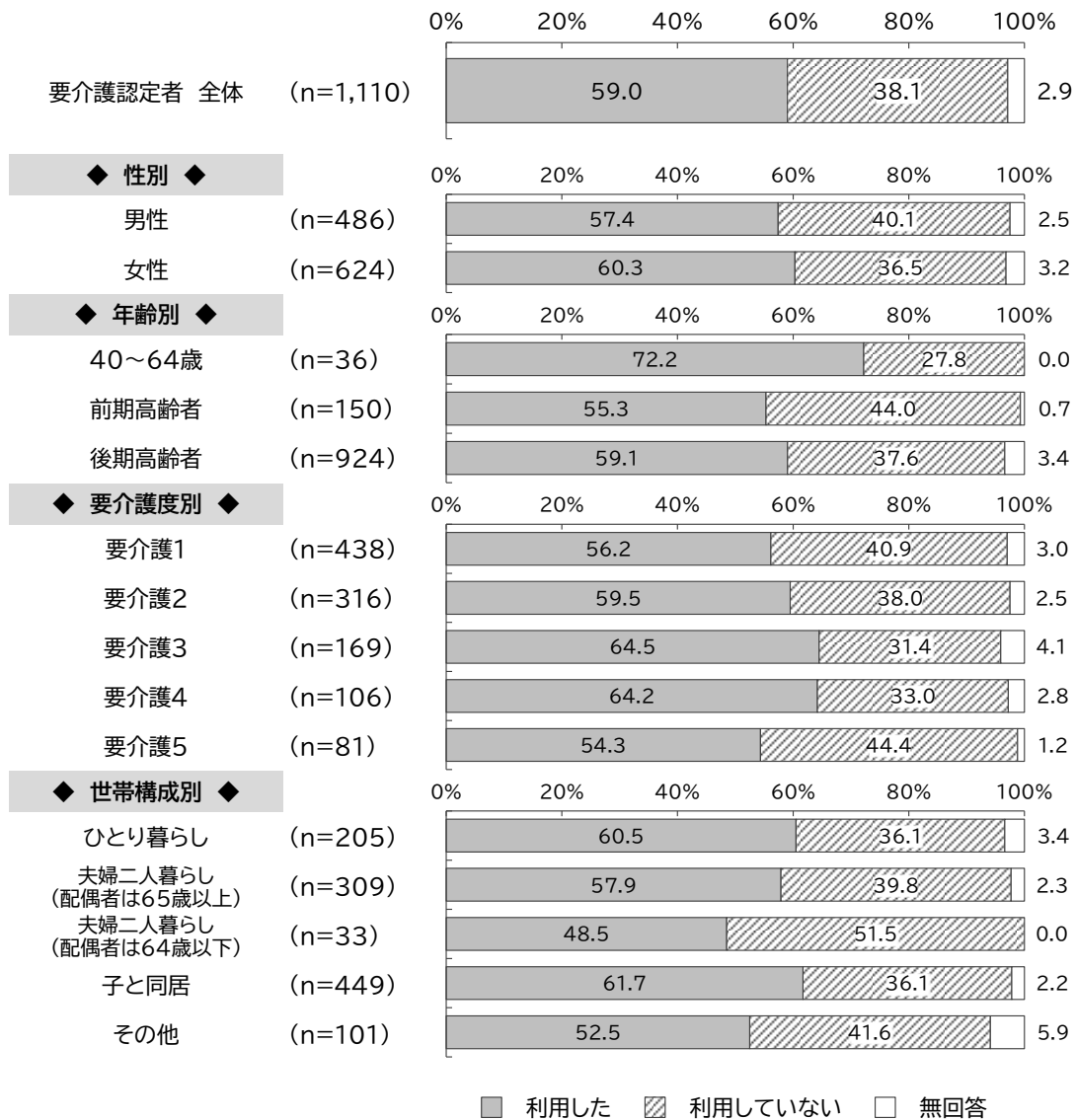
【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別】



【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、「深見・大和地区」・「和田地区」・「福田北地区」・「福田南地区」で「利用していない」が4割を超えて多く、「福田北地区」で「利用した」が45.7%と半数を下回って少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

性別にみると、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、《40～64歳》で「利用した」が72.2%と7割を超えて多く、《前期高齢者》で「利用していない」が44.0%と4割を超えて多くなっている。

要介護度別にみると、《要介護1》・《要介護5》で「利用していない」が4割を超えて多く、《要介護3》・《要介護4》で「利用した」が6割を超えて多くなっている。

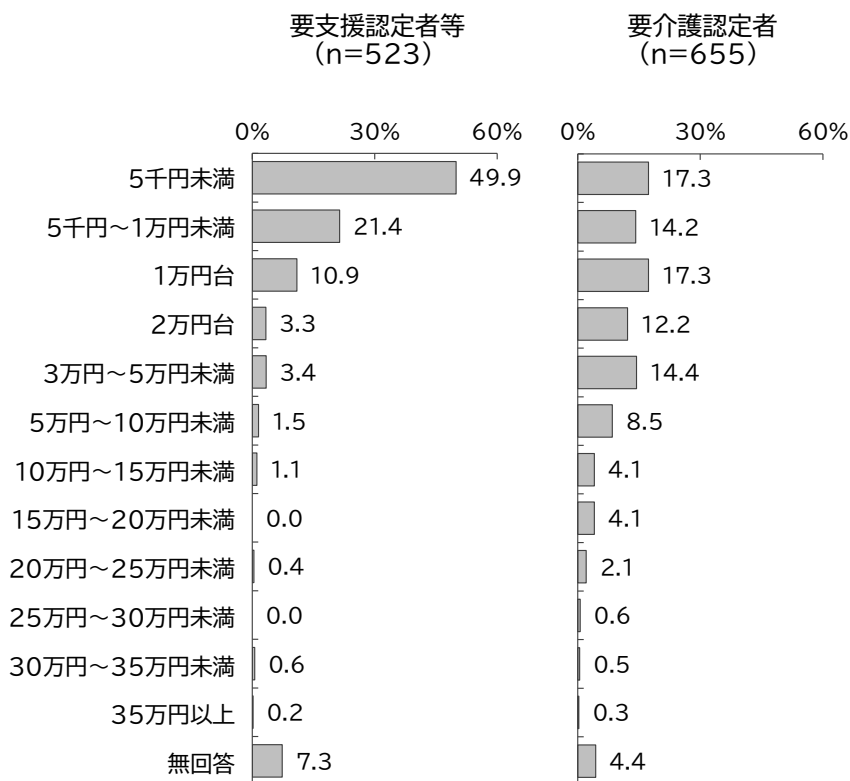
世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「利用した」が48.5%と約半数で少なく、「利用していない」が51.5%と約半数で少なくなっている。

要支援認定者等：問 45・要介護認定者：問 15 で「利用した」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 45-1・要介護認定者：問 15-1》

現在、利用している介護保険サービスに伴う利用者負担額と施設における居住費や光熱水費、通所介護（デイサービス）などにおける食費等を合わせた1か月あたりの支払総額の概算を教えてください。（単数回答）

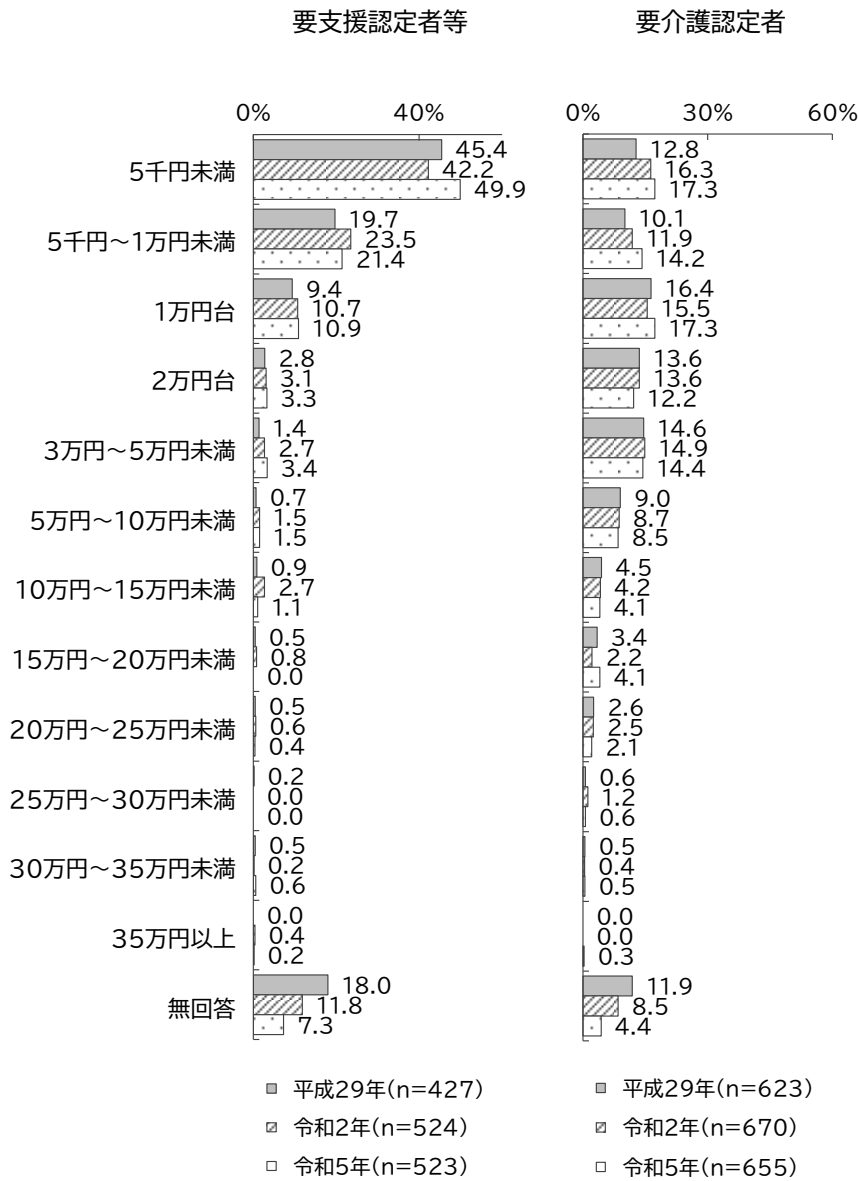
【単純集計】



介護保険サービスに伴う利用者負担額などの1か月あたりの支払総額は、要支援認定者等において「5千円未満」が49.9%と約半数で最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「5千円未満」、「1万円台」がそれぞれ17.3%と2割近くで最も多くなっている。また、『1万円未満（5千円未満+5千円～1万円未満）』は、要支援認定者等71.3%、要介護認定者31.5%と、要支援認定者等の方が39.8ポイント高くなっている。



【経年比較】



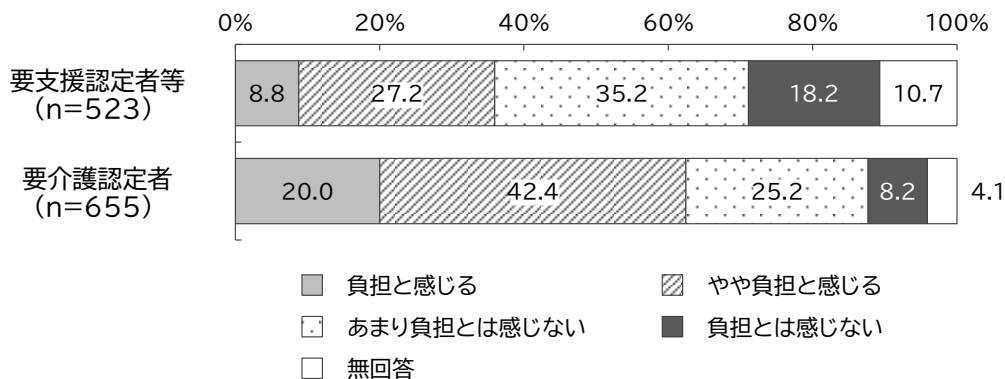
前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等・要介護認定者ともにそれぞれの負担額の区分の割合に大きな差異はみられない。『1万円未満（5千円未満＋5千円～1万円未満）』は、要支援認定者等・要介護認定者ともに増加傾向となっている。また、『1万円～5万円未満（1万円台＋2万円台＋3万円～5万円未満）』は、要支援認定者等において微増傾向、要介護認定者においては横ばい傾向となっている。これらを合算した『5万円未満』は、平成29年調査と比較して要支援認定者等で10.2ポイント上昇、要介護認定者で7.9ポイント上昇しており、負担額が減少していることがわかる。

要支援認定者等：問 45・要介護認定者：問 15 で「利用した」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 45-2・要介護認定者：問 15-2》

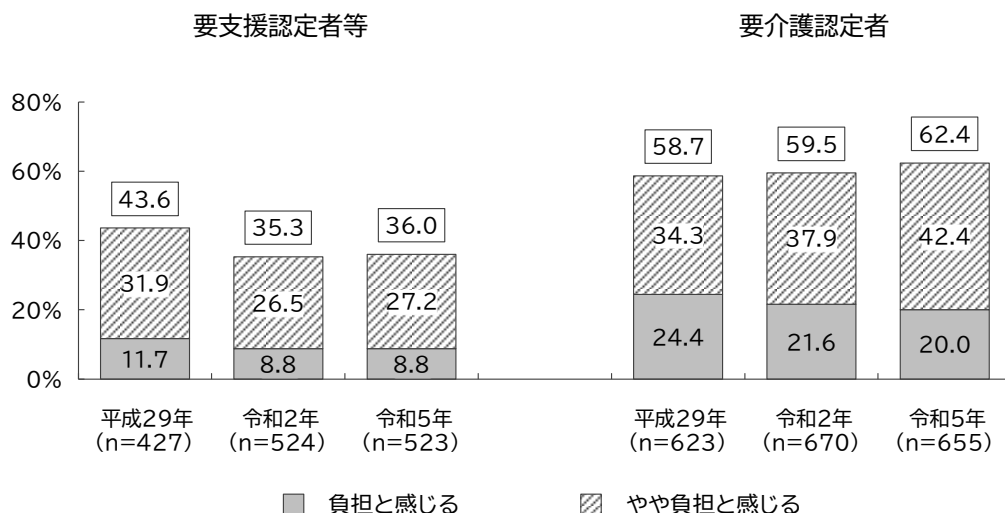
利用者負担の支払額について、どのようにお感じですか。(単数回答)

【単純集計】



利用者負担の支払額は、要支援認定者等において「あまり負担とは感じない」が35.2%と3割を超えて最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「やや負担と感じる」が42.4%と4割を超えて最も多くなっている。また、『負担(負担と感じる+やや負担と感じる)』は、要支援認定者等36.0%、要介護認定者62.4%と、要介護認定者の方が26.4ポイント高くなっている。

【経年比較】



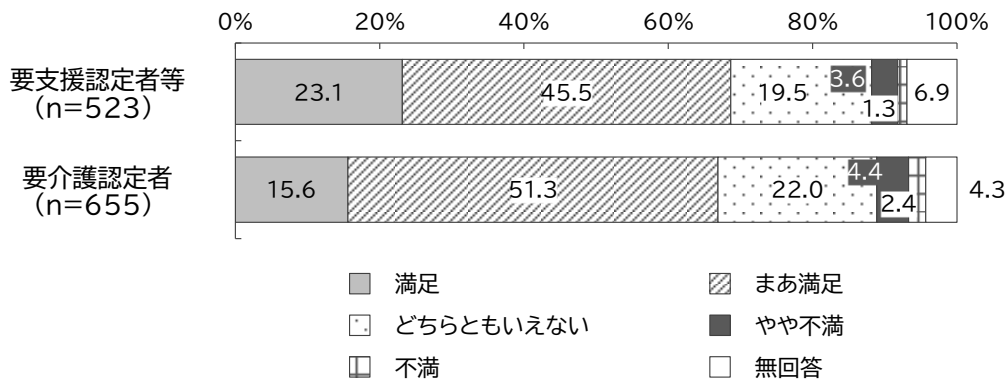
前回、前々回と比較してみると、『負担(負担と感じる+やや負担と感じる)』が要支援認定者等において令和2年に減少してから横ばい傾向にあるが、要介護認定者においては微増傾向にある。一方で、要支援認定者等・要介護認定者ともに「負担と感じる」は減少傾向にある。

要支援認定者等：問 45・要介護認定者：問 15 で「利用した」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 45-3・要介護認定者：問 15-3》

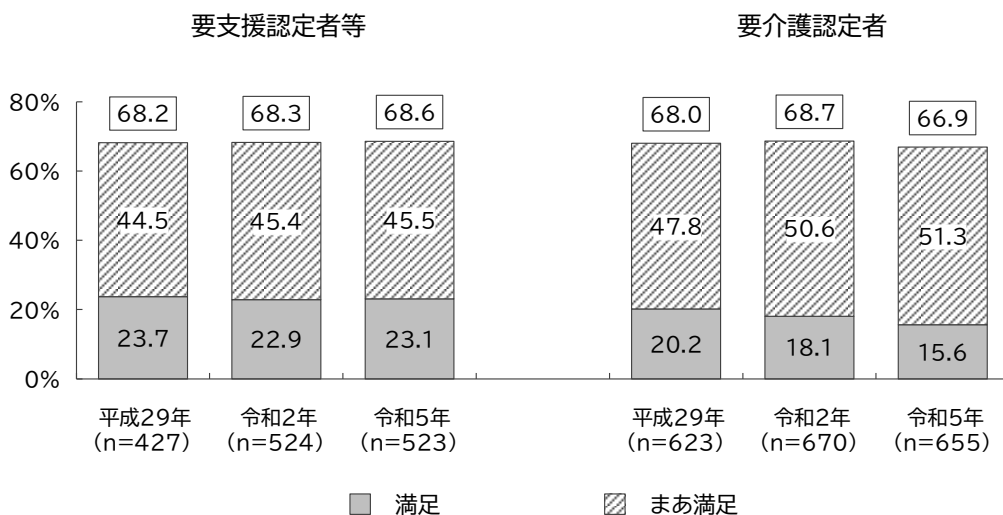
現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。  
(単数回答)

【単純集計】



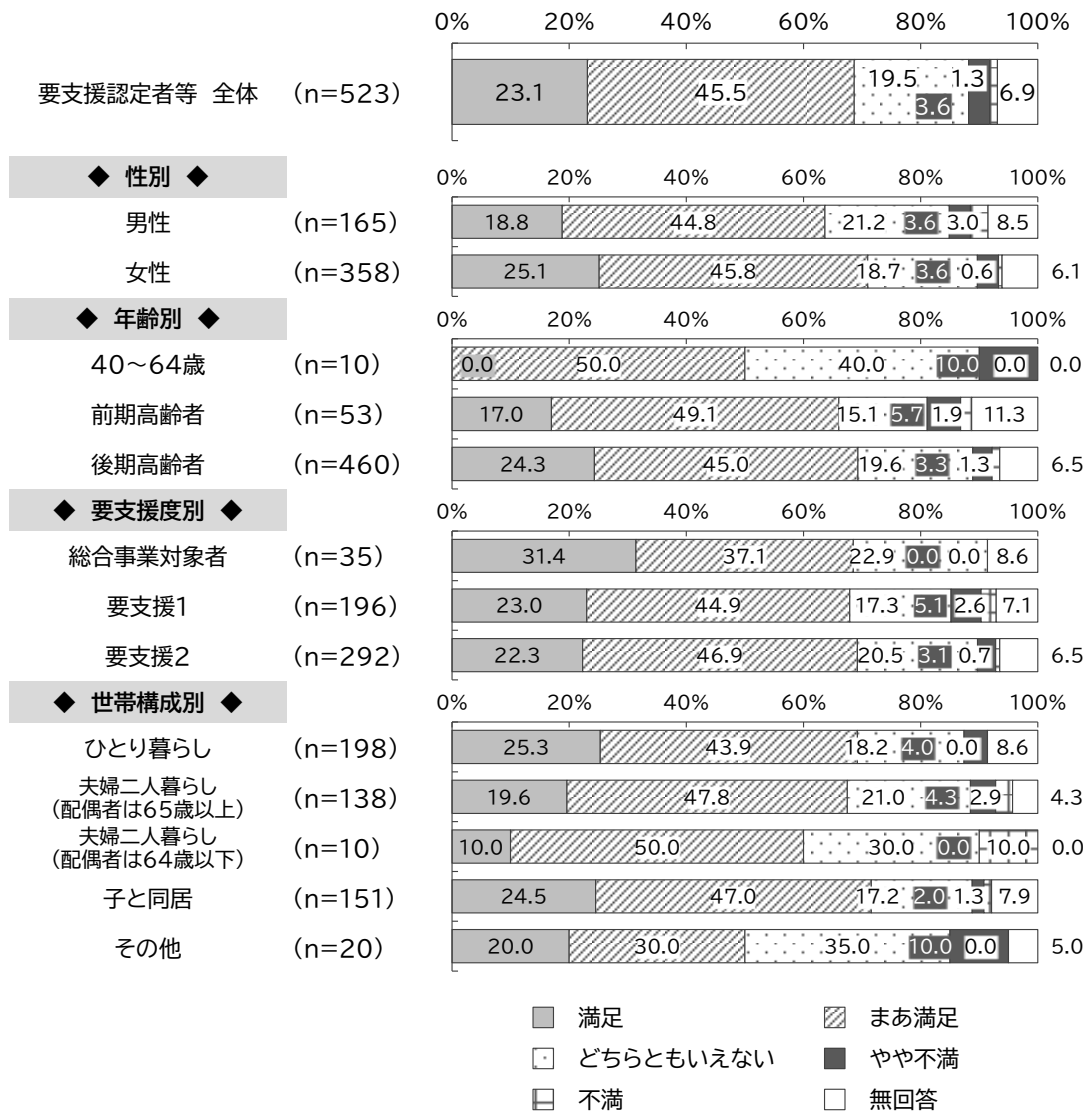
現在利用している介護保険サービス全体の満足状況は、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「まあ満足」が4割を超えて最も多くなっている。また、『満足（満足+まあ満足）』は、要支援認定者等 68.6%、要介護認定者 66.9%となっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、『満足（満足+まあ満足）』が要支援認定者等・要介護認定者ともに 68%前後で推移している。一方で、要介護認定者において「満足」は減少傾向にある。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・要支援度別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

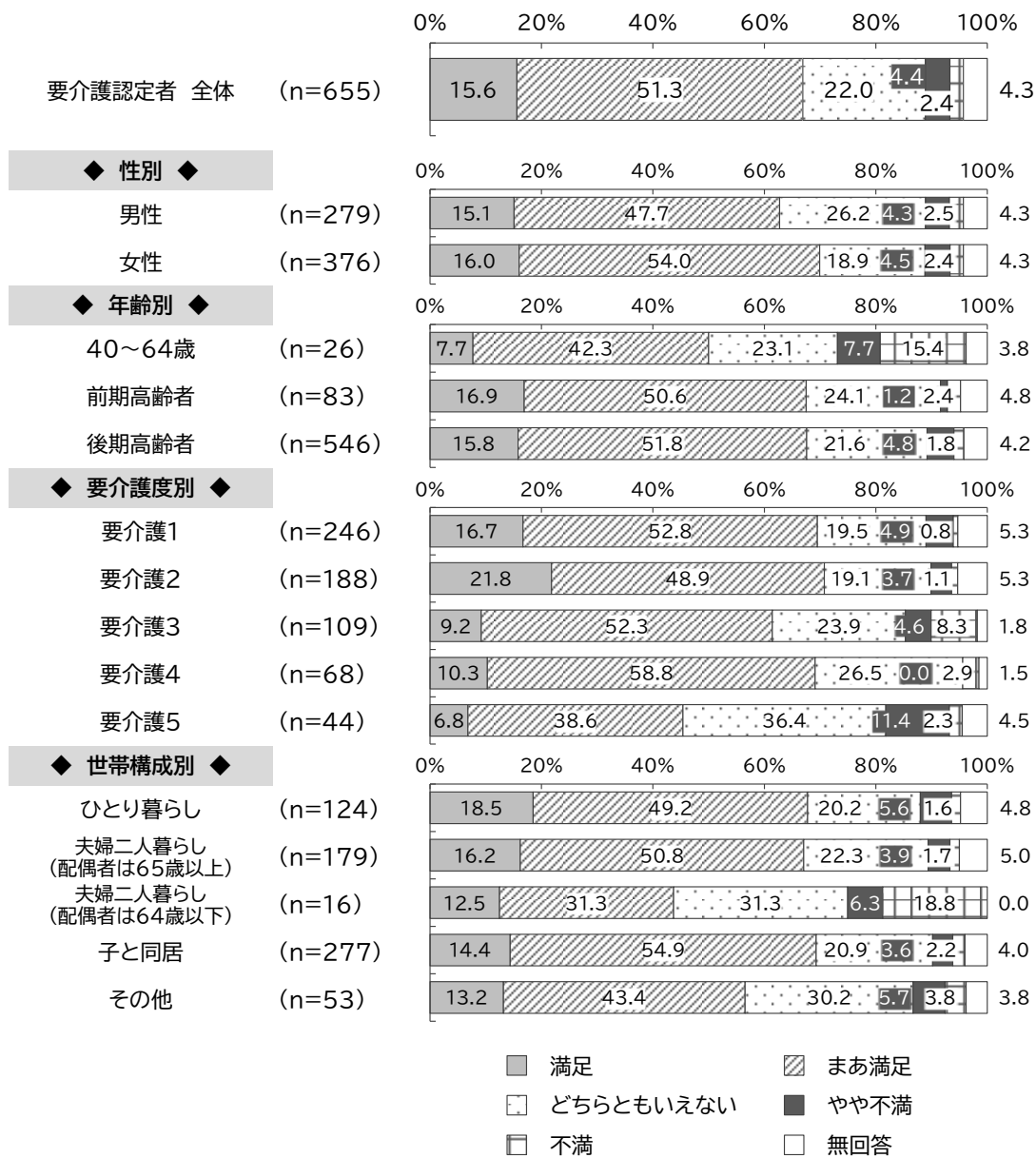
性別にみると、《女性》で「満足」が25.1%と2割を超えて多くなっている。また、『満足(満足+まあ満足)』は、《男性》63.6%、《女性》70.9%と、《女性》の方が7.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《後期高齢者》で「満足」が24.3%と2割を超えて多くなっている。また、『満足(満足+まあ満足)』は、《前期高齢者》66.1%、《後期高齢者》69.3%となっている。

要支援度別にみると、要支援度が高くなるほど「満足」が少なくなっている。また、『満足(満足+まあ満足)』は、《総合事業対象者》68.5%、《要支援1》67.9%、《要支援2》69.2%となっている。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)》で「満足」が19.6%と2割を下回って少なくなっている。また、『満足(満足+まあ満足)』は、《ひとり暮らし》69.2%、《夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)》67.4%、《子と同居》71.5%となっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

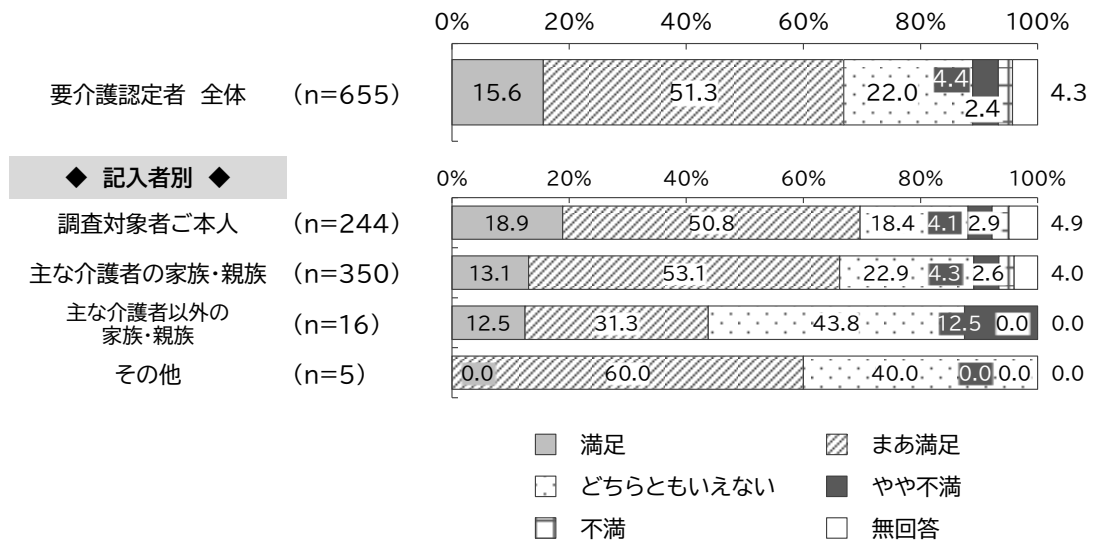
性別にみると、『満足（満足+まあ満足）』が、《男性》62.8%、《女性》70.0%と、《女性》の方が7.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足（満足+まあ満足）』は、《40～64歳》では半数、《前期高齢者》と《後期高齢者》では約3人に2人の割合となっている。

要介護度別にみると、《要介護2》で「満足」が21.8%と約2割で多くなっている。また、『満足（満足+まあ満足）』は、《要介護2》で70.7%と約7割で多く、《要介護5》で45.4%と半数を下回って少なくなっている。

世帯構成別にみると、『満足（満足+まあ満足）』が、《ひとり暮らし》・《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》・《子と同居》で半数を超えて多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：記入者別】



【要介護認定者】

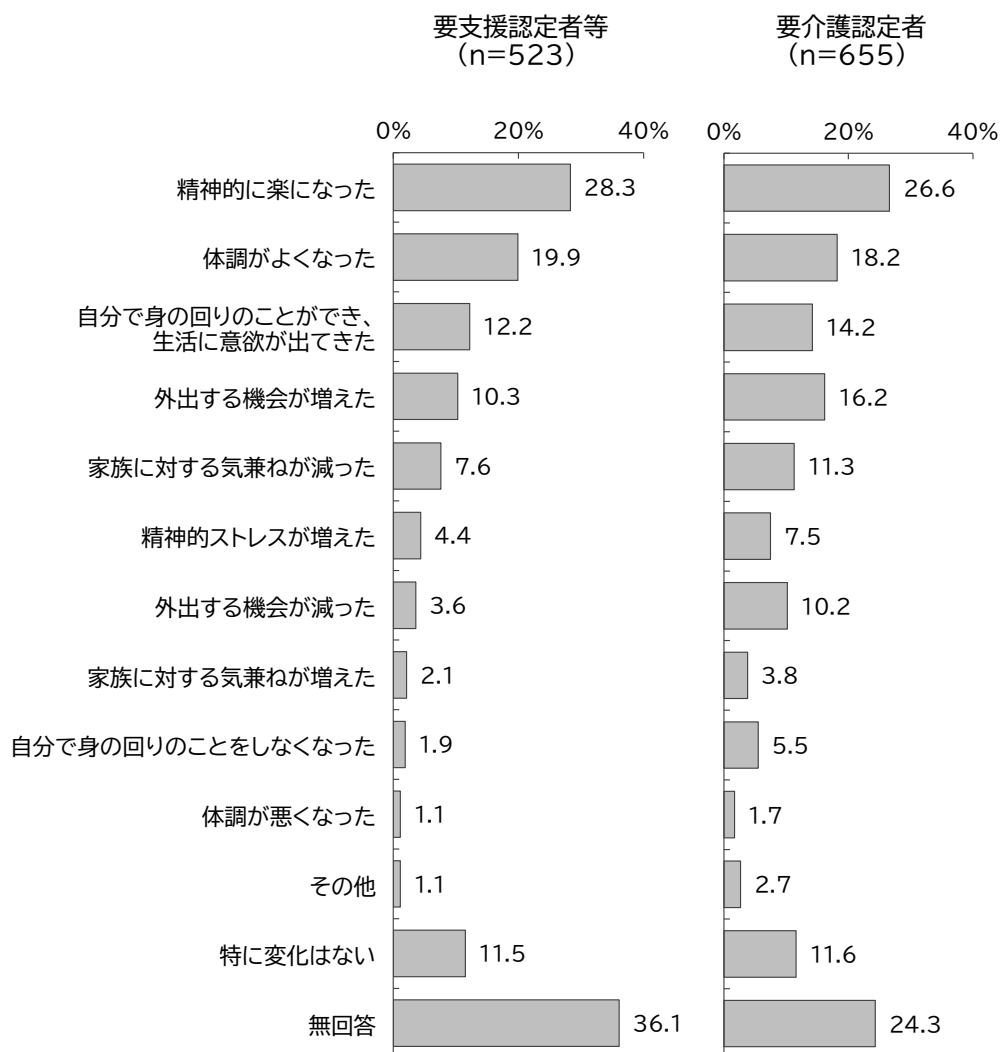
記入者別にみると、『満足（満足+まあ満足）』は、《調査対象者ご本人》69.7%、《主な介護者となっている家族・親族》66.2%となっている。

要支援認定者等：問 45・要介護認定者：問 15 で「利用した」と回答した方で、在宅サービスを利用している方のみ

《要支援認定者等：問 45-4・要介護認定者：問 15-4》

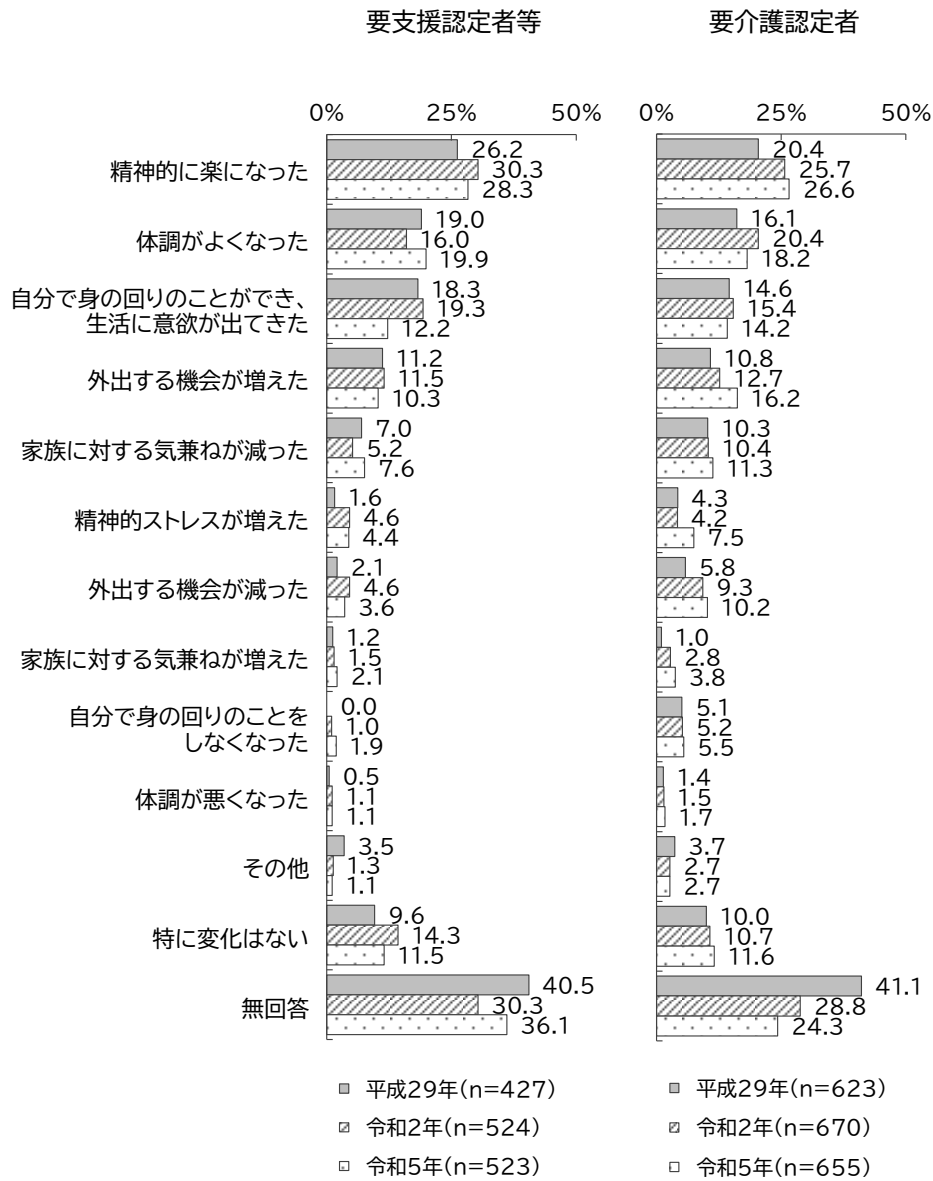
介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。  
（複数回答可：3つまで）

【単純集計】



介護保険サービスを利用することで変化したことは、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「精神的に楽になった」が2割を超えて最も多く、「体調がよくなった」が続く。また、「外出する機会が増えた」、「外出する機会が減った」は、要介護認定者の方が要支援認定者等より多くなっている。

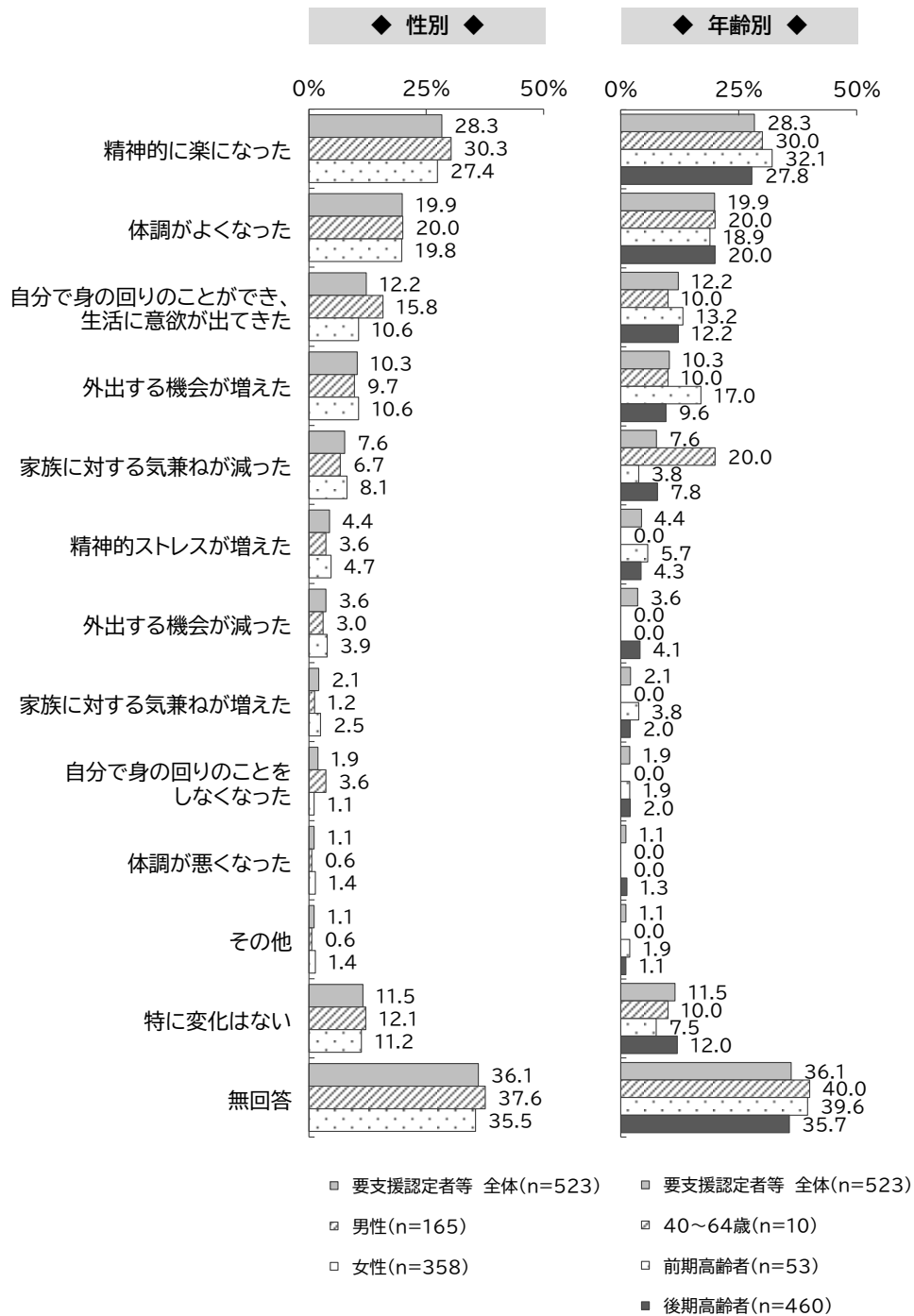
【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等において「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が減少傾向、要介護認定者においては「精神的に楽になった」、「外出する機会が増えた」が増加傾向となっている。



【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】

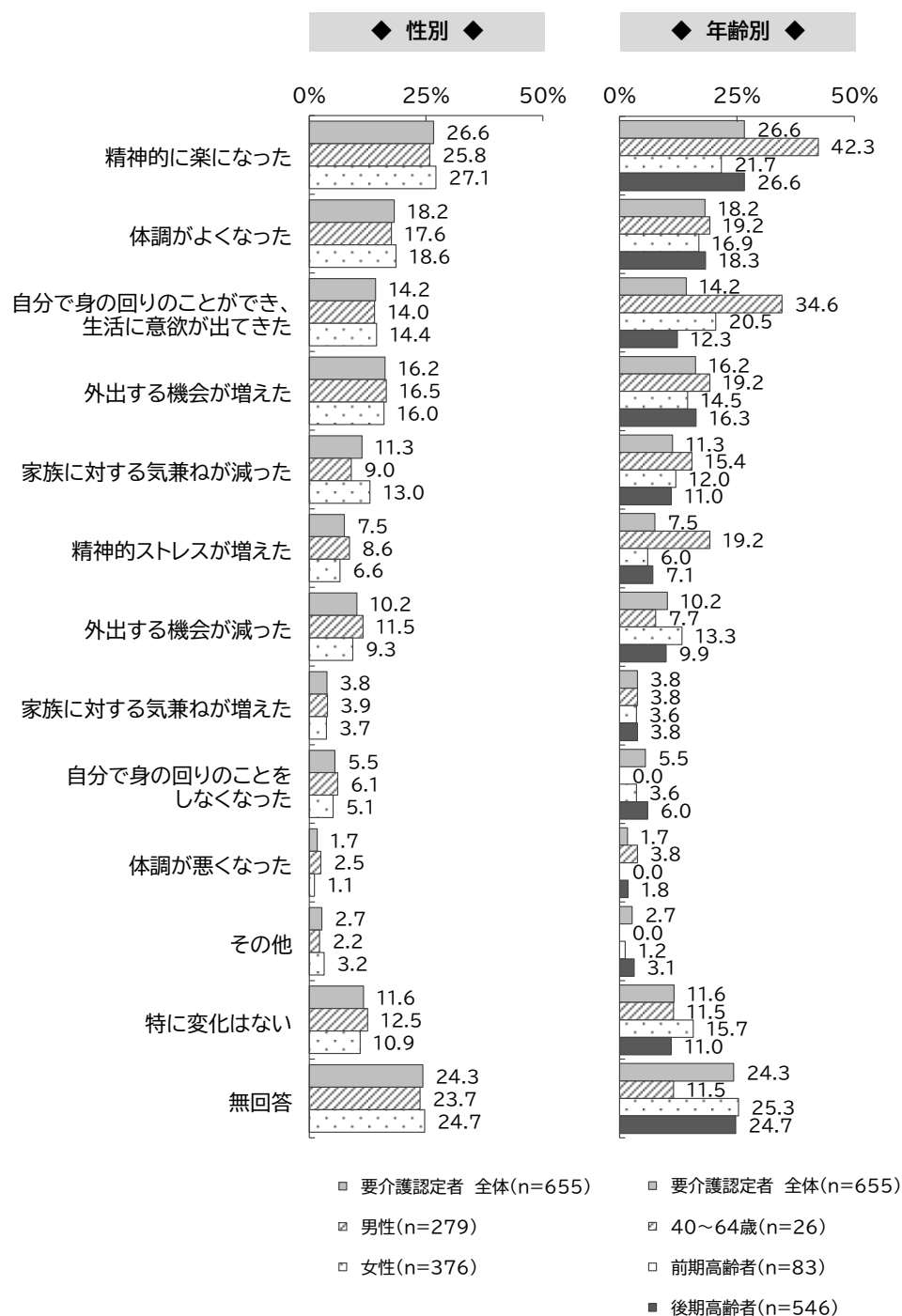


【要支援認定者等】

性別にみると、「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が15.8%と1割を超えて多くなっている。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「外出する機会が増えた」が17.0%と2割近くで多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



【要介護認定者】

性別にみると、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が少なくなっている。また、《前期高齢者》で「外出する機会が減った」が13.3%と1割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】

	調査数（人）	介護保険サービスを利用することによる生活の変化（％）												
		精神的に楽になった	体調がよくなった	自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた	外出する機会が増えた	家族に対する気兼ねが減った	精神的ストレスが増えた	外出する機会が減った	家族に対する気兼ねが増えた	自分で身の回りのことをしなくなった	体調が悪くなった	その他	特に変化はない	無回答
全体	523	28.3	19.9	12.2	10.3	7.6	4.4	3.6	2.1	1.9	1.1	1.1	11.5	36.1
要支援認定者等														
総合事業対象者	35	22.9	17.1	8.6	5.7	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	11.4	51.4
要支援1	196	25.5	18.4	10.2	8.7	8.7	4.6	4.6	1.5	1.5	1.5	2.0	12.2	40.3
要支援2	292	30.8	21.2	14.0	12.0	7.9	4.5	3.1	2.7	2.4	0.7	0.7	11.0	31.5

	調査数（人）	介護保険サービスを利用することによる生活の変化（％）												
		精神的に楽になった	体調がよくなった	自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた	外出する機会が増えた	家族に対する気兼ねが減った	精神的ストレスが増えた	外出する機会が減った	家族に対する気兼ねが増えた	自分で身の回りのことをしなくなった	体調が悪くなった	その他	特に変化はない	無回答
全体	655	26.6	18.2	14.2	16.2	11.3	7.5	10.2	3.8	5.5	1.7	2.7	11.6	24.3
要介護認定者														
要介護1	246	28.5	17.9	20.3	17.5	11.4	6.5	6.9	3.3	2.8	1.6	2.8	10.2	27.6
要介護2	188	27.1	17.6	12.2	16.5	9.0	5.9	12.2	4.8	4.8	1.6	1.1	10.6	23.4
要介護3	109	22.9	17.4	12.8	17.4	12.8	13.8	17.4	3.7	8.3	3.7	4.6	10.1	19.3
要介護4	68	23.5	26.5	2.9	13.2	13.2	7.4	10.3	4.4	11.8	0.0	2.9	13.2	20.6
要介護5	44	27.3	11.4	9.1	9.1	13.6	4.5	2.3	2.3	6.8	0.0	4.5	25.0	27.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要支援認定者等】

要支援度別にみると、要支援度が高くなるほど「精神的に楽になった」、「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」、「外出する機会が増えた」が多くなっている。

【要介護認定者】

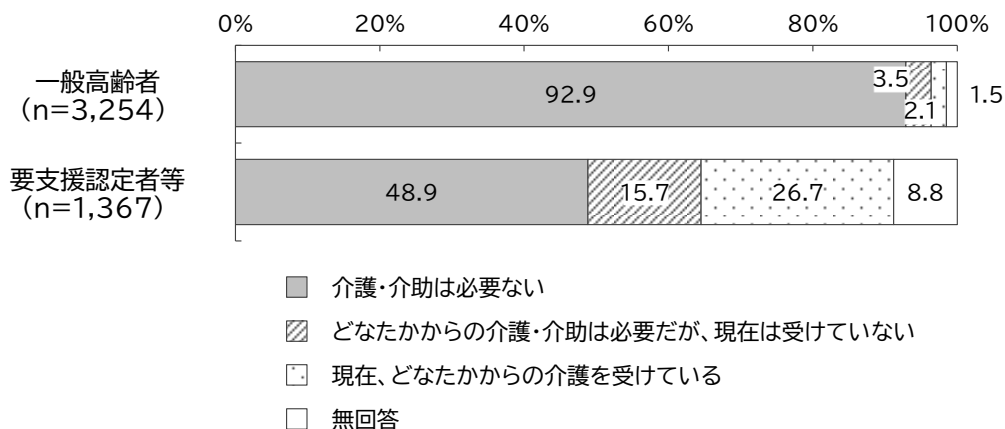
要介護度別にみると、《要介護1》で「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が20.3%と約2割で多くなっている。また、《要介護1》・《要介護5》で「外出する機会が減った」が1割を下回って少なくなっている。さらに、《要介護4》で「体調がよくなった」が26.5%と2割を超えて多く、《要介護5》で「特に変化はない」が25.0%と2割を超えて多くなっている。

## 11 介護の状況について

《一般高齢者：問2・要支援認定者等：問46》

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(単数回答)

【単純集計】



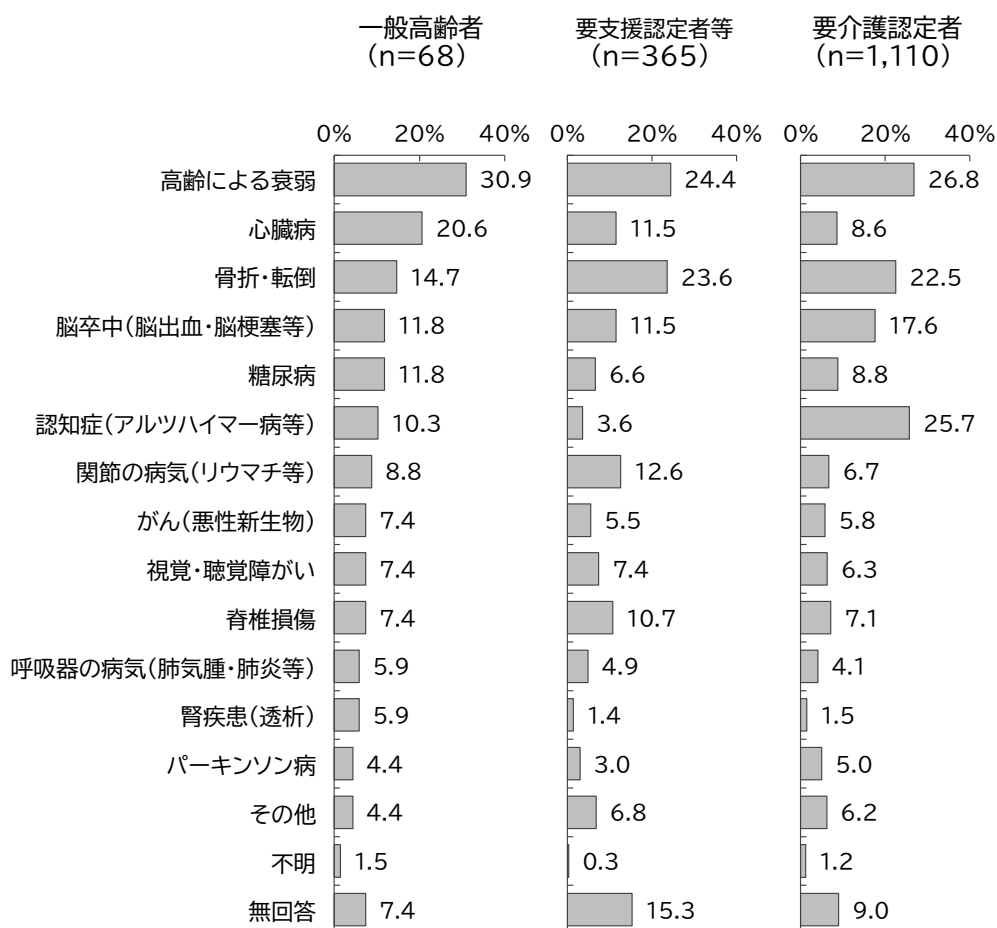
普段の生活における介護・介助の必要性の有無は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「介護・介助は必要ない」が4割を超えて最も多くなっている。一方で、「介護・介助は必要ない」は一般高齢者の方が要支援認定者等より44.0ポイント高くなっている。また、要支援認定者等においては「現在、どなたかからの介護を受けている」が26.7%と2割を超えて多くなっている。

一般高齢者：問2・要支援認定者等：問46で「現在、どなたかからの介護を受けている」と回答した方のみ（要介護認定者は全員が対象）

《一般高齢者：問2-1・要支援認定者等：問46-1・要介護認定者：問16》

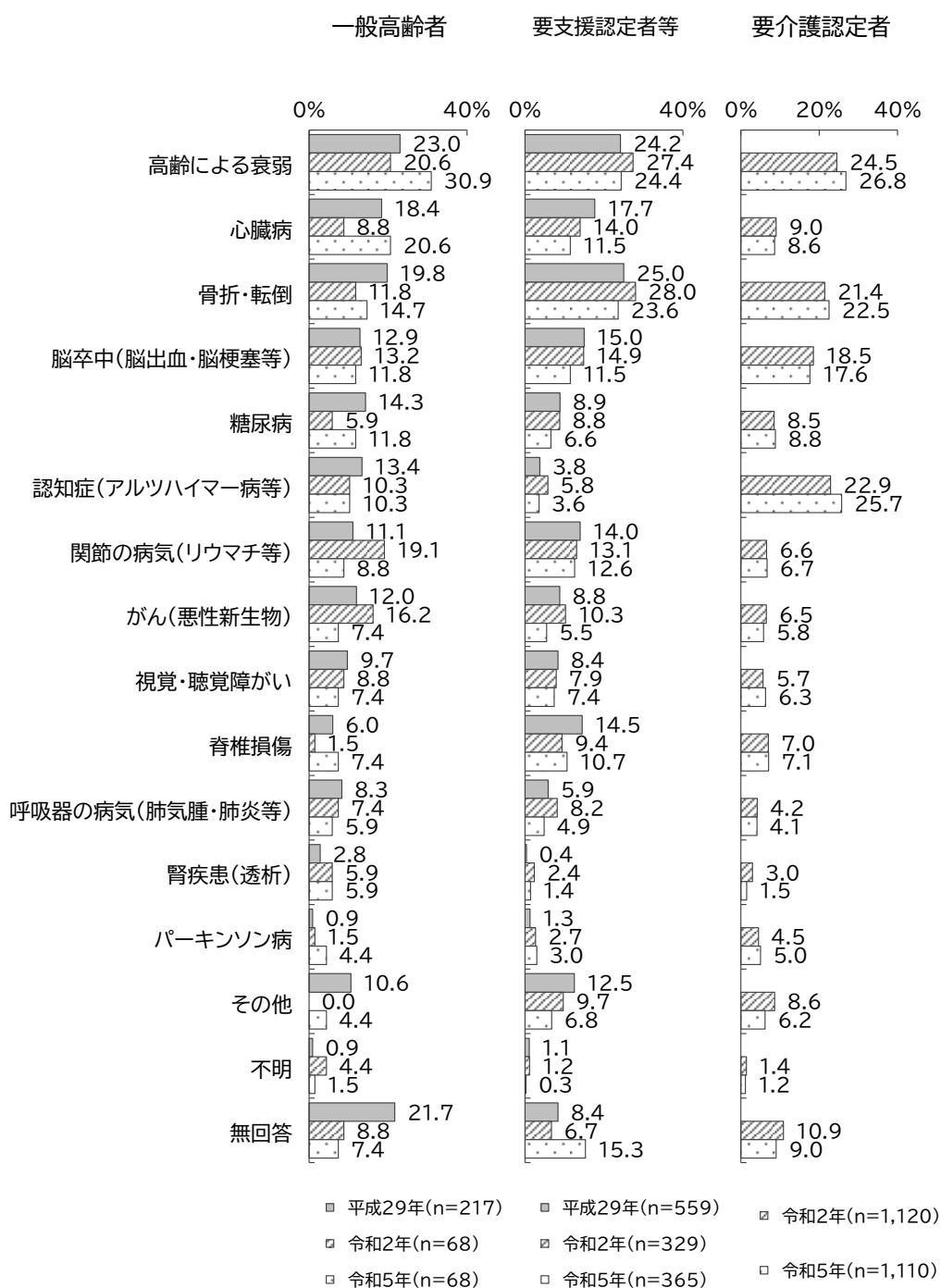
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（複数回答可）

【単純集計】



介護・介助が必要になった主な原因は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者のすべてにおいて「高齢による衰弱」が2割を超えて最も多くなっている。一方で、一般高齢者における「心臓病」、「糖尿病」、要支援認定者等における「関節の病気（リウマチ等）」、要介護認定者における「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「認知症（アルツハイマー病等）」が多く、一般高齢者における「骨折・転倒」が少なくなっている。

【経年比較】



※平成29年調査において、要介護認定者でこの質問は設けていない。

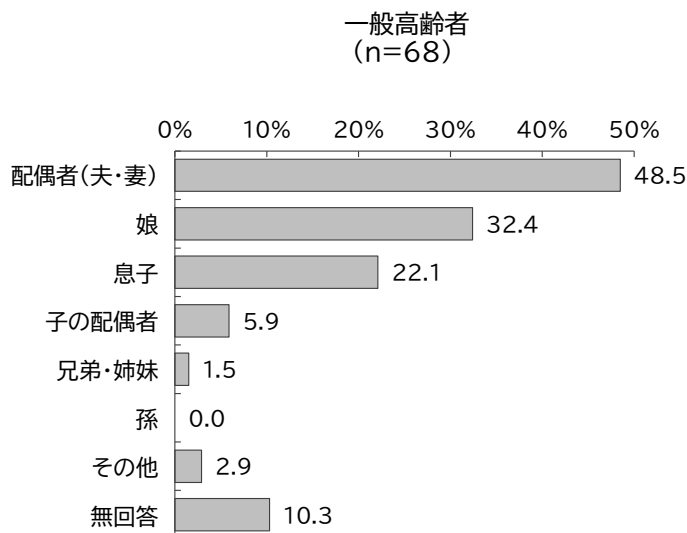
前回、前々回と比較してみると、一般高齢者において「高齢による衰弱」が増加傾向、「関節の病気(リウマチ等)」と「がん(悪性新生物)」が減少傾向となっている。要支援認定者等においては「心臓病」が減少傾向となっている。要介護認定者においては、大きな差異はみられない。

一般高齢者：問2で「現在、どなたかからの介護を受けている」と回答した方のみ

《一般高齢者：問2-2》

主にどなたの介護・介助を受けていますか（受けたいですか）。（複数回答可）

【単純集計】



主な介護者・介助者は、一般高齢者において「配偶者（夫・妻）」が48.5%と半数近くで最も多く、次いで「娘」が32.4%、「息子」が22.1%などとなっている。

【クロス集計：一般高齢者：世帯構成別】

	調査数（人）	介護者・介助者（%）							
		配偶者（夫・妻）	娘	息子	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他	無回答
全体	68	48.5	32.4	22.1	5.9	1.5	0.0	2.9	10.3
世帯構成別									
ひとり暮らし	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
夫婦二人暮らし (配偶者は65歳以上)	24	91.7	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2
夫婦二人暮らし (配偶者は64歳以下)	3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子と同居	36	22.2	41.7	36.1	5.6	0.0	0.0	2.8	13.9
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

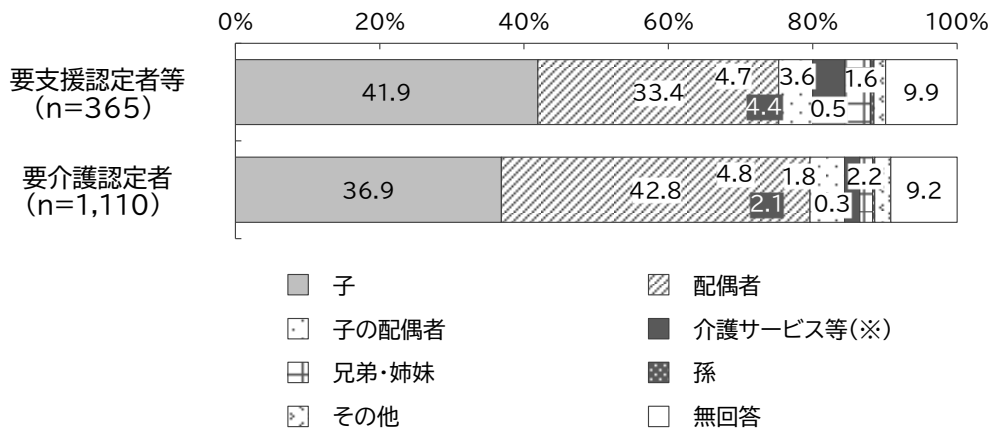
【一般高齢者】

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》で「配偶者（夫・妻）」が91.7%と約9割で多く、《子と同居》で「娘」、「息子」が多くなっている。

《要支援認定者等：問 47・要介護認定者：問 17》

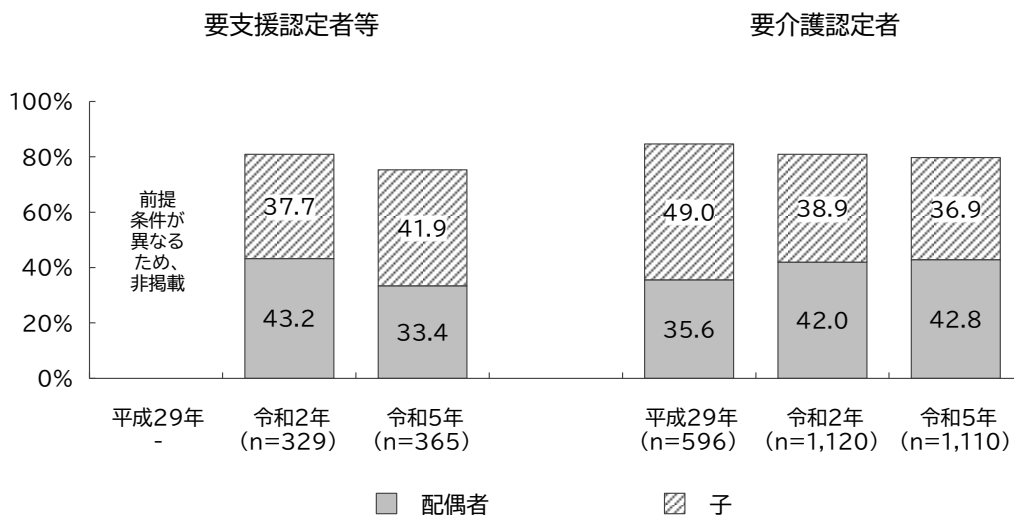
主な介護者の方は、どなたですか。(単数回答)

【単純集計】



主な介護者・介助者は、要支援認定者等において「子」が41.9%と約4割で最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「配偶者」が42.9%と4割を超えて最も多くなっている。要支援認定者等・要介護認定者ともに「子」、「配偶者」が全体の7割以上を占めている。

【経年比較】

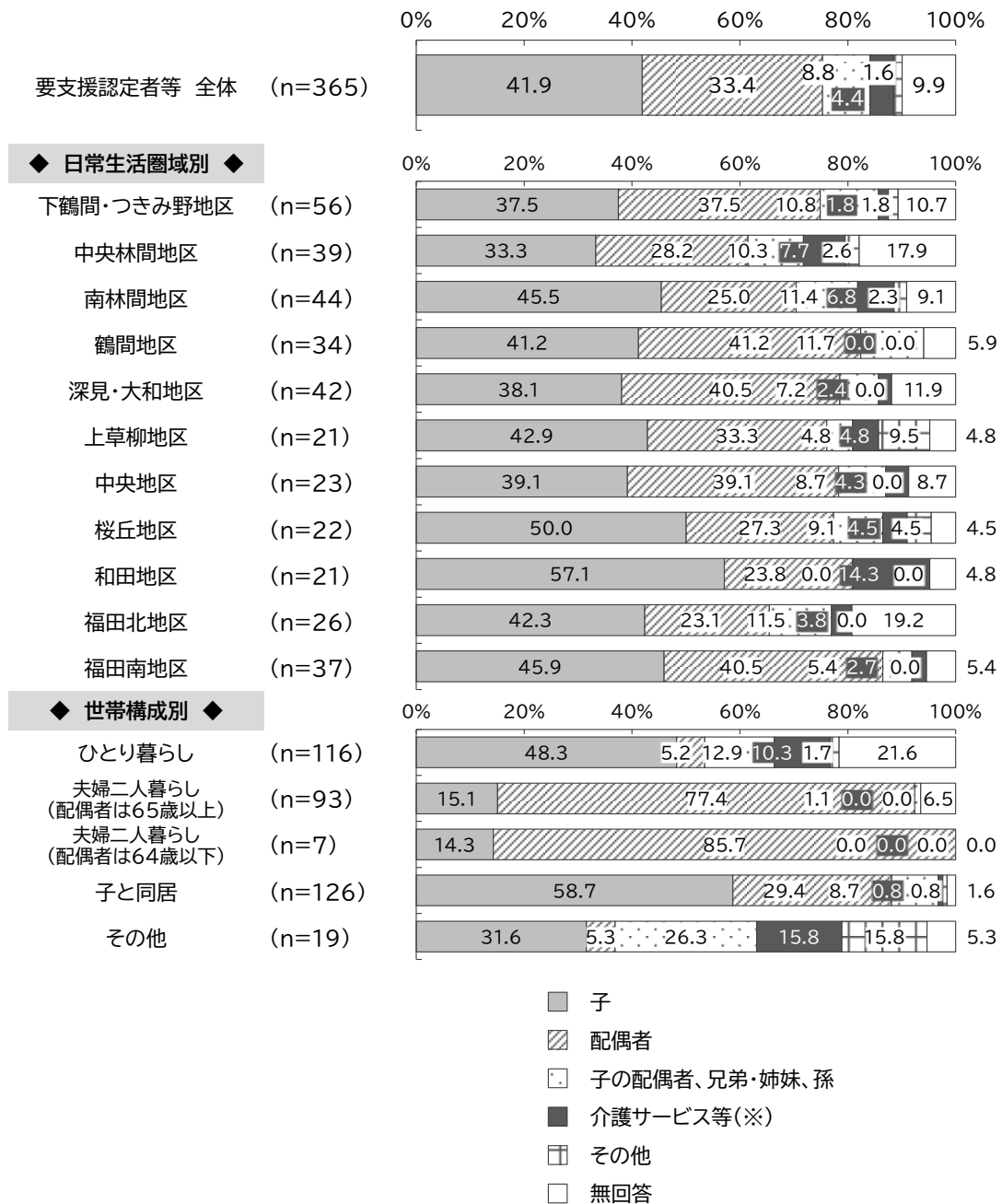


※平成 29 年調査において、要支援認定者等は複数回答可の問として実施しているため、比較しない。

前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに「配偶者」、「子」のいずれかが主な介護者・介助者であるという傾向には変わりなく、それぞれ3～4割以上を占めている。しかし、要支援認定者等において「配偶者」が減少傾向、「子」が増加傾向にあるのに対し、要介護認定者においては「配偶者」が増加傾向、「子」が減少傾向と、逆の傾向がみられる。



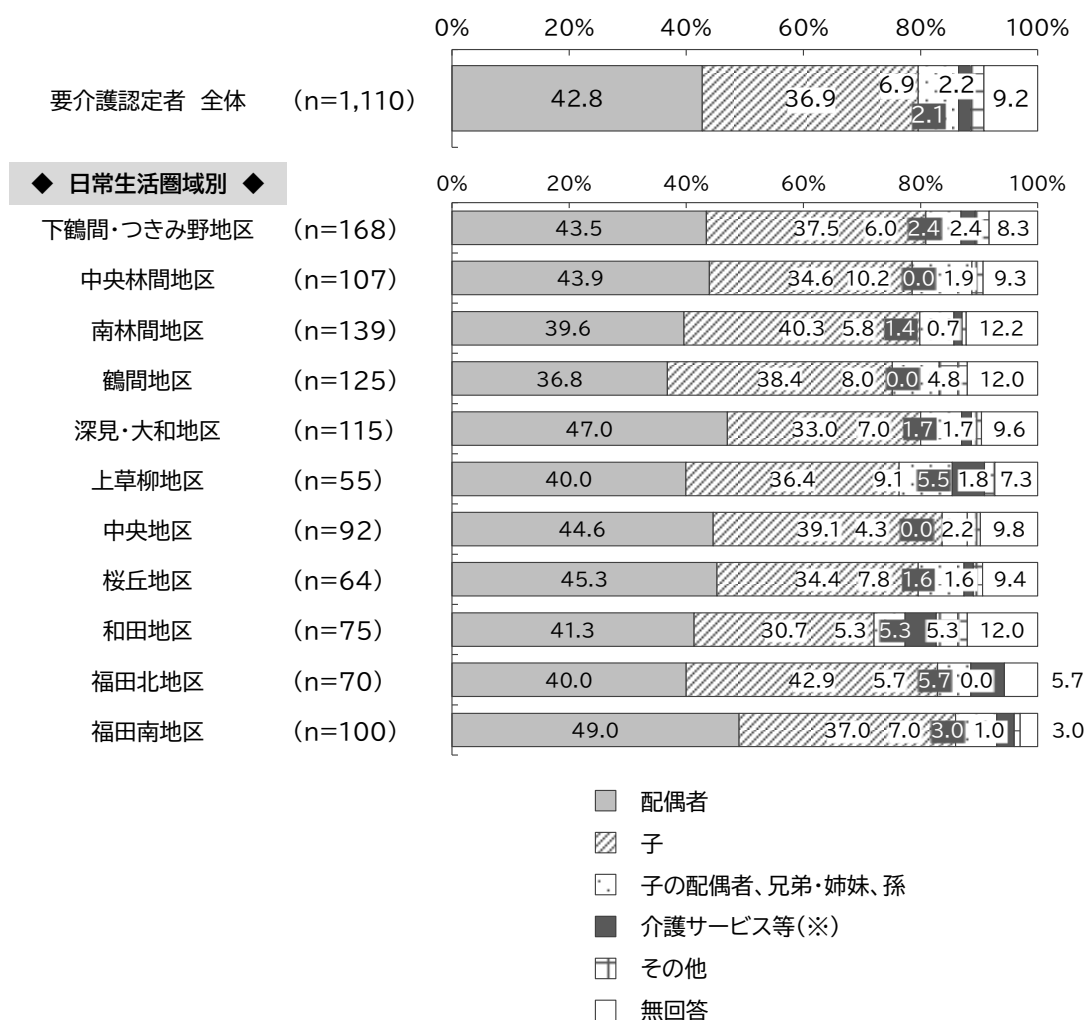
【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別・世帯構成別】



【要支援認定者等】

日常生活圏域別にみると、「鶴間地区」・「深見・大和地区」・「福田南地区」で「配偶者」が4割を超えて多く、「桜丘地区」・「和田地区」で「子」が半数を超えて多くなっている。  
 世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」で「子の配偶者、兄弟・姉妹」、「介護サービス等」が多くなっている。また、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」で「子」が15.1%と2割を下回って少なく、「配偶者」が77.4%と約8割で多くなっている。

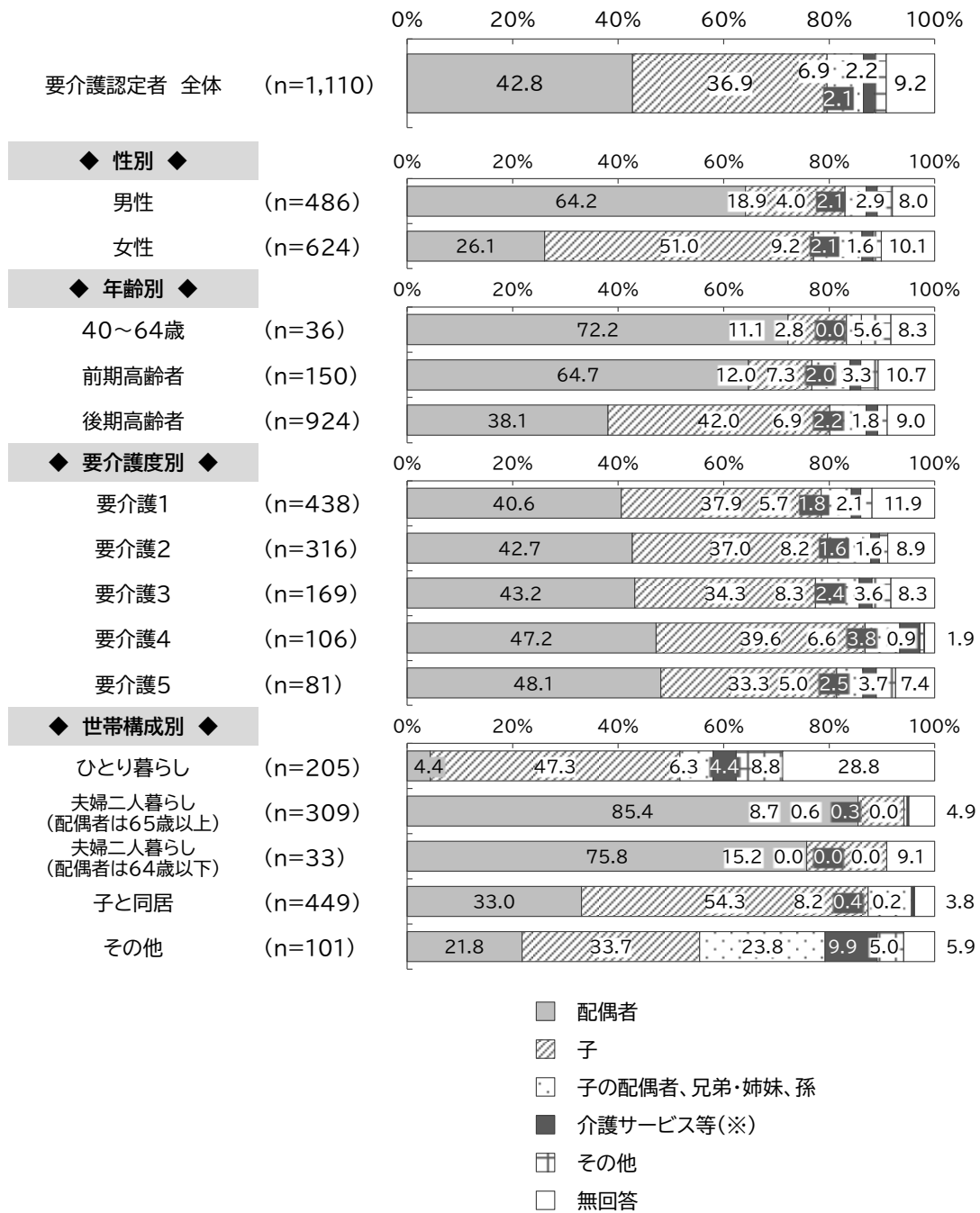
【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別】



【要介護認定者】

日常生活圏域別にみると、《南林間地区》・《鶴間地区》で「配偶者」が4割を下回って少なく、《南林間地区》・《福田北地区》で「子」が4割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別】



【要介護認定者】

性別にみると、《男性》で「配偶者」が64.2%と6割を超えて多く、《女性》で「子」、「子の配偶者、兄弟・姉妹、孫」が多くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「配偶者」が少なく、「子」が多くなっている。

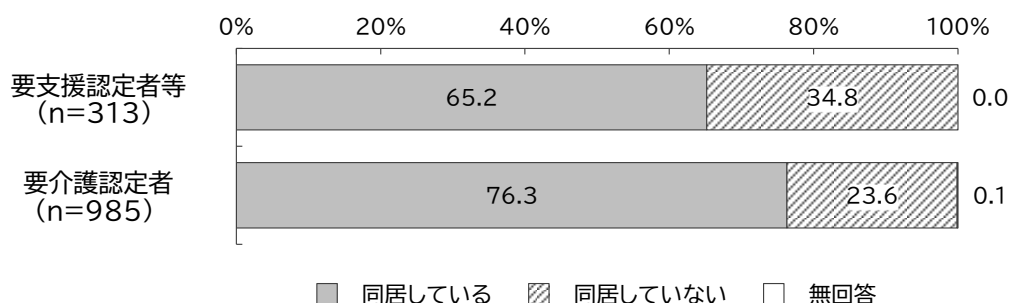
要介護度別にみると、大きな差異はみられない。

世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》・《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》で「配偶者」が7割を超えて多く、「子」が2割を下回って少なくなっている。また、《その他》で「子の配偶者、兄弟・姉妹、孫」が23.8%と2割を超えて多くなっている。

《要支援認定者等：問 48・要介護認定者：問 18》

主な介護者の方は、ご本人(調査対象者)と同居されていますか。(単数回答)

【単純集計】



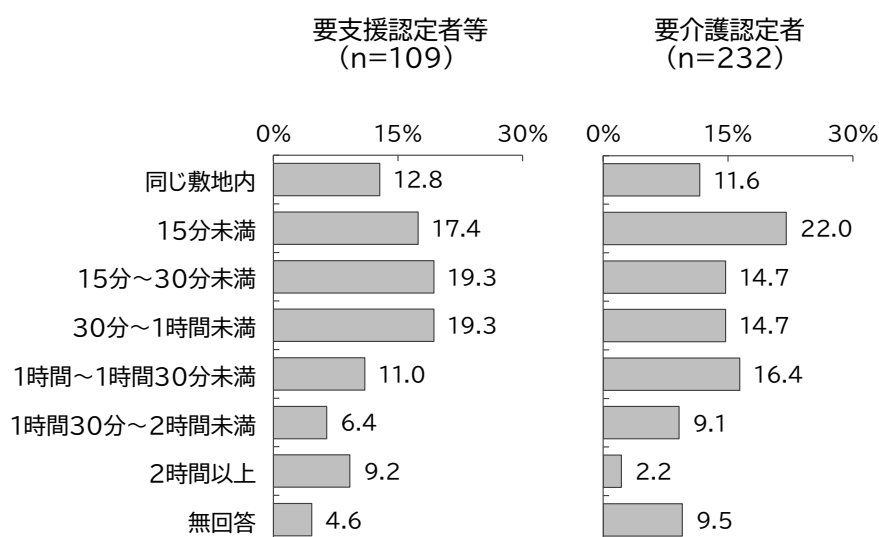
主な介護者と調査対象者の同居の状況は、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「同居している」が6割を超えて多くなっている。一方で、「同居している」は要介護認定者の方が要支援認定者等より 11.1 ポイント高くなっている。

要支援認定者等：問 48・要介護認定者：問 18 で「同居していない」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 48-1・要介護認定者：問 18-1》

駆けつけるのに、どれくらい時間がかかりますか。(移動手段は問いません)(単数回答)

【単純集計】

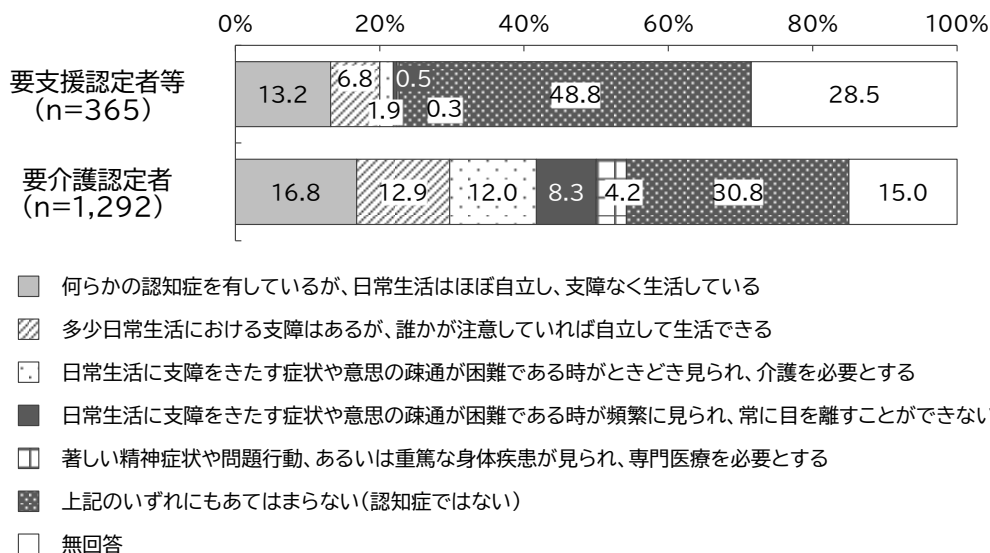


主な介護者が同居していない場合、駆けつけるのにかかる時間は、要支援認定者等において「15分～30分未満」、「30分～1時間未満」がそれぞれ19.3%と約2割で最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「15分未満」が22.0%と2割を超えて最も多くなっている。また、『30分未満(同じ敷地内+15分未満+15分～30分未満)』は、要支援認定者等49.5%、要介護認定者48.3%となっている。

《要支援認定者等：問 49・要介護認定者：問 19》

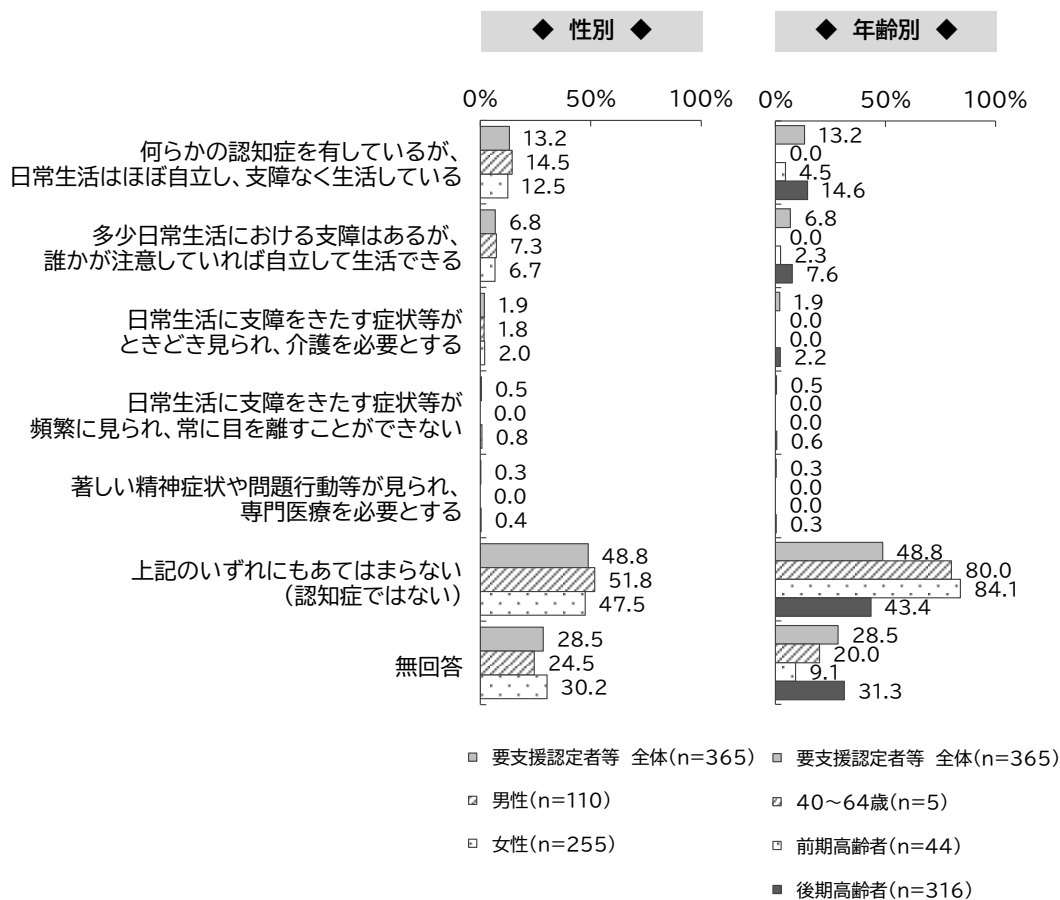
介護を受けている方の認知症の程度についてお答えください。（単数回答）

【単純集計】



介護を受けている方の認知症の程度は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が3割を超えて最も多く、「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」、「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が続く。一方で、「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」は要支援認定者等の方が要介護認定者より18.0ポイント高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】

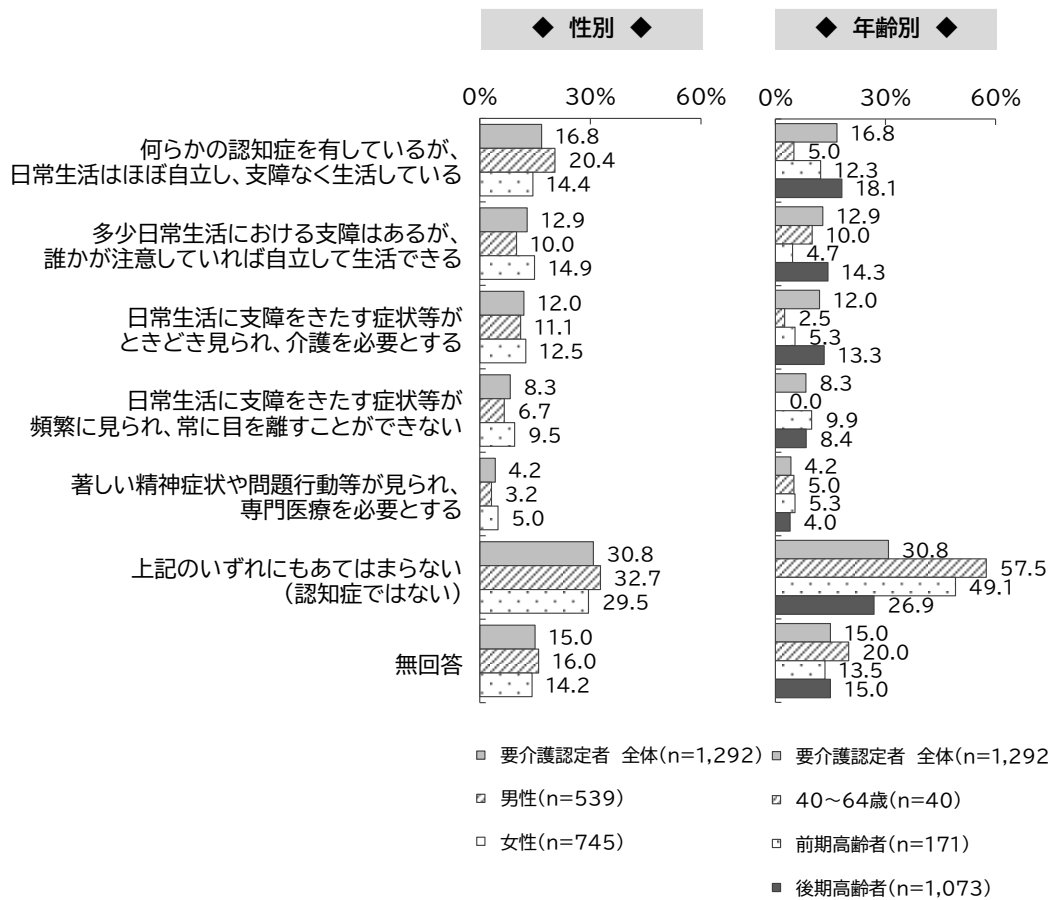


【要支援認定者等】

性別にみると、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、「前期高齢者」で「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が84.1%と8割を超えて多く、「後期高齢者」で「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」、「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



【要介護認定者】

性別にみると、《男性》で「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」が20.4%と約2割で多くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」、「日常生活に支障をきたす症状等がときどき見られ、介護を必要とする」が多く、「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が少なくなっている。また、《前期高齢者》で「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が4.7%と1割を下回って少なくなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：要支援度別・記入者別】

要支援認定者等	調査数(人)	認知症の程度(%)						無回答
		何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している	多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる	日常生活に支障をきたす症状等がときどき見られ、介護を必要とする	日常生活に支障をきたす症状等が頻繁に見られ、常に目を離すことができない	著しい精神症状等が見られ、専門医療を必要とする	左記のいずれにもあてはまらない(認知症ではない)	
全体	365	13.2	6.8	1.9	0.5	0.3	48.8	28.5
要支援度別								
総合事業対象者	18	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	44.4	33.3
要支援1	128	12.5	7.0	2.3	0.0	0.0	46.9	31.3
要支援2	219	14.2	6.4	1.4	0.9	0.5	50.2	26.5
記入者別								
調査対象者ご本人	271	10.7	4.8	0.0	0.4	0.0	56.1	28.0
主な介護者の家族・親族	69	20.3	14.5	10.1	1.4	1.4	31.9	20.3
主な介護者以外の家族・親族	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

【要支援認定者等】

要支援度別にみると、大きな差異はみられない。

記入者別にみると、「調査対象者ご本人」で「先のいずれにもあてはまらない(認知症ではない)」が56.1%と半数を超えて多く、「主な介護者の家族・親族」で「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」、「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」、「日常生活に支障をきたす症状等がときどき見られ、介護を必要とする」が多くなっており、「調査対象者ご本人」と「主な介護者の家族・親族」で認識が異なることがわかる。



【クロス集計：要介護認定者：要介護度別・記入者別】

要介護認定者	調査数（人）	認知症の程度（％）						無回答	
		何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している	誰かが注意していれば、自立して生活できる	多少日常生活における支障はあるが、	日常生活に支障をきたす症状等がときどき見られ、介護を必要とする	日常生活に支障をきたす症状等が頻繁に見られ、常に目を離すことができない	著しい精神症状等が見られ、専門医療を必要とする		左記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）
全体	1,292	16.8	12.9	12.0	8.3	4.2	30.8	15.0	
要介護度別	要介護1	452	22.3	17.3	6.0	1.8	1.3	33.0	18.4
	要介護2	329	19.8	11.9	11.6	4.9	2.7	33.7	15.5
	要介護3	212	10.4	13.7	21.7	12.3	5.7	25.0	11.3
	要介護4	163	11.7	9.2	19.0	21.5	5.5	22.7	10.4
	要介護5	128	7.8	3.1	8.6	17.2	14.1	35.9	13.3
記入者別	調査対象者ご本人	440	19.5	7.7	3.0	1.1	0.7	42.5	25.5
	主な介護者の家族・親族	554	17.1	18.4	17.5	10.5	5.6	25.3	5.6
	主な介護者以外の家族・親族	30	13.3	10.0	36.7	10.0	3.3	20.0	6.7
	その他	12	8.3	16.7	25.0	25.0	0.0	8.3	16.7

※白抜き部分は全体に比べて+5.0 ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0 ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【要介護認定者】

要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」が少なく、「著しい精神症状等が見られ、専門医療を必要とする」が多くなっている。

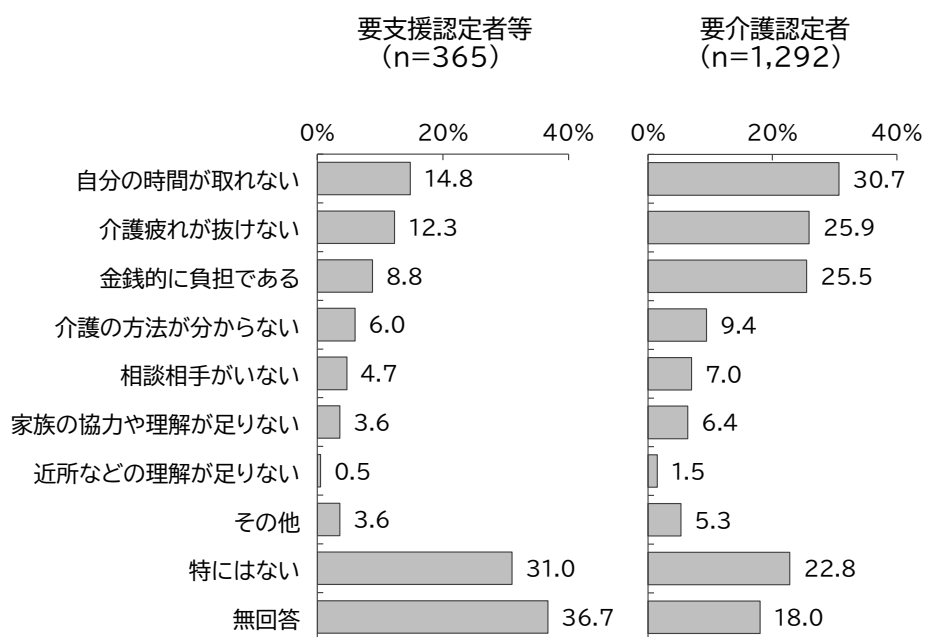
記入者別にみると、「調査対象者ご本人」で「左記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が42.5%と4割を超えて多く、「主な介護者の家族・親族」・「主な介護者以外の家族・親族」で「日常生活に支障をきたす症状等がときどき見られ、介護を必要とする」が1割を超えて多くなっており、「調査対象者ご本人」と「主な介護者の家族・親族」・「主な介護者以外の家族・親族」で認識が異なることがわかる。

《要支援認定者等：問 50・要介護認定者：問 20》

次の中で、主な介護者の方が特に困っていることを選んでください。

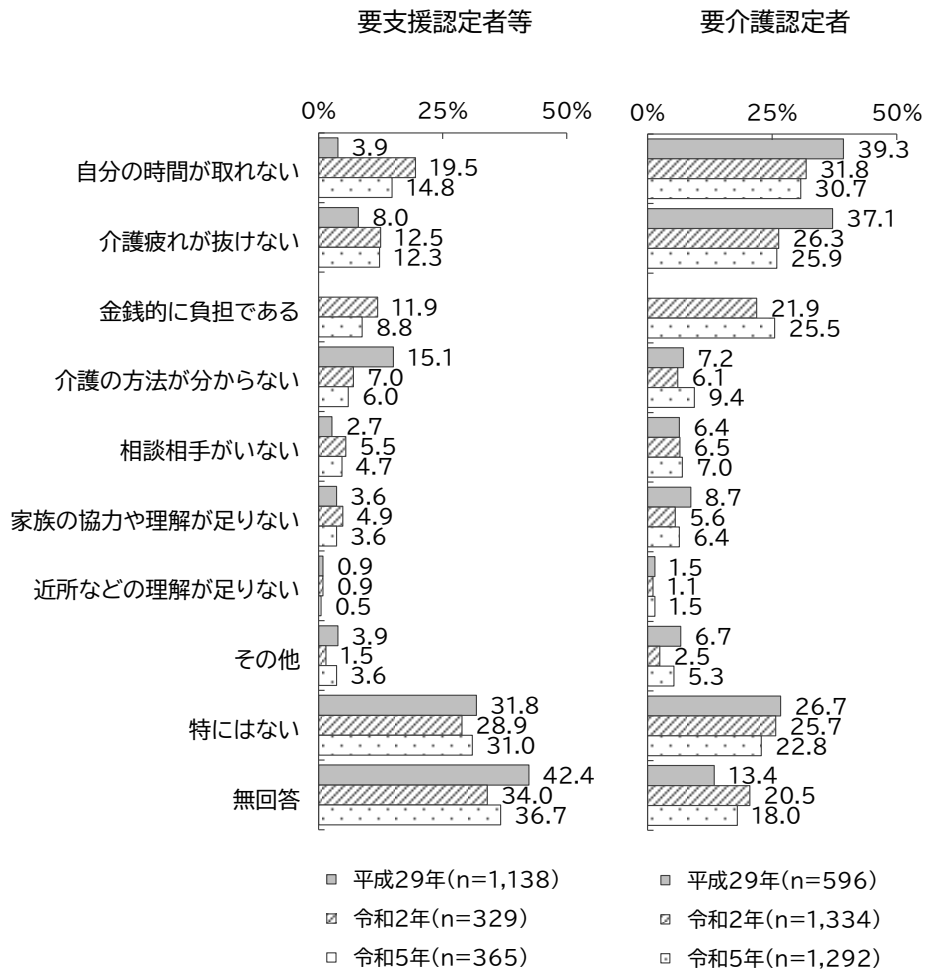
(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



主な介護者の方が特に困っていることは、要支援認定者等において「特にはない」が31.0%と約3割で最も多くなっているのに対し、要介護認定者においては「自分の時間が取れない」が30.7%と約3割で最も多くなっている。また、「自分の時間が取れない」、「介護疲れが抜けない」、「金銭的に負担である」は要介護認定者の方が要支援認定者等より多くなっている。

【経年比較】



※「金銭的に負担である」は、令和2年調査において追加した選択肢である。

前回、前々回と比較してみると、要支援認定者等において「介護の方法が分からない」が減少傾向、要介護認定者においては「自分の時間が取れない」、「介護疲れが抜けない」が減少傾向となっている。一方で、要支援認定者等において「自分の時間が取れない」が令和2年調査で増加し、その後も平成29年調査の水準には戻っていない。

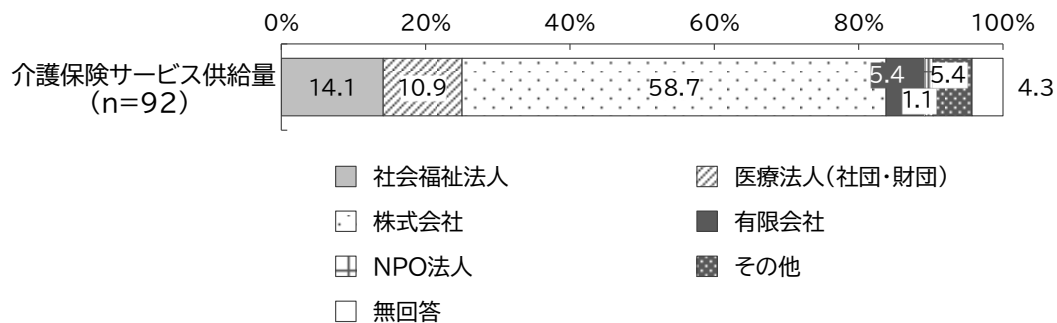
### Ⅲ 調査の結果（介護保険サービス供給量）

#### 1 法人の概要について

《介護保険サービス供給量：事前設問》

法人の種類（単数回答）

【単純集計】



法人の種類は、「株式会社」が58.7%と約6割で最も多く、次いで「社会福祉法人」が14.1%、「医療法人（社団・財団）」が10.9%などとなっている。

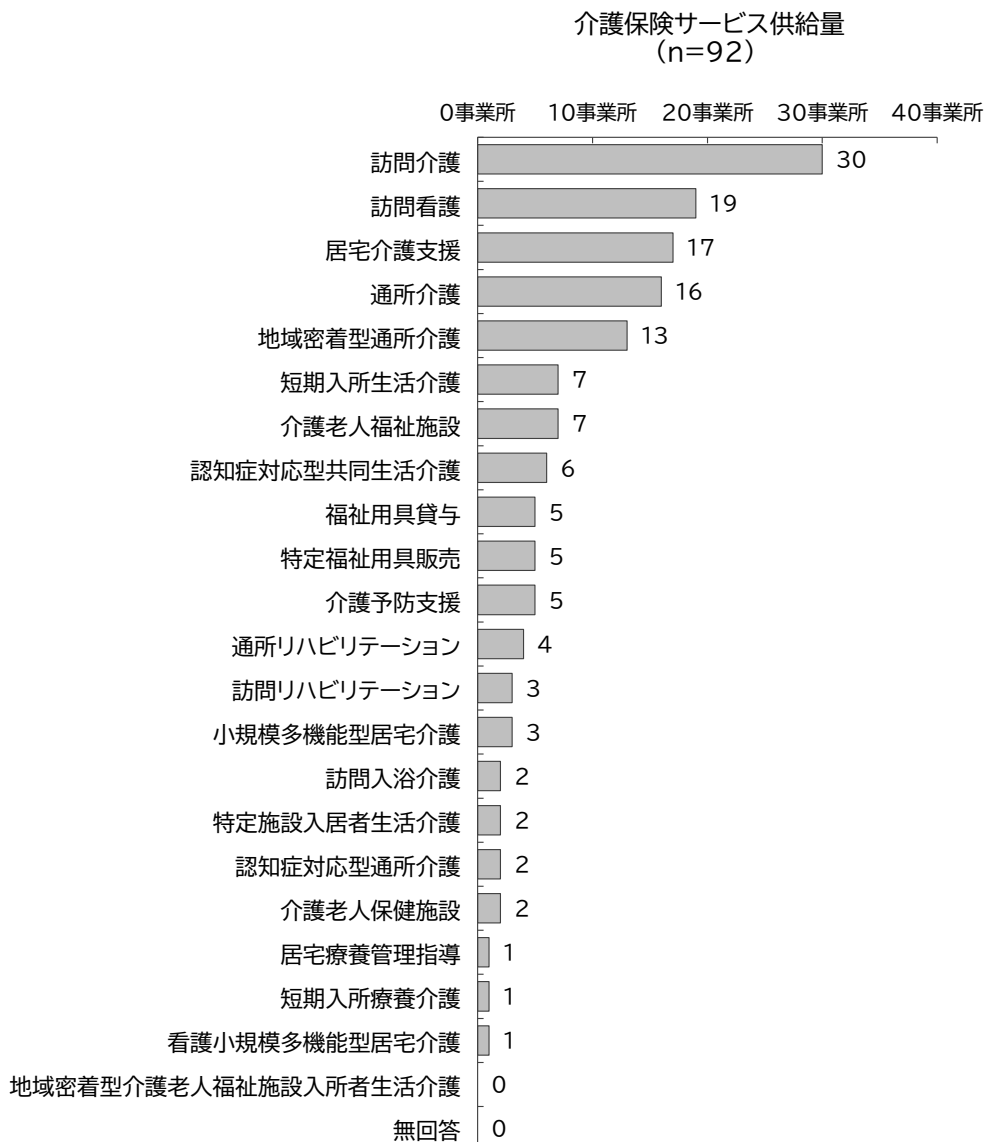
## 2 法人の事業展開について

《介護保険サービス供給量：問1》

サービスごとの職員数などについておたずねします。提供している介護保険サービスの番号に○をつけ、職員数（令和5年1月1日現在）と令和4年の1年間における採用者数、退職者数をお答えください。

（提供している介護保険サービス：複数回答可、その他は数値記入）

【単純集計：提供している介護保険サービス】



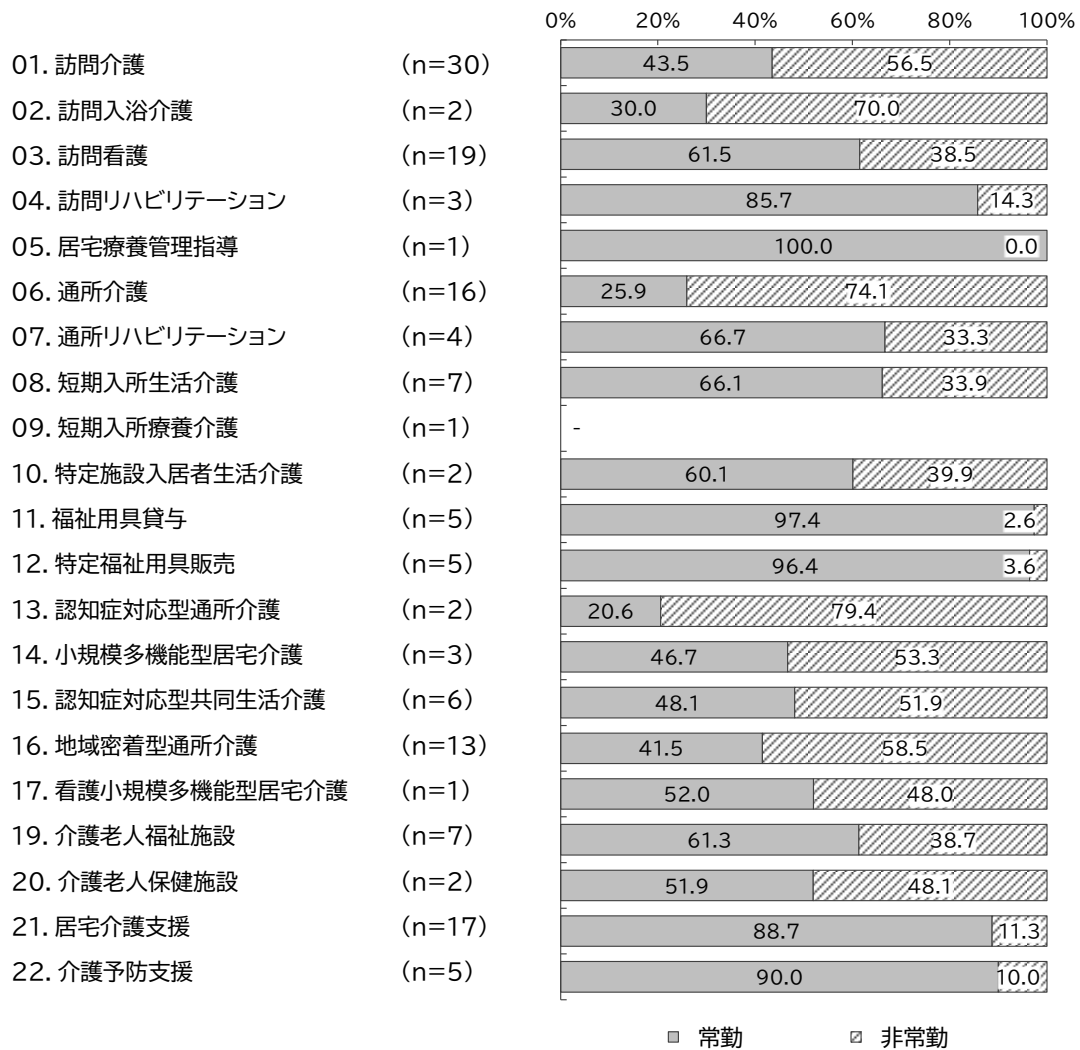
今回回答いただいた92法人において提供している介護保険サービスの種類は、「訪問介護」が30事業所と最も多く、次いで「訪問看護」が19事業所、「居宅介護支援」が17事業所などとなっている。

【単純集計：職員数】



職員数は、《01. 訪問介護》・《19. 介護老人福祉施設》で300人を超えて多くなっている。平均職員数は、《10. 特定施設入居者生活介護》・《19. 介護老人福祉施設》・《20. 介護老人保健施設》といった施設系で40人を超えて多くなっている。また、中央値と平均値の差が大きい《12. 特定福祉用具販売》では法人規模に差があることがわかる。

【単純集計：常勤・非常勤の割合】



常勤・非常勤別の職員の割合は、《04. 訪問リハビリテーション》・《05. 居宅管理指導》・《11. 福祉用具貸与》・《12. 特定福祉用具販売》・《21. 居宅介護支援》・《22. 介護予防支援》で「常勤」が8割を超えて多くなっている。

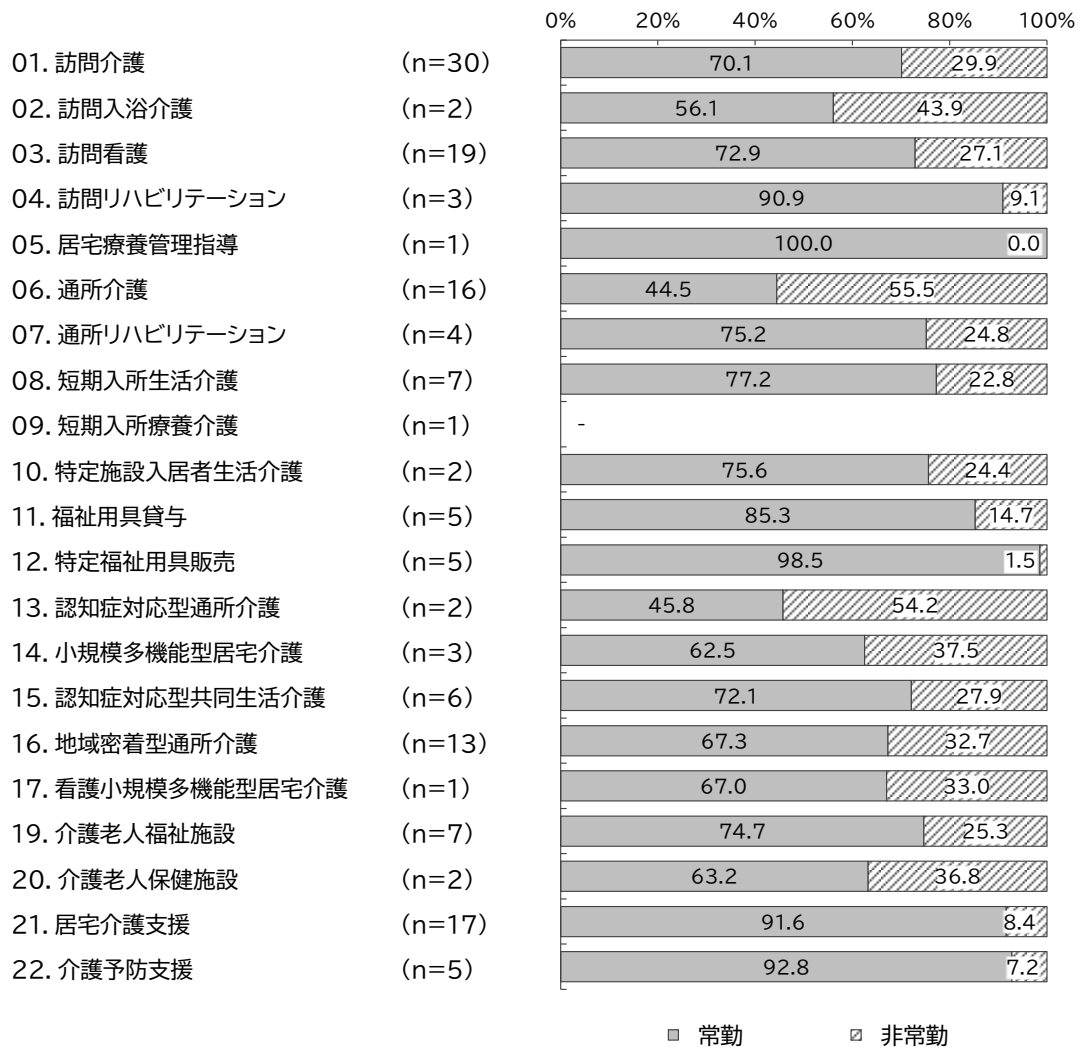
【単純集計：常勤換算数】



常勤換算数は、《19. 介護老人福祉施設》で 384.3 人と、唯一 300 人を超えている。

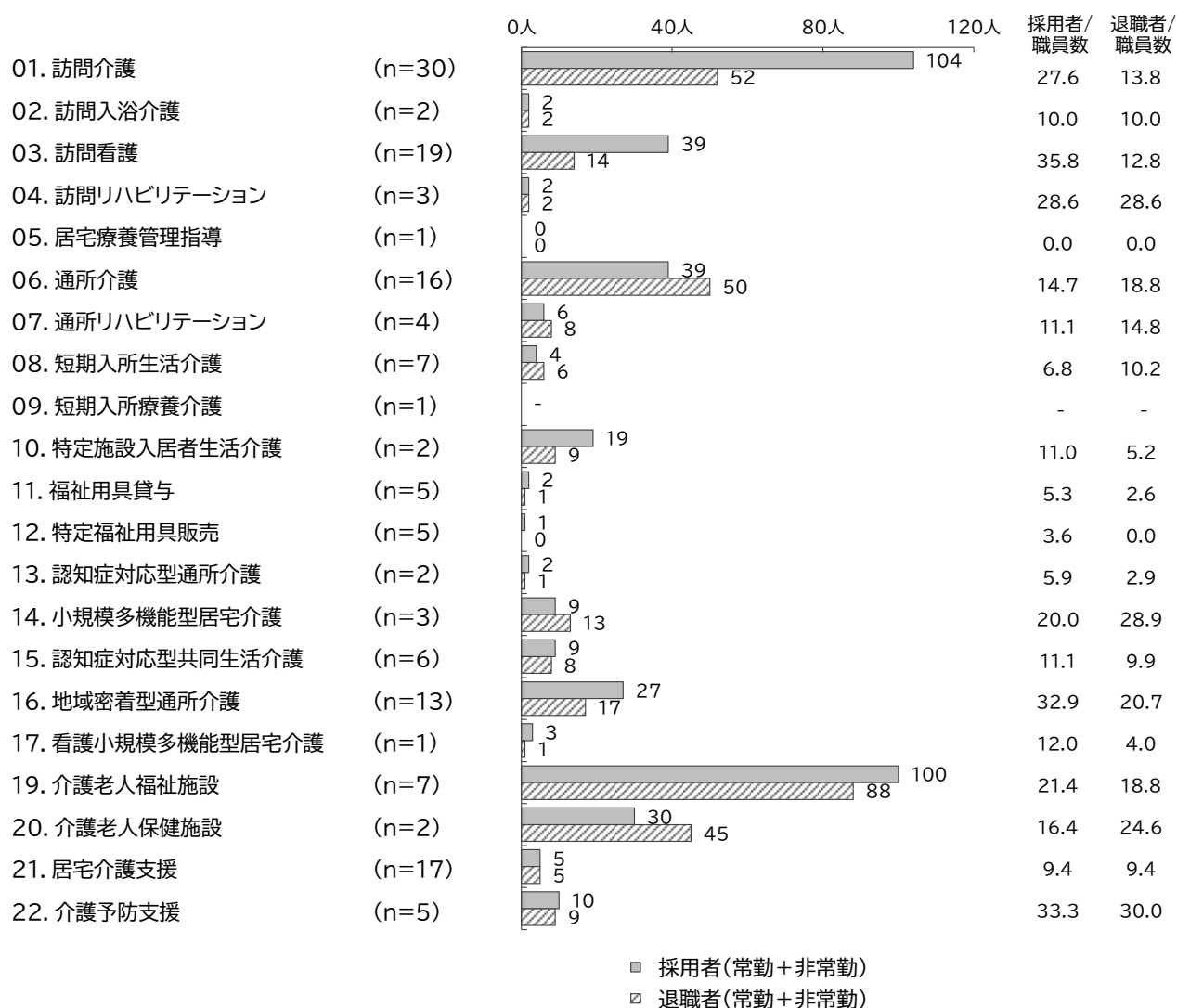


【単純集計：常勤・非常勤の割合】



常勤・非常勤別の常勤換算の割合は、≪06. 通所介護≫・≪13. 認知症対応型通所介護≫で「非常勤」が「常勤」を上回っている。

【単純集計：採用者数・退職者数】



採用者数は、《01. 訪問介護》・《19. 介護老人福祉施設》で100人を超えて多くなっているのに対し、退職者数も多くなっている。また、《06. 通所介護》・《20. 介護老人保健施設》では、採用者数より退職者数の方が10人以上多くなっている。

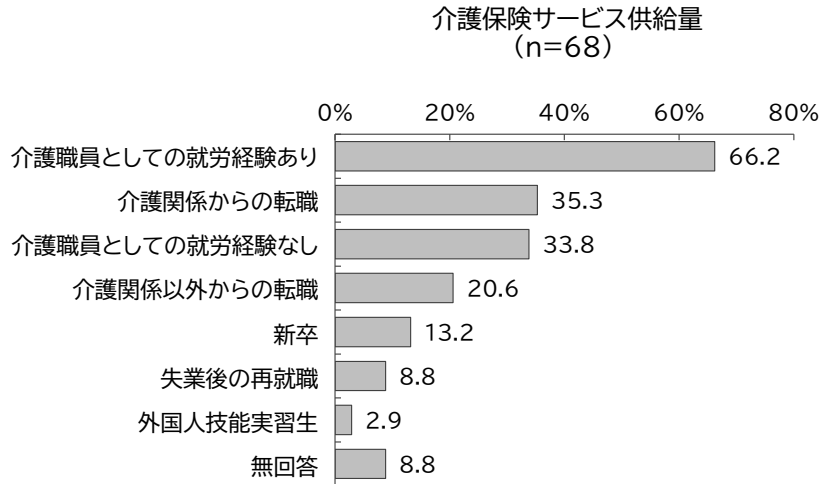
採用率（採用者／職員数）は、《03. 訪問看護》・《22. 介護予防支援》で3割を超えて多くなっている。また、退職率（退職者／職員数）は、《22. 介護予防支援》で30.0%と3割で最も多くなっている。

問1で『令和4年の1年間において新たな採用者がいる』と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問1-1》

採用した職員について教えてください。（複数回答可）

【単純集計】



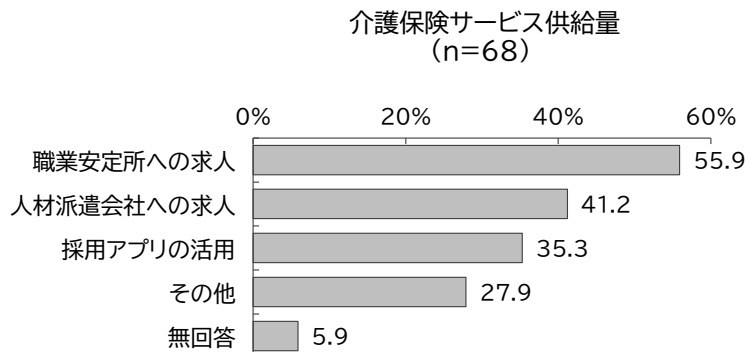
採用した職員は、「介護職員としての就労経験あり」が66.2%と6割を超えて最も多く、次いで「介護関係からの転職」が35.3%、「介護職員としての就労経験なし」が33.8%などとなっている。

問1で『令和4年の1年間において新たな採用者がいる』と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問1-2》

採用活動について教えてください。（複数回答可）

【単純集計】



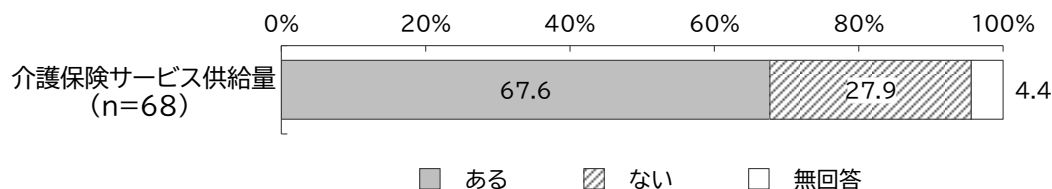
採用活動は、「職業安定所への求人」が55.9%と半数を超えて最も多く、次いで「人材派遣会社への求人」が41.2%、「採用アプリの活用」が35.3%などとなっている。

問1で『令和4年の1年間において新たな採用者がいる』と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問1-3》

外国人を採用する考えはありますか。(単数回答)

【単純集計】



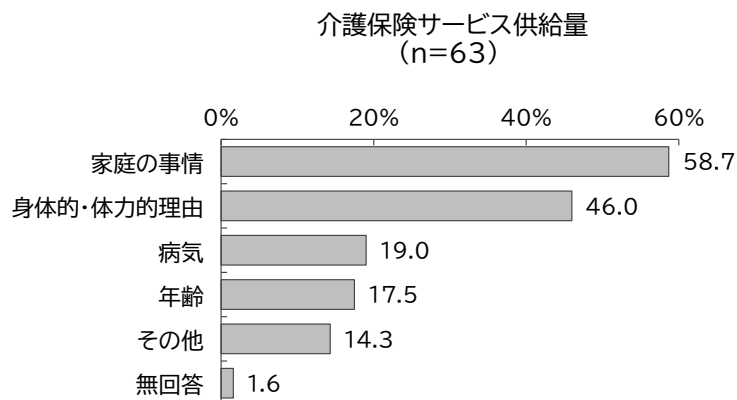
外国人を採用する考えは、「ある」が67.6%、「ない」が27.9%と、「ある」の方が39.7ポイント高くなっている。

問1で『令和4年の1年間において退職者がいる』と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問1-4》

退職の理由について教えてください。(複数回答可)

【単純集計】



退職の理由は、「家庭の事情」が58.7%と約6割で最も多く、次いで「身体的・体力的理由」が46.0%、「病気」が19.0%などとなっている。

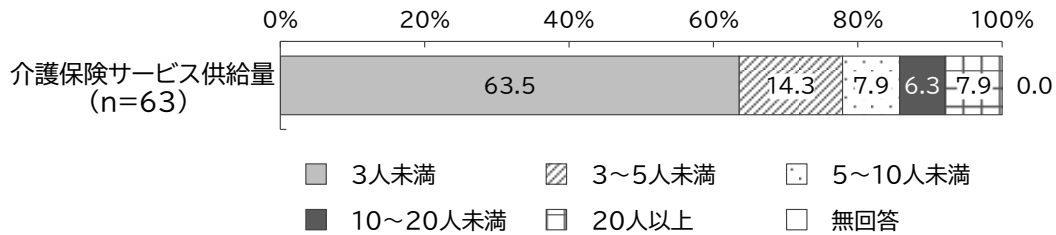
問1で『令和4年の1年間において退職者がいる』と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問1-5》

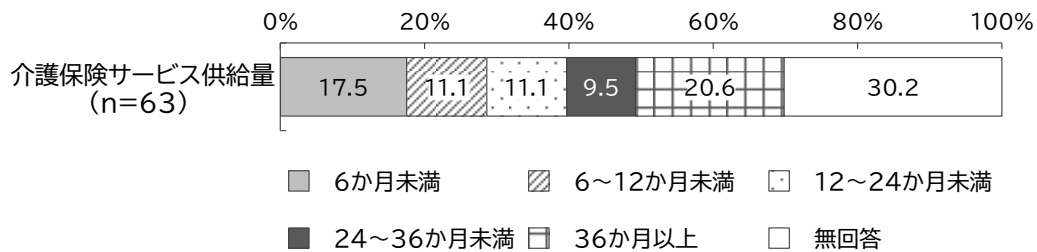
令和3年4月1日から令和4年3月31日までの退職者について、お伺いします。  
上記期間中の退職者数と平均在籍期間をお答えください。

【単純集計】

退職者数



平均在籍期間



退職者数は、「3人未満」が63.5%と6割を超えて最も多く、次いで「3～5人未満」が14.3%、「5～10人未満」、「20人以上」がそれぞれ7.9%などとなっている。

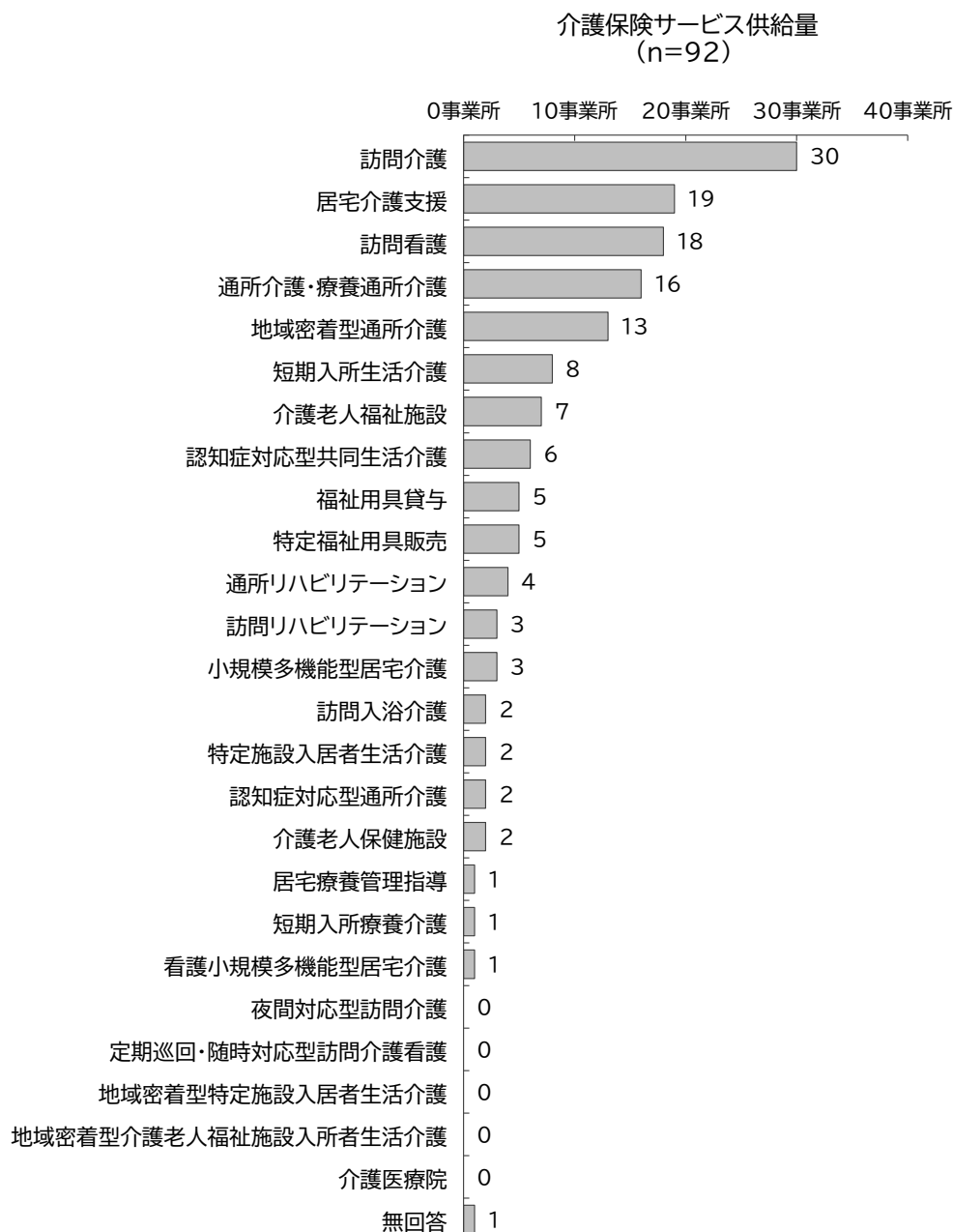
平均在籍期間は、「36か月以上」が20.6%と約2割で最も多く、次いで「6か月未満」が17.5%、「6～12か月未満」、「12～24か月未満」がそれぞれ11.1%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問2》

介護保険サービスについておたずねします。サービスごとの令和4年度の平均稼働率と収支見込及び今後の事業予定をお答えください。

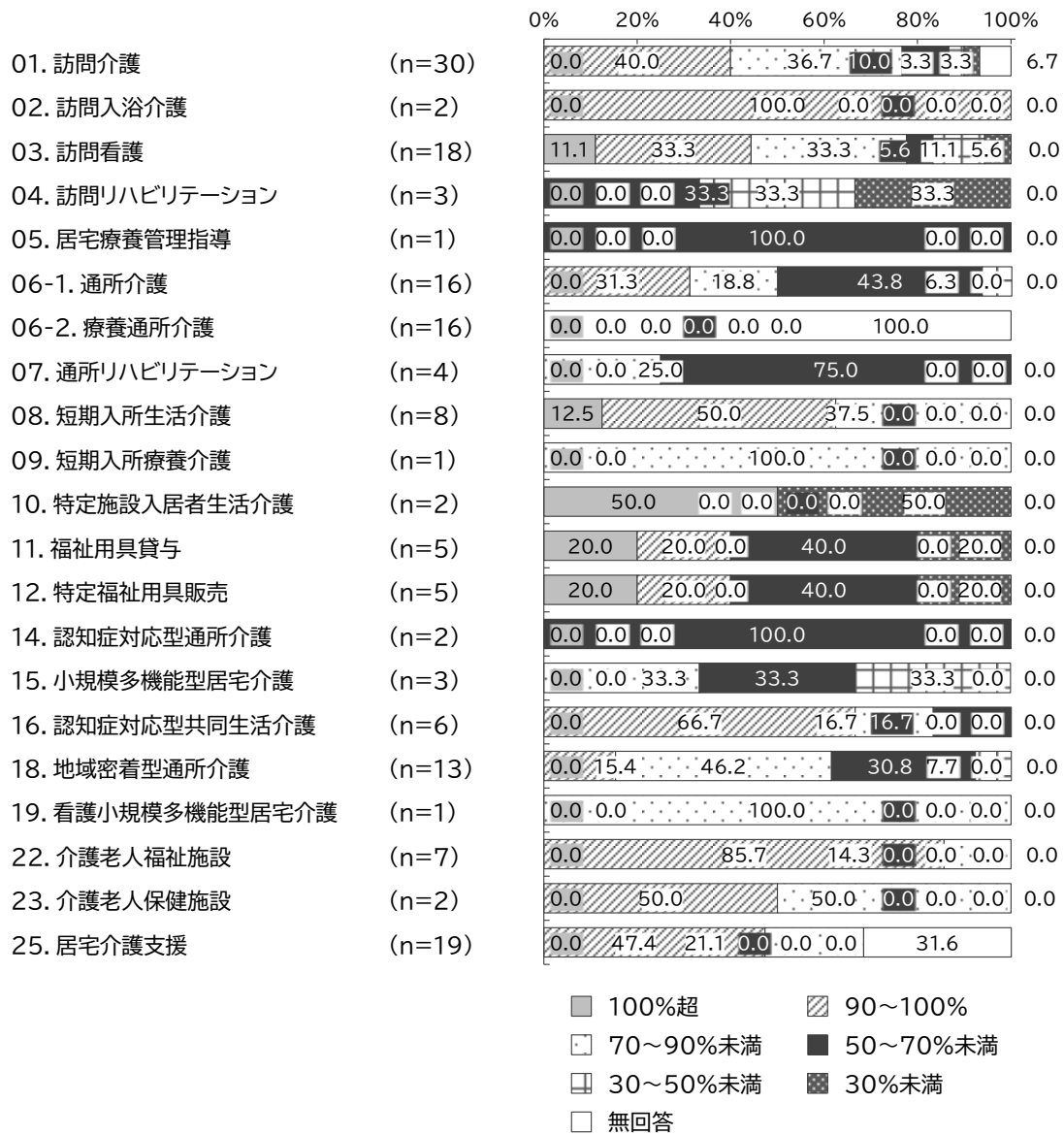
(実施している介護保険サービス：複数回答可、その他は単数回答)

【単純集計：実施している介護保険サービス+実施予定の介護保険サービス】



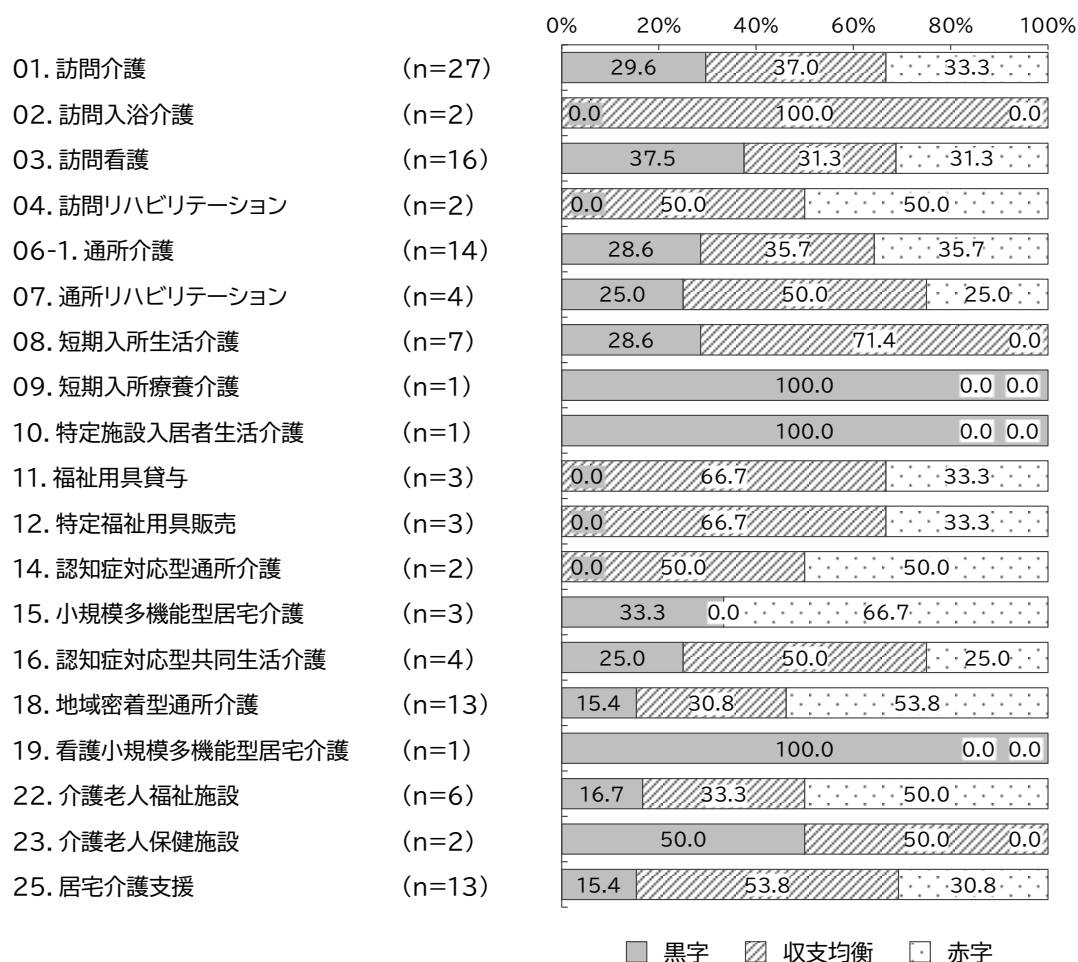
今回回答いただいた 92 法人において実施している介護保険サービス・実施予定の介護保険サービスの種類は、「訪問介護」が 30 事業所と最も多く、次いで「居宅介護支援」が 19 事業所、「訪問看護」が 18 事業所などとなっている。

【単純集計：平均稼働率】



平均稼働率は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《08. 短期入所生活介護》・《22. 介護老人福祉施設》で『70%以上（70~90%未満+90~100%+100%超）』が100.0%と10割で多くなっている。

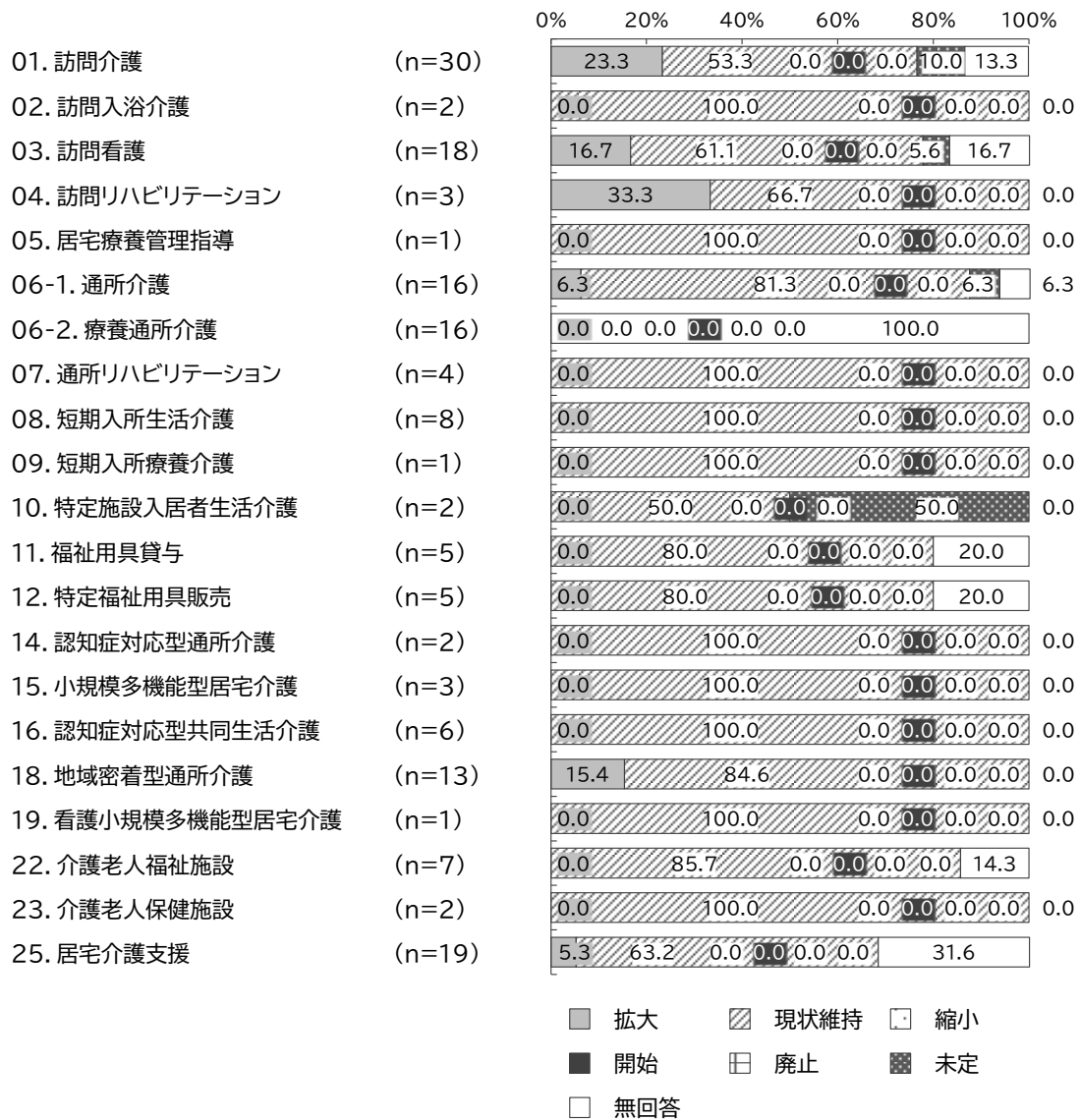
【単純集計：収支見込】



「未定」、「無回答」を除いた収支見込は、3事業以上の回答があったサービスのうち、《03. 訪問看護》・《15. 小規模多機能型居宅介護》で「黒字」が3割を超えて多くなっている。一方で、《15. 小規模多機能型居宅介護》では「赤字」も66.7%と6割を超えて多くなっている。



【単純集計：今後の事業予定】



今後の事業予定は、3事業以上の回答があったサービスのうち、すべてのサービスで「現状維持」が半数～10割と、大半が拡大や縮小等を予定していない。一方で、《01. 訪問介護》・《04. 訪問リハビリテーション》では「拡大」が2割を超えて多くなっている。

【単純集計：拡大・縮小・開始・廃止の予定時期】

			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	予定時期無回答
拡大	01. 訪問介護	(n=7)	1	-	1	-	5
	03. 訪問看護	(n=3)	2	-	-	-	1
	04. 訪問リハビリテーション	(n=1)	1	-	-	-	-
	06. 通所介護	(n=1)	1	-	-	-	-
	18. 地域密着型通所介護	(n=2)	1	-	1	-	-
	25. 居宅介護支援	(n=1)	-	-	-	-	1

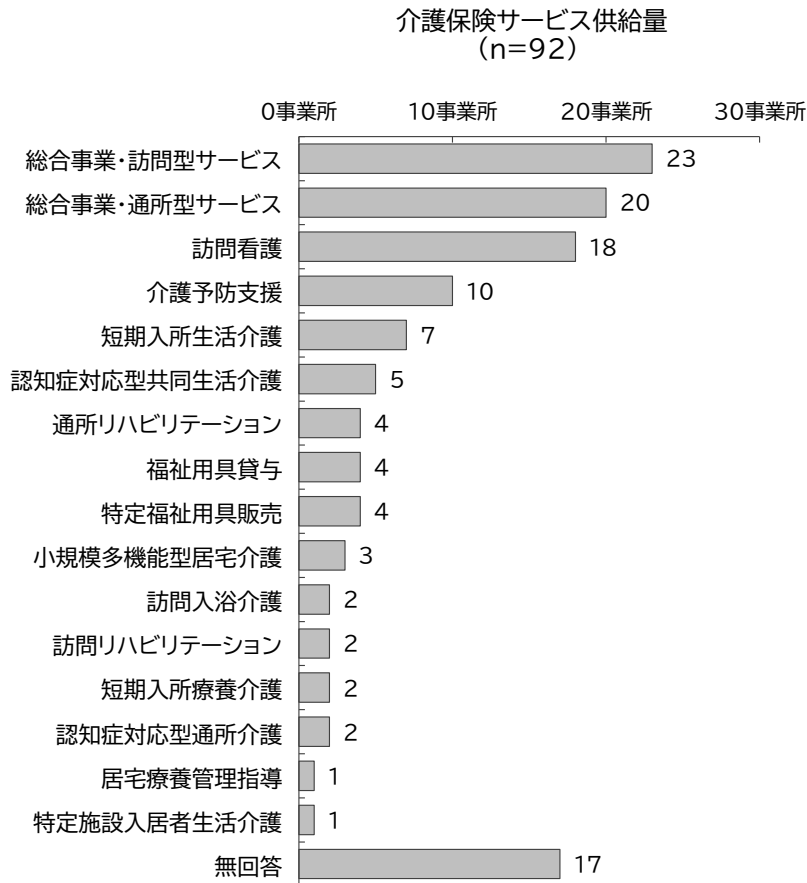
拡大・縮小・開始・廃止の予定時期は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、拡大において「令和6年」が2サービスで3事業所、「令和8年」が1サービスで1事業所となっている。

《介護保険サービス供給量：問3》

介護予防サービスについておたずねします。サービスごとの令和4年度の平均稼働率と今後の事業予定をお答えください。

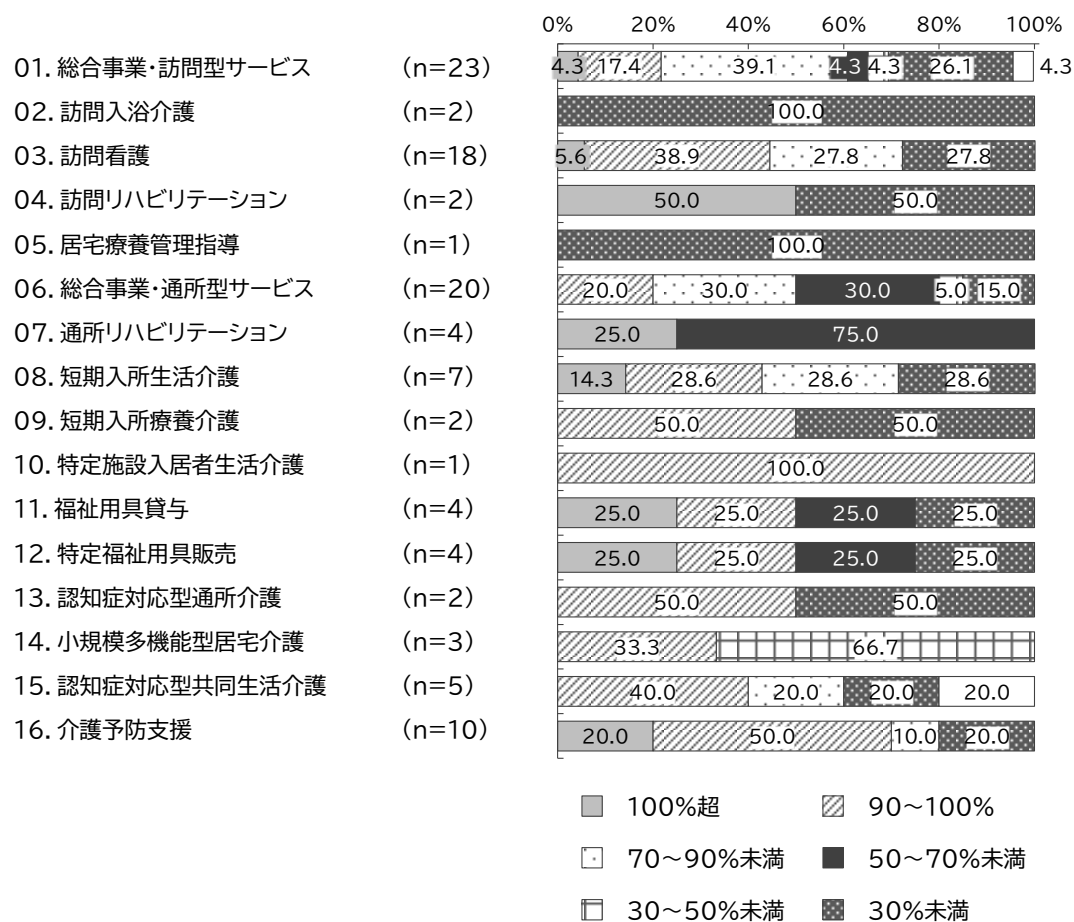
（実施している介護予防サービス：複数回答可、その他は単数回答）

【単純集計：実施している介護予防サービス+実施予定の介護予防サービス】



今回回答いただいた 92 法人において実施している介護予防サービス・実施予定の介護予防サービスの種類は、「総合事業・訪問型サービス」が 23 事業所と最も多く、次いで「総合事業・通所型サービス」が 20 事業所、「訪問看護」が 18 事業所などとなっている。

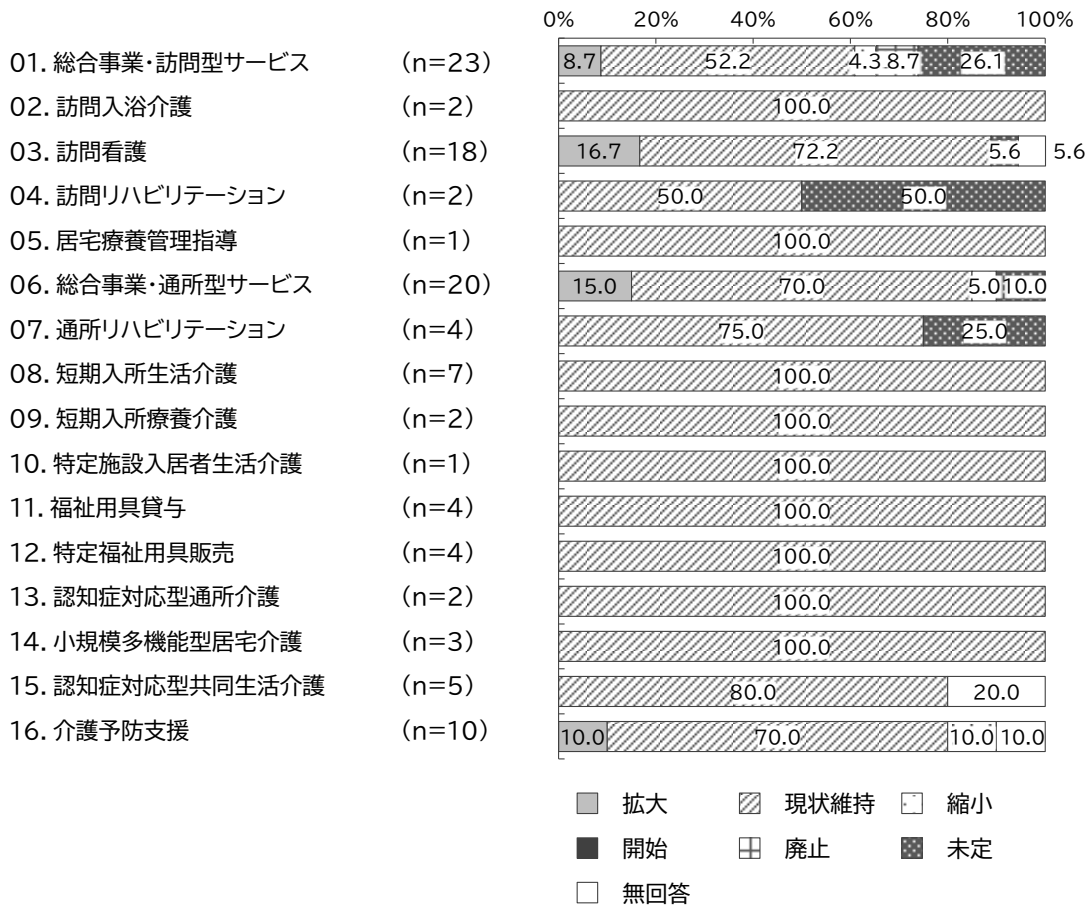
【単純集計：平均稼働率】



\*選択肢が多いため、「0.0%」の表記は割愛

平均稼働率は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、「16. 介護予防支援」で『70%以上 (70~90%未満+90~100%+100%超)』が80.0%と8割で多くなっている。

【単純集計：今後の事業予定】



\*選択肢が多いため、「0.0%」の表記は割愛

今後の事業予定は、3事業以上の回答があったサービスのうち、すべてのサービスで「現状維持」が半数～10割と、大半が拡大や縮小等を予定していない。一方で、《03. 訪問看護》・《06. 総合事業・通所型サービス》・《16. 介護予防支援》では「拡大」が1割を超えて多くなっている。また、《01. 総合事業・訪問型サービス》では「縮小」が4.3%、「廃止」が8.7%、《16. 介護予防支援》では「縮小」が10.0%と、サービスの「縮小」や「廃止」が1割を超えている。

## 【単純集計：拡大・縮小・開始・廃止の予定時期】

			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	予定時期無回答
拡大	01. 総合事業・訪問型サービス	(n=2)	-	-	-	-	2
	03. 訪問看護	(n=3)	2	-	-	-	1
	06. 総合事業・通所型サービス	(n=3)	2	-	1	-	-
	16. 介護予防支援	(n=1)	-	-	-	-	1
縮小	01. 総合事業・訪問型サービス	(n=1)	-	-	-	-	1
	06. 総合事業・通所型サービス	(n=1)	-	-	-	-	1
	16. 介護予防支援	(n=1)	-	-	-	-	1
廃止	01. 総合事業・訪問型サービス	(n=2)	2	-	-	-	-

拡大・縮小・開始・廃止の予定時期は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、拡大において「令和6年」が2サービスで4事業所、「令和8年」が1サービスで1事業所となっている。

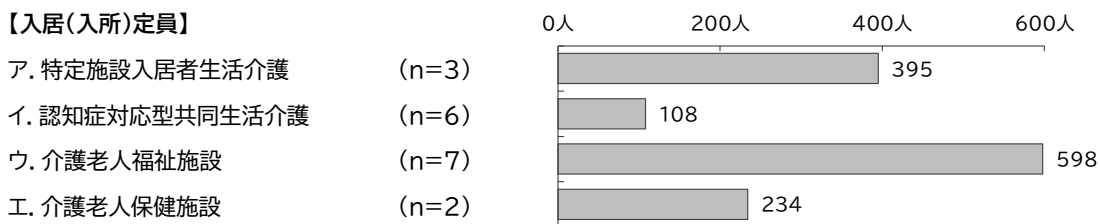
特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設を運営している事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問4》

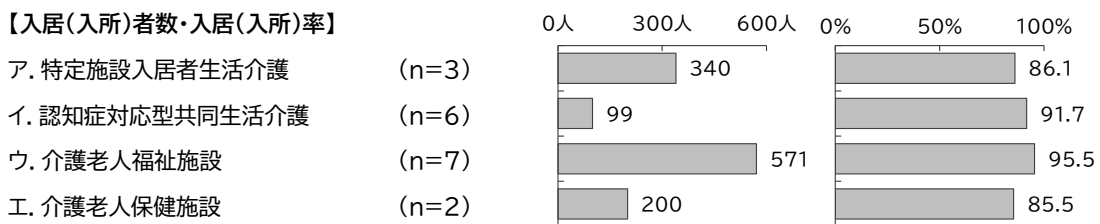
提供しているサービスの記号に○をつけ、入居（入所）定員と入居（入所）者数（令和5年1月1日現在）、そのうちの大和市の被保険者数についてお答えください。また、喀痰吸引、胃瘻が必要な方、人工透析のための送迎が必要な方についてお答えください。なお、介護予防の指定も受けている場合は、合算してお答えください。（数値記入）

【単純集計】

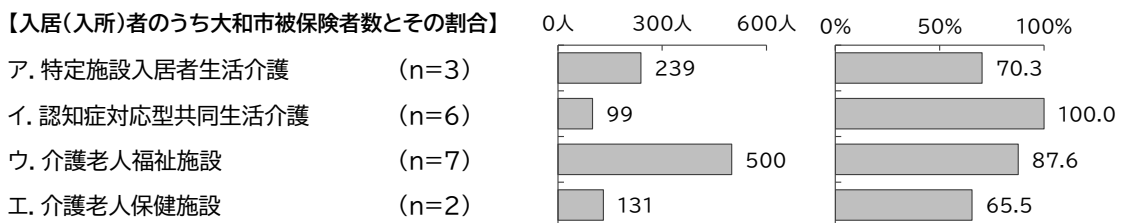
【入居(入所)定員】



【入居(入所)者数・入居(入所)率】

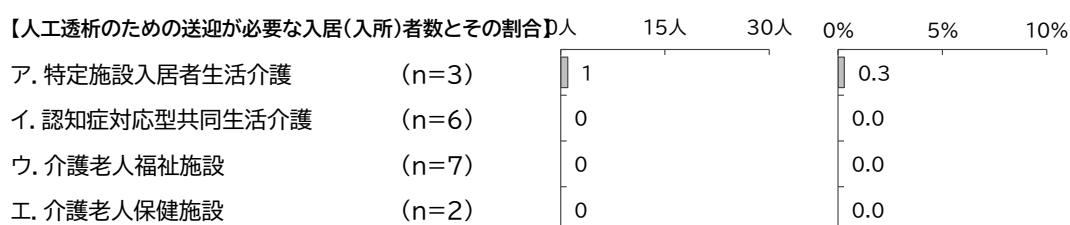
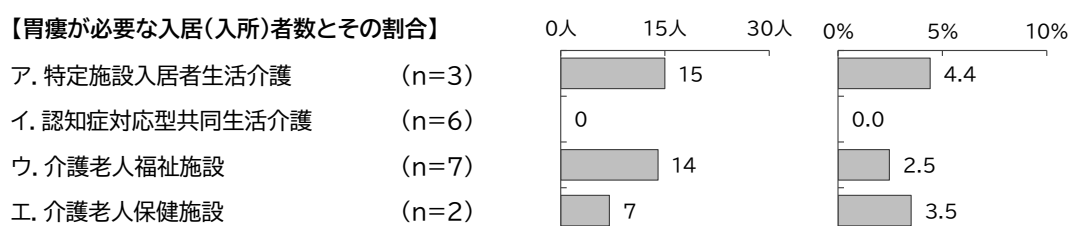
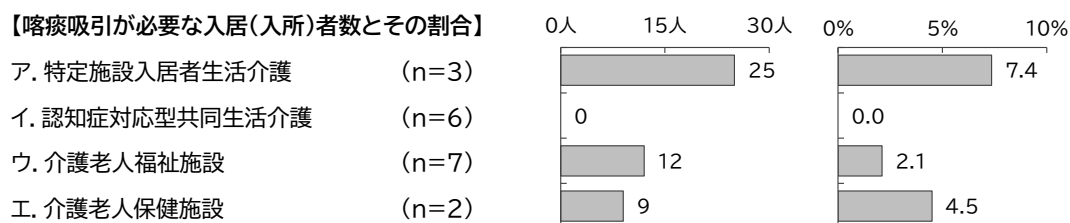


【入居(入所)者のうち大和市被保険者数とその割合】



入所（入居）定員は、《ウ. 介護老人福祉施設》で598人と、突出して多くなっている。  
 入所（入居）率は、すべての施設で8割以上となっており、特に《ウ. 介護老人福祉施設》で95.5%と高くなっている。  
 入所（入居）者のうち大和市被保険者の割合は、地域密着型サービスである《イ. 認知症対応型共同生活介護》では100.0%となっており、《エ. 介護老人保健施設》では65.5%と低くなっている。

【単純集計】



喀痰吸引が必要な入居(入所)者数は、《ア. 特定施設入居者生活介護》で25人と多く、入居(入所)者に対する割合も7.4%と高くなっている。

胃瘻が必要な入居(入所)者数は、《ア. 特定施設入居者生活介護》・《ウ. 介護老人福祉施設》14~15人と高くなっている。入居(入所)者に対する割合は、《ア. 特定施設入居者生活介護》で4.4%と高くなっている。

人工透析のために送迎が必要な入居(入所)者数は、《ア. 特定施設入居者生活介護》で1人、入居(入所)者に対する割合は0.3%となっている。

《介護保険サービス供給量：問5》

大和市において介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院の新設・増床(転換含む)の希望がある場合、その年月及び床数をお答えください。(数値記入)

【単純集計】

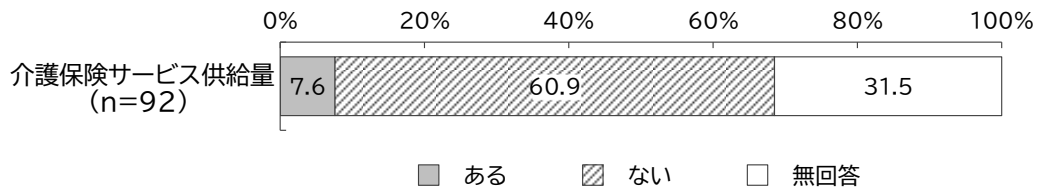
いずれの施設においても、新設・増設・転換の希望がある事業所はなかった。



《介護保険サービス供給量：問6》

定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入を検討したことがありますか。  
 (単数回答)

【単純集計】



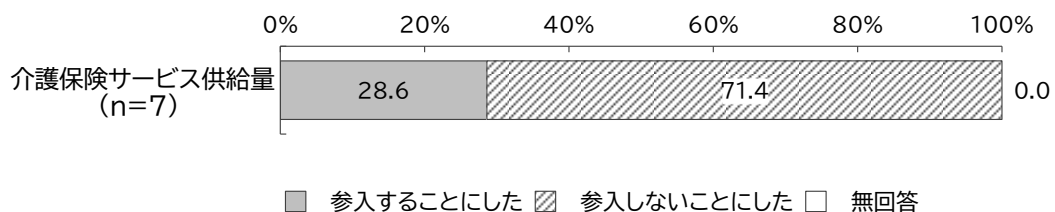
定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入の検討経験の有無は、「ない」が60.9%と突出している。

問6で「ある」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問6-1》

検討した結果はどのようになりましたか。(単数回答)

【単純集計】



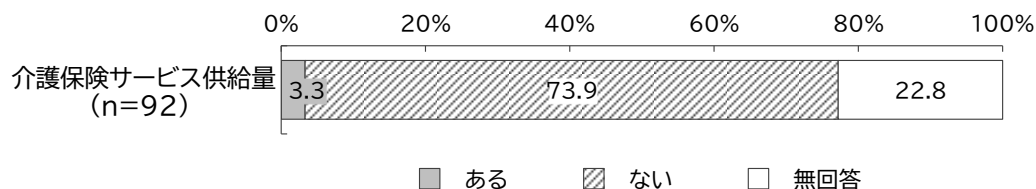
「参入することにした」と回答した事業所数	2事業所
令和7年頃	1事業所
(予定時期) 無回答	1事業所

定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入を検討した結果は、「参入することにした」が28.6%、「参入しないことにした」が71.4%と、「参入しないことにした」の方が42.8ポイント高くなっている。  
 また、参入を予定している時期は、「令和7年頃」が1事業所となっている。

《介護保険サービス供給量：問7》

地域支援事業における介護予防事業のひとつである人員等を緩和した訪問型サービスAに参入意向がありますか。また、参入意向がある場合、予定時期についてお答えください。(単数回答)

【単純集計】



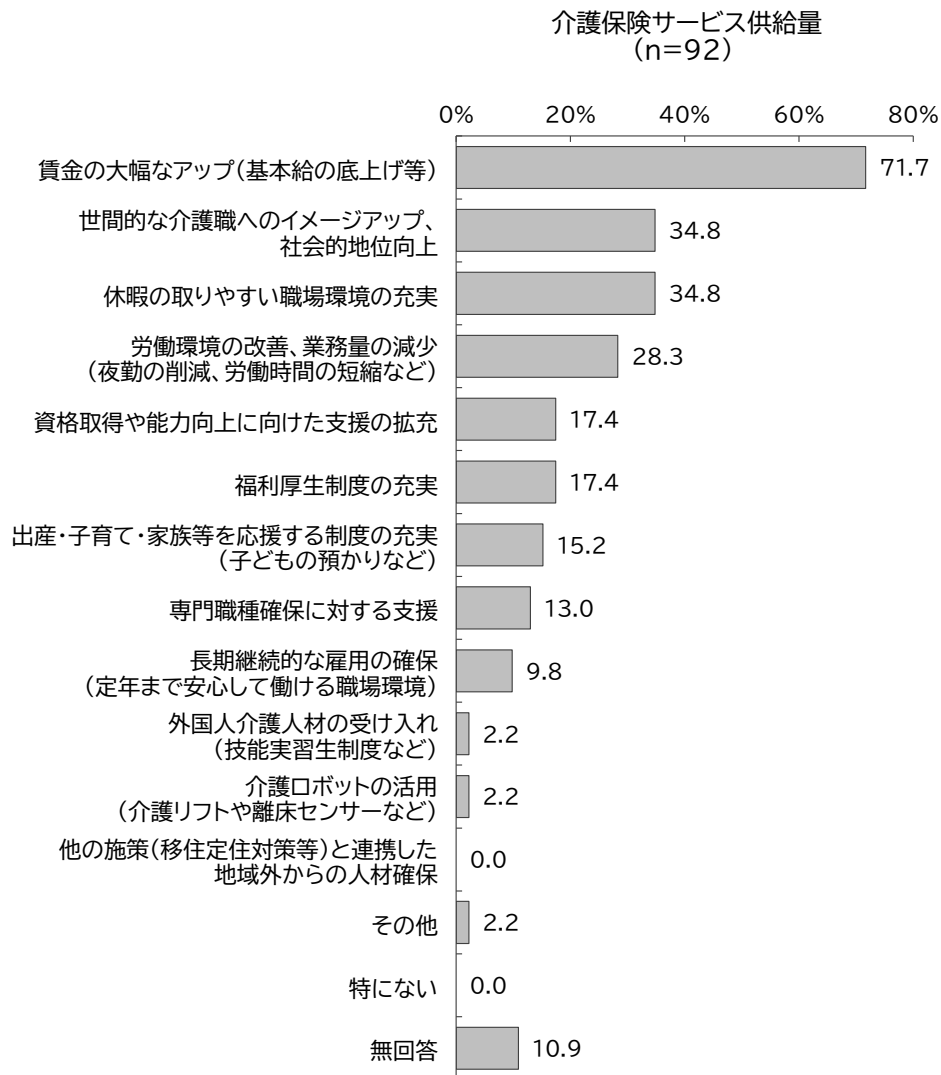
「ある」と回答した事業所数	3事業所
令和6年頃	1事業所
(予定時期) 無回答	2事業所

訪問型サービスAへの参入意向は、「ない」が73.9%と突出している。  
また、参入を予定している時期は、「令和6年頃」が1事業所となっている。

《介護保険サービス供給量：問8》

介護人材不足の打開策として、有効であるとお考えの取組をお知らせください。  
（複数回答可：3つまで）

【単純集計】



介護人材不足の打開策として有効だと考える取組は、「賃金の大幅なアップ（基本給の底上げ等）」が71.7%と約7割で最も多く、次いで「世間的な介護職へのイメージアップ、社会的地位向上」、「休暇の取りやすい職場環境の充実」がそれぞれ34.8%、「労働環境の改善、業務量の減少（夜勤の削減、労働時間の短縮など）」が28.3%などとなっている。

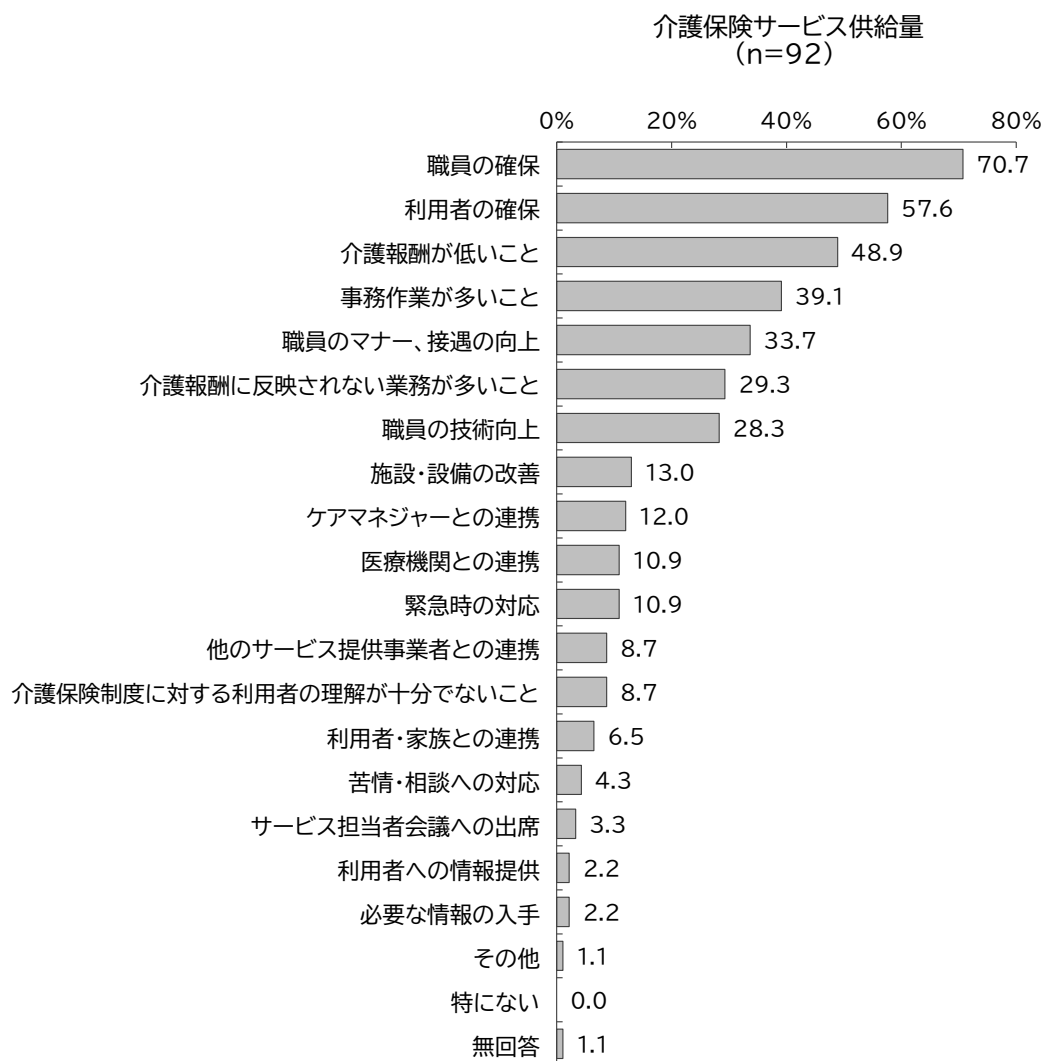
### 3 事業所の経営状況について

《介護保険サービス供給量：問10》

法人が介護保険事業を運営していくうえでの課題をお教えてください。

(複数回答可：5つまで)

【単純集計】

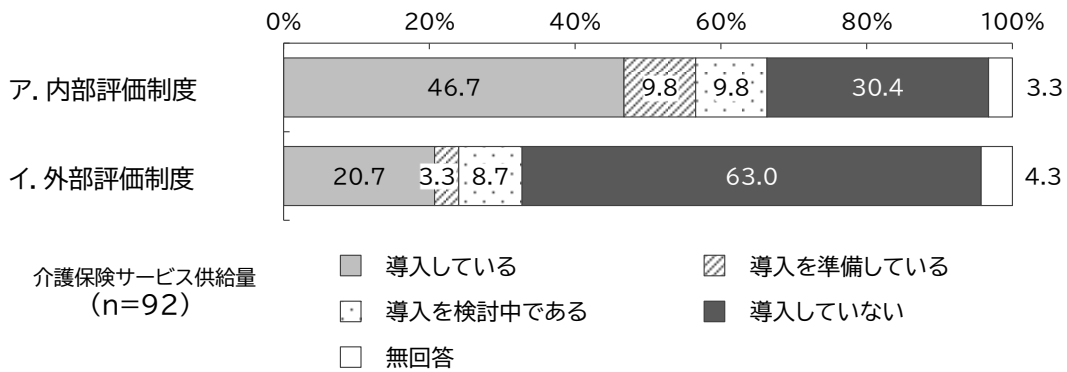


介護保険事業を運営していくうえでの課題は、「職員の確保」が70.7%と約7割で最も多く、次いで「利用者の確保」が57.6%、「介護報酬が低いこと」が48.9%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問 11》

事業所では、評価制度を導入していますか。（それぞれ単数回答）

【単純集計】

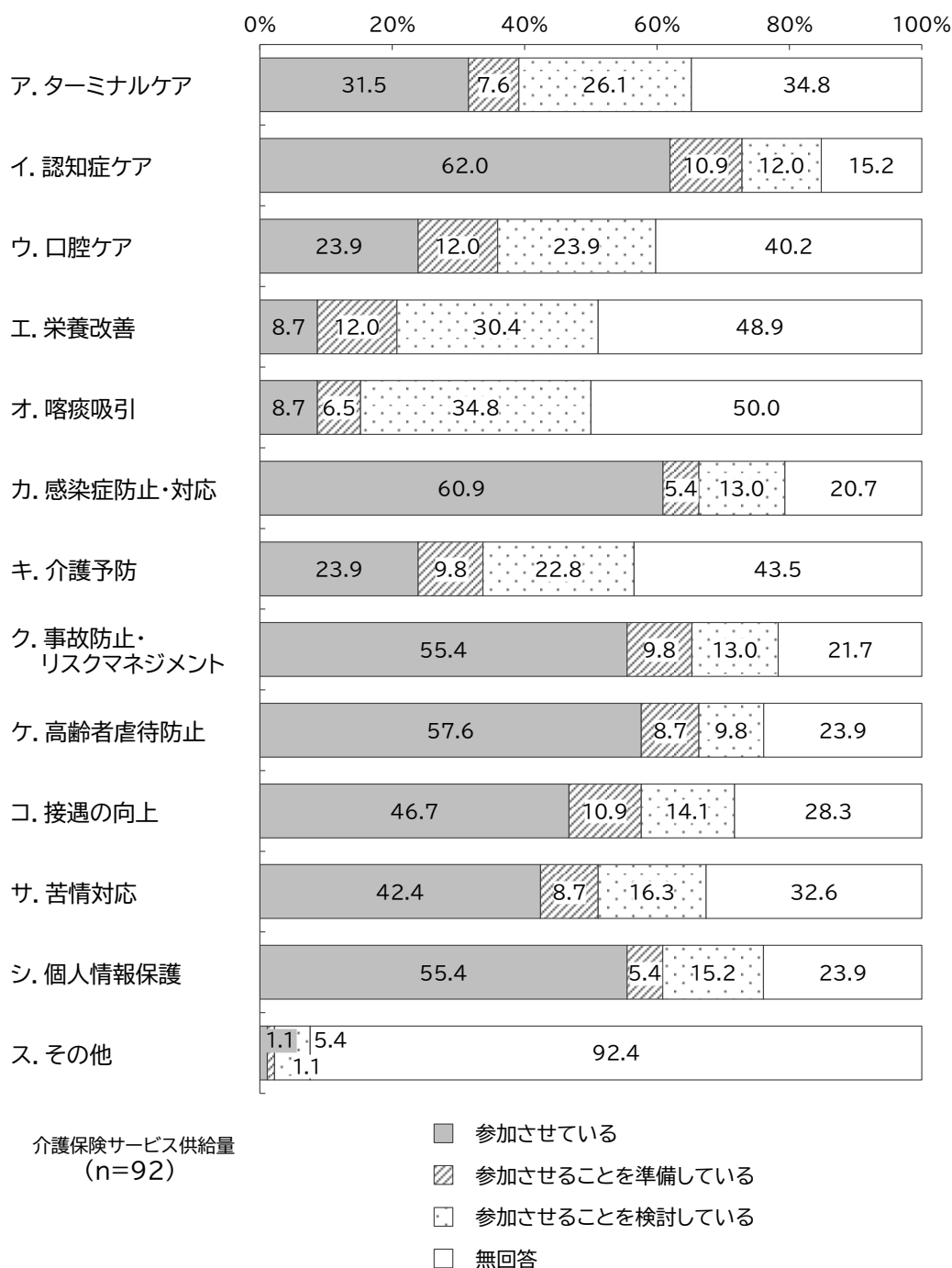


評価制度の導入状況は、《ア. 内部評価制度》で「導入している」が46.7%と4割を超えて最も多くなっているのに対し、《イ. 外部評価制度》では「導入していない」が63.0%と6割を超えて最も多くなっている。

《介護保険サービス供給量：問12》

令和4年度における事業所の職員の研修への参加状況と今後の予定をおたずねします。

【単純集計】



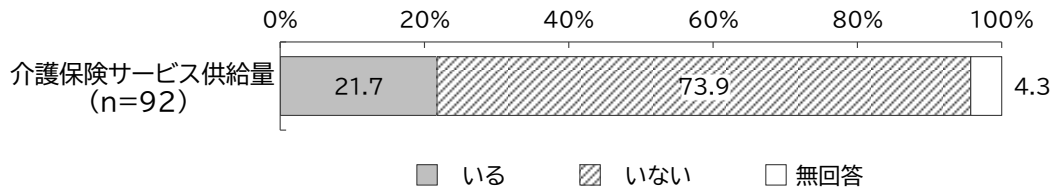
令和4年度における事業所の職員の研修への参加状況と今後の予定は、《イ.認知症ケア》・《カ.感染症防止・対応》・《ク.事故防止・リスクマネジメント》・《ケ.高齢者虐待防止》・《シ.個人情報保護》の5項目で「参加させている」が半数を超えて多くなっている。また、「参加させている」が最も少ない項目は《エ.栄養改善》・《オ.喀痰吸引》で、それぞれ8.7%と1割未満に留まっている。

《介護保険サービス供給量：問 13》

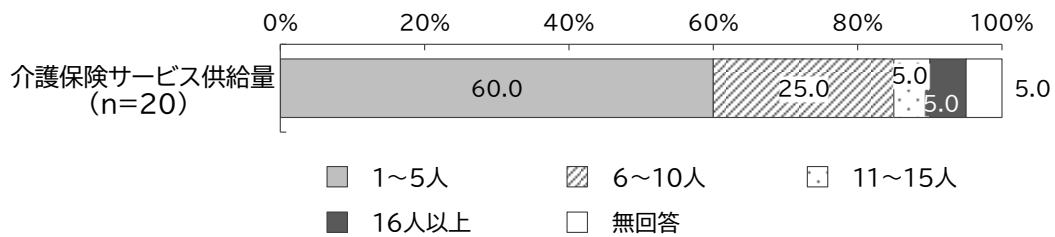
事業所には喀痰吸引ができる介護職員はいますか。（単数回答）

【単純集計】

喀痰吸引ができる介護職員の有無



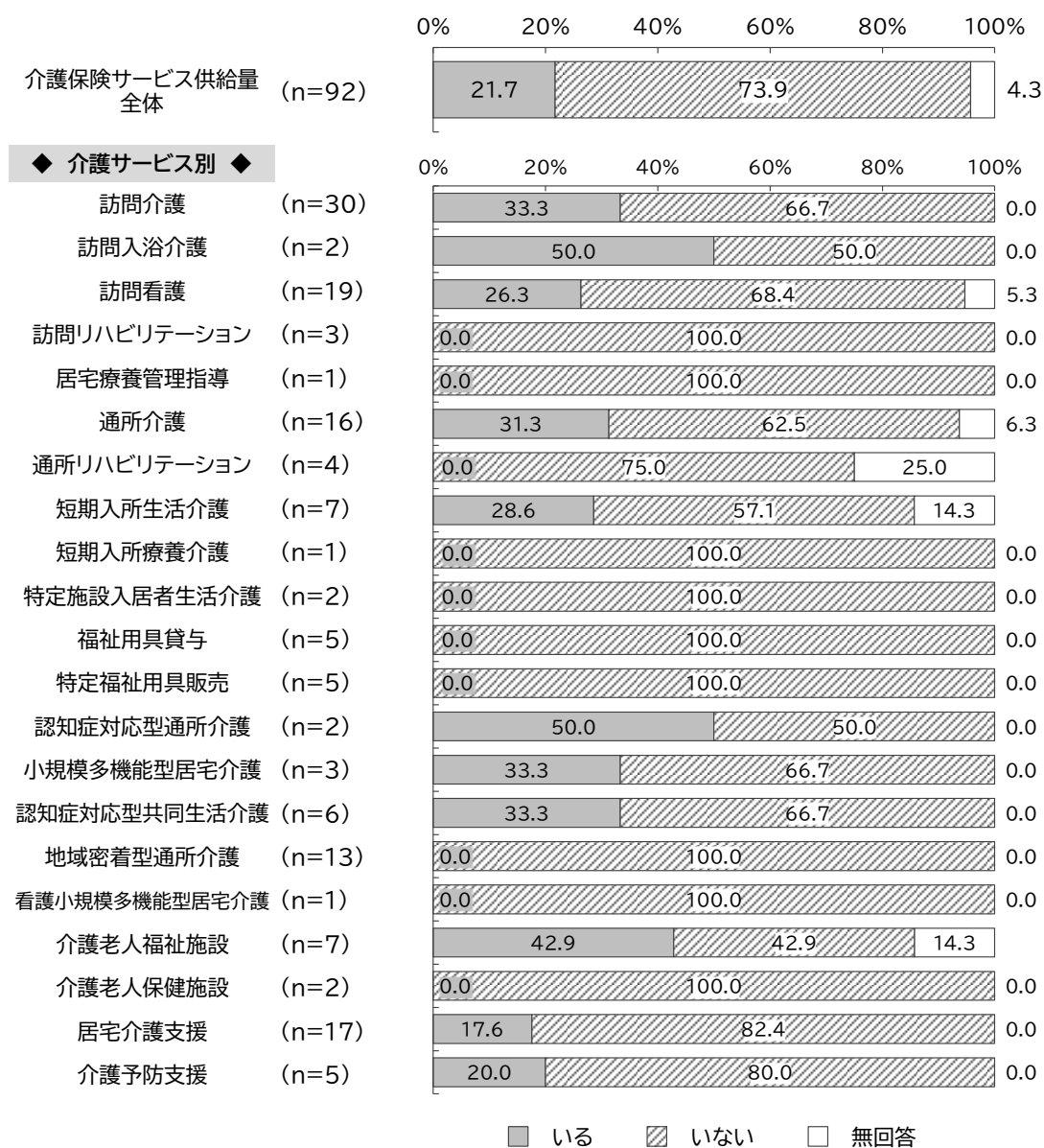
喀痰吸引ができる介護職員の人数



喀痰吸引ができる介護職員の有無は、「いる」が21.7%、「いない」が73.9%と、「いない」の方が52.2ポイント高くなっている。

喀痰吸引ができる介護職員の人数は、「1～5人」が60.0%と6割で最も多く、次いで「6～10人」が25.0%、「11～15人」、「16人以上」がそれぞれ5.0%となっている。

【クロス集計：提供している介護サービス別 喀痰吸引ができる介護職員の有無】



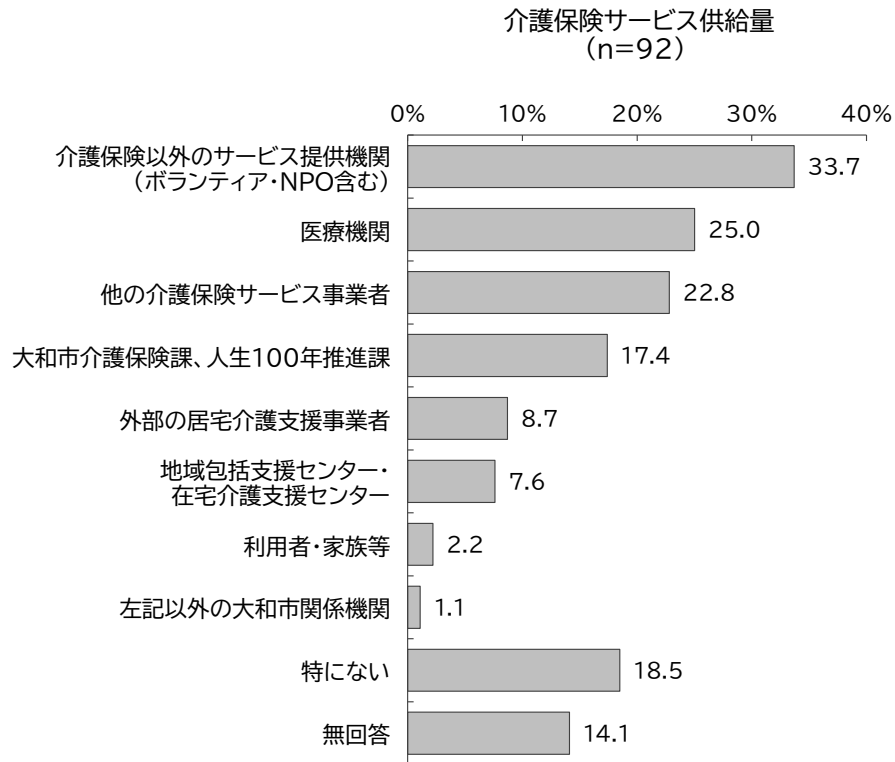
喀痰吸引ができる介護職員の有無を提供している介護サービス別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《介護老人福祉施設》で「いる」が42.9%と4割を超えて多くなっている。



《介護保険サービス供給量：問 14》

**連携が不十分とお考えの外部の諸機関等をお知らせください。(複数回答可: 3つまで)**

【単純集計】



連携が不十分と考える外部の諸機関等は、「介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO含む）」が33.7%と3割を超えて最も多く、次いで「医療機関」が25.0%、「他の介護保険サービス事業者」が22.8%などとなっている。

【クロス集計：提供している介護サービス別】

	調査数(人)	連携が不十分と考える外部の諸機関等(%)										
		介護保険以外のサービス提供機関(NPO含む)	医療機関	他の介護保険サービス事業者	大和市介護保険課、人生100年推進課	外部の居宅介護支援事業者	地域包括支援センター・在宅介護支援センター	利用者・家族等	大和市介護保険課、人生100年推進課以外の大和市関係機関	特にない	無回答	
全体	92	33.7	25.0	22.8	17.4	8.7	7.6	2.2	1.1	18.5	14.1	
提供している介護サービス別	訪問介護	30	26.7	23.3	6.7	10.0	3.3	10.0	3.3	0.0	26.7	16.7
	訪問入浴介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	訪問看護	19	26.3	10.5	10.5	21.1	21.1	10.5	0.0	5.3	31.6	15.8
	訪問リハビリテーション	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	居宅療養管理指導	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	通所介護	16	50.0	50.0	31.3	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	18.8	6.3
	通所リハビリテーション	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短期入所生活介護	7	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6
	短期入所療養介護	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	福祉用具貸与	5	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	特定福祉用具販売	5	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	認知症対応型通所介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	小規模多機能型居宅介護	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	認知症対応型共同生活介護	6	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	地域密着型通所介護	13	30.8	38.5	76.9	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	看護小規模多機能型居宅介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	介護老人福祉施設	7	57.1	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3
	介護老人保健施設	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	居宅介護支援	17	41.2	35.3	29.4	11.8	11.8	0.0	0.0	5.9	17.6	5.9
介護予防支援	5	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	

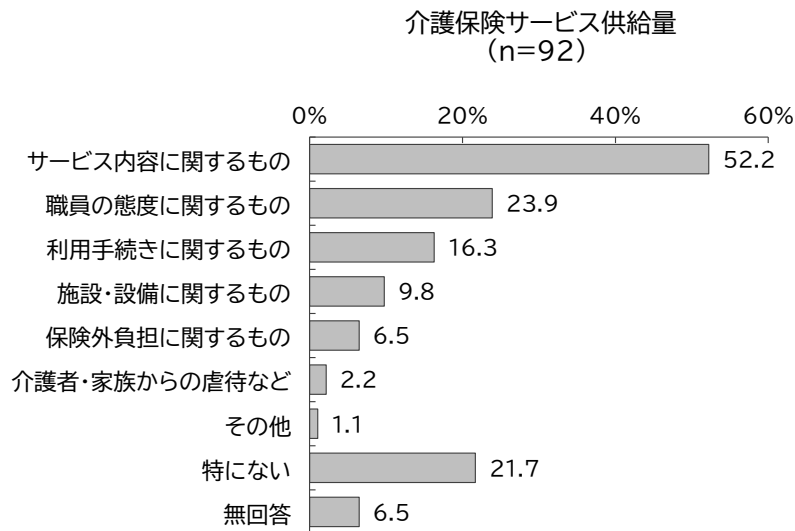
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)、サンプル数が1桁の項目については識別していない

提供している介護サービス別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、「通所介護」・「小規模多機能型居宅介護」・「介護老人福祉施設」で「介護保険以外のサービス提供機関(NPO含む)」、通所介護で「医療機関」、地域密着型通所介護で「他の介護保険サービス事業者」、訪問リハビリテーションで「特にない」が多くなっており、提供している介護サービスによって連携が不足していると考えている機関が異なることがわかる。

《介護保険サービス供給量：問 15》

利用者・契約者やその家族からの苦情や相談はどのようなものが多いですか。  
 （複数回答可：3つまで）

【単純集計】

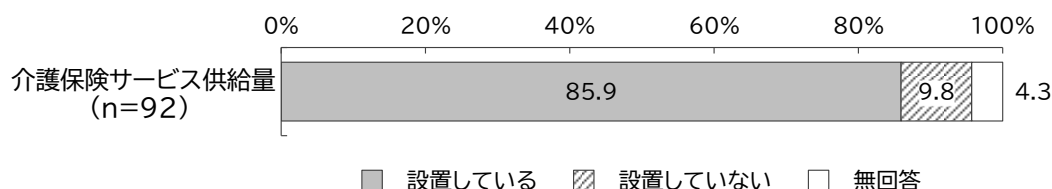


利用者・契約者やその家族からの苦情や相談で多いものは、「サービス内容に関するもの」が 52.2%と半数を超えて最も多く、次いで「職員の態度に関するもの」が 23.9%、「特にない」が 21.7%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問16》

事業所では、苦情や相談の解決のために特別な機関等を設置していますか。(単数回答)

【単純集計】



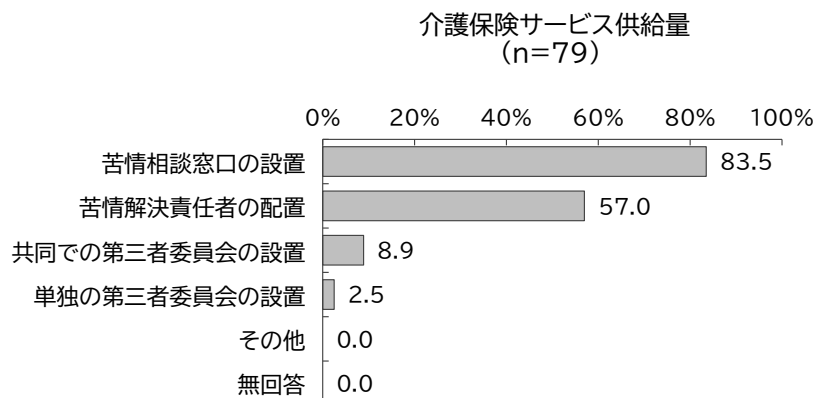
苦情や相談の解決のための特別な機関等の設置状況は、「設置している」が85.9%と突出している。

問16で「設置している」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問16-1》

特別機関はどのようなものですか。(複数回答可)

【単純集計】



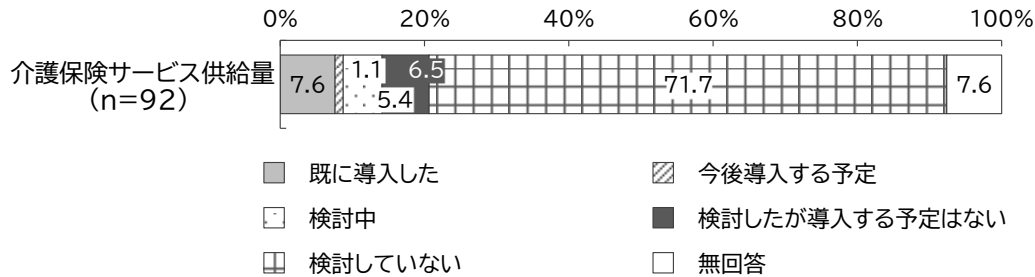
苦情や相談の解決のための特別機関は、「苦情相談窓口の設置」が83.5%と8割を超えて最も多く、次いで「苦情解決責任者の配置」が57.0%、「共同での第三者委員会の設置」が8.9%などとなっている。

## 4 介護ロボットの導入について

《介護保険サービス供給量：問 17》

介護ロボットの導入を検討したことがありますか。（単数回答）

【単純集計】



【クロス集計：提供している介護サービス別】

	調査数 (人)	介護ロボットの導入を検討した経験 (%)					
		既に導入した	今後導入する	検討中	検討したが導入する予定はない	検討していない	無回答
全体	92	7.6	1.1	5.4	6.5	71.7	7.6
提供している介護サービス別							
訪問介護	30	3.3	0.0	3.3	3.3	83.3	6.7
訪問入浴介護	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
訪問看護	19	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	10.5
訪問リハビリテーション	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
居宅療養管理指導	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
通所介護	16	25.0	0.0	6.3	18.8	50.0	0.0
通所リハビリテーション	4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
短期入所生活介護	7	42.9	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3
短期入所療養介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
特定施設入居者生活介護	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与	5	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0
特定福祉用具販売	5	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0
認知症対応型通所介護	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
認知症対応型共同生活介護	6	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0
地域密着型通所介護	13	0.0	0.0	0.0	7.7	84.6	7.7
看護小規模多機能型居宅介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
介護老人福祉施設	7	57.1	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3
介護老人保健施設	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
居宅介護支援	17	23.5	0.0	11.8	5.9	58.8	0.0
介護予防支援	5	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）、サンプル数が1桁の項目については識別していない

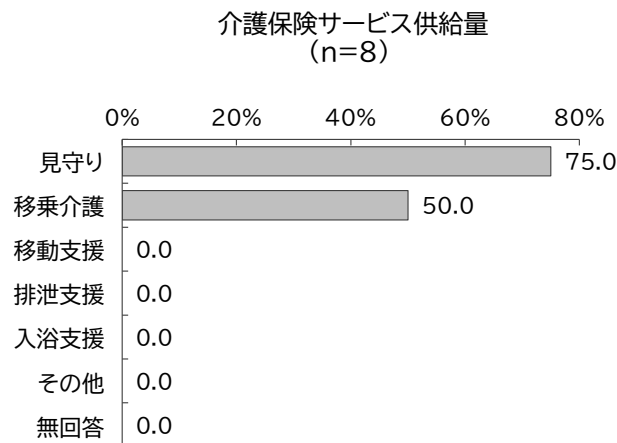
介護ロボットの導入の検討経験の有無は、「検討していない」が71.7%と突出している。提供している介護サービス別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《通所リハビリテーション》・《介護老人福祉施設》で「すでに導入した」が半数を超えて多くなっている。

問 17で「既に導入した」または「今後導入する予定」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問 17-1》

導入、または導入予定の介護ロボットの用途を教えてください。(複数回答可)

【単純集計】



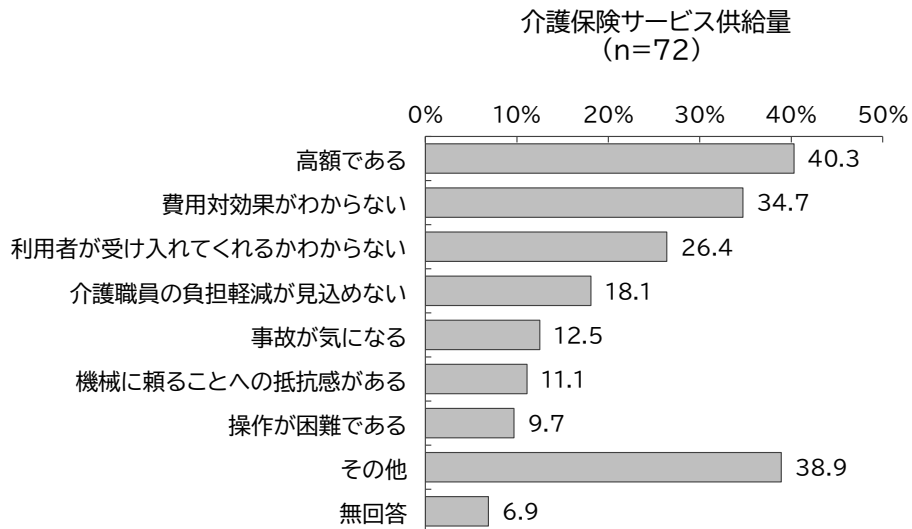
導入、または導入予定の介護ロボットの用途は、「見守り」が 75.0%と7割を超えて最も多く、次いで「移乗介護」が 50.0%となっている。

問 17 で「検討したが導入する予定はない」または「検討していない」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問 17-2》

介護ロボットを導入しない理由は何ですか。（複数回答可）

【単純集計】



※その他の具体的な内容（抜粋）：必要ない、活用できるサービスではない、現在のサービスで活用できるかわからない 等

介護ロボットを導入しない理由は、「高額である」が40.3%と約4割で最も多く、次いで「その他」が38.9%、「費用対効果がわからない」が34.7%などとなっている。

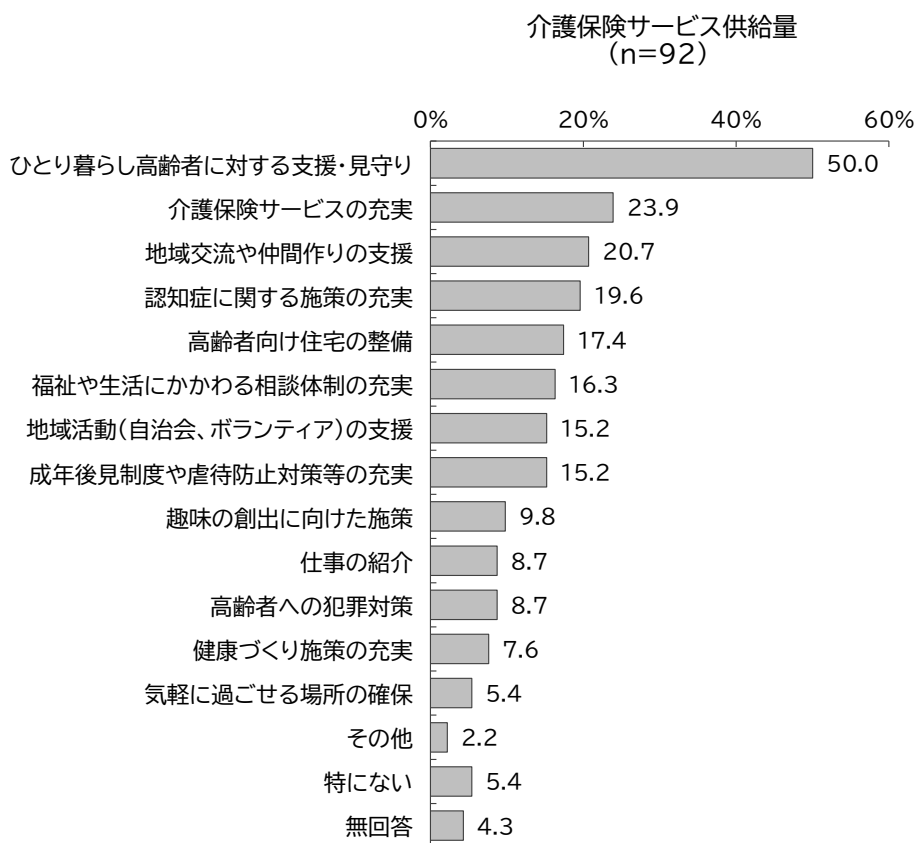
## 5 高齢者施策等について

《介護保険サービス供給量：問18》

大和市中で充実すべきであるとお考えの高齢者施策等をお知らせください。

(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



大和市中で充実すべきであるとお考える高齢者施策等は、「ひとり暮らし高齢者に対する支援・見守り」が50.0%と半数で最も多く、次いで「介護保険サービスの充実」が23.9%、「地域交流や仲間作りの支援」が20.7%などとなっている。

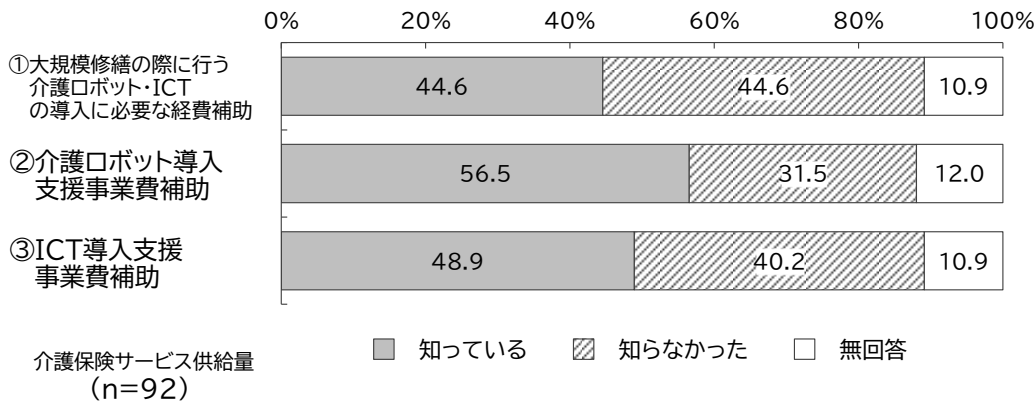


《介護保険サービス供給量：問 19》

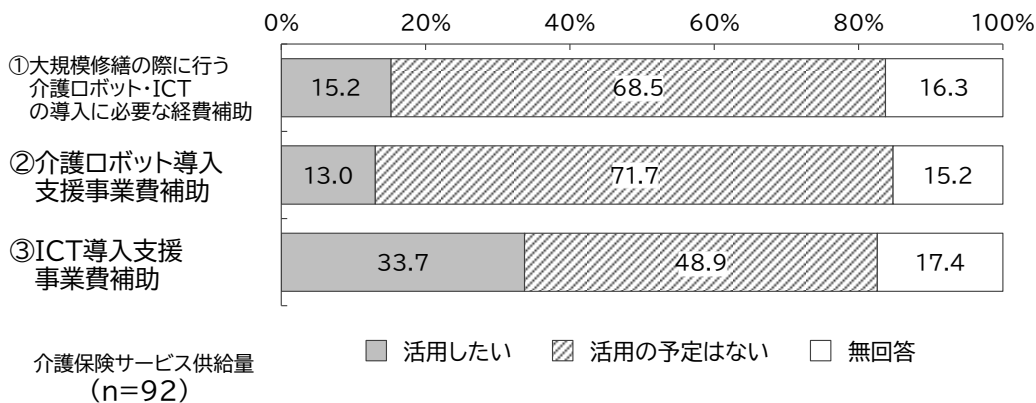
人材不足に対応するため行われている以下の神奈川県補助事業について、それぞれの認知と活用意向についてお答えください。（それぞれ単数回答）

【単純集計】

認知状況



活用意向



人材不足に対応するために行われている神奈川県の補助事業の認知状況は、いずれの事業も「知っている」が4～5割となっている。3つの事業の中では、②介護ロボット導入支援事業費補助が最も認知されており、半数以上が「知っている」と回答している。

人材不足に対応するために行われている神奈川県の補助事業の活用意向は、①大規模修繕の際に行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費補助、②介護ロボット導入支援事業費補助で「活用したい」が1割台であるのに対し、③ICT導入支援事業費補助では3割以上と活用意向が高くなっている。

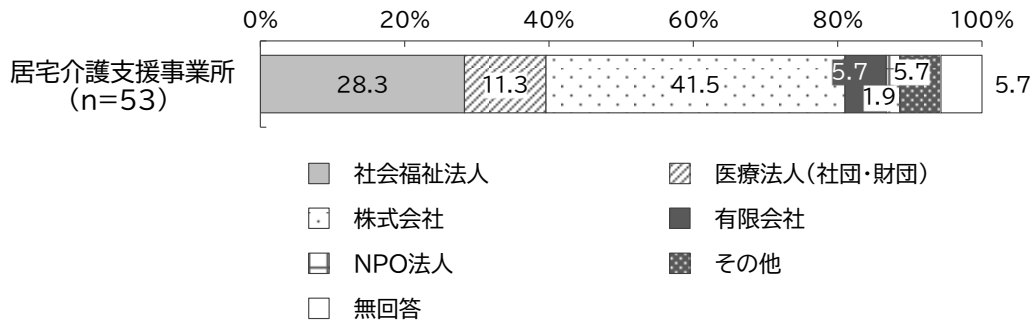
## IV 調査の結果（居宅介護支援事業所）

### 1 事業所の概要について

《居宅介護支援事業所：事前設問》

#### 法人の種類（単数回答）

【単純集計】

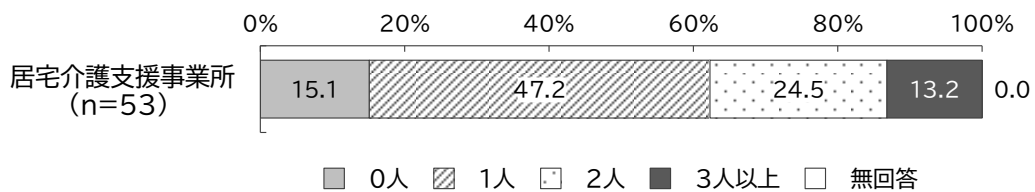


法人の種類は、「株式会社」が41.5%と約4割で最も多く、次いで「社会福祉法人」が28.3%、「医療法人（社団・財団）」が11.3%などとなっている。  
サービス事業者全体（140 ページ）の結果と比較すると、居宅介護支援事業所において「社会福祉法人」が多く、「株式会社」が少なくなっている。

《居宅介護支援事業所：事前設問》

#### 主任ケアマネジャーの人数（単数回答）

【単純集計】



主任ケアマネジャーの人数は、「1人」が47.2%と半数近くで最も多く、次いで「2人」が24.5%、「0人」が15.1%などとなっている。

## 2 ケアプラン作成について

《居宅介護支援事業所：問1》

事業者の職員数と、担当している利用者数をお答えください。（数値記入）

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=46)	ケアマネジャー数	担当利用者数	ケアマネジャー 1人あたりの担当 利用者数
常勤	134人	4,279人	31.9人
非常勤	18人	330人	18.3人

常勤のケアマネジャーは134人で、担当利用者数は4,279人となっている。非常勤のケアマネジャーは18人で、担当利用者数は330人となっている。ケアマネジャー1人あたりの担当利用者数は、常勤31.9人、非常勤18.3人と、常勤が非常勤の1.7倍以上となっている。

《居宅介護支援事業所：問2》

受け持っている利用者のうち、喀痰吸引、胃瘻、人工透析が必要な方は何人いますか。  
（数値記入）

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=46)	担当利用者数	必要な利用者数	割合
喀痰吸引	4,609人	35人	0.8%
胃瘻	4,609人	32人	0.7%
人工透析	4,609人	69人	1.5%

担当利用者のうち、喀痰吸引が必要な利用者は35人（0.8%）、胃瘻が必要な利用者は32人（0.7%）、人工透析が必要な利用者は69人（1.5%）となっている。

≪居宅介護支援事業所：問3≫

受け持っている利用者のうち、区分支給限度額を超えてサービスを利用している方は何人いますか。(数値記入)

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=46)	担当利用者数	区分支給限度額を 超えている利用者数	割合
	4,609人	75人	1.6%

担当利用者のうち、区分支給限度額を超えてサービスを利用している利用者は75人(1.6%)となっている。

≪居宅介護支援事業所：問4≫

受け持っている利用者のうち、訪問型サービスAの利用意向がある方は何人いますか。  
(数値記入)

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=46)	担当利用者数	訪問型サービスA の利用意向がある 利用者数	割合
	4,609人	9人	0.2%

担当利用者のうち、訪問型サービスAの利用意向がある利用者は9人(0.2%)となっている。

《居宅介護支援事業所：問5・問6》

受け持っている利用者のうち、施設等への入所を希望している方は何人いますか。  
施設等への入所を希望している人のうち、ケアマネジャーの視点からも施設入所が望ましいと思われる方は何人いますか。（数値記入）

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=46)	担当利用者の意向		ケアマネジャーの視点	
	人数	割合	人数	割合
担当利用者数	4,609人	—	4,609人	—
入所希望者数	251人	5.4%	214人	4.6%
<b>希望する施設の種別</b>				
介護老人福祉施設	177人	3.8%	141人	3.1%
介護老人保健施設	7人	0.2%	7人	0.2%
介護療養型医療施設	3人	0.1%	3人	0.1%
介護医療院	0人	0.0%	2人	0.0%
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	17人	0.4%	18人	0.4%
特定施設 (介護付有料老人ホーム)	17人	0.4%	17人	0.4%
高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け住宅含む)	30人	0.7%	26人	0.6%

担当利用者のうち、施設等への入所を希望している利用者は251人(5.4%)となっているのに対し、ケアマネジャーの視点からも施設入所が望ましいと思われる利用者は214人(4.6%)と、やや少なくなっており、担当利用者とケアマネジャーとで若干の乖離がみられる。

希望数施設別にみると、「介護老人福祉施設」への入所希望が多く、177人(3.8%)となっている。

《居宅介護支援事業所：問7》

施設等への入所を希望している方のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。また、上記のうち、特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。

【単純集計】

居宅介護支援事業所（n=37）	人数	割合
入所希望者数	251人	—
地域密着型サービスなどを充実させることで在宅生活が継続できそうな入所希望者数	88人	35.1%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで在宅生活が継続できそうな入所希望者数	41人	16.3%

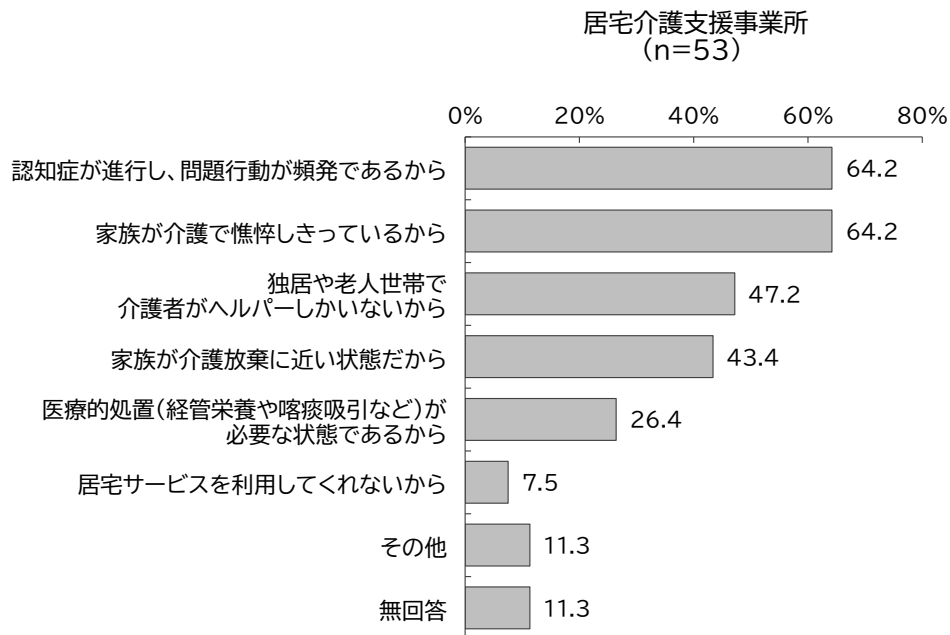
施設等への入所を希望している担当利用者のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は88人（35.1%）となっている。

また、特に定期巡回・随時対応型訪問介護を充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は41人（16.3%）となっている。

《居宅介護支援事業所：問8》

地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由について教えてください。（複数回答可）

【単純集計】



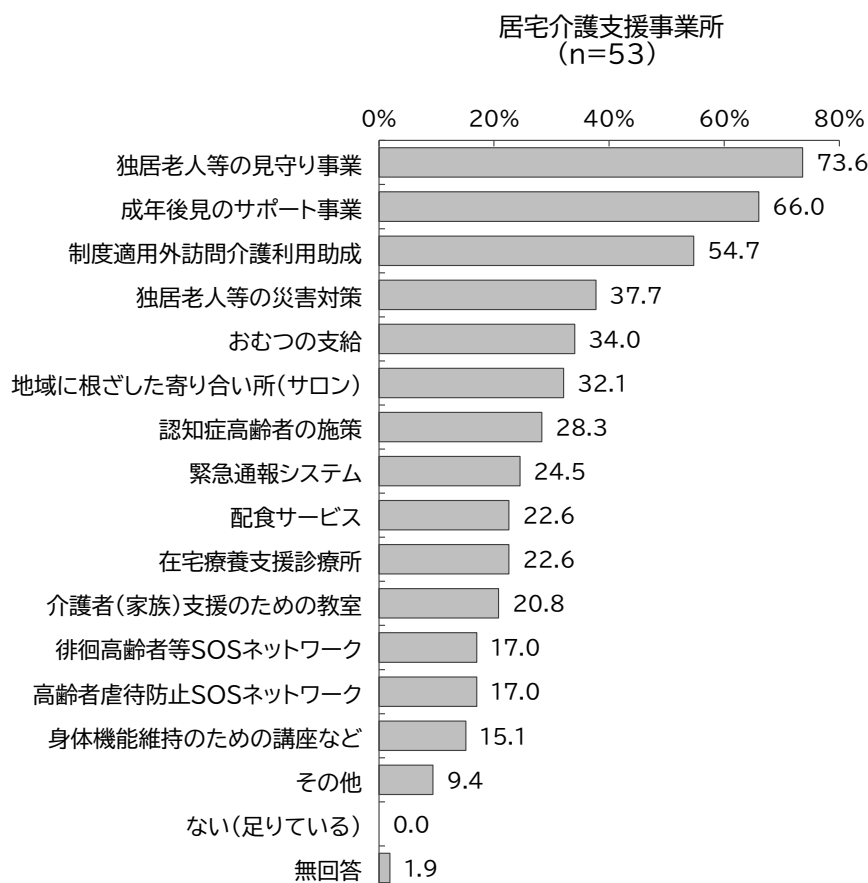
地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由は、「認知症が進行し、問題行動が頻発であるから」、「家族が介護で憔悴しきっているから」がそれぞれ64.2%と6割を超えて最も多く、次いで「独居や老人世帯で介護者がヘルパーしかいないから」が47.2%、「家族が介護放棄に近い状態だから」が43.4%などとなっている。

### 3 高齢者施策等について

《居宅介護支援事業所：問9》

今後充実した方が良い、もしくは、新規に望まれる介護保険制度外のサービスはありますか。(複数回答可)

【単純集計】



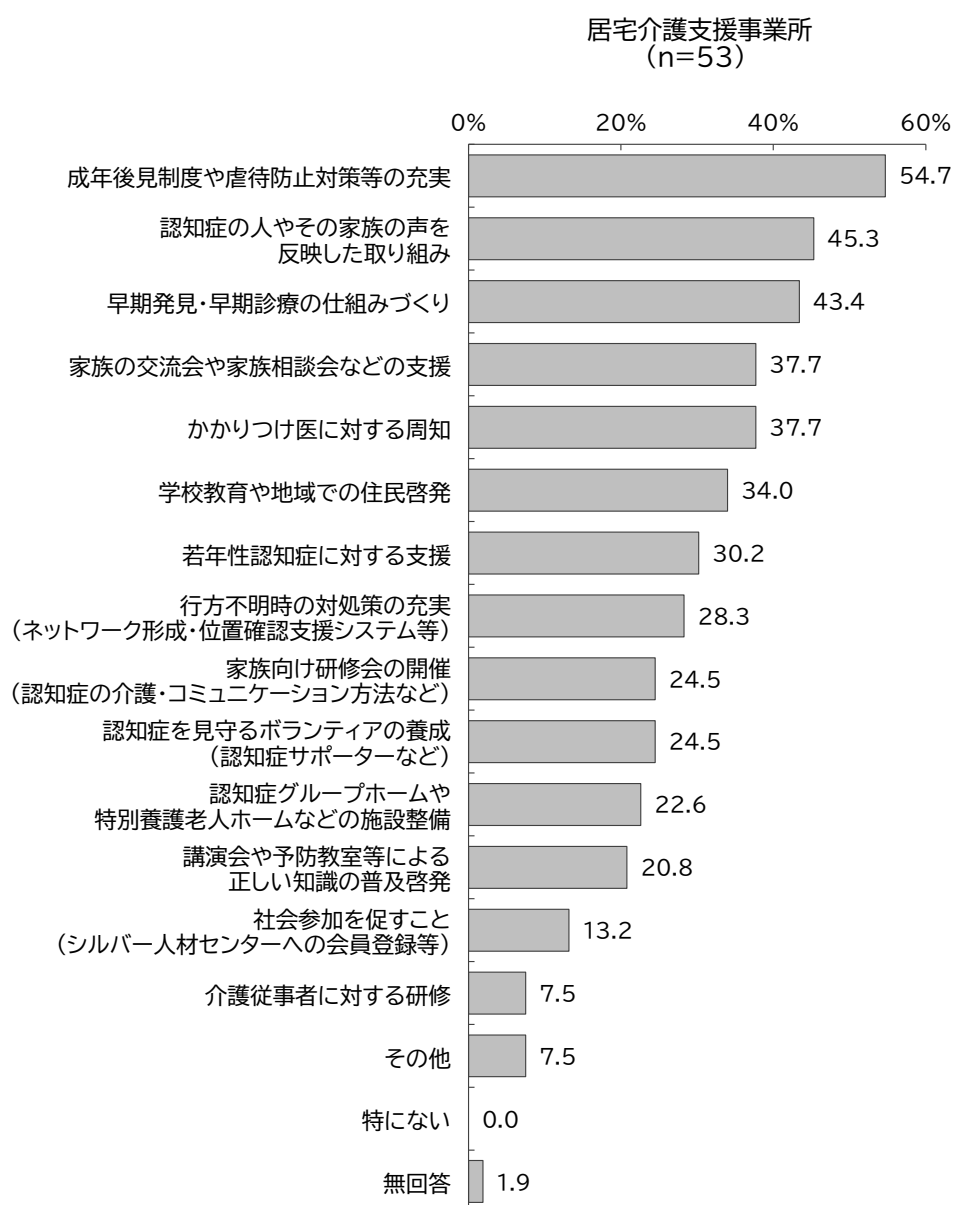
今後充実した方が良い、もしくは、新規に望まれる介護保険制度外のサービスは、「独居老人等の見守り事業」が 73.6%と7割を超えて最も多く、次いで「成年後見のサポート事業」が 66.0%、「制度適用外訪問介護利用助成」が 54.7%などとなっている。



《居宅介護支援事業所：問 10》

認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。  
（複数回答可：5つまで）

【単純集計】



認知症施策を進めていくうえで、重点を置くべきと考えることは、「成年後見制度や虐待防止対策等の充実」が54.7%と半数を超えて最も多く、次いで「認知症の人やその家族の声を反映した取り組み」が45.3%、「早期発見・早期診療の仕組みづくり」が43.4%などとなっている。

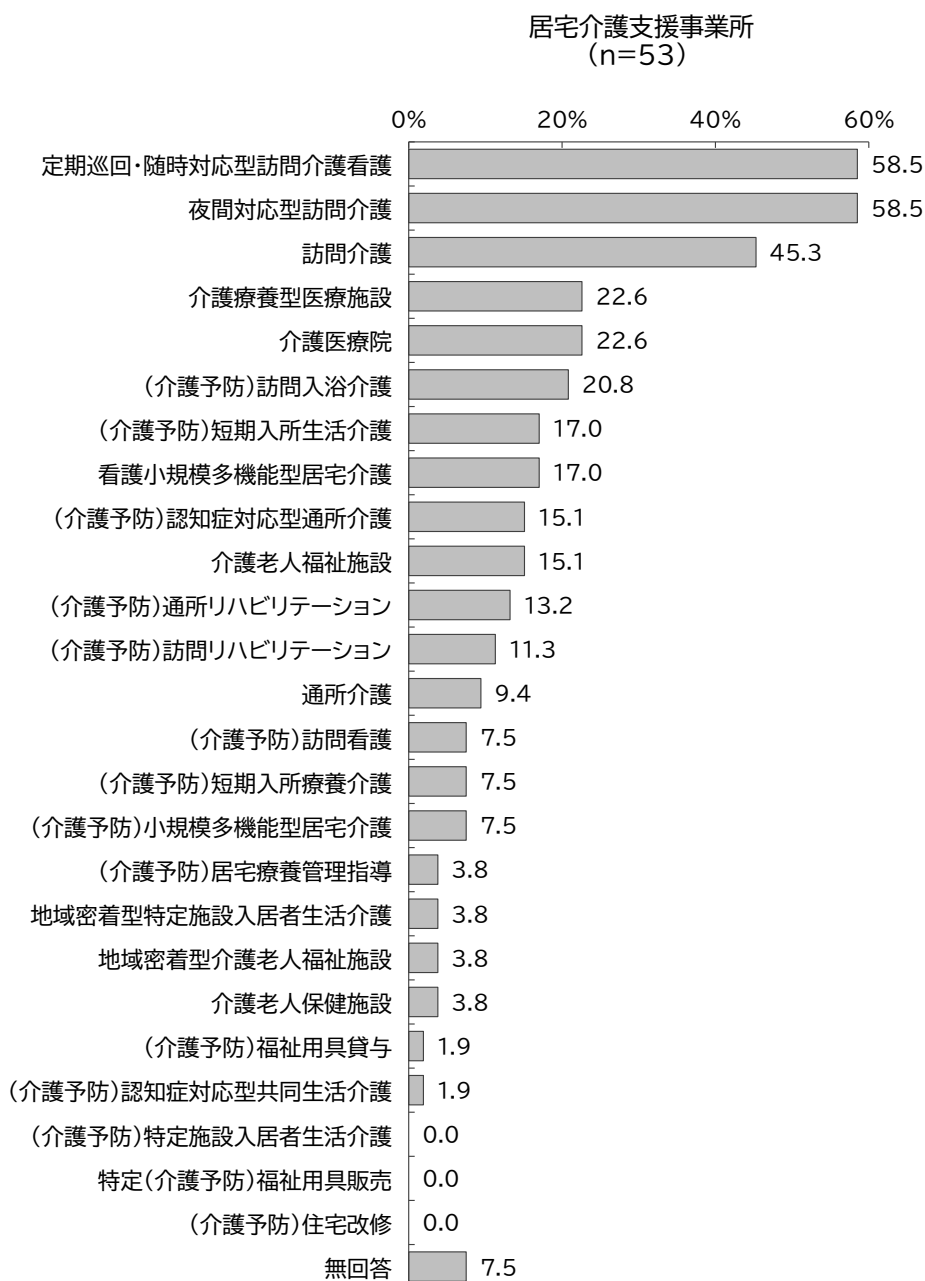
高齢者全般の調査結果（106 ページ）と比較すると、「認知症の人やその家族の声を反映した取り組み」、「早期発見・早期診療の仕組みづくり」はいずれの調査結果においても上位になっているが、「成年後見制度や虐待防止対策等の充実」は高齢者全般では1割未満と少なく、立場による意識の差がみられる。

## 4 本市の介護サービスについて

《居宅介護支援事業所：問 11》

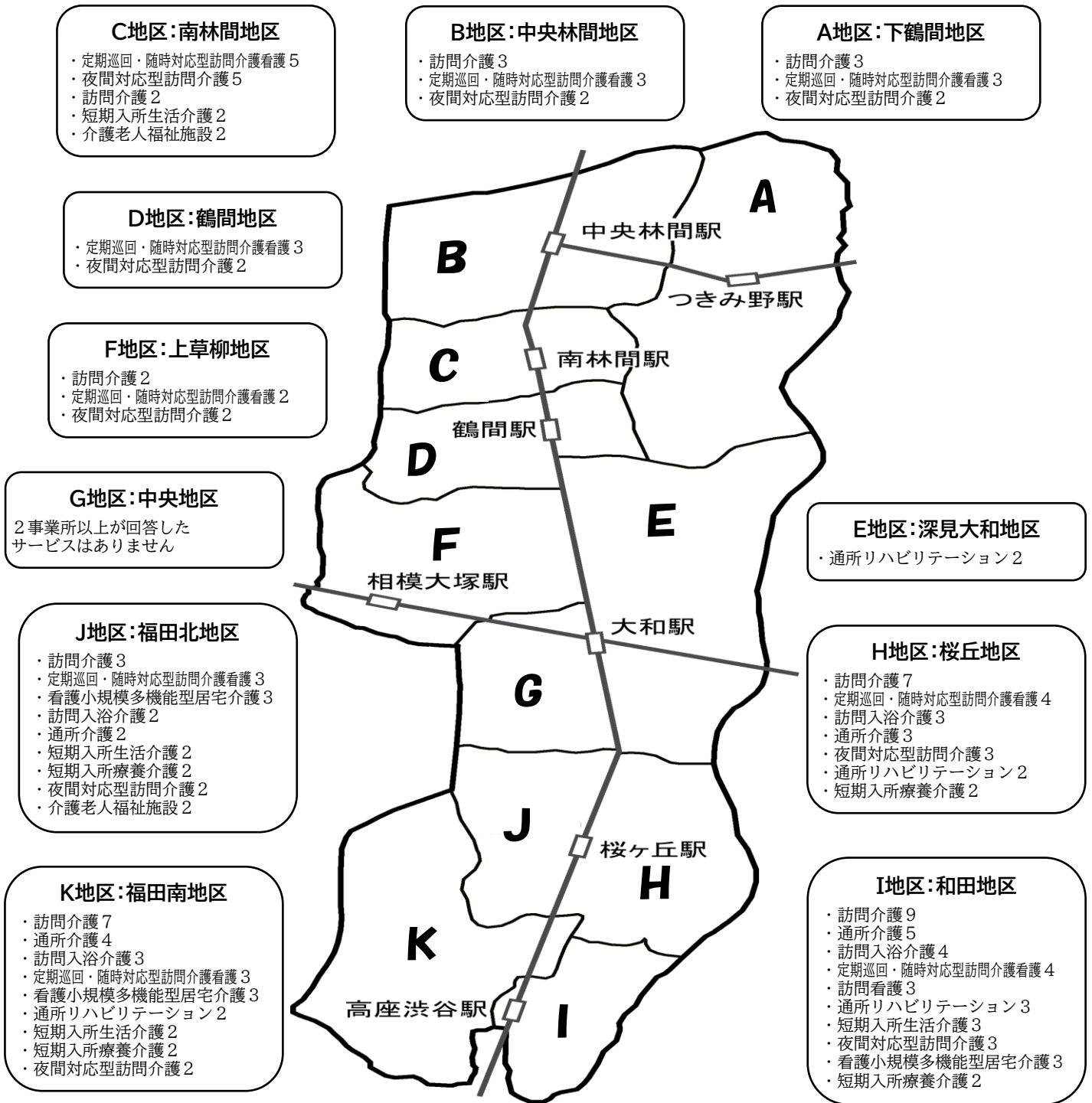
大和市で、事業所が不足していると思う介護（介護予防）サービスはありますか。市全体で不足していると思うサービスの番号を次ページの地図下段に、地区によって不足していると思うサービスがある場合はA～K地区それぞれのカッコ内に番号で書き込んでください。（それぞれ複数回答可）

【単純集計：市全体で不足していると思うサービス】



大和市全体で不足していると思うサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「夜間対応型訪問介護」がそれぞれ 58.5%と 6割近くで最も多く、次いで「訪問介護」が 45.3%、「介護療養型医療施設」、「介護医療院」がそれぞれ 22.6%などとなっている。

【単純集計：日常生活圏域別で不足していると思うサービス】



居宅支援事業所（n = 53）

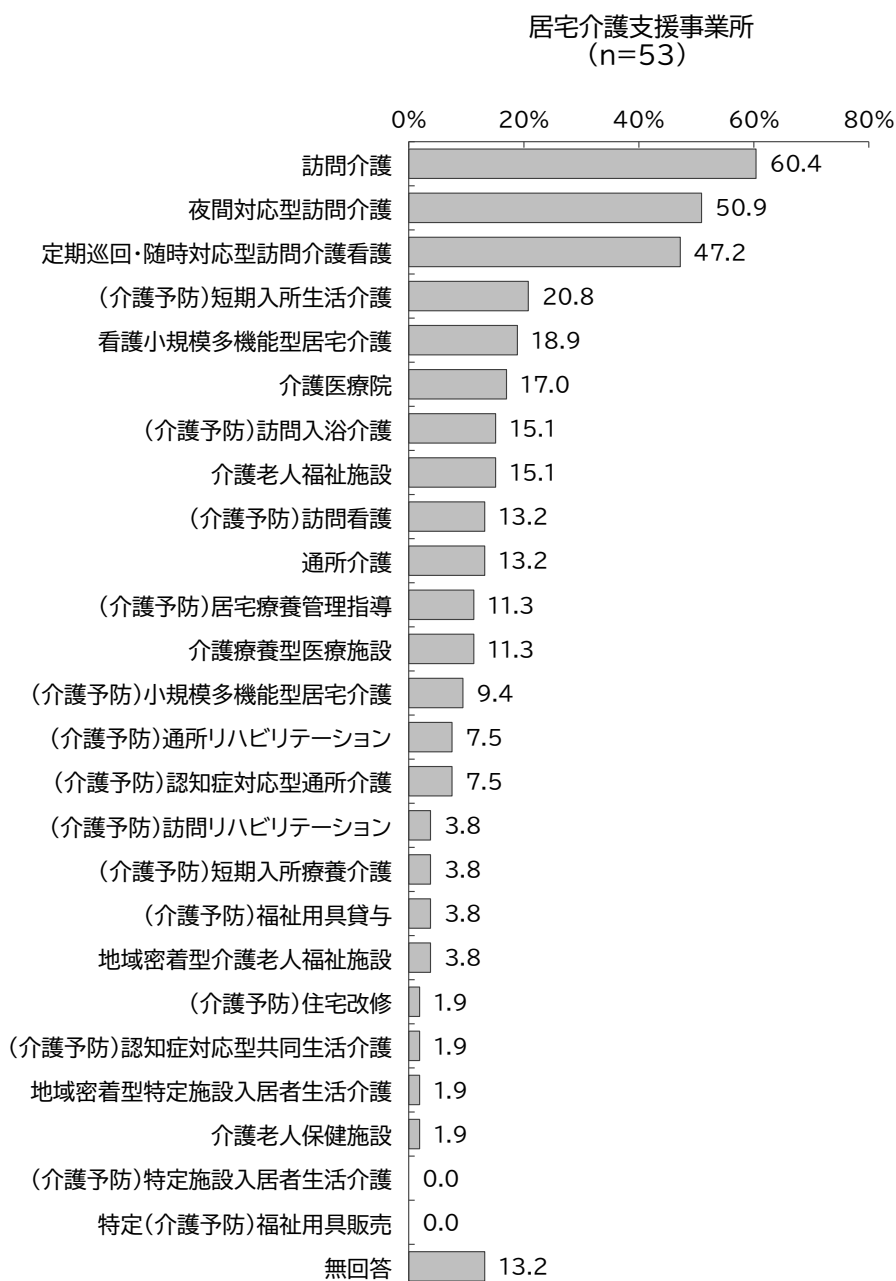
※数値は、不足を指摘した事業所数（2事業所以上を掲載）

日常生活圏域別で不足していると思うサービスは、I～K地区において9～10種類と多くなっているのに対し、G地区においては1種類もなく、日常生活圏域による差がみられる。特にI地区における「訪問介護」の不足を指摘する声が多く、全体的に「訪問介護」や「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「夜間対応型訪問介護」が多く、訪問系の不足が問題視されていることがわかる。

《居宅介護支援事業所：問 12》

それでは、今後の大和市中で、特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスはどれだと考えますか。(複数回答可：5つまで)

【単純集計】



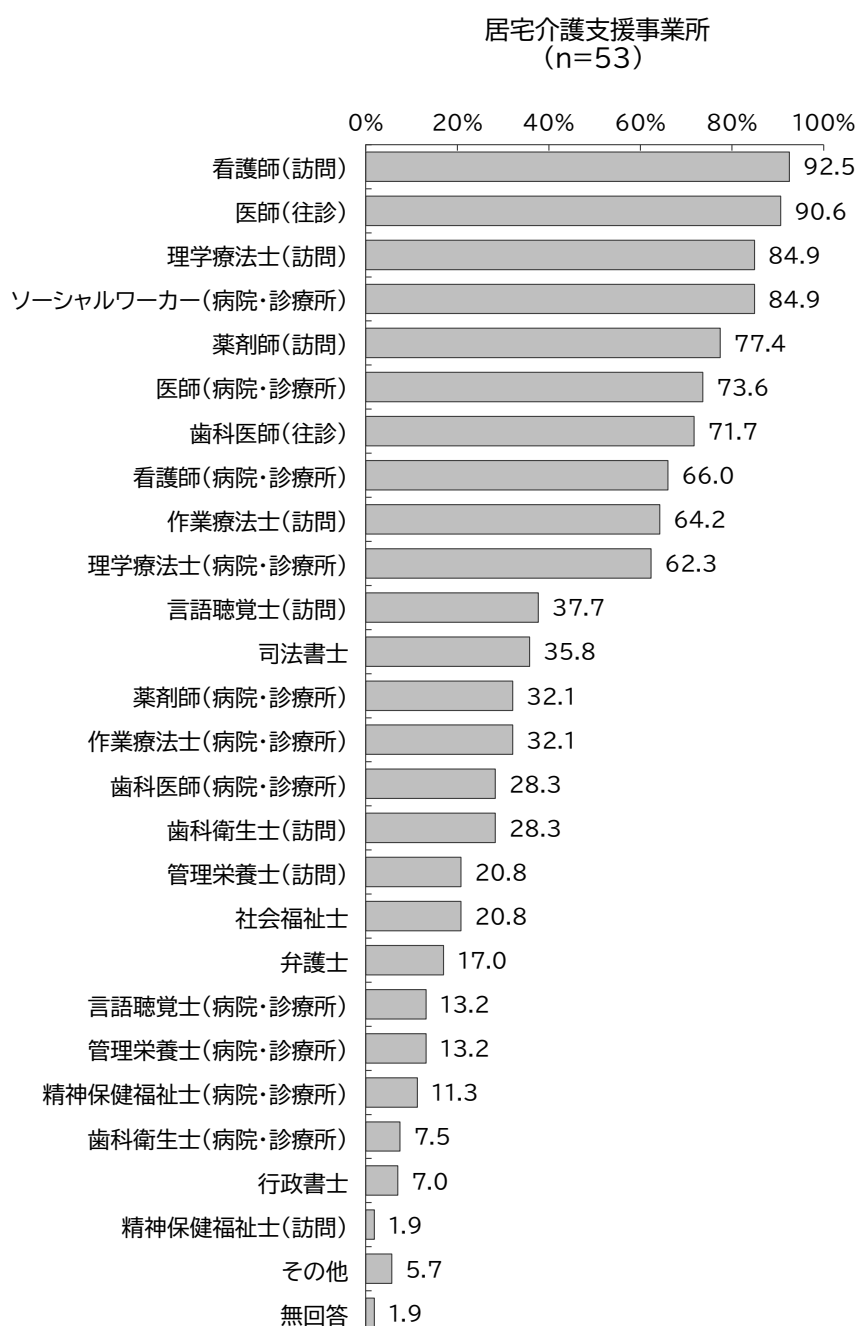
今後の大和市中で特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスは、「訪問介護」が 60.4%と約 6 割で最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が 50.9%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 47.2%などとなっており、不足していると思われるサービス (186 ページ) が上位を占めている。

## 5 医療・介護関係者との情報共有について

《居宅介護支援事業所：問 13》

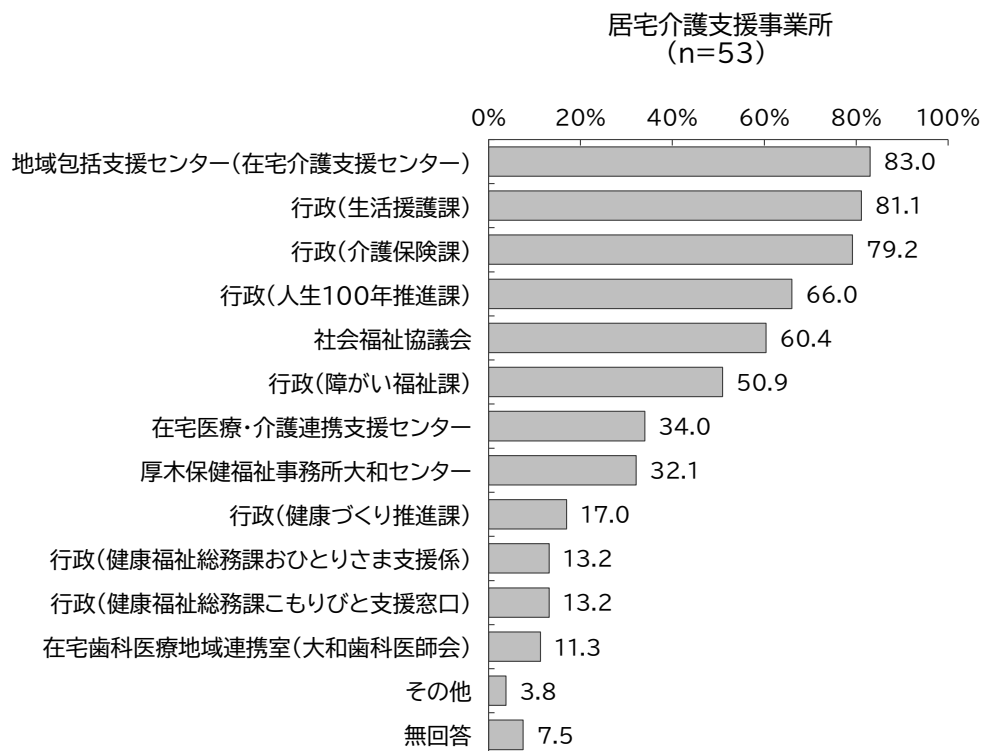
現在、利用者を支援する際に連携している職種（機関）はどのような職種（機関）ですか。（複数回答可）

【単純集計：利用者を支援する際に連携している職種】



利用者を支援する際に連携している職種は、「看護師（訪問）」が92.5%と9割を超えて最も多く、次いで「医師（往診）」が90.6%、「理学療法士（訪問）」、「ソーシャルワーカー（病院・診療所）」がそれぞれ84.9%などとなっており、6割を超える職種が25項目のうち10項目あり、多方面で連携していることがわかる。

【単純集計：利用者を支援する際に連携している機関】

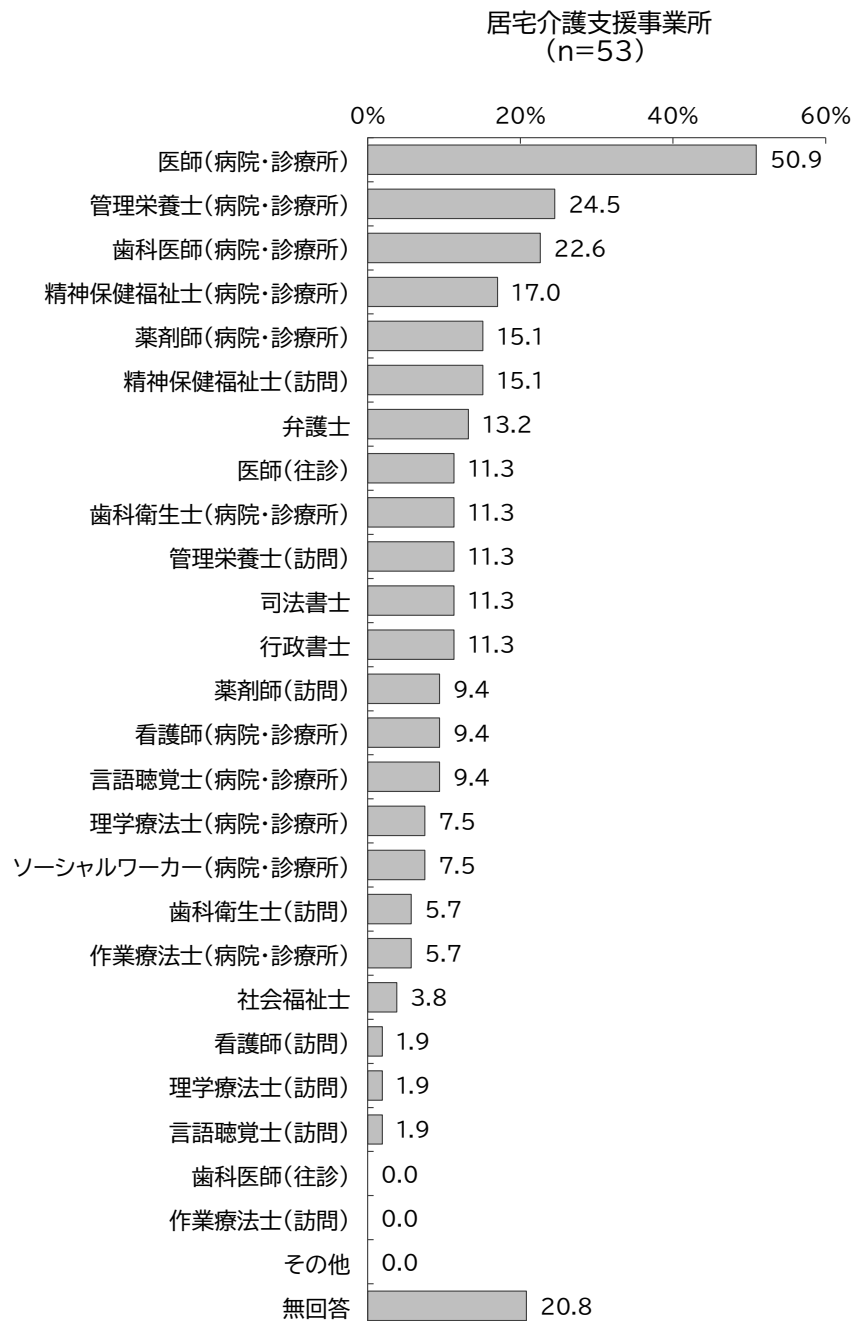


利用者を支援する際に連携している機関は、「地域包括支援センター（在宅介護支援センター）」が83.0%と8割を超えて最も多く、次いで「行政（生活援護課）」が81.1%、「行政（介護保険課）」が79.2%などとなっており、半数を超える機関が12項目のうち6項目あり、機関においても多方面で連携していることがわかる。

《居宅介護支援事業所：問 14》

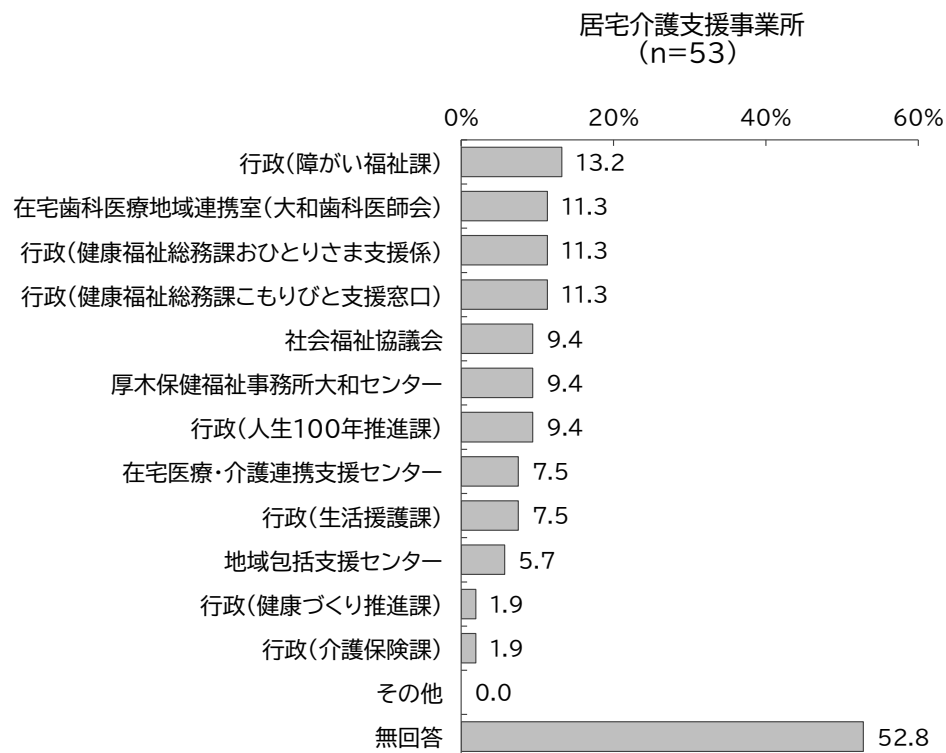
現在、連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種（機関）はどのような職種（機関）ですか。（複数回答可）

【単純集計：連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種】



連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種は、「医師（病院・診療所）」が 50.9% と約半数で最も多く、次いで「管理栄養士（病院・診療所）」が 24.5%、「歯科医師（病院・診療所）」が 22.6% などとなっている。

【単純集計：連携が必要と考えられるが、連携ができていない機関】



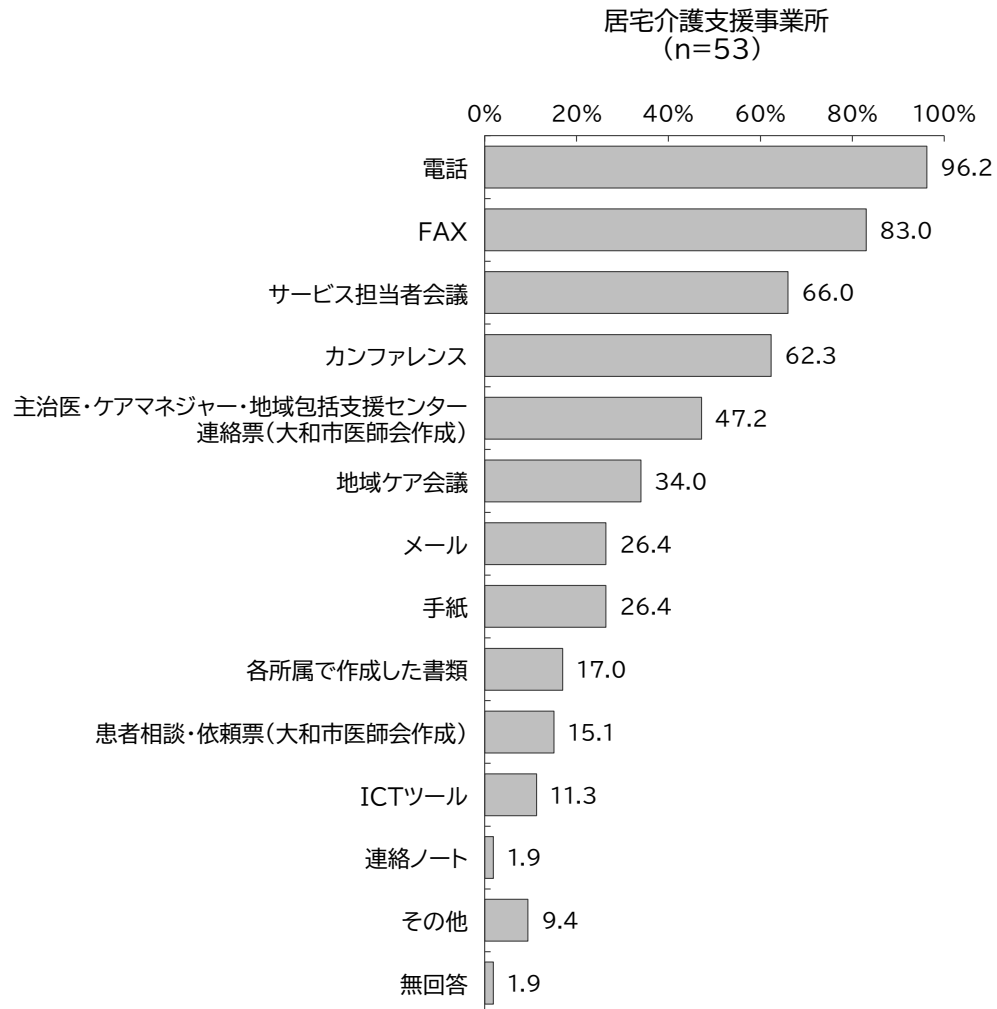
連携が必要と考えられるが、連携ができていない機関は、「行政(障がい福祉課)」が13.2%と1割を超えて最も多く、次いで「在宅歯科医療地域連携室(大和歯科医師会)」、「行政(健康福祉総務課おひとりさま支援係)」、「行政(健康福祉総務課こもりびと支援窓口)」がそれぞれ11.3%、「社会福祉協議会」、「厚木保健福祉事務所大和センター」、「行政(人生100年推進課)」がそれぞれ9.4%などとなっている。



《居宅介護支援事業所：問 15》

連携している機関と、どのような手段で情報を共有していますか。（複数回答可）

【単純集計】

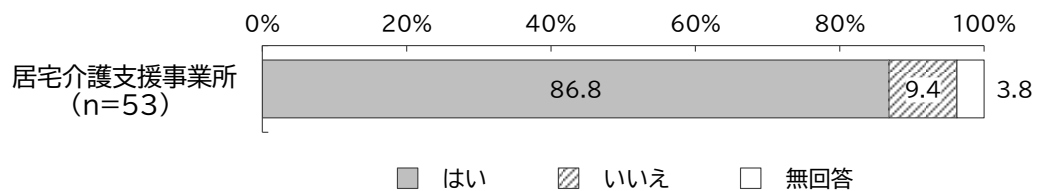


連携している機関と情報を共有する手段は、「電話」が 96.2%と 9 割を超えて最も多く、次いで「FAX」が 83.0%、「サービス担当者会議」が 66.0%などとなっている。

《居宅介護支援事業所：問 16》

在宅医療・介護連携支援センターが開催する研修会・会議等に参加したことがありますか。(単数回答)

【単純集計】

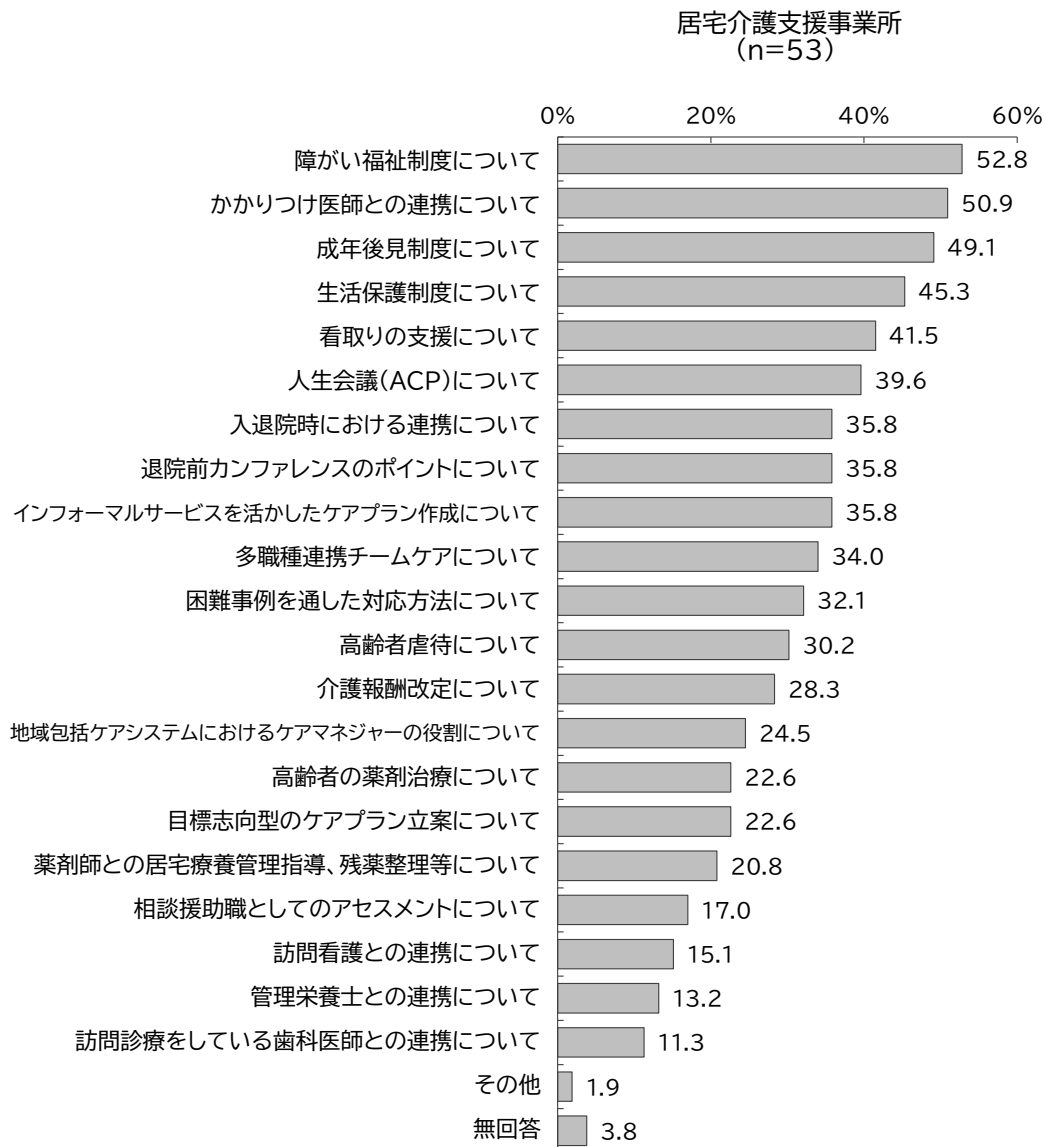


在宅医療・介護連携支援センターが開催する研修会・会議等への参加経験の有無は、「はい」が86.8%と突出している。

《居宅介護支援事業所：問 17》

今後、要支援・要介護認定を受けた方の支援をしていくにあたり、どのような研修・会議等があればよいと思いますか。（複数回答可）

【単純集計】

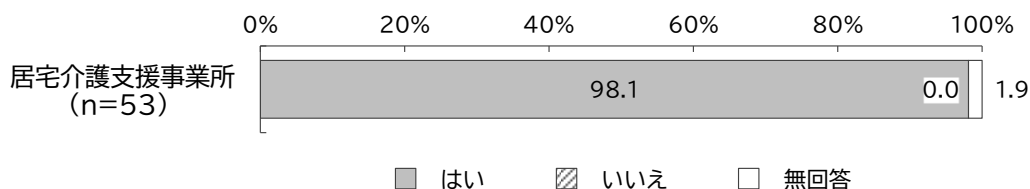


今後、要支援・要介護認定を受けた方の支援をしていくにあたってあればよいと思う研修・会議等は、「障害福祉制度について」が 52.8%と半数を超えて最も多く、次いで「かかりつけ医師との連携について」が 50.9%、「成年後見制度について」が 49.1%などとなっており、3割を超える機関が 21 項目のうちが 12 項目あり、研修・会議等に対するニーズが多岐にわたっていることがわかる。

《居宅介護支援事業所：問 18》

看取りの支援をされたことはありますか。(単数回答)

【単純集計】

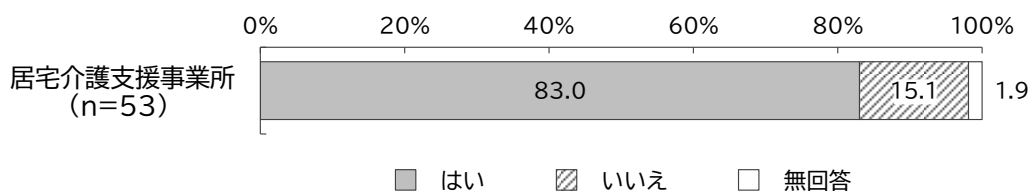


看取りの支援経験の有無は、「はい」が98.1%と突出している。

《居宅介護支援事業所：問 19》

統一した入退院支援マニュアルがあるといいと思いますか。(単数回答)

【単純集計】

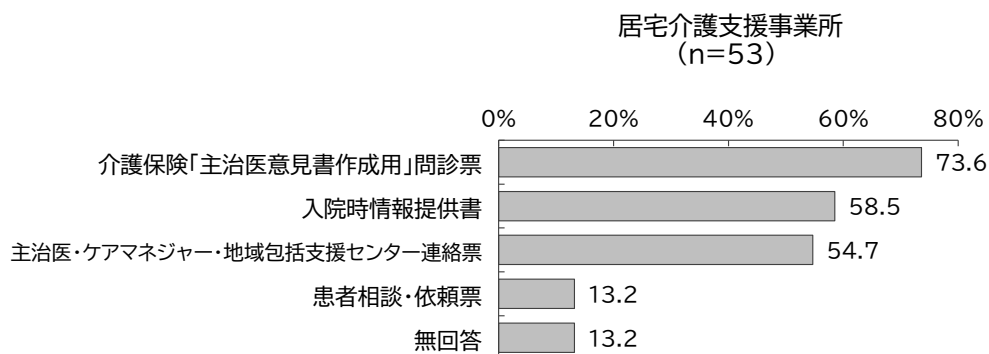


統一した入退院支援マニュアルがあるといいと思うかは、「はい」が83.0%、「いいえ」が15.1%と、「はい」の方が67.9ポイント高くなっている。

《居宅介護支援事業所：問 20》

各種書式を活用していますか。(複数回答可)

【単純集計】



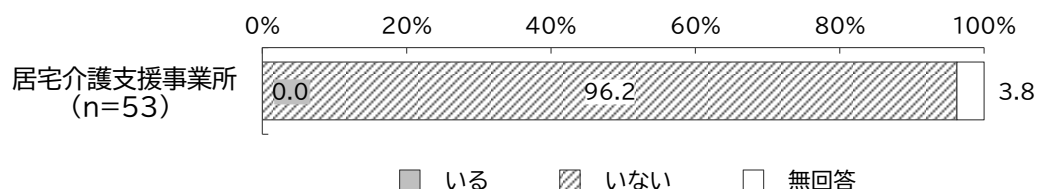
活用している書式は、「介護保険『主治医意見書作成用』問診票」が73.6%と7割を超えて最も多く、次いで「入院時情報提供書」が58.5%、「主治医・ケアマネジャー・地域包括支援センター連絡票」が54.7%などとなっている。

## 6 介護ロボット(自動排泄処理装置)について

《居宅介護支援事業所：問 21》

受け持っている利用者のうち、自動排泄処理装置を利用している方はいますか。  
(単数回答)

【単純集計】



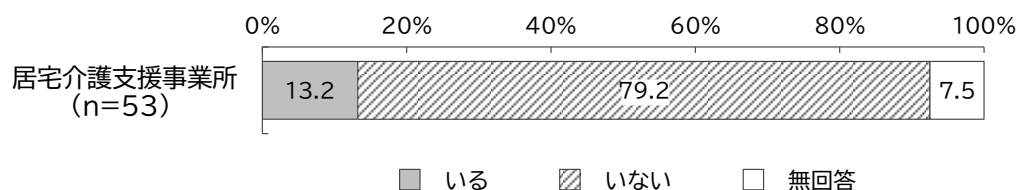
自動排泄処理装置を利用している担当利用者の有無は、「いない」が96.2%と突出している。

《居宅介護支援事業所：問 22》

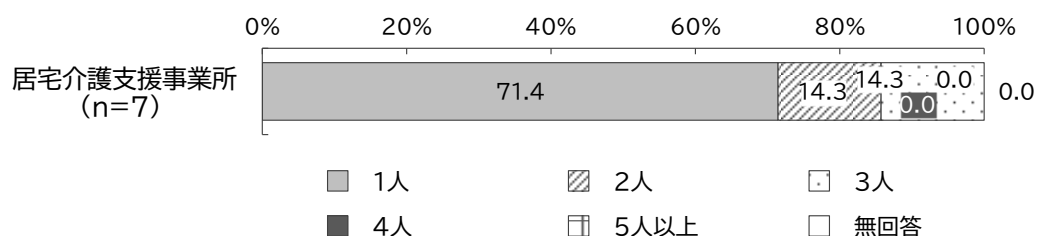
受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用するとよい(介護者の負担が軽減される)と思う利用者はいますか。(単数回答)

【単純集計】

今後自動排泄処理装置を利用するとよいと思う利用者の有無



今後、自動排泄処理装置を利用するとよいと思う利用者の人数



受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用するとよい(介護者の負担が軽減される)と思う利用者の有無は、「いる」が13.2%、「いない」が79.2%と、「いない」の方が66.0ポイント高くなっている。

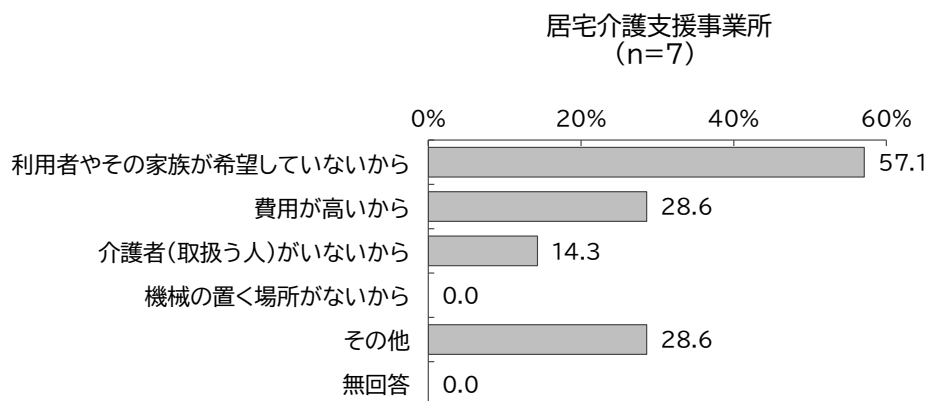
その人数は、「1人」が71.4%と約7割で最も多く、次いで「2人」、「3人」がそれぞれ14.3%となっている。

問 22 で「いる」と回答した事業所のみ

≪居宅介護支援事業所：問 22-1≫

現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

【単純集計】



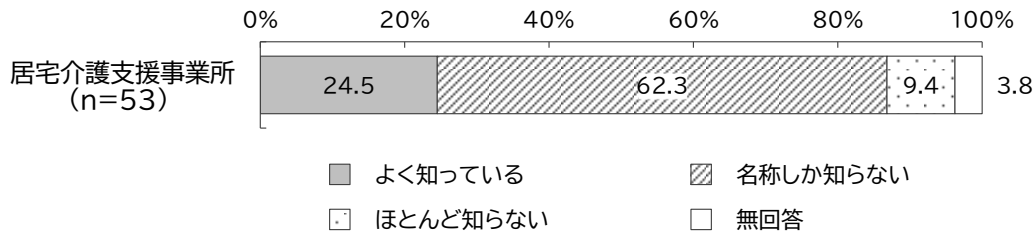
※その他の具体的な内容：入院中、貸与の対象外

現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は、「利用者やその家族が希望していないから」が57.1%と6割近くで最も多く、次いで「費用が高いから」、「その他」がそれぞれ28.6%、「介護者（取扱う人）がないから」が14.3%となっている。

「居宅介護支援事業所：問 23」

ケアマネジャーは、自動排泄処理装置のことをどの程度ご存知ですか。（単数回答）

【単純集計】



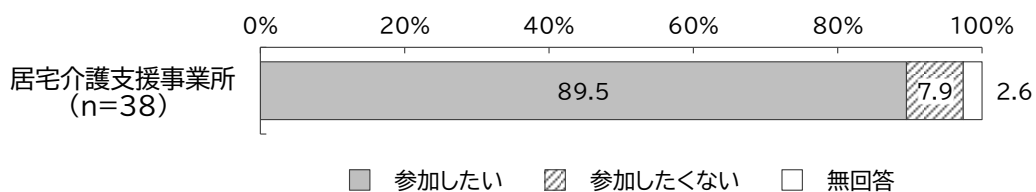
自動排泄処理装置についてのケアマネジャーの認知状況は、「名称しか知らない」が 62.3% と 6 割を超えて最も多く、次いで「よく知っている」が 24.5%、「ほとんど知らない」が 9.4% となっている。

問 23 で「名称しか知らない」または「ほとんど知らない」と回答した事業所のみ

「居宅介護支援事業所：問 23-1」

自動排泄処理装置の説明会・体験会等が開催されれば、参加したいと思いますか。（単数回答）

【単純集計】



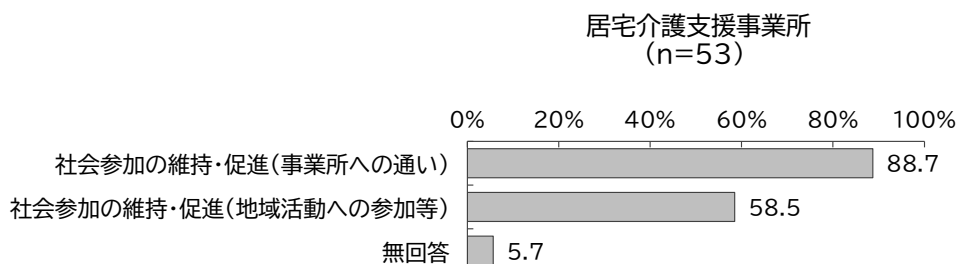
自動排泄処理装置の説明会・体験会等への参加意向は、「参加したい」が 89.5% と突出している。

## 7 生活期リハビリテーション対象者への重度化防止に向けた取り組みについて

《居宅介護支援事業所：問 24》

通所型、訪問型リハビリテーションの提供が中心となる生活期リハビリテーションでは、地域社会への参加にも目を向けたリハビリの実践が重要です。ケアプランの作成において目標設定をしているものについて教えてください。(複数回答可)

【単純集計】

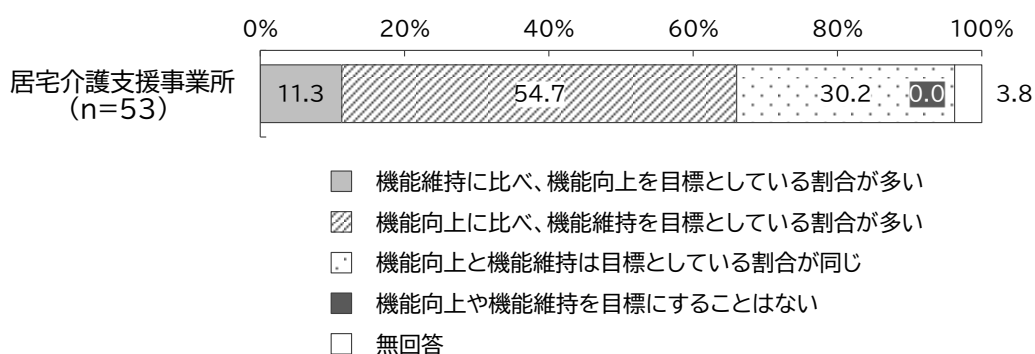


ケアプランの作成において目標設定しているものは、「社会参加の維持・促進(事業所への通い)」が88.7%と9割近くで最も多く、次いで「社会参加の維持・促進(地域活動への参加等)」が58.5%となっている。

《居宅介護支援事業所：問 25》

ケアプランの短期目標の状況を教えてください。(単数回答)

【単純集計】



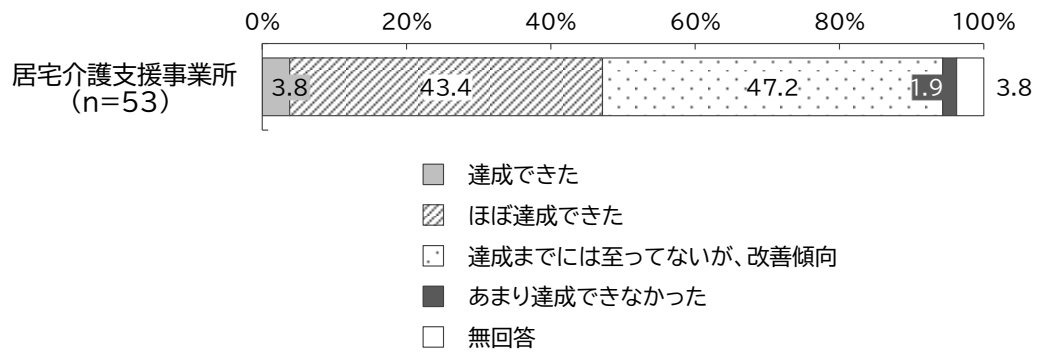
ケアプランの短期目標の状況は、「機能向上に比べ、機能維持を目標としている割合が多い」が54.7%と半数を超えて最も多く、次いで「機能向上と機能維持は目標としている割合が同じ」が30.2%、「機能維持に比べ、機能向上を目標としている割合が多い」が11.3%となっている。



《居宅介護支援事業所：問 26》

機能維持や機能向上を短期目標とした場合の達成状況について教えてください。  
 （単数回答）

【単純集計】



機能維持や機能向上を短期目標とした場合の達成状況は、「達成までには至っていないが、改善傾向」が47.2%と半数近くで最も多く、次いで「ほぼ達成できた」が43.4%、「達成できた」が3.8%などとなっている。

## V 調査の結果（居所変更実態調査）

《居所変更実態調査：問1》

該当するサービス種別を、ご回答ください。（単数回答）

【単純集計】

	件数	構成割合
合計	23 件	100.0%
住宅型有料老人ホーム	9 件	39.1%
軽費老人ホーム	1 件	4.3%
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	56.5%

サービス種別は、「サービス付き高齢者向け住宅」が 56.5%と最も多く、次いで「住宅型有料老人ホーム」が 39.1%、「軽費老人ホーム」が 4.3%となっている。

《居所変更実態調査：問2》

施設等の概要について、以下にご記入ください。

### 定員数

【単純集計、クロス集計：サービス種別】

	件数	合計 定員数	平均 定員数
合計	23 件	978 人	42.5 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	471 人	52.3 人
軽費老人ホーム	1 件	15 人	15.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	492 人	37.8 人

平均定員数は 42.5 人となっており、サービス種別にみると《住宅型有料老人ホーム》で 52.3 人と多くなっている。

**入居者数**

【単純集計、クロス集計：サービス種別】

	件数	合計 入居者数	平均 入居者数
合計	23 件	825 人	35.9 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	413 人	45.9 人
軽費老人ホーム	1 件	13 人	13.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	399 人	30.7 人

平均入居者数は 35.9 人となっており、サービス種別にみると「住宅型有料老人ホーム」で 45.9 人と多くなっている。

**施設への待機者数**

【単純集計、クロス集計：サービス種別】

	件数	合計 待機者数	平均 待機者数
合計	23 件	49 人	2.1 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	16 人	1.8 人
軽費老人ホーム	1 件	20 人	20.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	13 人	1.0 人

平均待機者数は 2.1 人となっており、サービス種別にみると「軽費老人ホーム」で 20.0 人と多くなっている。

**特別養護老人ホームへの待機者数(申込者数)**

【単純集計、クロス集計：サービス種別】

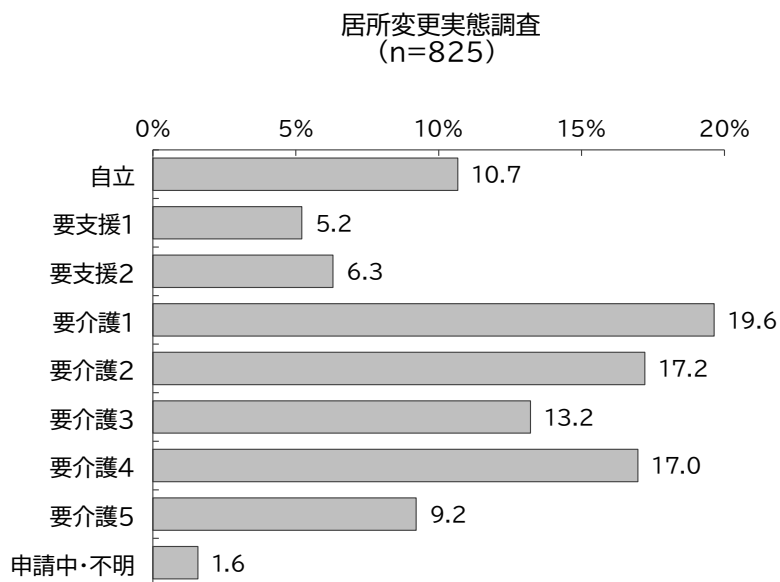
	件数	合計 特養待機者数	平均 特養待機者数
合計	23 件	4 人	0.2 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	3 人	0.3 人
軽費老人ホーム	1 件	1 人	1.0 人
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	0 人	0.0 人

平均特養待機者数は 0.2 人となっており、サービス種別にみると「軽費老人ホーム」で 1.0 人と多くなっている。

《居所変更実態調査：問3》

現在の入居者の要支援・要介護度の人数について、ご記入ください。(数値を記入)

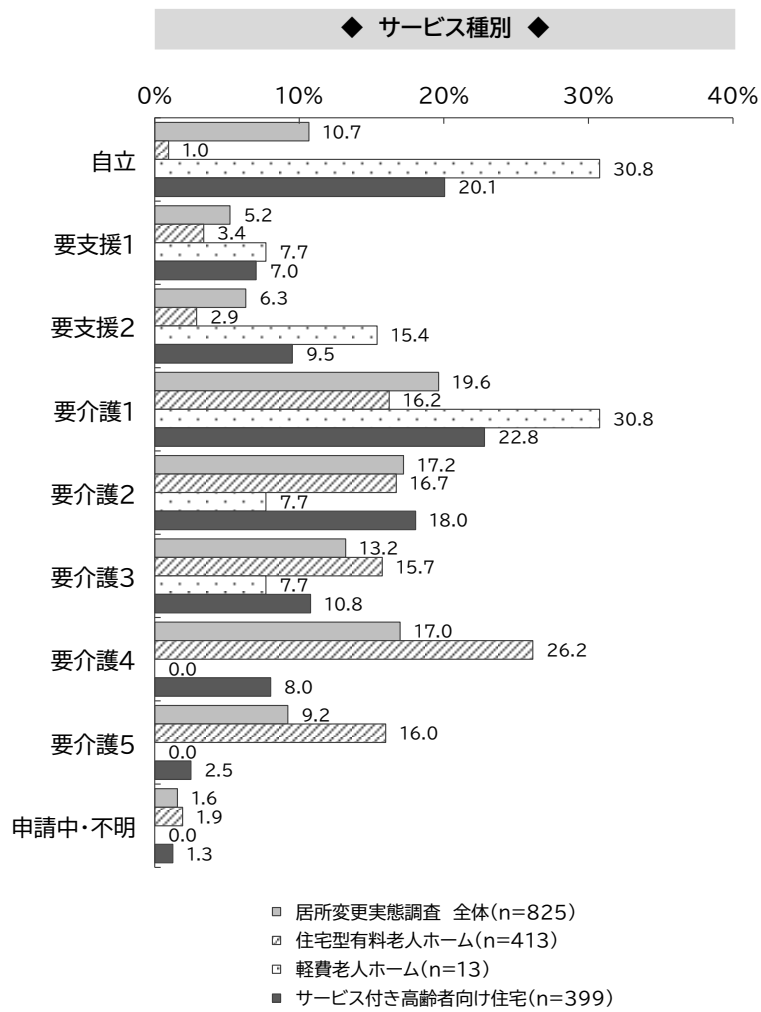
【単純集計】



※事業所が問2で回答した合計入居者数を母数として要介護度の構成割合を算出した。(クロス集計も同様)

要支援・要介護度別現在の入居者数の構成割合は、「要介護1」が19.6%と最も多く、次いで「要介護2」が17.2%、「要介護4」が17.0%などとなっている。

【クロス集計：サービス種別】

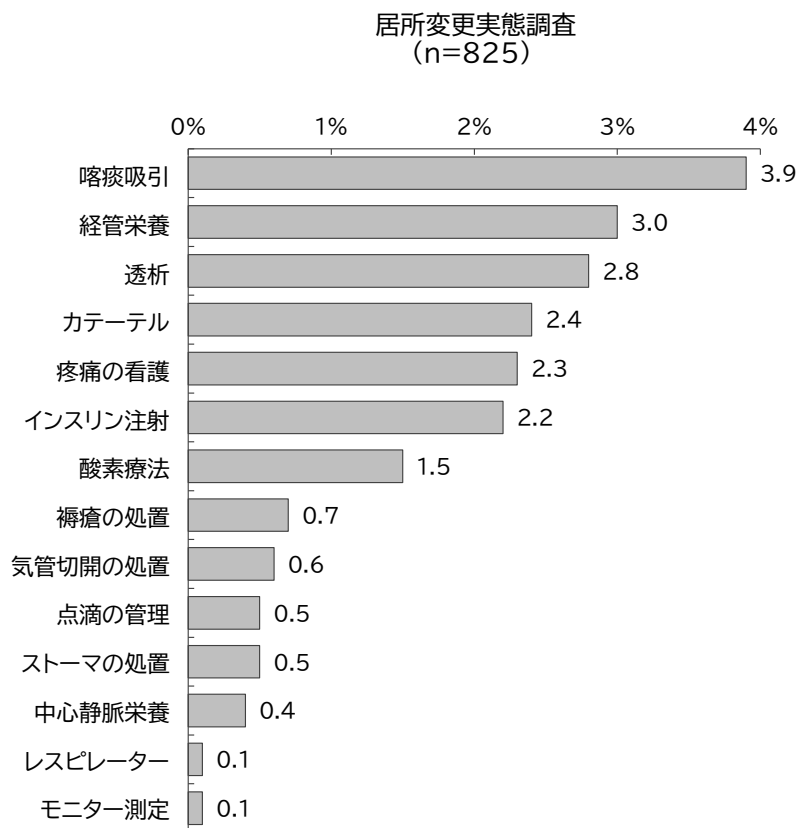


サービス種別に見ると、《住宅型有料老人ホーム》で「自立」が1.0%と少なく、「要介護4」が26.2%と多くなっている。

《居所変更実態調査：問4》

以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。  
 (対象者がいる処置全てに数値を記入)

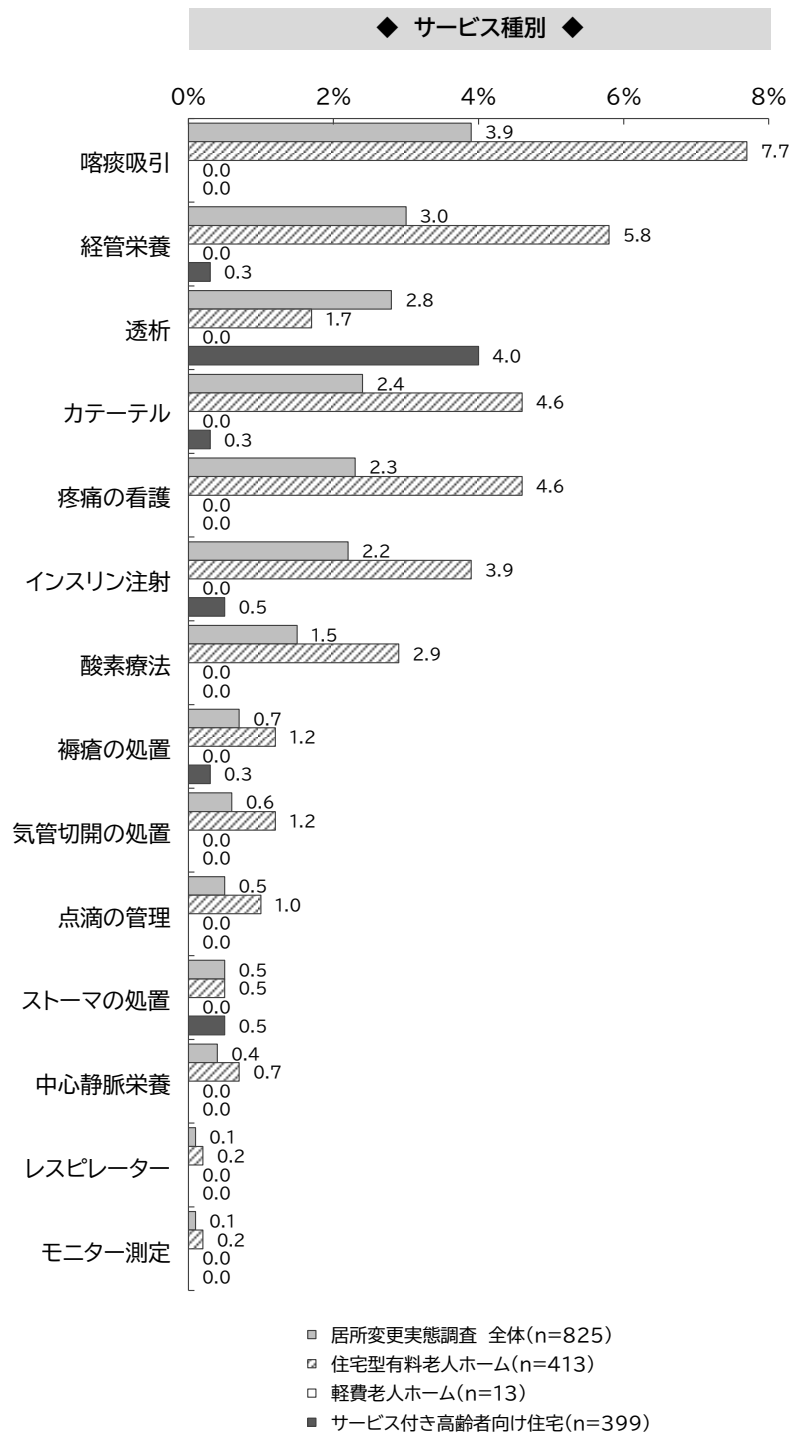
【単純集計】



※事業所が問2で回答した合計入居者数を母数として、医療処置の構成割合を算出した。(クロス集計も同様)

受けている医療処置は、「喀痰吸引」が3.9%と最も多く、次いで「経管栄養」が3.0%、「透析」が2.8%などとなっている。

【クロス集計：サービス種別】



サービス種別に見ると、それほど大きな差異ではないものの、《住宅型有料老人ホーム》で「喀痰吸引」、「経管栄養」がやや多くなっている。

ここからは、過去1年間の新規の入居者についてお伺いします。

《居所変更実態調査：問5》

過去1年間（令和3年4月1日～令和4年3月31日）に、施設等に新規で入居した人の人数をご記入ください。

【単純集計、クロス集計：サービス種別】

	件数	合計 新規入居者数	平均 新規入居者数
合計	23 件	472 人	20.5 人
住宅型有料老人ホーム	9 件	347 人	38.6 人
軽費老人ホーム	1 件	0 人	-
サービス付き高齢者向け住宅	13 件	125 人	9.6 人

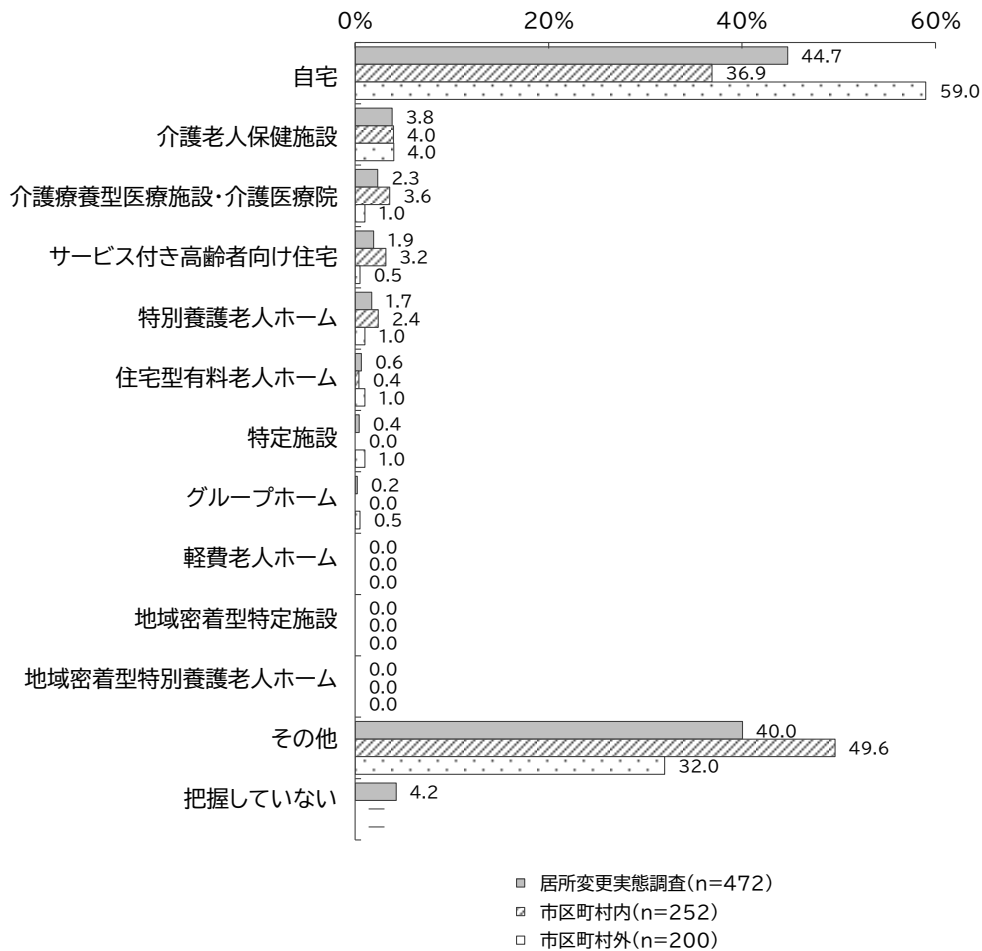
平均新規入居者数は 20.5 人となっており、サービス種別にみると《住宅型有料老人ホーム》で 38.6 人と多くなっている。



《居所変更実態調査：問6》

問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入居者について、入居する前の居所別の人数をご記入ください。

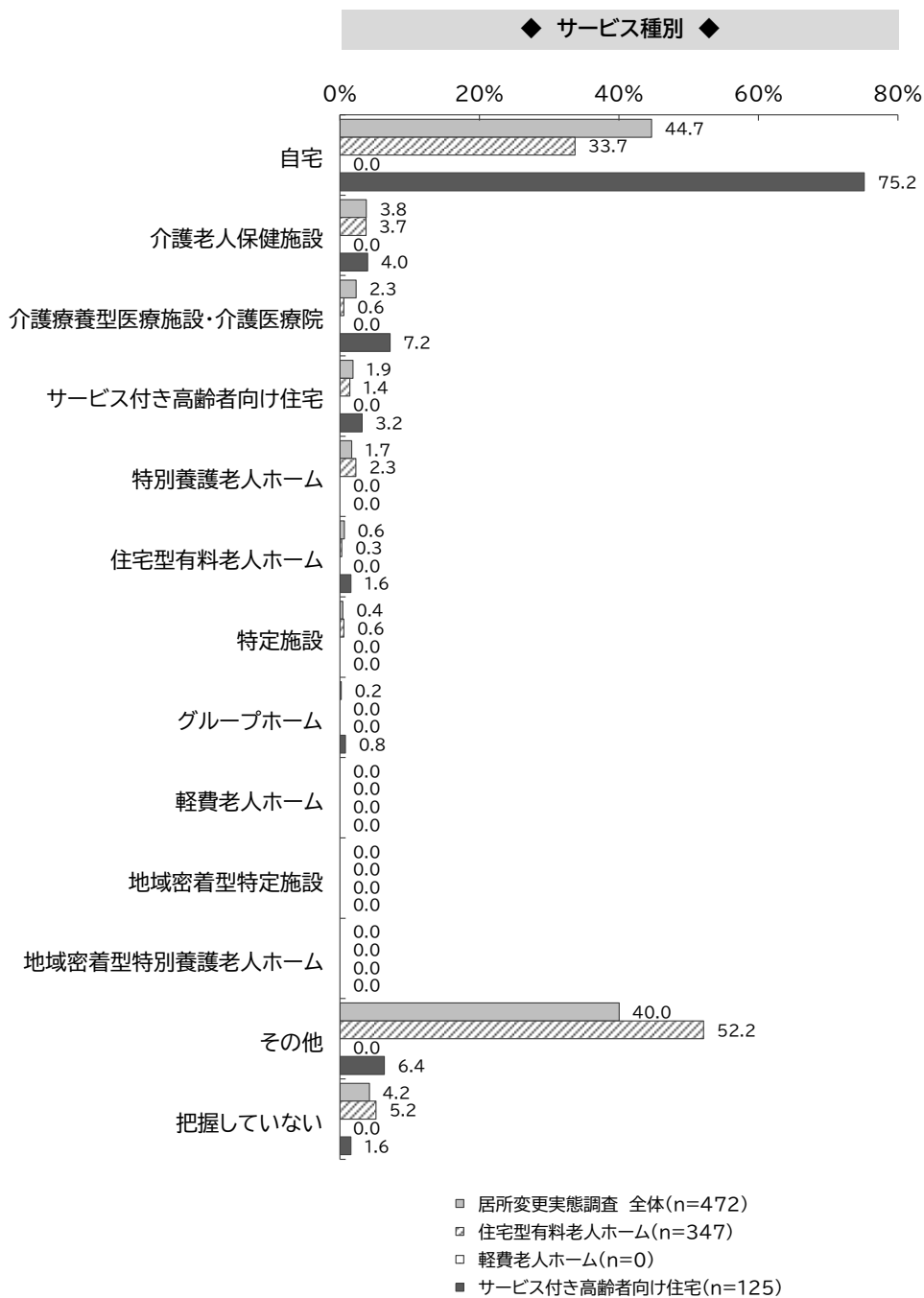
【単純集計】



※事業所が問5で回答した合計新規入居者数を母数として、入居する前の居所の構成割合を算出した。（クロス集計も同様）

入居する前の居所別過去1年間の新規の入居者の構成割合は、「自宅」が44.7%と最も多く、次いで「その他」が40.0%、「介護老人保健施設」が3.8%などとなっている。また、市区町村内外別にみると、《市区町村外》で「自宅」が多くなっている。

【クロス集計：サービス種別】



サービス種別にみると、「サービス付き高齢者向け住宅」で「自宅」が75.2%と多くなっている。

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

《居所変更実態調査：問7》

過去1年間（令和3年4月1日～令和4年3月31日）に、施設等を退去した人の人数をご記入ください。

【単純集計、クロス集計：サービス種別】

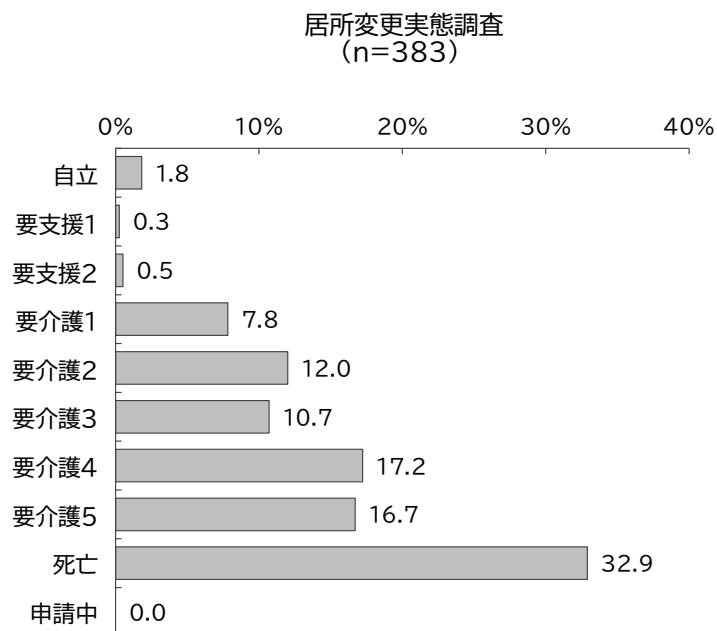
	件数	合計 退去者数	平均 退去者数
合計	23件	383人	16.7人
住宅型有料老人ホーム	9件	295人	32.8人
軽費老人ホーム	1件	2人	2.0人
サービス付き高齢者向け住宅	13件	86人	6.6人

平均退去者数は16.7人となっており、サービス種別にみると《住宅型有料老人ホーム》で32.8人と最も多くなっている。

《居所変更実態調査：問8》

問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

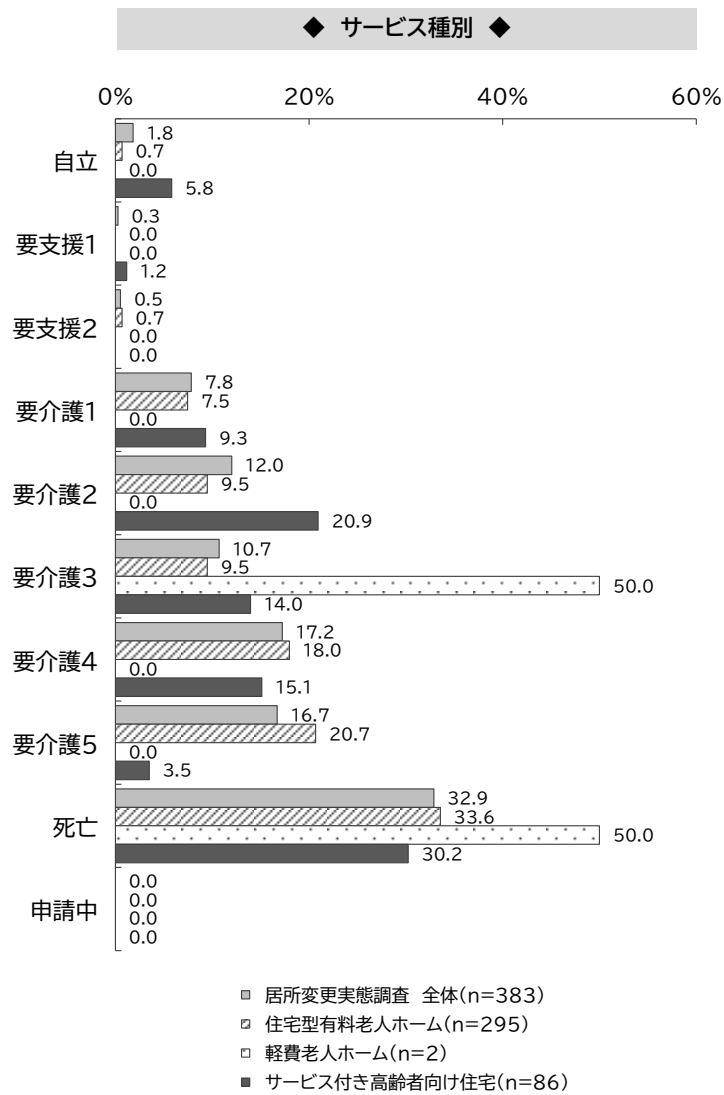
【単純集計】



※事業所が問7で回答した合計退去者数を母数として、要介護度の構成割合を算出した。(クロス集計も同様)

要介護度別過去1年間の退去者の構成割合は、「死亡」が32.9%と最も多く、次いで「要介護4」が17.2%、「要介護5」が16.7%などとなっている。

【クロス集計：サービス種別】

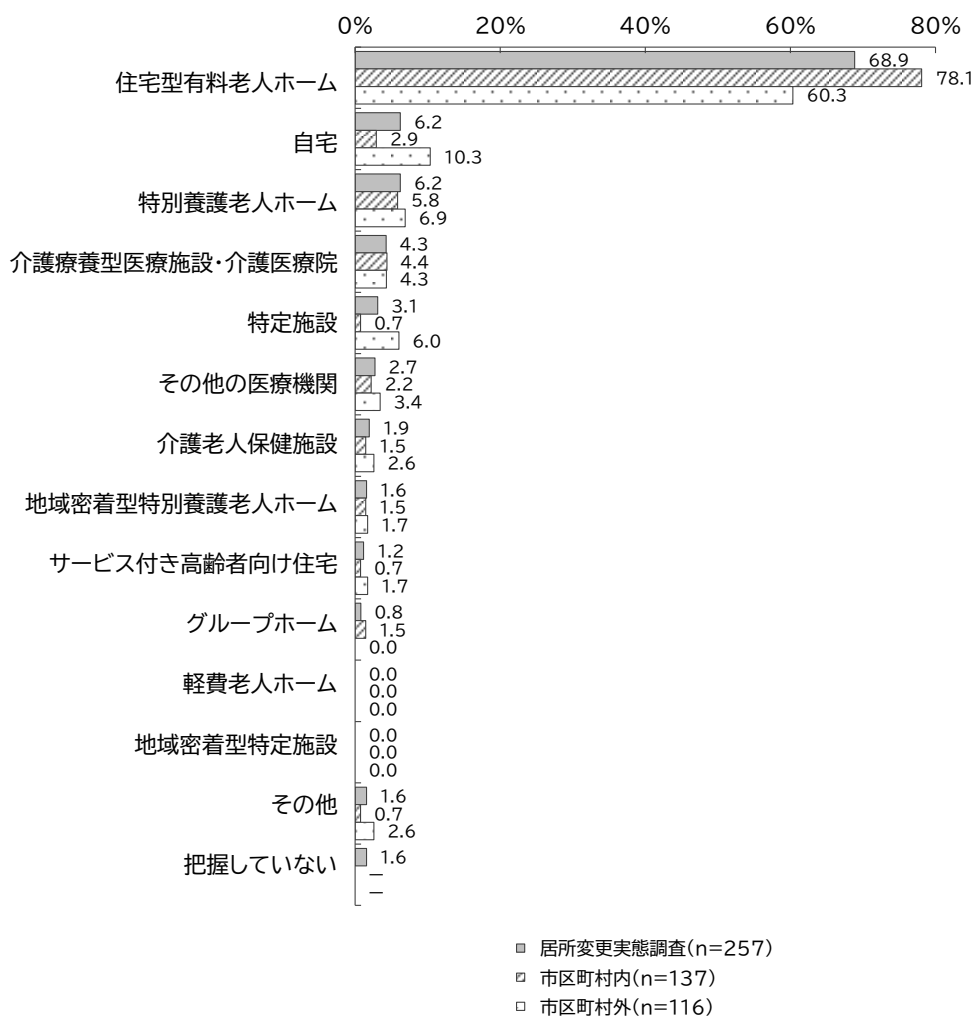


サービス種別にみると、「住宅型有料老人ホーム」で「要介護5」が20.7%と多く、「軽費老人ホーム」で「要介護3」が50.0%と多くなっている。また、「サービス付き高齢者向け住宅」で「要介護2」が20.9%と多くなっている。

《居所変更実態調査：問9》

問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

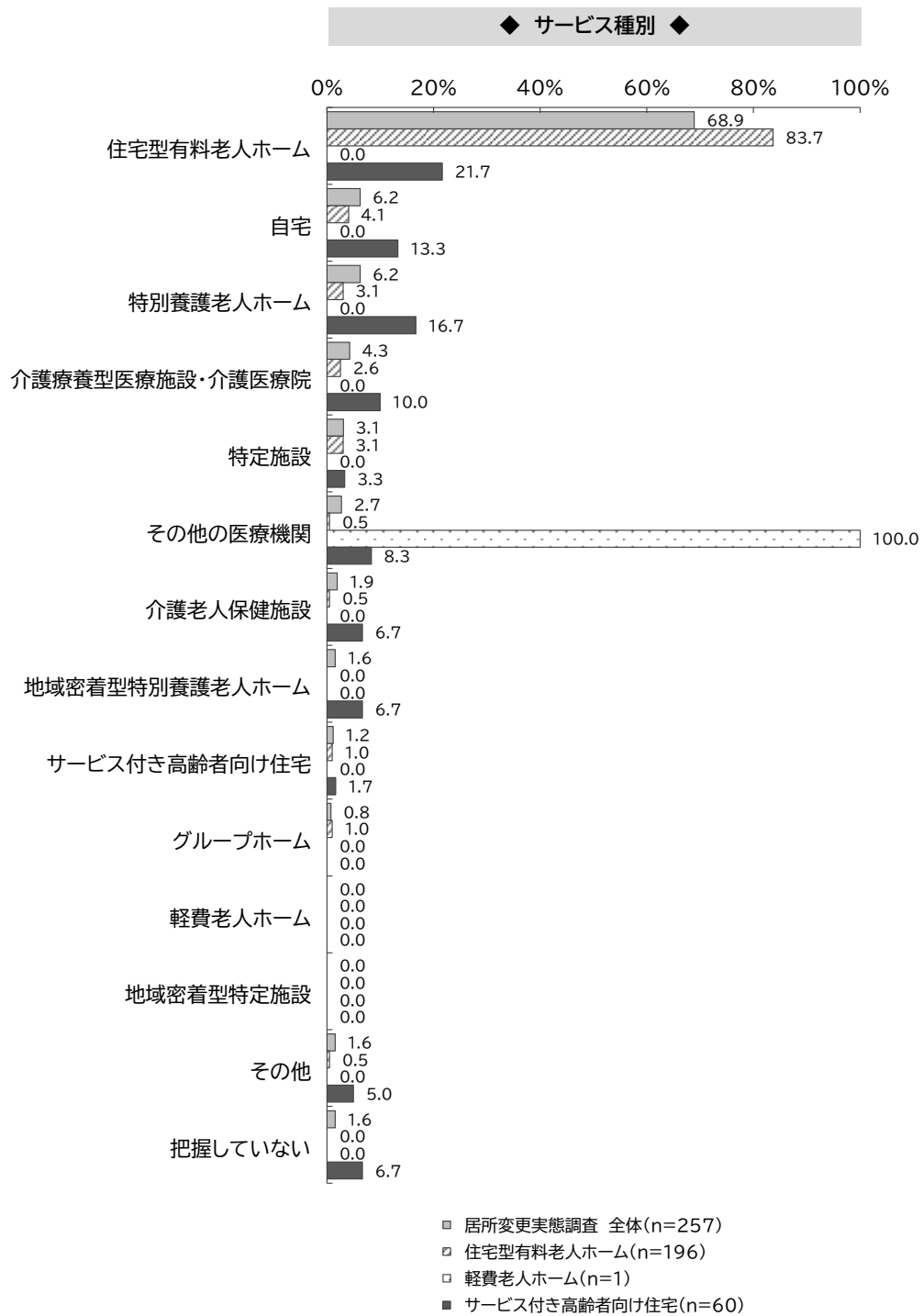
【単純集計】



※事業所が問7で回答した合計退去者数を母数として、退去先の構成割合を算出した。(クロス集計も同様)

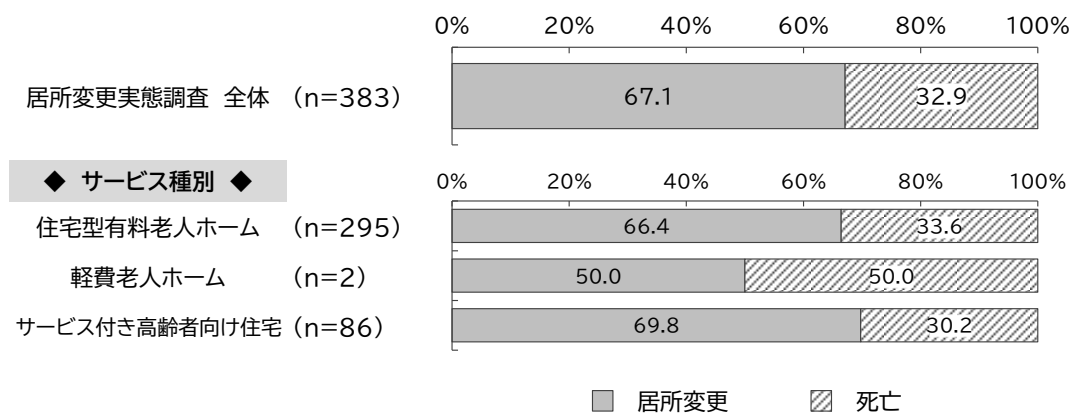
退去先別過去1年間の退去者の構成割合は、「住宅型有料老人ホーム」が68.9%と最も多く、次いで「自宅」、「特別養護老人ホーム」がそれぞれ6.2%、「介護療養型医療施設・介護医療院」が4.3%などとなっている。

【クロス集計：サービス種別】



サービス種別にみると、「住宅型有料老人ホーム」で「住宅型有料老人ホーム」が83.7%と多く、「軽費老人ホーム」で「その他の医療機関」が100.0%と多くなっている。

【参考：退去の理由】



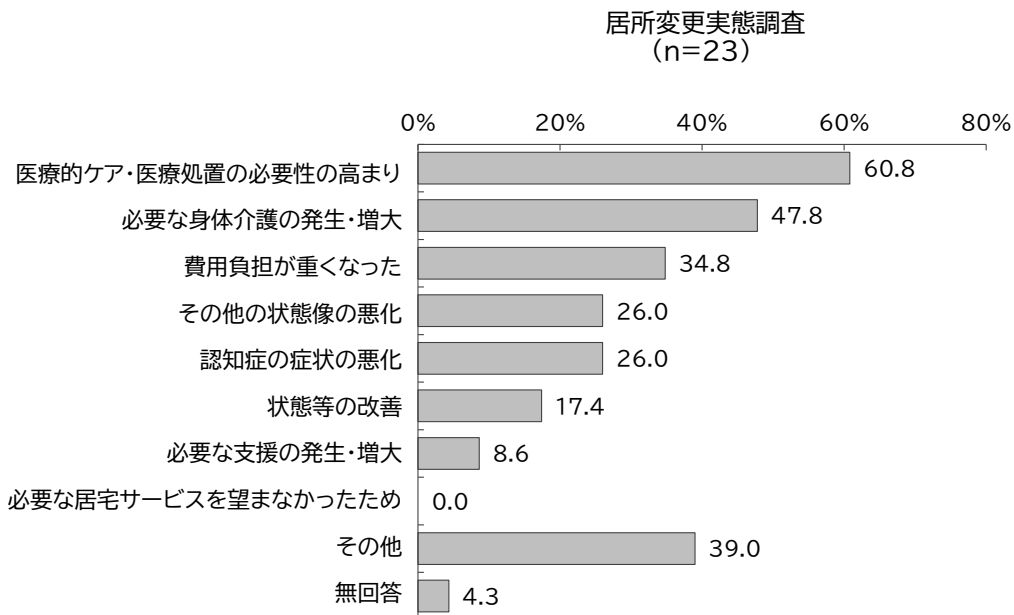
退去の理由は、「居所変更」が67.1%、「死亡」が32.9%と、「居所変更」の方が多くなっている。  
 サービス種別にもみると、《軽費老人ホーム》で「居所変更」が50.0%と少なく、「死亡」が50.0%と多くなっている。



《居所変更実態調査：問 10》

施設等の入居者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んでください。

【単純集計：第1位～第3位合計】



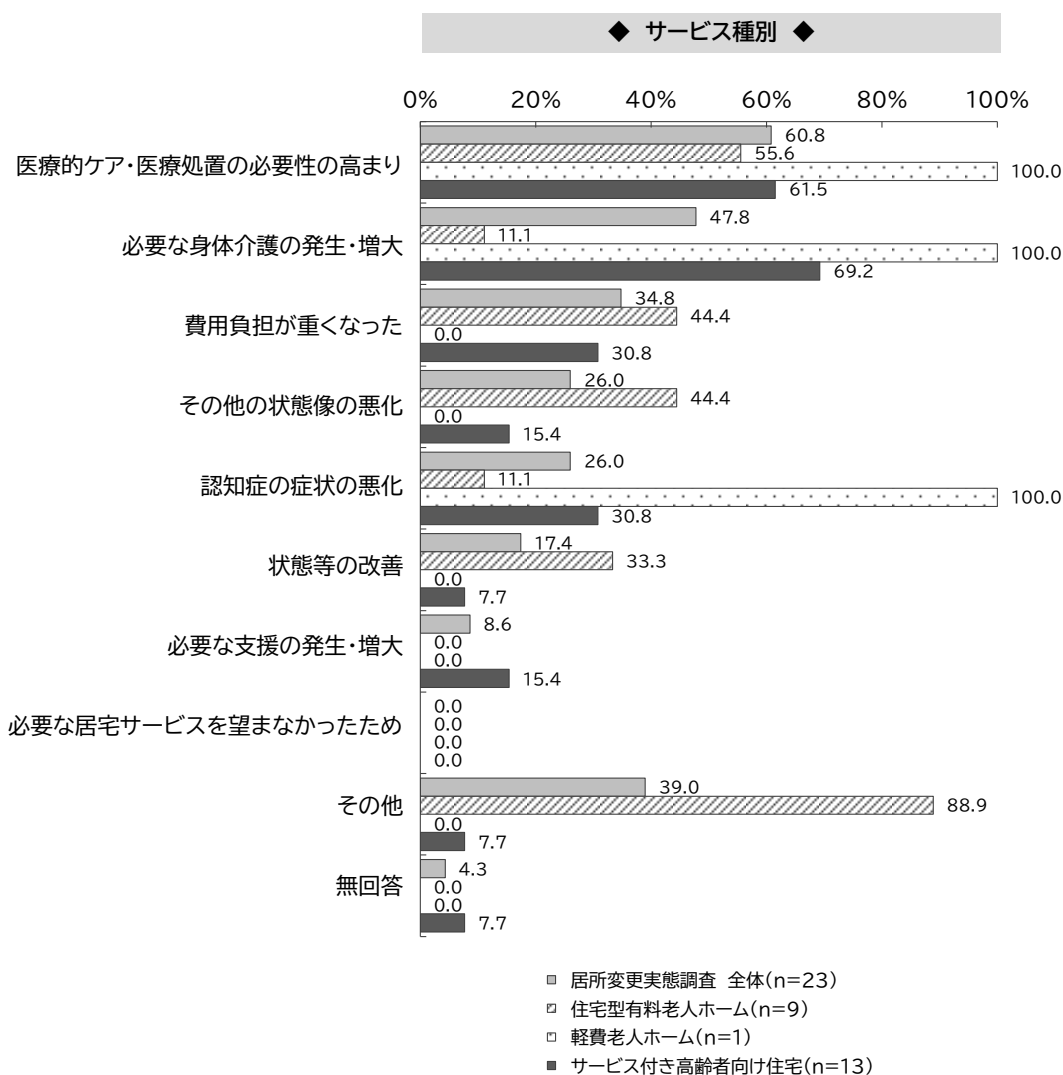
※上位3項目をそれぞれ1つずつ回答してもらい、それらを順位不問でまとめて集計した。順位別の割合は下表参照。

【単純集計：第1位～第3位】

	調査数 (n)	医療的ケアの必要性の高まり・医療処置	生・必要な身体介護の発生・増大	費用負担が重くなった	その他の状態像の悪化	認知症の症状の悪化	状態等の改善	大必要な支援の発生・増大	望まなかつたため	必要な居宅サービスを	その他	無回答
単位：%												
合計	23	60.8	47.8	34.8	26.0	26.0	17.4	8.6	0.0	39.0	4.3	
第1位	23	26.1	26.1	8.7	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	4.3	
第2位	23	21.7	17.4	8.7	8.7	13.0	8.7	4.3	0.0	4.3	-	
第3位	23	13.0	4.3	17.4	4.3	13.0	8.7	4.3	0.0	13.0	-	

入居者が退去する理由は、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が60.8%と最も多く、次いで「必要な身体介護の発生・増大」が47.8%、「その他」が39.0%などとなっている。順位別にみると、順位が高いほど「必要な身体介護の発生・増大」、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」、「その他の状態の悪化」が多くなっている。

【クロス集計：サービス種別：第1位～第3位合計】



サービス種別によると、《住宅型有料老人ホーム》で「必要な身体介護の発生・増大」が11.1%と少なく、《軽費老人ホーム》で「認知症の症状の悪化」が100.0%と多くなっている。

# VI 資料編

## 大和市長健康福祉計画・介護保険事業計画策定のための 実態調査の実施について

令和5年2月

大和市では、本市が将来に向けて計画期間中に取り組むべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画」(第8期計画)を令和3年3月に策定し、現在、計画の達成に向けて、様々な事業を実施しているところです。この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和6年度から令和8年度までの第9期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの65歳以上の皆さまの福祉施策に対する考え方や生活環境などを把握するための調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、**要介護・要支援の認定を受けていない65歳以上の方の中から、無作為に5,000人**を抽出し、ご協力をお願いします(要介護・要支援の認定を受けている方については、別途調査をお願いします)。

ご返送いただいた調査票につきましては、**計画の基礎データ**として使用し、皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市長 大木 哲

### 【ご記入のお願い】

- 1 この調査は、**令和5年1月1日現在**の状況でお答えください。
- 2 ご本人様にご記入することが難しい場合は、ご家族または介護を行っている方が、ご本人様の立場でご回答いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入院等により一時的にご不在の場合には、ご自宅に戻られることを前提にご回答くださいますようお願いいたします。
- 3 回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただき、“その他”を選択された場合は具体的な内容をご記入ください。
- 4 一部の方にお答えいただく質問がございます。その場合は当てはまる方のみ、お答えください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月28日(火)まで**に投函してください。また、調査票以外のものは同封しないようお願いいたします。
- 6 調査内容や記入の仕方など、ご不明の点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市長健康福祉部 生涯推進課 長寿福祉係 電話：260-5611 FAX：262-0999  
大和市長健康福祉部 介護保険課 給付係 電話：260-5168 FAX：260-5158

## ～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご一読ください。  
本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとして扱わせていただきます。

### 記

#### ■ 個人情報の保護及び活用目的について

本調査は、本市における第9期大和市長高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画の策定において、皆様の福祉施策に対する考え方や生活環境などを把握することを目的としています。

本調査で得られた情報につきましては、第9期大和市長高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画の策定と実績評価の目的以外には利用いたしません。

ただし、第9期大和市長高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画策定時及び実績評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

#### ■ 調査票の回答内容の取扱いについて

調査票にご回答頂いた情報は、適切に管理させて頂きます。

#### ■ 本調査の結果と介護保険課で保有している個人データの利用について

本調査では、調査票に付帯することで、無作為に抽出された中のご回答された調査票が判別できるようになっています。介護保険課で保有している個人データと、本調査の回答内容を組み合わせて得られるデータを、第9期大和市長高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として使用させて頂きます。当該データをご本人の許可なく、目的以外の使用は致しません。

以上

※本調査は、厚生労働省が策定した「介護予防・日常生活圏域二一調査」に準じており、国が作成した説明をそのまま使用しています。

事前設問1 お住まいの地域は、次のどれですか。【○は1つ】

- 1 下鶴間・つきみ野地区(下鶴間、つきみ野)
- 2 中央林間地区(中央林間西、中央林間)
- 3 南林間地区(南林間、林間)
- 4 鶴間地区(鶴間、西鶴間)
- 5 深見・大和地区(深見西、深見東、深見、深見台、大和東、大和南)
- 6 上草柳・中央地区(上草柳、桜森、中央、草柳、下草柳、柳橋1・4丁目)
- 7 福田北地区(柳橋2・3・5丁目、福田1~8丁目)
- 8 福田南地区(代官、渋谷、福田(1~8丁目、2339~2617、5506~5696を除く))
- 9 桜丘・和田地区(上和田、下和田、福田2339~2617、福田5506~5696)
- 10 その他(市外等)

**はじめに、あなたのご家族や生活状況についておたずねします。**

問1 ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。【○は1つ】

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)
- 3 夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)
- 4 子と同居(本人を含め、計人)
- 5 その他(具体的に： )

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です。【○は1つ】

- 1 介護・介助は必要ない
- 2 どなたかからの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3 現在、どなたかからの介護を受けている  
(介護認定を受けずに、家族などの介護を受けている場合も含む)

→問2-1 問2で「3」と回答した方にお問します。

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【○はいくつでも】

- 1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 2 心臓病
- 3 がん(悪性新生物)
- 4 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
- 5 関節の病気(リウマチ等)
- 6 認知症(アルツハイマー病等)
- 7 パーキンソン病
- 8 糖尿病
- 9 腎疾患(透析)
- 10 視覚・聴覚障がい
- 11 骨折・転倒
- 12 脊椎損傷
- 13 高齢による衰弱
- 14 その他(具体的に： )
- 15 不明

→問2-2 問2で「3」と回答した方にお問します。

主にどなたの介護・介助を受けていますか(受けていたいですか)。【○はいくつでも】

- 1 配偶者(夫・妻)
- 2 息子
- 3 娘
- 4 子の配偶者
- 5 孫
- 6 兄弟・姉妹
- 7 その他(具体的に： )

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。【○は1つ】

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 ぶつう
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

問4 ご自宅は次のどれですか。【○は1つ】

- 1 持家(一戸建て)
- 2 持家(集合住宅)
- 3 公営賃貸住宅
- 4 民間賃貸住宅(一戸建て)
- 5 民間賃貸住宅(集合住宅)
- 6 杜宅・宿舍
- 7 その他(具体的に： )

**からだを動かすことについておたずねします。**

問5 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、いつもしている
- 2 できるし、時々している
- 3 できるけど、ほとんどしていない
- 4 できるけど、全くしていない
- 5 できない

問6 椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、いつもしている
- 2 できるし、時々している
- 3 できるけど、ほとんどしていない
- 4 できるけど、全くしていない
- 5 できない

問7 15分位続けて歩いていきますか。【○は1つ】

- 1 できるし、いつもしている
- 2 できるし、時々している
- 3 できるけど、ほとんどしていない
- 4 できるけど、全くしていない
- 5 できない

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。【○は1つ】

- 1 何度もある
- 2 1度ある
- 3 ない

問9 転倒に対する不安は大いいですか。【○は1つ】

- 1 とても不安である
- 2 やや不安である
- 3 あまり不安でない
- 4 不安でない

問10 外出の頻度をお教えください。【○は1つ】

- 1 ほとんど外出しない
- 2 週1回
- 3 週2~4回
- 4 週5回以上

問11 昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。【○は1つ】

- 1 とても減っている
- 2 減っている
- 3 あまり減っていない
- 4 減っていない



**地域での活動についてお答えください。**

問 24 以下のような会・グループ等どのくらいの頻度で参加していますか。【○は1つずつ】

	週4回以上	週3回	週2回	週1回	月に1回	年に1回	参加しない
例) ●●活動	1	2	3	4	5	6	
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	
⑤介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6	
⑥シニアクラブ (老人クラブ)	1	2	3	4	5	6	
⑦自治会	1	2	3	4	5	6	
⑧収入のある仕事 (シルバー人材センターなど)	1	2	3	4	5	6	
⑨地区社会福祉協議会 (ミニサロン)	1	2	3	4	5	6	

問 25 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加したいと思いますか。【○は1つ】

- 1 是非参加したい
- 2 参加してもよい
- 3 参加したくない
- 4 既に参加している

問 26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営側(お世話役)として参加したいと思いますか。【○は1つ】

- 1 是非参加したい
- 2 参加してもよい
- 3 参加したくない
- 4 既に参加している

問 26-1 問 25 または問 26 で「1」または「2」で回答した方にお聞きします。どのような活動に参加したい(参加してもよい)ですか。【○はいくつでも】

- 1 ボランティアのグループ
- 2 スポーツ関係のグループやクラブ
- 3 趣味関係のグループ
- 4 学習・教養サークル
- 5 シニアクラブ (老人クラブ)
- 6 自治会
- 7 収入のある仕事
- 8 地区社会福祉協議会 (ミニサロン)
- 9 その他 (具体的に: )

問 26-1-1 問 26-1 で「1」ボランティアのグループと回答した方にお聞きします。

家事支援(30分程度)のボランティアを行う場合、1回の依頼につき、どの程度の対価が適当と考えますか。【○は1つ】

- 1 無料
- 2 100円程度
- 3 300円程度
- 4 500円程度
- 5 1,000円程度
- 6 それ以上

**たすけあい(あなたとまわりの人の「たすけあい」)についてお答えください。**

問 27 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。【○はいくつでも】

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他 (具体的に: )
- 8 そのような人はいない

問 28 あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は誰ですか。【○はいくつでも】

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他 (具体的に: )
- 8 そのような人はいない

問 29 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。【○はいくつでも】

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他 (具体的に: )
- 8 そのような人はいない

問 30 反対に、看病や世話をしてあげる人は誰ですか。【○はいくつでも】

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他 (具体的に: )
- 8 そのような人はいない

**健康についてお答えください。**

問 31 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【○は1つ】

- 1 とてもよい
- 2 まあよい
- 3 あまりよくない
- 4 よくない

問32 現在の程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください) 【○は1つ】



問33 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。 【○は1つ】

1 はい  
2 いいえ

問34 この1か月間、どうしても物事に對して興味がわかない、あるいははかから楽しめない感じがありましたか。 【○は1つ】

1 はい  
2 いいえ

問35 タバコは吸っていますか。 【○は1つ】

1 ほぼ毎日吸っている  
2 時々吸っている  
3 吸っていたが、やめた  
4 もともと吸っていない

問36 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。 【○はいくつでも】

- 1 ない
- 2 高血圧
- 3 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
- 4 心臓病
- 5 糖尿病
- 6 高脂血症 (脂質異常)
- 7 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
- 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9 腎臓・前立腺の病気
- 10 腎疾患 (透析)
- 11 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
- 12 変形性関節疾患
- 13 膠原病 (関節リウマチ含む)
- 14 外傷 (転倒・骨折等)
- 15 がん (悪性新生物)
- 16 血液・免疫の病気
- 17 うつ病
- 18 認知症 (アルツハイマー病等)
- 19 パーキンソン病
- 20 難病 (パーキンソン病を除く)
- 21 目の病気
- 22 耳の病気
- 23 口の病気 (飲み込み困難、咀嚼機能低下)
- 24 歯の病気 (歯周病、むし歯等)
- 25 その他 (具体的に: )

**介護保険制度等**についておたずねします。

問37 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。 【○は1つ】

1 負担に感じる  
2 やや負担に感じる  
3 あまり負担に感じない  
4 負担とは感じない

問38 介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービス量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。 【○は1つ】

1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む  
2 保険料も介護保険サービスも現状のままで良い  
3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい  
4 その他 (具体的に: )  
5 わからない

問39 現在、どこで暮らしていますか。 【○は1つ】

1 自宅  
2 親族の家  
3 高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け住宅含む)  
4 有料老人ホームなど  
5 軽費老人ホーム・ケアハウス  
6 病院  
7 その他 (具体的に: )

問40 介護が必要になったときに、どこで暮らしていきたいですか。 【○は1つ】

1 自宅  
2 親族の家  
3 高齢者用の施設等 → 該当するア～ウのどれかを選択してください。  
ア 高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け住宅) や有料老人ホームなど  
イ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) などの介護保険施設  
ウ その他 (具体的に: )  
4 わからない

問41 介護が必要になったときに、あなたは介護保険の認定申請を行いますか。 【○は1つ】

1 はい  
2 いいえ

問41-1 問41で(2)と回答した方にお聞きします。  
介護保険の認定申請しない理由はなんですか。 【○はいくつでも】

1 ひまわりサロンを利用したいから  
2 その他 (具体的に: )

**認知症施策等**についておたずねします。

問42 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。 【○は1つ】

1 はい  
2 いいえ

問43 認知症に関する相談窓口を知っていますか。 【○は1つ】

1 はい  
2 いいえ

問 44 大和市が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。  
【〇は5つまで】

- 1 早期発見・早期診療の仕組みづくり
- 2 講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発
- 3 家族の交流会や家族相談会などの支援
- 4 家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）
- 5 行方不明時の対処策の充実（ネットワーク形成・位置確認支援システム・声かけ運動など）
- 6 認知症を見守るボランティアの養成（認知症サポーターなど）
- 7 学校教育や地域での住民啓発
- 8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 9 かかりつけ医に対する周知
- 10 介護従事者に対する研修
- 11 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
- 12 若年性認知症に対する支援
- 13 社会参加を促すこと（シルバー人材センターへの会員登録・ボランティア参加等）
- 14 認知症の人やその家族の声を反映した取り組み
- 15 その他（具体的に： )
- 16 特にない

**ご自由にご意見をお書きください。**

問 45 大和市の高齢者施策や介護保険などについて、ご意見をご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月28日(火)までに  
郵便ポストに投函してください。よろしくお願いいたします(切手は不要です)。



## 大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための 実態調査の実施について

令和5年2月

大和市では、本市が将来に向けて計画期間中に取り組みむべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(第8期計画)を令和3年3月に策定し、現在、計画の達成に向けて、様々な事業を実施しているところです。

この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和6年度から令和8年度までの第9期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの要支援認定を受けられている皆さま及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者(以下「事業対象者」という)の皆さまの福祉施策に対する考え方や生活環境などの把握と、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」・「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討のための調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、令和5年1月1日現在で要支援認定を受けている方及び事業対象者の方の中から無作為に2,000人の方を抽出し、ご協力をお願いしています。

ご返信いただいた調査票につきましては、計画の基礎データとして使用し、皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市長 大木 哲

### 【ご記入のお願い】

- 1 この調査は、**令和5年1月1日現在**の状況でお答えください。
- 2 ご本人様がご記入することが難しい場合は、ご家族または介護を行っている方が、ご本人様の立場でご回答いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入院等により一時的にご不在の場合には、ご自宅に戻られることを前提にご回答くださいますようお願いいたします。
- 3 回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただき、“その他”を選択された場合は具体的な内容をご記入ください。
- 4 一部の方にお答えいただく質問がございます。その場合は当てはまる方のみ、お答えください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月28日(火)まで**に投函してください。また、調査票以外のものは同封しないようお願いいたします。
- 6 調査内容や記入の仕方など、ご不明の点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市健康福祉部人生100年推進課 長寿福祉係 電話：260-5611 FAX：262-0999  
大和市健康福祉部介護保険課 給付係 電話：260-5168 FAX：260-5158

## ～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご一読ください。  
本調査票のご返送をもちまして、上記にご同意いただいたものとして扱わせていただきます。

記

### ■個人情報の保護及び活用目的について

本調査は、本市における第9期大和市長寿者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定において、皆様の福祉施策に対する考え方や生活環境などを把握することを目的としています。

本調査で得られた情報につきましては、第9期大和市長寿者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実績評価の目的以外には利用いたしません。

ただし、第9期大和市長寿者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時及び実績評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

### ■調査票の回答内容の取扱いについて

調査票にご回答頂いた情報は、適切に管理させていただきます。

### ■本調査の結果と介護保険課で保有している個人データの利用について

本調査では、調査票に付番することで、無作為に抽出された中のご回答された調査票が判別できるようにしています。介護保険課で保有している個人データと、本調査の回答内容を組み合わせたことで得られるデータを、第9期大和市長寿者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として使用させていただきます。当該データをご本人の許可なく、目的以外の使用は致しません。

以上

※本調査は、厚生労働省が策定した「介護予防・日常生活圏域二一五調査」に準じており、国が作成した設問をそのまま使用しています。

事前質問1 この調査票に記入される方はどなたですか。【○は1つ】

- 1 調査対象者 ご本人
- 2 主な介護者となつている家族・親族
- 3 主な介護者以外の家族・親族
- 4 その他(具体的に: )

事前質問2 お住まいの地域は、次のどれですか。【○は1つ】

- 1 下鶴間・つきみ野地区(下鶴間、つきみ野)
- 2 中央林間地区(中央林間西、中央林間)
- 3 南林間地区(南林間、林間)
- 4 鶴間地区(鶴間、西鶴間)
- 5 深見・大和地区(深見西、深見東、深見、深見台、大和東、大和南)
- 6 上草柳・中央地区(上草柳、桜森、中央、草柳、下草柳、柳橋1・4丁目)
- 7 福田北地区(柳橋2・3・5丁目、福田1～8丁目)
- 8 福田南地区(代官、渋谷、福田(1～8丁目、2339～2617、5506～5696を除く))
- 9 桜丘・和田地区(上和田、下和田、福田2339～2617、福田5506～5696)
- 10 その他(市外等)

はじめに、あなたのご家族や生活状況についておたずねします。

問1 ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。【○は1つ】

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)
- 3 夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)
- 4 子と同居(本人を含め、計 人)
- 5 その他(具体的に: )

問2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。【○は1つ】

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 ぶつう
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

問3 ご自宅は次のどれですか。【○は1つ】

- 1 持家(一戸建て)
- 2 持家(集合住宅)
- 3 公営賃貸住宅
- 4 民間賃貸住宅(一戸建て)
- 5 民間賃貸住宅(集合住宅)
- 6 社宅・宿舎
- 7 その他(具体的に: )

問4 現在、どこで暮らしていますか。【○は1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む)
- 4 有料老人ホームなど
- 5 軽費老人ホーム/ケアハウス
- 6 病院
- 7 その他(具体的に: )

問5 今後、どこで暮らしていきたいですか。【○は1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者用の施設等 → 該当するア～ウのどれかを選択してください。
- ア 高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅)や有料老人ホームなど
- イ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの介護保険施設
- ウ その他(具体的に: )
- 4 わからない

からだを動かすことについておたずねします。

問6 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、いつもしている
- 2 できるし、時々している
- 3 できるけど、ほとんどしていない
- 4 できるけど、全くしていない
- 5 できない

問7 椅子に坐った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。【○は1つ】

- 1 できるし、いつもしている
- 2 できるし、時々している
- 3 できるけど、ほとんどしていない
- 4 できるけど、全くしていない
- 5 できない

問8 15分位続けて歩いていきますか。【○は1つ】

- 1 できるし、いつもしている
- 2 できるし、時々している
- 3 できるけど、ほとんどしていない
- 4 できるけど、全くしていない
- 5 できない

問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。【○は1つ】

- 1 何度もある
- 2 1度ある
- 3 ない

問10 転倒に対する不安は大きいですか。【○は1つ】

- 1 とても不安である
- 2 やや不安である
- 3 あまり不安でない
- 4 不安でない

問11 外出の頻度をお教えください。【○は1つ】

- 1 ほとんど外出しない
- 2 週1回
- 3 週2～4回
- 4 週5回以上

問12 昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。【○は1つ】

- 1 とても減っている
- 2 減っている
- 3 あまり減っていない
- 4 減っていない

食べることについておたずねします。

問13 身長と体重をお教えください。【数字で記入してください】

.  cm  .  kg

問14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。【〇は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問15 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。【〇は1つ】)

- 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし  
 5 その他

問15-1 問15で15と回答した方にお聞きします。

その他の選んだ理由はなんですか。【〇はいくつでも】

- 1 歯の本数はわからない  
 2 入れ歯はあるが使わない(痛いから、面倒だから、なくても噛めるから)  
 3 歯はない、または、揺れて動いてうまく噛めない  
 4 その他(具体的に: )

問16 どなたかと食事をする機会はありますか。【〇は1つ】

- 1 毎日ある 2 週に何度かある 3 月に何度かある  
 4 年に何度かある 5 ほとんどない

毎日の生活についておたずねします。

問17 物忘れが多いと感じますか。【〇は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問18 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。【〇は1つ】

- 1 できるし、いつもしている 2 できるし、時々している  
 3 できるけど、ほとんどしていない 4 できるけど、全くしていない 5 できない

問19 自分で食品・日用品の買物をしていますか。【〇は1つ】

- 1 できるし、いつもしている 2 できるし、時々している  
 3 できるけど、ほとんどしていない 4 できるけど、全くしていない 5 できない

問20 自分で食事の用意をしていますか。【〇は1つ】

- 1 できるし、いつもしている 2 できるし、時々している  
 3 できるけど、ほとんどしていない 4 できるけど、全くしていない 5 できない

問21 自分で請求書の支払いをしていますか。【〇は1つ】

- 1 できるし、いつもしている 2 できるし、時々している  
 3 できるけど、ほとんどしていない 4 できるけど、全くしていない 5 できない

問22 自分で預貯金の出し入れをしていますか。【〇は1つ】

- 1 できるし、いつもしている 2 できるし、時々している  
 3 できるけど、ほとんどしていない 4 できるけど、全くしていない 5 できない

問23 連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。

【〇はいくつでも】

- 1 スマートフォン 2 タブレット型端末  
 3 携帯電話(スマートフォン以外) 4 パソコン  
 5 固定電話・FAX 6 その他(具体的に: )  
 7 利用していない

問23-1 問23で13~17と回答した方にお聞きします。

スマートフォン、タブレット型端末を利用していない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

- 1 使い方がわからない、難しい 2 費用が高い  
 3 必要がない 4 その他(具体的に: )  
 5 特に理由はない

問24 日常生活で困っていることや不安に感じていることはありませんか。【〇は1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問24-1 問24で1はいいと回答した方にお聞きします。

それは、具体的にどのようなことですか。【〇はいくつでも】

- 1 買い物 2 ゴミ出し 3 部屋の掃除  
 4 布団干し 5 食事の調理 6 食事の片付け  
 7 洗濯 8 電球交換などの簡単な補修作業  
 9 家具の移動 10 季節の衣類・器具の出し入れ  
 11 草むしりなど庭の手入れ 12 通院時などの送迎 13 外出時の支援  
 14 安否の見守り 15 話し相手がない  
 16 転びやすい住環境(室内の段差、手すりがない等) 17 預貯金の出し入れ  
 18 土地や家屋などの財産管理・相続  
 19 契約トラブルや詐欺(強引な訪問販売・電話販売など)  
 20 その他(具体的に: )

問24-1-1 問24-1で1~15と回答した方にお聞きします。

これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、どの程度の料金負担が妥当と考えますか。【〇は1つ】

- 1 無料 2 100円程度 3 300円程度  
 4 500円程度 5 1,000円程度 6 それ以上

**地域での活動についてお答えください。**

問 25 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。【〇は1つずつ】

	週 4 回 以上	週 2 回 以上	週 1 回	月 1 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
例) ●●活動	1	2	3	4	5	6
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥シニアクラブ(老人クラブ)	1	2	3	4	5	6
⑦自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事 (シルバー人材センターなど)	1	2	3	4	5	6
⑨地区社会福祉協議会(ミニサロン)	1	2	3	4	5	6

問 26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。【〇は1つ】

1 是非参加したい  
2 参加してもよい  
3 参加したくない  
4 既に参加している

問 27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営側(お世話役)として参加してみたいと思いますか。【〇は1つ】

1 是非参加したい  
2 参加してもよい  
3 参加したくない  
4 既に参加している

問 27-1-1 問 26 または問 27 で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。どのような活動に参加したい(参加してもよい)ですか。【〇はいくつでも】

1 ボランティアのグループ  
2 スポーツ関係のグループやクラブ  
3 趣味関係のグループ  
4 学習・教養サークル  
5 シニアクラブ(老人クラブ)  
6 自治会  
7 収入のある仕事  
8 地区社会福祉協議会(ミニサロン)  
9 その他(具体的に: )

問 27-1-1 問 27-1 で「1 ボランティアのグループ」と回答した方にお聞きします。家事支援(30分程度)のボランティアを行う場合、1回の依頼につき、どの程度の対価が適当と考えますか。【〇は1つ】

1 無料  
2 100円程度  
3 300円程度  
4 500円程度  
5 1,000円程度  
6 それ以上

**たすけあい(あなたとまわりの人の「たすけあい」)についてお答えください。**

問 28 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。【〇はいくつでも】

1 配偶者  
2 同居の子ども  
3 別居の子ども  
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5 近隣  
6 友人  
7 その他(具体的に: )  
8 そのような人はいない

問 29 あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげてくれる人は誰ですか。【〇はいくつでも】

1 配偶者  
2 同居の子ども  
3 別居の子ども  
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5 近隣  
6 友人  
7 その他(具体的に: )  
8 そのような人はいない

問 30 あなたが病気で日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。【〇はいくつでも】

1 配偶者  
2 同居の子ども  
3 別居の子ども  
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5 近隣  
6 友人  
7 その他(具体的に: )  
8 そのような人はいない

問 31 反対に、看病や世話をしてあげてくれる人は誰ですか。【〇はいくつでも】

1 配偶者  
2 同居の子ども  
3 別居の子ども  
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫  
5 近隣  
6 友人  
7 その他(具体的に: )  
8 そのような人はいない

**健康**についておたずねします。

問 32 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【○は 1 つ】

- 1 とてもよい
- 2 まあよい
- 3 あまりよくない
- 4 よくない

問 33 現在の程度幸せですか。

(「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください) 【○は 1 つ】



問 34 この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。【○は 1 つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 35 この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。【○は 1 つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 36 タバコは吸っていますか。【○は 1 つ】

- 1 ほぼ毎日吸っている
- 2 時々吸っている
- 3 吸っていたが、やめた
- 4 もともと吸っていない

問 37 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。【○はいくつでも】

- 1 ない
- 2 高血圧
- 3 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 4 心臓病
- 5 糖尿病
- 6 高脂血症(脂質異常)
- 7 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
- 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9 腎臓・前立腺の病気
- 10 腎疾患(透析)
- 11 筋骨格の病気(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
- 12 変形性関節疾患
- 13 膠原病(関節リウマチ含む)
- 14 外傷(転倒・骨折等)
- 15 がん(悪性新生物)
- 16 血液・免疫の病気
- 17 うつ病
- 18 認知症(アルツハイマー病等)
- 19 パーキンソン病
- 20 難病(パーキンソン病を除く)
- 21 目の病気
- 22 耳の病気
- 23 口の病気(飲み込み困難、咀嚼機能低下)
- 24 歯の病気(歯周病、むし歯等)
- 25 その他(具体的に: )

**介護保険制度等**についておたずねします。

問 38 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。【○は 1 つ】

- 1 負担を感じる
- 2 やや負担を感じる
- 3 あまり負担に感じない
- 4 負担とは感じない

問 39 介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。【○は 1 つ】

- 1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む
- 2 保険料も介護保険サービスも現状のままで良い
- 3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい
- 4 その他(具体的に: )

問 40 介護保険制度をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。【○は 3 つまで】

- 1 自宅で生活を続けるための介護保険サービスの種類の拡大  
(種類や内容などを具体的に: )
- 2 在宅での介護を支えるための施策の充実
- 3 グループホームなどの地域に密着した小規模施設の増設
- 4 特別養護老人ホームなどの入所施設の増設
- 5 介護保険サービスを担う人材の資質の向上
- 6 介護保険サービスについての情報提供の充実
- 7 介護保険サービスの苦情・相談への対応の充実
- 8 介護予防の施策の推進
- 9 ケアマネジャーなどの資質の向上
- 10 介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域の支え合いの充実
- 11 その他(具体的に: )
- 12 特になし

問 41 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。【○は 1 つ】

- 1 入所・入居は検討していない
- 2 入所・入居を検討している
- 3 すでに入所・入居申し込みをしている

**認知症施策等についておたずねします。**

問 42 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。【○は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 43 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【○は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 44 大和市が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。

【○は5つまで】

- 1 早期発見・早期診療の仕組みづくり
- 2 講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発
- 3 家族の交流会や家族相談会などの支援
- 4 家族向け研修会の開催(認知症の介護・コミュニケーション方法など)
- 5 行方不明時の対処策の充実(ネットワーク形成・位置確認支援システム、声かけ運動など)
- 6 認知症を見守るボランティアの養成(認知症サポーターなど)
- 7 学校教育や地域での住民啓発
- 8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 9 かかりつけ医に対する周知
- 10 介護従事者に対する研修
- 11 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
- 12 若年性認知症に対する支援
- 13 社会参加を促すこと(シルバー人材センターへの会員登録・ボランティア参加等)
- 14 認知症の人やその家族の声を反映した取り組み
- 15 その他(具体的に: )
- 16 特になし

**介護保険サービス等についておたずねします。**

問 45 令和4年12月の1か月の間に、(住宅改修・福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービス(介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防訪問型サービス、訪問型サービスA、介護予防通所型サービスを含む)を利用しましたか。【○は1つ】

- 1 利用した
- 2 利用していない

→ 問 45-1 問 45 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

現在、利用している介護保険サービスに伴う利用者負担額と施設における居住費や光熱水費、通所介護(デイサービス)などにおける食費等を合わせた1か月あたりの支払総額の概算を教えてください。【○は1つ】

1 5千円未満	2 5千円～1万円未満	3 1万円台
4 2万円台	5 3万円～5万円未満	6 5万円～10万円未満
7 10万円～15万円未満	8 15万円～20万円未満	9 20万円～25万円未満
10 25万円～30万円未満	11 30万円～35万円未満	12 35万円以上

→ 問 45-2 問 45 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

利用者負担の支払額について、どのようにお感じですか。【○は1つ】

- 1 負担と感じる
- 2 やや負担と感じる
- 3 あまり負担とは感じない
- 4 負担とは感じない

→ 問 45-3 問 45 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。

【○は1つ】

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

→ 問 45-4 問 45 で「1 利用した」と回答した方で、在宅サービスを利用している方にお聞きします。

介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。

【○は3つまで】

- 1 自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた
- 2 体調がよくなった
- 3 精神的に楽になった
- 4 家族に対する気兼ねが減った
- 5 外出する機会が増えた
- 6 自分で身の回りのことをしなくなった
- 7 体調が悪くなった
- 8 精神的ストレスが増えた
- 9 家族に対する気兼ねが増えた
- 10 外出する機会が減った
- 11 その他
- 12 特に変化はない (具体的に: )

**介護の状況についておたずねします。**

問 46 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。【○は1つ】

- 1 介護・介助は必要ない
  - 2 どなたかからの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
  - 3 現在、どなたかからの介護・介助を受けている
- (介護認定を受けて、家族などの介護を受けている場合も含む)

12 ページの間 51  
にお読みください。

問 46-1 問 46 で「3」と回答した方にお聞きします。  
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【○はいくつでも】

- 1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 2 心臓病
- 3 がん(悪性新生物)
- 4 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
- 5 関節の病気(リウマチ等)
- 6 認知症(アルツハイマー病等)
- 7 パーキンソン病
- 8 糖尿病
- 9 腎疾患(透析)
- 10 視覚・聴覚障がい
- 11 骨折・転倒
- 12 脊椎損傷
- 13 高齢による衰弱
- 14 その他 (具体的に)
- 15 不明 (具体的に)

**ここからは、主な介護者についておたずねします。**

問 47 主な介護者の方は、どなたですか。【○は1つ】

- 1 配偶者
- 2 子
- 3 子の配偶者
- 4 孫
- 5 兄弟・姉妹
- 6 その他(具体的に)

問 48 主な介護者の方は、ご本人(調査対象者)と同居されていますか。【○は1つ】

- 1 同居している
- 2 同居していない

問 48-1 問 48 で「2 同居していない」と回答した方にお聞きします。  
駆付けけるのに、どれくらい時間がかかりますか。(移動手段は問いません)

- 1 同じ敷地内
- 2 15 分未満
- 3 15 分～30 分未満
- 4 30 分～1 時間未満
- 5 1 時間～1 時間 30 分未満
- 6 1 時間 30 分～2 時間未満
- 7 2 時間以上

問 49 介護を受けている方の認知症の程度についてお答えください。【○は1つ】

- 1 何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している
- 2 多少日常生活における支障(道に迷う、金銭の計算を誤る等)はあるが、誰かが注意し  
ていれば自立して生活できる
- 3 日常生活に支障をきたす症状(はいかい、失禁、火の不始末等)や意思の疎通が困難  
である時がときどき見られ、介護を必要とする
- 4 日常生活に支障をきたす症状(はいかい、失禁、火の不始末等)や意思の疎通が困難  
である時が頻繁に見られ、常に目を離すことができない
- 5 著しい精神症状や問題行動(妄想、興奮、自傷等)、あるいは重篤な身体疾患が見られ、  
専門医療を必要とする
- 6 上記 1～5 のいずれにもあてはまらない。(認知症ではない)

問 50 次の中で、主な介護者の方が特に困っていることを選んでください。【○は3つまで】

- 1 介護の方法が分からない
- 2 介護疲れが抜けない
- 3 自分の時間が取れない
- 4 相談相手がいらない
- 5 家族の協力や理解が足りない
- 6 近所などの理解が足りない
- 7 金銭的に負担である
- 8 その他 (具体的に)
- 9 特にはない

**皆様にお伺いします。ご自由にご意見をお書きください。**

問 51 大和市の高齢者施策や介護保険などについて、ご意見を自由に書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月28日(火)までに  
郵便ポストに投函してください。よろしくお願いいたします(切手は不要です)。

## 大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための 実態調査の実施について

令和5年2月

大和市では、本市が将来に向けて計画期間中に取り組むべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(第8期計画)を令和3年3月に策定し、現在、計画の達成に向けて、様々な事業を実施しているところです。

この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和6年度から令和8年度までの第9期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの要介護認定を受けている皆さまの福祉施策に対する考え方や生活環境などの把握と、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」・「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討のための調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、令和5年1月1日現在で要介護認定を受けている方の中から無作為に2,500人の方を抽出し、ご協力をお願いしています。

ご返送いただいた調査票につきましては、計画の基礎データとして使用し、皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市長 大木 哲

### 【ご記入のお願い】

- 1 この調査は、**令和5年1月1日現在**の状況でお答えください。
- 2 ご本人様のご記入することが難しい場合は、ご家族または介護を行っている方が、ご本人様の立場でご回答いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入院等により一時的にご不在の場合には、ご自宅に戻られることを前提にご回答くださいますようお願いいたします。
- 3 回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただき、“その他”を選択された場合は具体的な内容をご記入ください。
- 4 一部の方にお答えいただく質問がございます。その場合は当てはまる方のみ、お答えください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月28日(火)まで**に投函してください。また、調査票以外のものは同封しないようお願いいたします。
- 6 調査内容や記入の仕方など、ご不明の点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市健康福祉部介護保険課 給付係 電話：260-5168 FAX：260-5158

## ～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご一読ください。  
本調査票のご返送をもちまして、上記にご同意いただいたものとして扱わせていただきます。

### 記

#### ■ 個人情報の保護及び活用目的について

本調査は、本市における第9期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定において、皆様の福祉施策に対する考え方や生活環境などを把握することを目的としています。

本調査で得られた情報につきましては、第9期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実績評価の目的以外には利用いたしません。

ただし、第9期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時及び実績評価時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

#### ■ 調査票の回答内容の取扱いについて

調査票にご回答頂いた情報は、適切に管理させていただきます。

#### ■ 本調査の結果と介護保険課で保有している個人データの利用について

本調査では、調査票に付番することで、無作為に抽出された中のご回答された調査票が判別できるようにしています。介護保険課で保有している個人データと、本調査の回答内容を組み合わせたことで得られるデータを、第9期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として使用させていただきます。当該データをご本人の許可なく、目的以外の使用は致しません。

以上



事前設問1 この調査票に記入される方はどなたですか。【○は1つ】

- 1 調査対象者 ご本人
- 2 主な介護者となつている家族・親族
- 3 主な介護者以外の家族・親族
- 4 その他(具体的に: )

事前設問2 調査対象様のお住まいの地域は、次のどれですか。【○は1つ】

- 1 下鶴間・つきみ野地区(下鶴間、つきみ野)
- 2 中央林間地区(中央林間西、中央林間)
- 3 南林間地区(南林間、林間)
- 4 鶴間地区(鶴間、西鶴間)
- 5 深見・大和地区(深見西、深見東、深見台、大和東、大和南)
- 6 上草柳・中央地区(上草柳、桜森、中央、草柳、下草柳、柳橋1-4丁目)
- 7 福田北地区(柳橋2-3・5丁目、福田1~8丁目)
- 8 福田南地区(代官、渋谷、福田(1~8丁目、2339~2617、5506~5696を除く))
- 9 桜丘・和田地区(上和田、下和田、福田2339~2617、福田5506~5696)
- 10 その他(市外等)

はじめに、**あなたのご家族や生活状況**についておたずねします。

問1 ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。【○は1つ】

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)
- 3 夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)
- 4 子と同居(本人を含め、計\_\_人)
- 5 その他(具体的に: )

問2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。【○は1つ】

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 ぶつう
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

問3 ご自宅は次のどれですか。【○は1つ】

- 1 持家(一戸建て)
- 2 持家(集合住宅)
- 3 公営賃貸住宅
- 4 民間賃貸住宅(一戸建て)
- 5 民間賃貸住宅(集合住宅)
- 6 社宅・宿舍
- 7 その他(具体的に: )

問4 現在、どこで暮らしていますか。【○は1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む)
- 4 有料老人ホーム
- 5 経費老人ホーム・ケアハウス
- 6 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- 7 病院
- 8 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設(老健)、介護療養型医療施設、介護医療院
- 9 その他(具体的に: )

問5 今後、どこで暮らしていきたいですか。【○は1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者用の施設等 → 該当するア~ウのどれかを選択してください。
  - ア 有料老人ホームなど(高齢者対応の賃貸住宅を含む)
  - イ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの介護保険施設
  - ウ その他(具体的に: )
- 4 わからない

問6 連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。【○はいくつでも】

- 1 スマートフォン
- 2 タブレット型端末
- 3 携帯電話(スマートフォン以外)
- 4 パソコン
- 5 固定電話・FAX
- 6 その他(具体的に: )
- 7 利用していない

問6-1 問6で「3」~「7」と回答した方にお聞きします。

スマートフォン、タブレット型端末を利用していない理由は何ですか。

- 1 使い方がわからない・難しい
- 2 費用が高い
- 3 必要がない
- 4 その他(具体的に: )
- 5 特に理由はない

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。【〇は1つ】

- 1 入所・入居は検討していない
- 2 入所・入居を検討している
- 3 すでに入所・入居申し込みをしている

**認知症施策等についておたずねします。**

問12 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。【〇は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問13 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【〇は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問14 大和市が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。【〇は5つまで】

- 1 早期発見・早期診療の仕組みづくり
- 2 講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発
- 3 家族の交流会や家族相談会などの支援
- 4 家族向け研修会の開催(認知症の介護・コミュニケーション方法など)
- 5 行方不明時の対応策の充実(ネットワーク形成・位置確認支援システム・声かけ運動など)
- 6 認知症を見守るボランティアの養成(認知症サポーターなど)
- 7 学校教育や地域での住民啓発
- 8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 9 かかりつけ医に対する周知
- 10 介護従事者に対する研修
- 11 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
- 12 若年性認知症に対する支援
- 13 社会参加を促すこと(シルバー人材センターへの会員登録・ボランティア参加等)
- 14 認知症の人やその家族の声を反映した取り組み
- 15 その他(具体的に: )
- 16 特にない

問7 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。【〇はいくつでも】

- 1 ない
- 2 高血圧
- 3 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 4 心臓病
- 5 糖尿病
- 6 高脂血症(脂質異常)
- 7 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
- 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9 腎臓・前立腺の病気
- 10 腎疾患(透析)
- 11 筋骨格の病気(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
- 12 変形性関節疾患
- 13 膠原病(関節リウマチを含む)
- 14 外傷(転倒・骨折等)
- 15 がん(悪性新生物)
- 16 血液・免疫の病気
- 18 認知症(アルツハイマー病等)
- 19 パーキンソン病
- 20 難病(パーキンソン病を除く)
- 22 耳の病気
- 23 その他(具体的に: )

**介護保険制度等についておたずねします。**

問8 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。【〇は1つ】

- 1 負担に感じる
- 2 やや負担に感じる
- 3 あまり負担に感じない
- 4 負担には感じない

問9 介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。【〇は1つ】

- 1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実に望む
- 2 保険料も介護保険サービスも現状のままで良い
- 3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい
- 4 その他(具体的に: )

問10 介護保険制度をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。【〇は3つまで】

- 1 自宅で生活を続けるための介護保険サービスの種類の拡大  
(種類や内容などを具体的に: )
- 2 在宅での介護を支えるための施策の充実
- 3 グループホームなどの地域に密着した小規模施設の増設
- 4 特別養護老人ホームなどの入所施設の増設
- 5 介護保険サービスの担う人材の資質の向上
- 6 介護保険サービスについての情報提供の充実
- 7 介護保険サービスの苦情・相談への対応の充実
- 8 介護予防の施策の推進
- 9 ケアマネジャーなどの資質の向上
- 10 介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域の支え合いの充実
- 11 その他(具体的に: )
- 12 特にない

**介護保険サービス等**についておたずねします。

問15 令和4年12月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。【〇は1つ】

- 1 利用した
- 2 利用していない

問15-1 問15で「1」利用したと回答した方にお聞きます。  
現在、利用している介護保険サービスに伴う利用者負担額と施設における居住費や光熱水費、通所介護（デイサービス）などにおける食費等を合わせた1か月あたり  
の支払総額の概算を教えてください。【〇は1つ】

- 1 5千円未満
- 2 5千円～1万円未満
- 3 1万円台
- 4 2万円台
- 5 3万円～5万円未満
- 6 5万円～10万円未満
- 7 10万円～15万円未満
- 8 15万円～20万円未満
- 9 20万円～25万円未満
- 10 25万円～30万円未満
- 11 30万円～35万円未満
- 12 35万円以上

問15-2 問15で「1」利用したと回答した方にお聞きます。  
利用者負担の支払額について、どのようにお感じですか。【〇は1つ】

- 1 負担と感じる
- 2 やや負担と感じる
- 3 あまり負担とは感じない
- 4 負担とは感じない

問15-3 問15で「1」利用したと回答した方にお聞きます。  
現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。【〇は1つ】

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

問15-4 問15で「1」利用したと回答した方で、**任意サービス**を利用している方にお聞きます。  
介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。【〇は3つまで】

- 1 自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた
  - 2 体調がよくなった
  - 3 精神的に楽になった
  - 4 家族に対する気兼ねが減った
  - 5 外出する機会が増えた
  - 6 自分で身の回りのことをしなくなった
  - 7 体調が悪くなった
  - 8 精神的ストレスが増えた
  - 9 家族に対する気兼ねが増えた
  - 10 外出する機会が減った
  - 11 その他
  - 12 特に変化はない
- (具体的に: )

**介護の状況**についておたずねします。

問16 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【〇はいくつでも】

- 1 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)
- 2 心臓病
- 3 がん(悪性新生物)
- 4 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
- 5 関節の病気(アルツハイマー病等)
- 6 認知症(アルツハイマー病等)
- 7 パーキンソン病
- 8 糖尿病
- 9 腎臓病(透析)
- 10 視覚・聴覚障がい
- 11 骨折・転倒
- 12 脊椎損傷
- 13 高齢による衰弱
- 14 その他(具体的に: )
- 15 不明

ここからは、**主な介護者**についておたずねします。

問17 主な介護者の方は、どなたですか。【〇は1つ】

- 1 配偶者
- 2 子
- 3 子の配偶者
- 4 孫
- 5 兄弟・姉妹
- 6 その他(具体的に: )

問18 主な介護者の方は、ご本人(調査対象者)と同居されていますか。【〇は1つ】

- 1 同居している
- 2 同居していない

問18-1 問18で「2」同居していないと回答した方にお聞きます。  
駆けつけるのに、どれくらい時間がかかりますか。(移動手段は問いません) 【〇は1つ】

- 1 同じ敷地内
- 2 15分未満
- 3 15分～30分未満
- 4 30分～1時間未満
- 5 1時間～1時間30分未満
- 6 1時間30分～2時間未満
- 7 2時間以上

問19 介護を受けている方の認知症の程度についてお答えください。【〇は1つ】

- 1 何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している
- 2 多少日常生活における支障(道に迷う、金銭の計算を誤る等)はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる
- 3 日常生活に支障をきたす症状(はいかい、失禁、火の不始末等)や意思の疎通が困難である時とときどき見られ、介護を必要とする
- 4 日常生活に支障をきたす症状(はいかい、失禁、火の不始末等)や意思の疎通が困難である時が頻繁に見られ、常に目を離すことができない
- 5 著しい精神症状や問題行動(妄想、興奮、自傷等)、あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする
- 6 上記1～5のいずれにもあてはまらない。(認知症ではない)

問20 次の中で、主な介護者の方が特に困っていることを選んでください。【〇は3つまで】

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 介護の方法が分からない   | 2 介護疲れが抜けない    |
| 3 自分の時間が取れない    | 4 相談相手がいらない    |
| 5 家族の協力や理解が足りない | 6 近所などの理解が足りない |
| 7 金銭的に負担である     | 8 その他(具体的に: )  |
| 9 特にはない         |                |

**皆様にお伺いします。ご自由にご意見をお書きください。**

問21 大和市の高齢者施策や介護保険などについて、ご意見をご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月28日(火)までに  
郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

## 大和市居宅介護支援事業所調査

※ 以下は、令和5年1月1日現在でお答えください。

### I 貴事業所の概要をおたずねします

事業所名	連絡先 (担当者)
電話	

法人の種類【ひとつだけに○】※ この欄は記入しなくない場合は、無記名のままで結構です。

1 社会福祉法人	2 医療法人(社団・財団)	3 株式会社
4 有限会社	5 NPO 法人	6 その他(具体的に: )

主任ケアマネジャーの人数 ( )人

### II ケアプラン作成についておたずねします

問1. 貴事業者の職員数と、担当している利用者数をお答えください。

ケアマネジャー常勤 ( )人 によって 利用者( )人  
 ケアマネジャー非常勤( )人 によって 利用者( )人

問2. 受け持っている利用者のうち、喀痰吸引、胃瘻、人工透析が必要な方は何人いますか。  
 ( ) 内に人数をお書きください。

利用者のうち 喀痰吸引:( )人  
 利用者のうち 胃瘻:( )人  
 利用者のうち 人工透析:( )人

問3. 受け持っている利用者のうち、区分支給限度額を超えてサービスを利用している方は何人いますか。( ) 内に人数をお書きください。

利用者のうち ( )人

問4. 受け持っている利用者のうち、訪問型サービスAの利用意向がある方は何人いますか。  
 ( ) 内に人数をお書きください。

利用者のうち ( )人

問5. 受け持っている利用者のうち、施設等への入所を希望している方は何人いますか。  
 ( ) 内に人数をお書きください。

利用者のうち ( )人

内訳 ①介護老人福祉施設 ( )人 ②介護老人保健施設 ( )人  
 ③介護療養型医療施設 ( )人 ④介護医療院 ( )人  
 ⑤認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ( )人  
 ⑥特定施設(介護付有料老人ホーム) ( )人  
 ⑦高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む) ( )人

問6. 施設等への入所を希望している人のうち、ケアマネジャーの観点からも施設入所が望ましいと思われる方は何人いますか。( ) 内に人数をお書きください。

入所希望者のうち、( )人

内訳 ①介護老人福祉施設 ( )人 ②介護老人保健施設 ( )人  
 ③介護療養型医療施設 ( )人 ④介護医療院 ( )人  
 利用 ⑤認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ( )人  
 利用 ⑥特定施設(介護付有料老人ホーム) ( )人  
 ⑦高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む) ( )人

問7. 施設等への入所を希望している方のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。また、上記のうち、特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。( ) 内に人数をお書きください。

① 地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者  
 入所希望者うち、( )人

② 上記①の在宅生活が継続できそうな利用者うち、特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を  
 充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者 ( )人

問8. 地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由について、該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

1 認知症が進行し、問題行動が顕著であるから  
 2 居宅サービスを利用してくれないから  
 3 医療的処置(経管栄養や喀痰吸引など)が必要な状態であるから  
 4 独居や老人世帯で介護者がヘルパーばかりいないから  
 5 家族が介護で憔悴しているから  
 6 家族が介護放棄に近い状態だから  
 7 その他(具体的に: )

Ⅲ 高齢者施策等についておたずねします

問9. 今後充実した方がよい、もしくは、新規に望まれる介護保険制度外のサービスはありますか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

- 1 配食サービス
- 2 在宅療養支援診療所
- 3 居老人等の災害対策
- 4 独居老人等の見守り事業
- 5 おむつの支給
- 6 地域に根ざした寄り合い所(サロン)
- 7 介護者(家族)支援のための教室
- 8 身体機能維持のための講座など
- 9 制度適用外訪問介護利用助成
- 10 徘徊高齢者等 SOS ネットワーク
- 11 成年後見のサポート事業
- 12 緊急通報システム
- 13 高齢者虐待防止 SOSネットワーク
- 14 認知症高齢者の施策
- 15 その他(具体的に )
- 16 ない(足りている)

問10. 認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。【○は5つまで】

- 1 早期発見・早期診療の仕組みづくり
- 2 講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発
- 3 家族の交流会や家族相談会などの支援
- 4 家族向け研修会の開催(認知症の介護・コミュニケーション方法など)
- 5 行方不明時の対応策の充実(ネットワーク形成・位置確認支援システム・声かけ運動など)
- 6 認知症を見守るボランティアの養成(認知症サポーターなど)
- 7 学校教育や地域での住民啓発
- 8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 9 かかりつけ医に対する周知
- 10 介護従事者に対する研修
- 11 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
- 12 若年性認知症に対する支援
- 13 社会参加を促すこと(シルバー人材センターへの会員登録・ボランティア参加等)
- 14 認知症の人やその家族の声を反映した取り組み
- 15 その他(具体的に )
- 16 特にない

Ⅳ 本市の介護サービスについておたずねします

問11. 大和市で、貴事業所が不足していると思う介護(介護予防)サービスはありますか。市全体で不足していると思うサービスの番号を次のページの地図下段に、地区によって不足していると思うサービスがある場合はA~K地区それぞれのカッコ内に番号で書き込んでください。【○はいくつでも】

- 1 訪問介護
- 2 (介護予防)訪問入浴介護
- 3 (介護予防)訪問看護
- 4 (介護予防)訪問リハビリテーション
- 5 (介護予防)在宅療養管理指導
- 6 通所介護
- 7 (介護予防)通所リハビリテーション
- 8 (介護予防)短期入所生活介護
- 9 (介護予防)短期入所療養介護
- 10 (介護予防)特定施設入居者生活介護
- 11 (介護予防)福祉用具貸与
- 12 特定(介護予防)福祉用具販売
- 13 (介護予防)住宅改修
- 14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 15 夜間対応型訪問介護
- 16 (介護予防)認知症対応型通所介護
- 17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護
- 18 (介護予防)認知症対応型共同生活介護
- 19 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 20 地域密着型介護老人福祉施設
- 21 看護小規模多機能型居宅介護
- 22 介護老人福祉施設
- 23 介護老人保健施設
- 24 介護療養型医療施設
- 25 介護医療院

問12. それでは、今後の大和市で、特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスはどれだと考えますか。【○は5つまで】

- 1 訪問介護
- 2 (介護予防)訪問入浴介護
- 3 (介護予防)訪問看護
- 4 (介護予防)訪問リハビリテーション
- 5 (介護予防)在宅療養管理指導
- 6 通所介護
- 7 (介護予防)通所リハビリテーション
- 8 (介護予防)短期入所生活介護
- 9 (介護予防)短期入所療養介護
- 10 (介護予防)特定施設入居者生活介護
- 11 (介護予防)福祉用具貸与
- 12 特定(介護予防)福祉用具販売
- 13 (介護予防)住宅改修
- 14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 15 夜間対応型訪問介護
- 16 (介護予防)認知症対応型通所介護
- 17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護
- 18 (介護予防)認知症対応型共同生活介護
- 19 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 20 地域密着型介護老人福祉施設
- 21 看護小規模多機能型居宅介護
- 22 介護老人福祉施設
- 23 介護老人保健施設
- 24 介護療養型医療施設
- 25 介護医療院

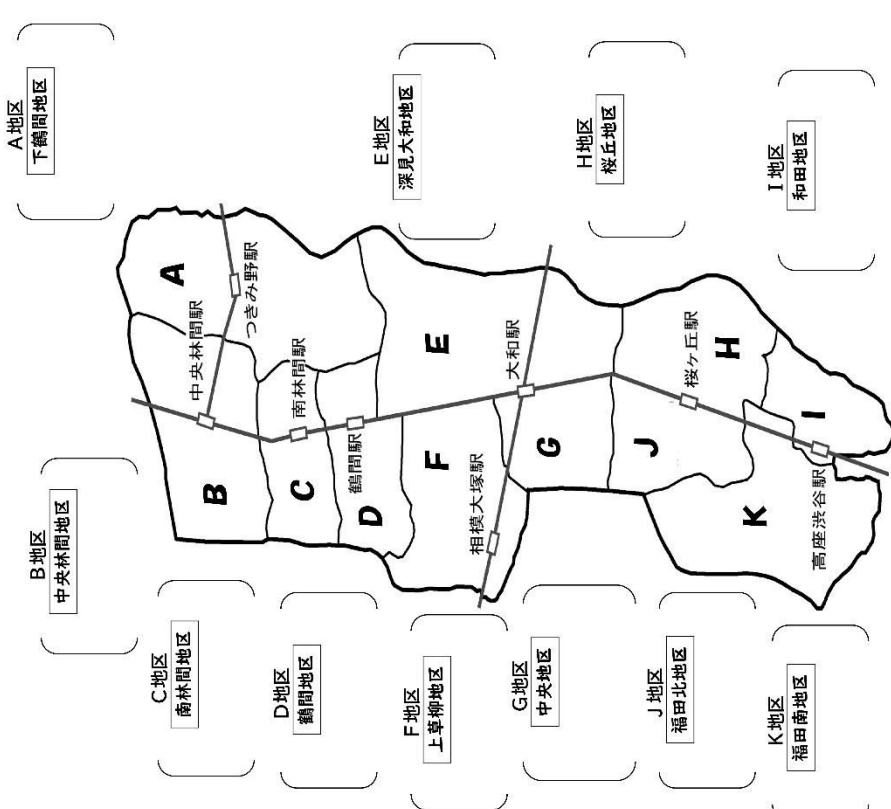
V 医療・介護関係者との情報共有についておたずねします

問13. 現在、利用者を支援する際に、連携している職種（機関）はどのような職種（機関）ですか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

【職種】	
1	医師(病院・診療所)
2	医師(往診)
3	歯科医師(病院・診療所)
4	歯科医師(往診)
5	歯科衛生士(病院・診療所)
6	歯科衛生士(訪問)
7	薬剤師(病院・診療所)
8	薬剤師(訪問)
9	看護師(病院・診療所)
10	看護師(訪問)
11	理学療法士(病院・診療所)
12	理学療法士(訪問)
13	作業療法士(病院・診療所)
14	作業療法士(訪問)
15	言語聴覚士(病院・診療所)
16	言語聴覚士(訪問)
17	管理栄養士(病院・診療所)
18	管理栄養士(訪問)
19	精神保健福祉士(病院・診療所)
20	精神保健福祉士(訪問)
21	ソーシャルワーカー(病院・診療所)
22	弁護士
23	司法書士
24	社会福祉士
25	行政書士
26	その他(具体的に: )

【機関】	
1	在宅歯科医療地域連携室(大和歯科医師会)
2	地域包括支援センター(在宅介護支援センター)
3	社会福祉協議会
4	厚木保健福祉事務所大和センター
5	在宅医療・介護連携支援センター
6	行政(生活支援課)
7	行政(障がい福祉課)
8	行政(健康福祉総務課おひとりさま支援係)
9	行政(健康福祉総務課こもりびと支援窓口)
10	行政(健康づくり推進課)
11	行政(介護保険課)
12	行政(人生100年推進課)
13	その他(具体的に: )



大和市全体で不足していると思う介護サービス

問14. 現在、連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種(機関)はどのような職種(機関)ですか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつても】

【職種】	
1	医師(病院・診療所)
2	医師(住診)
3	歯科医師(病院・診療所)
4	歯科医師(住診)
5	歯科衛生士(病院・診療所)
6	歯科衛生士(住診)
7	薬剤師(病院・診療所)
8	薬剤師(訪問)
9	看護師(病院・診療所)
10	看護師(訪問)
11	理学療法士(病院・診療所)
12	理学療法士(訪問)
13	作業療法士(病院・診療所)
14	作業療法士(訪問)
15	言語聴覚士(病院・診療所)
16	言語聴覚士(訪問)
17	管理栄養士(病院・診療所)
18	管理栄養士(訪問)
19	精神保健福祉士(病院・診療所)
20	精神保健福祉士(訪問)
21	ソーシャルワーカー(病院・診療所)
22	弁護士
23	司法書士
24	社会福祉士
25	行政書士
26	その他(具体的に: )
【機関】	
1	在宅歯科医療地域連携室(大和歯科医師会)
2	地域包括支援センター(在宅介護支援センター)
3	社会福祉協議会
4	厚木保健福祉事務所大和センター
5	在宅医療・介護連携支援センター
6	行政(生活支援課)
7	行政(障がい福祉課)
8	行政(健康福祉総務課おひとりさま支援係)
9	行政(健康福祉総務課こもりびと支援窓口)
10	行政(健康づくり推進課)
11	行政(介護保険課)
12	行政(人生100年推進課)
13	その他(具体的に: )

問15. 連携している機関と、どのような手段で情報を共有していますか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつても】

1	電話	2	FAX	3	メール
4	手紙	5	カンファレンス	6	サービス担当者会議
7	地域ケア会議	8	ICTツール(ツール名: )		
9	連絡ノート	10	各所属で作成した書類		
11	主治医・ケアマネジャー・地域包括支援センター連絡票(大和市医師会作成)				
12	患者相談・依頼票(大和市医師会作成)				
13	その他(具体的に: )				

問16. 在宅医療・介護連携支援センターが開催する研修会・会議等に参加したことがありますか。【○はいつ】

1	はい	2	いいえ
問17. 今後、要支援・要介護認定を受けた方の支援をしていくにあたり、どのような研修・会議等があればよいと思いますか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつても】			
1	入退院時における連携について	2	かかりつけ医師との連携について
3	訪問診療をしている歯科医師との連携について	4	管理栄養士との連携について
5	薬剤師との在宅療養管理指導、残薬整理等について	6	高齢者の薬剤治療について
7	訪問看護との連携について	8	退院前カンファレンスのポイントについて
9	人生会議(ACP)について	10	看取りの支援について
11	困難事例を通じた対応方法について	12	目標志向型のケアプラン立案について
13	相談援助職としてのアセスメントについて	14	多職種連携チームケアについて
15	インフォーマルサービスを活かしたケアプラン作成について		
16	地域包括ケアシステムにおけるケアマネジャーの役割について	18	生活保護制度について
17	介護報酬改定について	20	成年後見制度について
19	障がい福祉制度について	22	その他(具体的に: )
21	高齢者虐待について		

問18. 看取りの支援をされたことはありませんか。【○はいつ】

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問19. 統一した入退院支援マニュアルがあると思いますか。【○はいつ】

1	はい
2	いいえ

問19-1. 問19で「2. いいえ」と回答した事業所をお願いします。その理由をご記入ください。



問20. 各種書式を活用していますか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

- 1 主治医・ケアマネジャー・地域包括支援センター連絡票
- 2 患者相談・依頼票
- 3 入院時情報提供書
- 4 介護保険「主治医意見書作成用」問診票

問 20-1. 問 20 の各種書式のほかにあると良い書式はありますか。

VI 介護ロボット(自動排泄処理装置)についておたずねします

近年、介護の負担を軽減する様々な器具や機械(介護ロボット)が開発されています。取り分け、介護の負担が大きと言われる排泄処理については、便も尿も自動で排泄処理することができます自動排泄処理装置が開発されています。

令和元年度に実施した前回の調査によると、要介護4、5の方の日常の介護で負担になっていることは、「排泄の介助」という回答が最も多くなっています。そこで、便と尿が自動的に吸引される自動排泄処理装置についてお聞きします。

**自動排泄処理装置とは・・・**この質問では、介護保険の福祉用具貸与の対象となる便と尿を吸引するもの(要介護4、5の人が対象)を指すこととします。

**利用料：**装置を購入することもできますが、介護保険制度の福祉用具貸与として、レンタルすることもできます(本体以外に別途付属品や消耗品等が必要な場合があります)。本体購入価格は50万円程度、本体レンタル料は月額5千円程度(本人負担1割の場合)

イメージ図：



資料：「安心介護」ホームページ

問21. 受け持っている利用者のうち、自動排泄処理装置を利用している方はいますか。【○はいつ】

1 いる ⇒ (    人 )                      2 いない

問22. 受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用するとよい(介護者の負担が軽減される)と思う利用者はいますか。【○はいつ】

1 いる ⇒ (    人 )                      2 いない

問 22-1. 問 22 で「1. いる」と回答した事業所をお願いします。  
現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

- 1 費用が高いから
- 2 利用者やその家族が希望していないから
- 3 介護者(取扱う人)がいないから
- 4 機械の置く場所がないから
- 5 その他(具体的に：                      )

問23. ケアマネジャーは、自動排泄処理装置のことをどの程度ご存知ですか。【○は1つ】

1 よく知っている	2 名称しか知らない	3 ほとんど知らない
-----------	------------	------------

→ 問 23-1. 問 23 で「2. 名称しか知らない」または「3. ほとんど知らない」と回答した事業所に  
お聞きします。  
自動排泄処理装置の説明会・体験会等が開催されれば、参加したいと思いませんか。  
【○は1つ】

1 参加したい	2 参加したくない
---------	-----------

**VII 生活期リハビリテーション対象者への重度化防止に向けた取り組みについておたずねします**

問24. 通所型、訪問型リハビリテーションの提供が中心となる生活期リハビリテーションでは、地域社会への参加にも目を向けたリハビリの実践が重要です。ケアプランの作成において、目標設定をしているものについて、該当するものに○をしてください。【○はいくつでも】

- 1 社会参加の維持・促進(事業所への通い)  
レスパイトや利用者との交流促進、閉じこもり予防のために事業所に通うこと自体を目標としている。  
例) デイの中で役割を作る、定期的に通所に通い、他者と交流する、気持ちよく入浴するなど
- 2 社会参加の維持・促進(地域活動への参加等)  
地域における様々な活動に参加することを目標としている。  
例) 社会的な関わり機会を確保する、毎週一度は買い物に出かけるなど

問25. ケアプランの短期目標の状況として当てはまるものに○をしてください。【○は1つ】

1 機能維持に比べ、機能向上を目標としている割合が多い
2 機能向上に比べ、機能維持を目標としている割合が多い
3 機能向上と機能維持は目標としている割合が同じ
4 機能向上や機能維持を目標にすることは無い

問26. 機能維持や機能向上を短期目標とした場合の達成状況について、当てはまるものに○をしてください。【○は1つ】

1 達成できた
2 ほぼ達成できた
3 達成までには至っていないが、改善傾向
4 あまり達成できなかった

問27. 居宅介護支援業務の遂行に関して、ご意見を自由に書きください。

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月28日(火)までに  
郵便ポストに投函して下さるようお願いいたします(切手は不要です)。

大和市  
健康福祉部 介護保険課 給付係 電話 046(260)5168 FAX 046(260)5158  
健康福祉部 人生100年推進課 電話 046(260)5611 FAX 046(262)0999

## 大和市 介護保険サービス供給量調査

### ご協力をお願い

令和5年2月

日頃、市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。  
さて、大和市では令和3年3月に策定した「大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）」に基づき、介護保険をはじめとして、高齢者の保健福祉施策を推進しているところですが、この計画期間が令和5年度までとしていることから、現在、第9期の新たな計画策定に向けた取り組みを進めています。

つきましては、新たな計画の策定に向けて、**大和市内の介護保険サービスを提供している全ての事業者**（みなし指定や給付実績のない事業者は除く）の現状や今後の意向把握のために、この度、「大和市 介護保険サービス供給量調査」を実施させていただきます。また、**居宅介護支援事業の登録がある事業所**につきましては、介護サービスを必要とされている方の実態などを把握するための「大和市居宅介護支援事業所調査」を併せて実施させていただきます。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた調査内容は、計画策定・計画実施のために活用するものであり、個々の回答内容を漏らしたり、他の目的に利用することは一切ございません。

また、要介護・要支援（事業対象者）の認定を受けている方には、別途、「大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための実態調査」を行っております。利用者からお問い合わせがあった場合は、介護保険課へご案内いただくようご説明いただければ幸いです。

~~~~ ご回答にあたってのお願い ~~~~

- 1 質問には、令和5年1月1日現在についてお答えください。
- 2 この調査票は、1法人に対して、1通送付しています。そのため、同一法人で複数の介護保険のサービスを実施している場合、法人ごとに実施しているサービスについてこの調査票にご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる番号を○で囲むか、数値等をご記入ください。
- 4 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**2月28日(火)まで**に郵便ポストに投入くださいようお願いいたします。
- 5 調査内容や記入方法などについて、ご不明の点がございましたら、下記の担当までご連絡ください。

大和市 健康福祉部 介護保険課 給付係  
電話 046(260)5168 FAX 046(260)5158

### I 貴法人の概要をおたずねします

|     |              |  |
|-----|--------------|--|
| 法人名 |              |  |
| 電話  | 連絡先<br>(担当者) |  |

|                 |
|-----------------|
| 法人の種類 【ひとつだけに○】 |
| 1 社会福祉法人        |
| 2 医療法人(社団・財団)   |
| 3 株式会社          |
| 4 有限会社          |
| 5 NPO法人         |
| 6 その他(具体的に: )   |

※ この欄は記入しなくない場合は、無記名のままで結構です。

以下は、大和市での実施分のみをお答えください。

Ⅱ 貴法人の事業展開についておたずねします

問1. サービスごとの職員数などについておたずねします。提供している介護保険サービスの番号に○をつけ、職員数(令和5年1月1日現在)と令和4年の1年間における採用者数、退職者数をお答えください。

※複数のサービスの職務を兼務する(していた)場合は、主に従事する(していた)サービスに算入してください。

※非常勤職員数は、常勤換算数に併せて、( )内に非常勤実人数をご記入ください。

| サービス種別<br>(介護予防も含めて)    | 職員数(人) |                       | 採用者数(人) |     | 退職者数(人) |     |
|-------------------------|--------|-----------------------|---------|-----|---------|-----|
|                         | 常勤     | 非常勤の常勤換算数<br>(非常勤実人数) | 常勤      | 非常勤 | 常勤      | 非常勤 |
| 1 訪問介護                  | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 2 訪問入浴介護                | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 3 訪問看護                  | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 4 訪問リハビリテーション           | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 5 居宅療養管理指導              | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 6 通所介護                  | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 7 通所リハビリテーション           | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 8 短期入所生活介護              | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 9 短期入所療養介護              | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 10 特定施設入居者生活介護          | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 11 福祉用具貸与               | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 12 特定福祉用具販売             | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 13 認知症対応型通所介護           | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 14 小規模多機能型居宅介護          | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 15 認知症対応型共同生活介護         | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 16 地域密着型通所介護            | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 17 看護小規模多機能型居宅介護        | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 18 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 19 介護老人福祉施設             | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 20 介護老人保健施設             | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 21 居宅介護支援               | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |
| 22 介護予防支援               | ( )    | ( )                   | ( )     | ( ) | ( )     | ( ) |

問1-1.～問1-3.は“令和4年の1年間において新たな採用者がいる”事業者におたずねします。

問1-1. 採用した職員について教えてください。【○はいくつでも】

- 1 新卒
- 2 介護職員としての就労経験あり
- 3 介護職員としての就労経験なし
- 4 介護関係からの転職
- 5 介護関係以外からの転職
- 6 外国人技能実習生
- 7 失業後の再就職

問1-2. 採用活動について教えてください。【○はいくつでも】

- 1 職業安定所への求人
- 2 人材派遣会社への求人
- 3 採用アプリの活用
- 4 その他(具体的に: )

問1-3. 外国人を採用する考えはありますか。【○は1つ】

- 1 ある
- 2 ない

「2. ない」と答えた方におたずねします。

問1-3-1. 外国人を採用する考えのない理由を教えてください。【自由記載】

( )

( )

問1-4.～問1-5.は“令和4年の1年間において退職者がいる”事業者におたずねします。

問1-4. 退職の理由について教えてください。【○はいくつでも】

- 1 年齢
- 2 病気
- 3 身体的・体的理由
- 4 家庭の事情
- 5 その他(具体的に: )

問1-5. 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの退職者について、お伺いします。

上記 期間中の退職者数と平均在職期間をお答えください。

退職者数 \_\_\_\_\_人

平均在職期間 \_\_\_\_\_ か月

問2. 介護保険サービスについてお答えいただけます。サービスごとの令和4年度の平均稼働率と収支見込及び今後の事業予定をお答えください。

- ① 現在実施しているサービスと令和6年度から令和8年度の3年間に新たに事業展開を予定しているサービスの番号に○をつけてください。
- ② 平均稼働率は、令和4年度の見込みでお答えください。なお、届け出されている登録定員数(利用・入所等定員)が常に満たされている、または、雇用している職員でサービス提供できる最大の利用者数等を常に有している場合を100%とし、それ以上の利用希望を受け、サービス提供ができずに断っている(他事業所を紹介している等)場合を100%超としてください。
- ③ 収支見込は、介護予防の当該サービスも台算し、令和4年度の見込みでお答えください。
- ④ 「今後の事業予定」は、令和6年度から令和8年度の3年間の予定ど(拡大、「縮小」、「開始」、「廃止」)を回答した場合は、その実施時期が明らかであれば、時期もお答えください(未定の場合は記入不要です)。  
※「今後の事業予定」については、何らその予定を拘束するものではなく、また、事業指定を担保するものでもありません。

| サービス種別                  | 令和4年度             |             | 令和6年度～令和9年度       |        |
|-------------------------|-------------------|-------------|-------------------|--------|
|                         | 平均稼働率             | 収支見込        | 今後の事業予定           | その予定時期 |
| 1. 100%超                | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 2. 90～100%              | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 3. 70～90%未満             | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 4. 50～70%未満             | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 5. 30～50%未満             | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 6. 30%未満                | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 1 訪問介護                  | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 2 訪問入浴介護                | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 3 訪問看護                  | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 4 訪問リハビリテーション           | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 5 居宅療養管理指導              | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 6 通所介護                  | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 7 通所リハビリテーション           | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 8 短期入所生活介護              | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 9 短期入所療養介護              | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 10 特定施設入居者生活介護          | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 11 福祉用具貸与               | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 12 特定福祉用具販売             | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 13 夜間対応型訪問介護            | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 14 認知症対応型通所介護           | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 15 小規模多機能型居宅介護          | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 16 認知症対応型共同生活介護         | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 17 定期巡回・随時対応型訪問介護看護     | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 18 地域密着型通所介護            | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 19 看護小規模多機能型居宅介護        | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 20 地域密着型特定施設入居者生活介護     | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 21 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 22 介護老人福祉施設             | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 23 介護老人保健施設             | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 24 介護医療院                | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |
| 25 居宅介護支援               | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃  |

問3. 介護予防サービスについてお答えいただけます。サービスごとの令和4年度の平均稼働率と今後の事業予定をお答えください。

- ① 現在実施しているサービスと令和6年度から令和8年度の3年間に新たに事業展開を予定しているサービスの番号に○をつけてください。
- ② 平均稼働率は、令和4年度の見込みでお答えください。なお、届け出されている登録定員数(利用・入所等定員)が常に満たされている、または、雇用している職員でサービス提供できる最大の利用者数等を常に有している場合を100%とし、それ以上の利用希望を受け、サービス提供ができずに断っている(他事業所を紹介している等)場合を100%超としてください。
- ③ 「今後の事業予定」は、令和6年度から令和8年度の3年間の予定ど(拡大、「縮小」、「開始」、「廃止」)を回答した場合は、その実施時期が明らかであれば、時期もお答えください(未定の場合は記入不要です)。  
※「今後の事業予定」については、何らその予定を拘束するものではなく、また、事業指定を担保するものでもありません。

| サービス種別(介護予防サービス) | 令和4年度             |                   | 令和6年度～令和8年度       |         |
|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------|
|                  | 平均稼働率             | 今後の事業予定           | 平均稼働率             | 今後の事業予定 |
| 1. 100%超         | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 2. 90～100%       | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 3. 70～90%未満      | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 4. 50～70%未満      | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 5. 30～50%未満      | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 6. 30%未満         | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 1 総合事業 訪問型サービス   | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 2 訪問入浴介護         | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 3 訪問看護           | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 4 訪問リハビリテーション    | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 5 居宅療養管理指導       | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 6 総合事業 通所型サービス   | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 7 通所リハビリテーション    | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 8 短期入所生活介護       | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 9 短期入所療養介護       | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 10 特定施設入居者生活介護   | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 11 福祉用具貸与        | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 12 特定福祉用具販売      | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 13 認知症対応型通所介護    | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 14 小規模多機能型居宅介護   | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 15 認知症対応型共同生活介護  | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |
| 16 介護予防支援        | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 令和 年頃   |

問4. 特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設を運営している方におうかがいします。

提供しているサービスの記号に○をつけ、入居(入所)定員と入居(入所)者数(令和5年1月1日現在)、そのうちの大和市の被保険者数についてお答えください。また、略称吸引、胃瘻が必要な方、人工透析のための送迎が必要な方についてお答えください。なお、介護予防の指定も受けている場合は、合算してお答えください。

| サービス種別<br>(介護予防も含めて) | 入居(入所)定員(人) | 入居(入所)者数(人) | うち 大和市被保険者数(人) | 略称吸引が必要な入居(入所)者数(人) | 胃瘻が必要な入居(入所)者数(人) | 人工透析のための送迎が必要な入居(入所)者数(人) |
|----------------------|-------------|-------------|----------------|---------------------|-------------------|---------------------------|
| ア 特定施設入居者生活介護        |             |             |                |                     |                   |                           |
| イ 認知症対応型共同生活介護       |             |             |                |                     |                   |                           |
| ウ 介護老人福祉施設           |             |             |                |                     |                   |                           |
| エ 介護老人保健施設           |             |             |                |                     |                   |                           |

問5. 大和市において、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院の新設・増床(転換含む)の希望がある場合、その年月及び床数をお答えください。※介護保険施設の新設・増床・転換については、計画との整合性を図る必要があるため、事業指定を担保するものではありません。

| 希望年月                   | 予定床数                               |
|------------------------|------------------------------------|
| 介護老人福祉施設<br>令和( )年( )月 | (新設、増床、転換のいずれかに○を)<br>新設・増床・転換( )床 |
| 介護老人保健施設<br>令和( )年( )月 | (新設、増床、転換のいずれかに○を)<br>新設・増床・転換( )床 |
| 介護医療院<br>令和( )年( )月    | (新設、増床、転換のいずれかに○を)<br>新設・増床・転換( )床 |

問6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入を検討したことがありますか。【○は1つ】

1 ある → 2 ない

問6-1. 「1 ある」と答えた方におたずねします。  
検討した結果はどのようになりましたか。【○は1つ】

1 参入することになった …… 参入時期: 平成・令和( )年( )月

2 参入しないことになった

問7. 地域支援事業における介護予防事業のひとつである人員等を緩和した訪問型サービスAに参入意向がありますか。また、参入意向がある場合、予定時期についてお答えください。【○は1つ】

1 ある → 令和( )年( )月頃

2 ない → ない場合は、その理由をお答えください。  
参入意向がない理由( )

問8. 介護人材不足の打開策として、有効であるとお考えの取組をお知らせください。【○は3つまで】

- 1 賃金の大幅なアップ(基本給の底上げ等)
- 2 労働環境の改善、業務量の減少(夜勤の削減、労働時間の短縮など)
- 3 長期継続的な雇用の確保(定年まで安心して働ける職場環境)
- 4 外国人介護人材の受け入れ(技能実習生制度など)
- 5 他の施策(移住定住対策等)と連携した地域外からの人材確保
- 6 介護ロボットの活用(介護リフトや離床センサーなど)
- 7 専門職種確保に対する支援
- 8 資格取得や能力向上に向けた支援の拡充
- 9 世間的な介護職へのイメージアップ、社会的地位向上
- 10 休暇の取りやすい職場環境の充実
- 11 福利厚生制度の充実
- 12 出産・子育て・家族等を応援する制度の充実(子どもの預かりなど)
- 13 その他(具体的に: )
- 14 特になし

問9. 介護人材不足の打開策として、すでにされている、または今後予定されている取組がございましたらお知らせください。【取組がある場合のみ記載】

( )

Ⅲ 貴事業所の経営状況についておたずねします

問10. 貴法人が介護保険事業を運営していくうえでの課題をお教えください。【〇は5つまで】

- 1 利用者の確保
- 2 利用者への情報提供
- 3 職員の確保
- 4 職員の技術向上
- 5 職員のマナー、接遇の向上
- 6 利用者・家族との連携
- 7 他のサービス提供事業者との連携
- 8 ケアマネジャーとの連携
- 9 医療機関との連携
- 10 施設・設備の改善
- 11 介護報酬が低いこと
- 12 介護報酬に反映されない業務が多いこと
- 13 事務作業が多いこと
- 14 苦情・相談への対応
- 15 緊急時の対応
- 16 必要な情報の入手
- 17 介護保険制度に対する利用者の理解が十分でないこと
- 18 サービス担当者会議への出席
- 19 その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
- 20 特になし

問11. 貴事業所では、評価制度を導入していますか。【ア・イ それぞれ 〇は1つ】

|          |             |             |
|----------|-------------|-------------|
| ア 内部評価制度 | 1 導入している    | 2 導入を準備している |
|          | 3 導入を検討中である | 4 導入していない   |
| イ 外部評価制度 | 1 導入している    | 2 導入を準備している |
|          | 3 導入を検討中である | 4 導入していない   |

問12. 令和4年度における貴事業所の職員の研修への参加状況と今後の予定をおたずねします。

| 項目               | 参加している | 参加させることを準備している | 参加させることを検討している |
|------------------|--------|----------------|----------------|
| ア ターミナルケア        | 1      | 2              | 3              |
| イ 認知症ケア          | 1      | 2              | 3              |
| ウ 口腔ケア           | 1      | 2              | 3              |
| エ 栄養改善           | 1      | 2              | 3              |
| オ 嚥下吸引           | 1      | 2              | 3              |
| カ 感染症防止・対応       | 1      | 2              | 3              |
| キ 介護予防           | 1      | 2              | 3              |
| ク 事故防止・リスクマネジメント | 1      | 2              | 3              |
| ケ 高齢者虐待防止        | 1      | 2              | 3              |
| コ 接遇の向上          | 1      | 2              | 3              |
| サ 苦情対応           | 1      | 2              | 3              |
| シ 個人情報保護         | 1      | 2              | 3              |
| ス その他（_____）     | 1      | 2              | 3              |

問13. 貴事業所には昭係吸引ができる介護職員はいますか。【〇は1つ】

- 1 いる → ( \_\_\_\_\_ 人)
- 2 いない

問14. 連携が不十分とお考えの外部の諸機関等をお知らせください。【〇は3つまで】

- 1 利用者・家族等
- 2 大和市介護保険課、人生100年推進課
- 3 2以外の大和市関係機関（具体的に：\_\_\_\_\_）
- 4 地域包括支援センター・在宅介護支援センター
- 5 外部の居宅介護支援事業者
- 6 他の介護保険サービス事業者
- 7 医療機関
- 8 介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO含む）
- 9 特になし

問15. 利用者・契約者やその家族からの苦情や相談はどのようなものが多いですか。【〇は3つまで】

- 1 サービス内容に関するもの
- 2 利用手続きに関するもの
- 3 職員の態度に関するもの
- 4 施設・設備に関するもの
- 5 保険外負担に関するもの
- 6 介護者・家族からの虐待など
- 7 その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
- 8 特になし

問16. 貴事業所では、苦情や相談の解決のために特別な機関等を設置していますか。【〇は1つ】

1 設置している      2 設置していない

「1 設置している」と答えた方におたずねします。  
 問 16-1. 特別機関はどのようなものですか。【〇はいくつでも】

1 苦情解決責任者の配置      2 苦情相談窓口の設置  
 3 共同での第三者委員会の設置      4 単独の第三者委員会の設置  
 5 その他(具体的に: )

「2 設置していない」と答えた方におたずねします。  
 問 16-2. 苦情・相談にはどのように対応していますか。

**IV 介護ロボットの導入についておたずねします**

問17. 介護ロボットの導入を検討したことがありますか。【〇は1つ】

1 既に導入した      2 今後導入する予定  
 3 検討中      4 検討したが導入する予定はない      5 検討していない

「1 既に導入した」または「2 今後導入する予定」と答えた方におたずねします。  
 問 17-1. 導入、または導入予定の介護ロボットの用途、機種を教えてください。  
 【〇はいくつでも】

【用 途】 1 移乗介護      2 移動支援      3 排泄支援  
 4 見守り      5 入浴支援

【機 種】 6 その他(具体的に: )

メーカー( ) 製品名( )  
 メーカー( ) 製品名( )  
 メーカー( ) 製品名( )

「4 検討したが導入する予定はない」または「5 検討していない」と答えた方におたずねします。  
 問 17-2. 介護ロボットを導入しない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

1 高額である      2 費用対効果がわからない  
 3 介護職員の負担軽減が見込めない      4 事故が気になる  
 5 操作が困難である      6 機種に頼ることへの抵抗感がある  
 7 利用者が受け入れてくれるかわからない  
 8 その他(具体的に: )

**V 高齢者施策等についておたずねします**

問18. 大和市で充実すべきであるとお考えの高齢者施策等をお知らせください。【〇は3つまで】

- 1 趣味の創出に向けた施策
- 2 地域活動(自治会、ボランティア)の支援
- 3 ひとり暮らし高齢者に対する支援・見守り
- 4 高齢者向け住宅の整備
- 5 地域交流や仲間作りの支援
- 6 気軽に過ごせる場所の確保
- 7 健康づくり施策の充実
- 8 認知症に関する施策の充実
- 9 仕事の紹介
- 10 高齢者への犯罪対策
- 11 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 12 福祉や生活にかかわる相談体制の充実
- 13 介護保険サービスの充実
- 14 その他(具体的に: )
- 15 特になし

問19. 人材不足に対応するため行われている以下の神奈川県補助事業について、それぞれの認知と活用意向についてお答えください。【〇はそれぞれ1つずつ】

**施設開設準備経費等支援事業**

- ① 介護施設等の大規模修繕の際に合わせて行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費補助
- 認知度 …… 1 知っている      2 知らなかった  
 活用意向 …… 1 活用したい      2 活用の予定はない

**介護ロボット導入支援事業**

- ② 介護ロボット導入支援事業費補助
- 認知度 …… 1 知っている      2 知らなかった  
 活用意向 …… 1 活用したい      2 活用の予定はない
- ③ ICT導入支援事業費補助
- 認知度 …… 1 知っている      2 知らなかった  
 活用意向 …… 1 活用したい      2 活用の予定はない

問20. 大和市の高齢者施策や介護保険などについて、ご意見を自由にお書きください。

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。2月28日(火)までに記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします(切手は不要です)。



居所変更実態調査

【調査の趣旨とご協力をお願い】  
 日頃から本市の高齢者福祉事業及び介護保険事業にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。  
 この度、大和市では、「第9期(令和6年～8年度)高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定と今後の事業推進のための基礎資料とするため、居所変更実態調査を行います。  
 本調査は、市内の居住系サービス事業における、過去1年間の新規入居・退去の流れや、退去の理由などを把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討するための資料として活用することを目的としています。  
 ご回答いただきました内容は、事業所ごとに個別に公表することなく、統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。  
 お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【備考】  
 1 この調査は、令和4年4月1日時点で大和市内にある下記の事業所に送付しています。  
 <居住系サービス>  
 ・住宅型有料老人ホーム  
 ・サービス付き高齢者向け住宅  
 ・軽費老人ホーム

【本調査に関する問い合わせ及び提出先】  
 大和市 人生100年推進課 長寿福祉係 電話：046-260-5611  
 E-mail: ke\_jinse@city.yamato.lg.jp

費施設について記入してください。

|          |       |
|----------|-------|
| 施設名      | 氏名    |
| 法人名      | 氏名    |
| 担当者      | 役職    |
| 電話番号     | FAX番号 |
| Eメールアドレス |       |

※ 令和4年4月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(下記より1つ選択)

- 1. 住宅型有料老人ホーム
- 2. 軽費老人ホーム
- 3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)

※ 本調査では、上記の施設種別を「施設等」と表記します。

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

| (1) 施設等の名称                | 戸/室 | 人    | 人  |
|---------------------------|-----|------|----|
| (2) 戸数/室数、定員数             | 市民  | 市民以外 | 合計 |
| (3) 入居者数                  | 市民  | 市民以外 | 合計 |
| (4) 貴施設への待機者数             | 市民  | 市民以外 | 合計 |
| (5) 特別養護老人ホームへの待機者数(申込者数) | 市民  | 市民以外 | 合計 |

※ 「(2)戸数(室数)」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、またそれぞれの「定員数」をご回答ください。

※ 「(3)入居者数・(4)待機者数」は、保険者が大和市である方の数を「市民」に、それ以外の方の数を「市民以外」に記入してください。

※ 「(5)特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)」は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

問3 現在の入居者の要支援・要介護の人数について、ご記入ください。(数値を記入)

| 自立 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 申請中・不明 | 合計 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|--------|----|
|    |      |      |      |      |      |      |      |        |    |

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「(3)入居者数」が一致することをご確認ください。

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(対象者がいる処置全てに数値を記入)

| (1) 点滴の管理   | (2) 中心静脈栄養   | 人 |
|-------------|--------------|---|
| (3) 透析      | (4) ストーマの処置  | 人 |
| (5) 酸素療法    | (6) レスビレーター  | 人 |
| (7) 気管切開の処置 | (8) 疼痛の看護    | 人 |
| (9) 経管栄養    | (10) モニター測定  | 人 |
| (11) 褥瘡の処置  | (12) カテーテル   | 人 |
| (13) 喀痰吸引   | (14) インスリン注射 | 人 |

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問7 過去1年間(令和3年4月1日~令和4年3月31日)に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※なお、一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方(貴施設等との契約が継続している方)は含めなくてください。

退去者数(合計)(※死亡・搬送先での死亡を含む) 人 ☆

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

※死亡(搬送先での死亡を含む)した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。

※ここでご記入いただいた「合計」と、問7でご記入いただいた「退去者数(合計)」「(☆欄)」が一致することを確認ください。

|      | 要支援1 | 要支援2  | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 |
|------|------|-------|------|------|------|
| 自立   | 人    | 人     | 人    | 人    | 人    |
| 要介護4 | 要介護5 | 新規申請中 | 死亡   | 合計   | 人 ☆  |
| 人    | 人    | 人     | 人    | 人    | 人 ☆  |

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※ここでご記入いただいた「合計」と、問7でご記入いただいた「退去者数(合計)」「(☆欄)」が一致することを確認ください。

※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

|                                 | 市民  | 市民以外 |
|---------------------------------|-----|------|
| (1) 自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)         | 人   | 人    |
| (2) 住宅型有料老人ホーム                  | 人   | 人    |
| (3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)             | 人   | 人    |
| (4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)       | 人   | 人    |
| (5) グループホーム                     | 人   | 人    |
| (6) 特定施設(特定施設入居者生活介護)           | 人   | 人    |
| (7) 地域密着型特定施設(地域密着型特定施設入居者生活介護) | 人   | 人    |
| (8) 介護老人保健施設                    | 人   | 人    |
| (9) 療養型・介護医療院                   | 人   | 人    |
| (10) (9)を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)    | 人   | 人    |
| (11) 特別養護老人ホーム                  | 人   | 人    |
| (12) 地域密着型特別養護老人ホーム             | 人   | 人    |
| (13) その他( )                     | 人   | 人    |
| (14) 行先を把握していない                 | 人   | 人    |
| (15) 死亡(※搬送先での死亡を含む)            | 人   | 人    |
| (16) 合計                         | 人 ☆ | 人 ☆  |

ここからは、過去1年間の新規の入居者についてお伺いします。

問5 過去1年間(令和3年4月1日~令和4年3月31日)に、貴施設等に新規に入居した人の人数をご記入ください。

※貴施設等に入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めなくてください。

新規の入居者数(合計) 人 ☆

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入居者について、入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

※ここでご記入いただいた「合計」と、問5でご記入いただいた「新規の入居者数(合計)」「(☆欄)」が一致することを確認ください。

※一旦入院し、退院後に貴施設等に入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。

|                                 | 市民  | 市民以外 |
|---------------------------------|-----|------|
| (1) 自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)         | 人   | 人    |
| (2) 住宅型有料老人ホーム                  | 人   | 人    |
| (3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)             | 人   | 人    |
| (4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)       | 人   | 人    |
| (5) グループホーム                     | 人   | 人    |
| (6) 特定施設(特定施設入居者生活介護)           | 人   | 人    |
| (7) 地域密着型特定施設(地域密着型特定施設入居者生活介護) | 人   | 人    |
| (8) 介護老人保健施設                    | 人   | 人    |
| (9) 療養型・介護医療院                   | 人   | 人    |
| (10) 特別養護老人ホーム                  | 人   | 人    |
| (11) 地域密着型特別養護老人ホーム             | 人   | 人    |
| (12) その他( )                     | 人   | 人    |
| (13) 入居する前の居場所を把握していない          | 人   | 人    |
| (14) 合計                         | 人 ☆ | 人 ☆  |

問10 貴施設等の入居者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んでください。

|                                | 退去理由「上位3つ」  |             |             |
|--------------------------------|-------------|-------------|-------------|
|                                | 第1位<br>1つに○ | 第2位<br>1つに○ | 第3位<br>1つに○ |
| (1) 必要な生活支援が発生・増大したから          |             |             |             |
| (2) 必要な身体介護が発生・増大したから          |             |             |             |
| (3) 認知症の症状が悪化したから              |             |             |             |
| (4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから      |             |             |             |
| (5) (1)~(4)以外の状態像が悪化したから       |             |             |             |
| (6) 入居者の状態等が改善したから             |             |             |             |
| (7) 入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから |             |             |             |
| (8) 費用負担が重くなったから               |             |             |             |
| (9) その他 ( )                    |             |             |             |

調査は以上です。ご回答いただき、ありがとうございました。

大和市 高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画(第9期)  
策定のための実態調査

報 告 書

令和5年8月

発行：大和市 人生100年推進課 / 介護保険課 / 健康づくり推進課

《人生100年推進課》

〒242-0004 神奈川県大和市鶴間一丁目31番7号  
大和市保健福祉センター内  
TEL:046-260-5611 / FAX:046-262-0999

《介護保険課》

〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間一丁目1番1号  
TEL:046-260-5168 / FAX:046-260-5158

《健康づくり推進課》

〒242-0004 神奈川県大和市鶴間一丁目31番7号  
大和市保健福祉センター内  
TEL:046-260-5803 / FAX:046-260-1156